中央果実協会調査資料　No.

平成２７年度

果樹産地生産構造動向分析調査報告書

平成２８年１月

公益財団法人 中央果実協会

はしがき

新たに公表された果樹農業振興基本方針に基づき、今後、都道府県の果樹農業振興計画や果樹産地構造改革計画の策定･見直しが図られ、これらを踏まえて、果樹経営支援対策事業等の果実等生産出荷安定対策事業が実施されることになっています。

これらの計画の見直し･策定に当たっては、生産･流通･消費動向など国内外の果樹を取り巻く情勢を的確に捉えた検討を行う必要があり、果樹産地としての当該地域の特徴を明確にして産地として発展していく条件を明らかにするとともに、新たな品種や技術、目標とすべき具体的な経営事例の提供などが必要とされています。

このため、2015年調査の農林業センサス結果の取りまとめ状況を踏まえ、過去のセンサスデータと併せ果樹農業の生産構造を道府県・主産地別、時系列的に分析を行うとともに、果実産出額の推移等他のデータも加え主産地の今後の動向等を考察し、産地の発展の条件を提示することとしました。

これらの調査結果については、果樹産地構造改革計画の策定主体など地域の果樹関係者に広く提供し、果樹農業振興に関する各種計画の策定及び果樹経営支援対策事業の推進に資することとして果樹産地生産構造動向分析調査を、一般財団法人農林統計協会に委託して実施しました。本調査にご尽力いただきました方々に、深く感謝申し上げます。

本調査結果が、様々な場面で活用され、今後我が国果樹産業の国際化対策の推進等において少しでもお役にたてれば幸いと考えます。

公益財団法人　中央果実協会
理事長　弦間　洋

目　次

はしがき
○調査の概要　・・・

調査の概要

1. 目　的

新たに公表された果樹農業振興基本方針に基づき、今後、都道府県の果樹農業振興計画や果樹産地構造改革計画の策定･見直しが図られ、これらを踏まえて、果樹経営支援対策事業等の果実等生産出荷安定対策事業が実施されることになる。

このため、これらの計画の見直し･策定に当たっては、生産･流通･消費動向など国内外の果樹を取り巻く情勢を的確に捉えた検討を行う必要があり、果樹産地としての当該地域の特徴を明確にして産地として発展していく条件を明らかにするとともに、新たな品種や技術、目標とすべき具体的な経営事例の提供などが必要とされる。 このため、2015 年調査の農林業センサス結果の取りまとめ状況を踏まえ、過去のセンサスデータと併せ果樹農業の生産構造を道府県・主産地別、時系列的に分析を行うとともに、果実産出額の推移等他のデータも加え主産地の今後の動向等を考察し、産地の発展の条件を提示する。

これらの調査結果については、果樹産地構造改革計画の策定主体など地域の果樹関係者に広く提供し、果樹農業振興に関する各種計画の策定及び果樹経営支援対策事業の推進に資するものとする。

２ 内　容

（１） 検討委員会

中央果実協会が学識経験者からなる委員会を開催し、調査対象の選定、調査方法・内容の検討、調査結果の分析のとりまとめを行った。

１）検討委員会の構成、運営

検討委員会は、次の委員により構成。

徳田　博美　　三重大学大学院生物資源学研究科　教授

長谷川啓哉　　東北農業研究センター　主任研究員

宮井　浩志　　四国大学全学共通支援センター　准教授

２）検討事項

・農林業センサスを用いた「果樹生産力構造指標」の作成方法、分析方法等

・大規模果樹経営調査の調査対象、調査方法、取りまとめ方法及び経営分析の方法等

２）開催期日

第１回　平成 27 年 8 月 3 日

（調査・分析の進め方）

第２回　平成 27 年 12 月 3 日

（果樹生産力構造指標・大規模果樹経営の経営分析の検討）

第３回　平成 28 年 1 月 22 日

（調査報告書案の検討）

（２）農林業センサスを用いた果樹生産力構造指標分析調査（果樹産地協議会単位）

１）2015 年農林業センサス結果の分析

2015 年農林業センサス結果のうち、果樹関係の 3 指標（「樹園地のある経営体」、「樹園地面積」、「1 経営体当たり樹園地面積」）を用いて、近年の動向、果樹主要県別の動向を分析した。

２）農林業センサス等を用いた果樹産地生産力構造指標分析

全国の全産地協議会(512)について、果樹産地生産力構造指標(17 指標)を作成した。

また、全産地協議会のうち、ある程度果樹産地としてのまとまりを有する産地を対象に、主要品目（樹種）別に果樹産地生産力構造指標の分析を行った。

ア．産地の立地条件・農家概況（販売農家数、主業農家数、樹園地のある農家数、樹園地面積 3ha 以上の農家数、農産物販売金額 1000 万円以上農家数、後継者のいる農家数、樹園地面積）

イ．担い手等の状況（主業農家率、樹園地面積 3ha 以上の農家率、後継者のいる農家率）

ウ．樹園地の生産条件等（１戸当たり樹園地栽培面積、耕作放棄地面積割合）

エ．労働力等（農業就業人口数、65 歳未満の農業就業人口数、1 戸当たり農業就業人口数、農業就業人口の 65 歳未満割合）

オ．販売関係（農産物販売金額 1000 万円以上農家率）

（３）大規模果樹経営実態調査

ぶどう、かき、もも、うめを栽培する大規模果樹経営について、アンケート調査、現地調査を行うとともに、経営分析等を行った。

１）調査対象及びサンプル数

調査の対象は、果樹主産県8道県のうち、ぶどう、かき、もも、うめを栽培する経営体について、概ね「樹園地面積5ha以上の経営体」を対象に、できるだけ優良な経営体、今後、他の経営の模範となるような経営体を各品目12経営体程度を目安に選定し、ぶどう経営体14、かき経営体12、もも経営体10、うめ経営体11、合計で47経営体を取りまとめた。

表　大規模果樹経営実態調査「品目別・道県別の調査経営体数」

※　() 内は、検討委員による現地面接調査実施経営。

道県	品目別の調査経営体数				
	ぶどう経営	かき経営	もも経営	うめ経営	計
北海道	5				5
福　島			(2) 6		6
山　梨	(2) 3		2		5
長　野	1				1
愛　知	3				3
奈　良		8			8
和歌山		2	2	(2) 11	15
福　岡	2	(2) 2			4
計	14	12	10	11	47

２）調査内容

調査内容は、主として以下の項目を調査した。

ア．経営の現状（経営収支等を含む）

イ．経営の発展過程（特に園地の集積過程とその手法、活用した支援対策等）

ウ．経営発展に伴う経営改善、技術改善の方策・内容

エ．経営面及び技術面の課題

オ．今後の経営の展望（果樹農業振興基本方針への意見を含む）

カ．地域、全国への普及可能性等

３）調査方法

調査は、以下の方法により７月～8月に実施した。

調査経営体 47 のうち、8 経営体（4 県×2 経営体）については、調査分析委員による「面接調査」で、残り 39 経営体については、調査員によりアンケート調査票を経営体へ郵送し返送いただく「郵送調査」でそれぞれ実施した。

（面接調査の分担）

ア　徳田博美委員	・・・	ぶどう経営（山梨県：2 経営体）
		かき経営（福岡県：2 経営体）
イ　長谷川啓哉委員	・・・	もも経営（福島県：2 経営体）
ウ　宮井浩志委員	・・・	うめ経営（和歌山県：2 経営体）

４）取りまとめ・調査報告書の作成

調査報告書の「4 まとめ ―果樹産地生産構造動向分析―」については、主産地の今後の動向、各産地の発展条件について、徳田博美三重大学教授が取りまとめた。

３ 事業実施期間

平成２７年６月から平成２８年１月

調査結果の要旨

1　2015 年農林業センサスによれば、「樹園地のある経営体」は 26.9 万経営体、樹園地面積は 18.8 万 ha、1 経営体当り樹園地面積は 69.9a となっている。

これを前回センサス（2010 年）と比べると、経営体数は△19.6%、樹園地面積は△12.0%とそれぞれ減少、一方、1 経営体当り樹園地面積は 9.5%増加となっている。

2　樹園地のある経営体について最近 25 年間の動向を 1990 年＝100 としてみると、2015 年では、樹園地のある経営体は 61.7%減少し 38.3、樹園地面積は 44.7%減少の 55.3、一方、1 経営体当り樹園地面積は 44.3%増加の 144.3 となっている。

3　果樹主要 13 県の 10 年間の動向を前期(2010 年/2005 年)と後期(2015 年/2010 年)とに分けてみると、「樹園地のある経営体数」は、いずれの県においても減少しているが、全ての県で前期より後期の方が減少率は高くなっているのが特徴である。

4　果樹産地生産力構造指標をみると、

1）かんきつ主体産地では、産地の規模（参加農家数、果樹園面積）は他の品目（樹種）産地に比べて比較的小さいものの、果樹園規模では大規模階層の割合が比較的大きい。また、樹園地の耕作放棄面積割合は多い。

2）りんご主体産地では、産地の規模（参加農家数、果樹園面積）は他の品目（樹種）産地に比べて比較的大きい、果樹園規模では他の産地並みとなっている。また、樹園地の耕作放棄面積割合は比較的少ない。

3）りんご以外の落葉果樹産地では、産地の規模（参加農家数、果樹園面積）は他の品目（樹種）産地に比べて比較的大きい、果樹園規模では他の産地に比べて比較的小さい。また、樹園地の耕作放棄面積割合は比較的少ない。

5　大規模果樹経営実態調査結果を品目別にみると、

経営主の年齢では、かき経営が 50.9 歳で最も若く、ぶどう経営、もも経営、うめ経営においては 54 歳程度となっている。

農業従事者数は、家族農業従事者数では、もも経営が 3.3 人と最も多く、次いでうめ経営の 3.18 人、ぶどう経営 2.85 人、かき経営が 2.67 人と最も少ない。

常雇についてみると、ぶどう経営が 1.08 人と最も多く、次いでかき経営、もも経営の順で、うめ経営においては 0.09 人とわずかしかいない。

6　農業経営収支をみると、農業粗収益、いわゆる売上高では、ぶどう経営が 3,264 万円と最も高い。しかしながら農業経営費も 2,471 万円と最も多くかかっている。

この結果、農業所得ではぶどう経営が 793 万円と最も高い。農業所得率でみると、かき経営が 29.9%と最も高く、他の品目の経営では 24～25%に留まっている。

園地の購入や借入では、かき経営が活発で多く、ぶどう経営、もも経営、うめ経営、ぶどう経営ではやや低調である。なお、園地の集積方法を「購入」と「借入」とに分けてみると、最近 10 年以内と 10 年以前とに分けてみると、かき経営、ぶどう経営などは 10 年以前では比較的園地購入が多く、最近 10 年以内では比較的借入園地が多いのが特徴である。

（調査結果の解説）

1　2015 年農林業センサス結果概要

（1）全国の動向(2015 年)

2015 年農林業センサス（注 1）によれば、「樹園地のある経営体(注 2)」は 26.9 万経営体、樹園地面積は 18.8 万 ha、1 経営体当り樹園地面積は 69.9a となっている。

これを前回センサス（2010 年）と比べると、経営体数は△19.6%、樹園地面積は△12.0%とそれぞれ減少、一方、1 経営体当り樹園地面積は 9.5%増加となっている。

注 1：2015 年農林業センサスは、平成 27 年 2 月 1 日現在で調査を実施し、同年 11 月 27 日概算公表となった。

注 2：2000 年農林業センサスによれば、「樹園地のある農家」（全国）は、農家数でみると果樹園のある農家(83.1%)、茶園のある農家(同 14.2%)、その他の樹園地のある農家(同 9.1%)からなっている。

表 1-1　樹園地のある経営体数・樹園地面積・1 経営当り樹園地面積

区分		経営体数（万経営）	樹園地面積（万ha）	1経営体当り樹園地面積(a)
実数	2015年	26.9	18.8	69.9
	2010年	33.5	21.4	63.8
増減率(2015/2010年度)		△ 19.6	△ 12.0	9.5

図 1-1　樹園地のある経営体数・樹園地面積・1 経営当り樹園地面積の増減率（2015 年/2010 年）

(2) 全国の 25 年間の動向(時系列分析)

樹園地のある経営体について最近 25 年間の動向を 1990 年＝100 としてみると、

2015 年では、樹園地のある経営体は 61.7%減少し 38.3、樹園地面積は 44.7%減少の 55.3、一方、1 経営体当り樹園地面積は 44.3%増加の 144.3 となっている。

すなわち、経営体数の減少が最も大きく、樹園地面積の減少を 17.0 ポイント上回っている。このため、1 経営体当り樹園地面積は 1995 年を除き毎期 10%前後増加し、25 年間で 1.44 倍と規模拡大が進んでいる。

図 1-2　樹園地のある経営体数・面積等の推移(センサス)

表 1-2　樹園地のある経営体数・面積等の推移(センサス)

区分		経営体数	樹園地面積	1経営体当り樹園地面積
実数	年次	万経営	万ha	a
	1990年	70.3	34.0	48.4
	1995年	61.1	29.7	48.6
	2000年	48.5	25.7	52.9
	2005年	38.5	22.9	59.6
	2010年	33.5	21.4	63.8
	2015年	**26.9**	**18.8**	**69.9**
対前期増減率	1995年	△ 13.1	△ 12.8	0.4
	2000年	△ 20.5	△ 13.5	8.9
	2005年	△ 20.7	△ 10.7	12.5
	2010年	△ 13.0	△ 6.8	7.1
	2015年	**△ 19.6**	**△ 12.0**	**9.5**
1990=100とした指数	1990年	100.0	100.0	100.0
	1995年	86.9	87.2	100.4
	2000年	69.1	75.5	109.3
	2005年	54.8	67.4	123.0
	2010年	47.7	62.8	131.8
	2015年	**38.3**	**55.3**	**144.3**

図 1-3　樹園地のある経営体数・面積・1 経営当り樹園地面積の推移(センサス)

最近 25 年間の動向を対前期増減率でみると、

1. 樹園地のある経営体数では、各期 10~20%の減少率と高くなっている。
2. 樹園地面積では、2010 年がやや低かったものの、他の年次は 10%を超える比較的高い減少率となっている。
3. 1 経営体当たり樹園地面積では、2005 年が+12.5%と最も高い一方、他の年次は、ほとんど変動しなかった 1995 年を除きやや低い増加率となっている。

図 1-4　樹園地のある経営体数・面積・1 経営当り樹園地面積の
対前期増減率の推移(センサス)

図 1-5　樹園地のある経営体数・樹園地面積の対前期増減率の推移(センサス)

(3) 果樹主要県の 10 年間の動向(時系列分析)

1) 樹園地のある経営体数

果樹主要 13 県の 10 年間の動向を前期(2010 年/2005 年)と後期(2015 年/2010 年)とに分けてみると、「樹園地のある経営体数」は、いずれの県においても減少しているが、全ての県で前期より後期の方が減少率は高くなっているのが特徴である。

特に、福岡、静岡、愛媛などで後期の減少率が高くなっている。一方、和歌山、長野、青森などは後期の方が減少率は高いものの他県に比べてやや低い減少率となっている。

注：前記、(1) の注 2 でみたように「樹園地のある経営体数」には、果樹経営の他、茶経営などが含まれており、茶の産地県では留意が必要である。

図 1-6 「樹園地のある経営体数」の動向（対前期増減率）

（前期 2010/2005 年,後期 2015/2010 年）

表 1-3 「樹園地のある経営体数」の動向

全国・県別	樹園地のある経営体数						（参考）果樹園率(%)
	実数（経営体）			5年間減少率(%)		10年間減少率(%)	
	2005年	2010年	2015年	2010/2005	2015/2010	2015/2005	2005年
全国	385,105	334,922	269,169	△ 13.0	△ 19.6	△ 30.1	79.0
青森	18,730	16,755	14,354	△ 10.5	△ 14.3	△ 23.4	99.6
山形	17,606	15,178	12,262	△ 13.8	△ 19.2	△ 30.4	97.3
福島	10,863	9,353	7,390	△ 13.9	△ 21.0	△ 32.0	88.9
茨城	10,822	8,756	6,862	△ 19.1	△ 21.6	△ 36.6	84.4
山梨	16,485	14,528	12,339	△ 11.9	△ 15.1	△ 25.2	98.3
長野	27,210	23,907	20,511	△ 12.1	△ 14.2	△ 24.6	97.3
静岡	27,578	23,286	17,846	△ 15.6	△ 23.4	△ 35.3	29.8
愛知	10,470	9,295	7,433	△ 11.2	△ 20.0	△ 29.0	82.9
和歌山	19,428	17,546	15,665	△ 9.7	△ 10.7	△ 19.4	98.5
愛媛	22,647	19,342	15,109	△ 14.6	△ 21.9	△ 33.3	98.0
福岡	10,836	9,521	6,748	△ 12.1	△ 29.1	△ 37.7	73.7
熊本	14,727	13,251	11,211	△ 10.0	△ 15.4	△ 23.9	86.5
鹿児島	9,208	7,677	5,875	△ 16.6	△ 23.5	△ 36.2	30.2

2) 樹園地面積の動向

同様に「樹園地面積」をみると、茨城、長野、熊本においては前期より後期の方が減少率は低くなっているが、他の県は後期の方が前期より減少率が高い。

特に福岡、愛媛、愛知などで後期の減少率の大幅な増加が特徴である。一方、鹿児島、和歌山、長野などでは低い減少率に留まっている。

図 1-7　「樹園地面積」の動向（対前期増減率）

（前期 2010/2005 年,後期 2015/2010 年）

表 1-4　「樹園地面積」の動向

全国・県別	樹園地面積						（参考）果樹園率(%)
	実数(ha)			5年間減少率(%)		10年間減少率(%)	
	2005年	2010年	2015年	2010/2005	2015/2010	2015/2005	2005年
全国	229,435	213,797	188,121	△ 6.8	△ 12.0	△ 18.0	79.0
青森	18,327	17,620	16,272	△ 3.9	△ 7.7	△ 11.2	99.6
山形	8,780	8,282	7,300	△ 5.7	△ 11.9	△ 16.9	97.3
福島	6,220	5,859	5,228	△ 5.8	△ 10.8	△ 16.0	88.9
茨城	5,820	5,000	4,319	△ 14.1	△ 13.6	△ 25.8	84.4
山梨	8,956	8,258	7,528	△ 7.8	△ 8.8	△ 15.9	98.3
長野	12,532	11,731	10,995	△ 6.4	△ 6.3	△ 12.3	97.3
静岡	22,041	20,798	18,229	△ 5.6	△ 12.4	△ 17.3	29.8
愛知	4,330	4,021	3,377	△ 7.1	△ 16.0	△ 22.0	82.9
和歌山	16,592	15,817	14,814	△ 4.7	△ 6.3	△ 10.7	98.5
愛媛	17,290	15,221	12,552	△ 12.0	△ 17.5	△ 27.4	98.0
福岡	8,134	7,931	5,923	△ 2.5	△ 25.3	△ 27.2	73.7
熊本	11,213	10,453	9,783	△ 6.8	△ 6.4	△ 12.8	86.5
鹿児島	10,767	10,836	10,419	0.6	△ 3.8	△ 3.2	30.2

3) 「1 経営体当りの経営樹園地面積」の動向

同様に「1 経営体当りの経営樹園地面積」をみると、山形、和歌山、福岡においては前期より後期の方が増加率は低くなっているが、他の県は全て後期の方が前期より増加率が高い。

なかでも鹿児島、静岡、福島などで増加率が高くなっているのが特徴である。一方、和歌山、愛知、愛媛などでは低い増加に留まっている。

図 1-8　「1 経営体当りの経営樹園地面積」の動向（対前期増減率）
（2010/2005 年,2015/2010 年）

表 1-5　「1 経営体当りの経営樹園地面積」の動向

全国・県別	1 経営体当たりの経営樹園地面積						（参考）果樹園率(%)
	実数(a)			5年間減少率(%)		10年間減少率(%)	
	2005年	2010年	2015年	2010/2005	2015/2010	2015/2005	2005年
全国	59.6	63.8	69.9	7.1	9.5	17.3	79.0
青森	97.8	105.2	113.4	7.5	7.8	15.9	99.6
山形	49.9	54.6	59.5	9.4	9.1	19.4	97.3
福島	57.3	62.6	70.7	9.4	12.9	23.5	88.9
茨城	53.8	57.1	62.9	6.2	10.2	17.0	84.4
山梨	54.3	56.8	61.0	4.6	7.3	12.3	98.3
長野	46.1	49.1	53.6	6.5	9.2	16.4	97.3
静岡	79.9	89.3	102.1	11.8	14.4	27.8	29.8
愛知	41.4	43.3	45.4	4.6	5.0	9.9	82.9
和歌山	85.4	90.1	94.6	5.6	4.9	10.7	98.5
愛媛	76.3	78.7	83.1	3.1	5.6	8.8	98.0
福岡	75.1	83.3	87.8	11.0	5.4	16.9	73.7
熊本	76.1	78.9	87.3	3.6	10.6	14.6	86.5
鹿児島	116.9	141.1	177.3	20.7	25.6	51.7	30.2

≪「樹園地のある経営体数減少率」と「樹園地面積減少率」の相関分析≫

2005 年から 2015 年までに 10 年間の「樹園地のある経営体数減少率」と「樹園地面積減少率」の相関をみると、すべての県で経営体数減少率が樹園地面積減少率を上回っている。この結果 1 経営体当たりの経営樹園地面積は全ての県で増加している。なかでも鹿児島、静岡、福島などでは大幅に規模拡大が進んでいる。

一方、愛媛、愛知、和歌山、山梨、青森などは規模拡大があまり進んでいないことが分かる。

図 1-9　「樹園地のある経営体数減少率」と「樹園地面積減少率」の相関(2015 年/2005 年)

表 1-6　「樹園地のある経営体数減少率」「樹園地面積減少率」の相関(2015 年/2005 年)

区分	減少率(2015年/2005年)			増加率(2015年/2005年)
	樹園地のある経営体数　a	樹園地面積 b	ポイント差 (a-b)	1 経営体当たりの経営樹園地面積
全国	△ 30.1	△ 18.0	△ 12.1	17.3
青森	△ 23.4	△ 11.2	△ 12.2	15.9
山形	△ 30.4	△ 16.9	△ 13.5	19.4
福島	△ 32.0	△ 16.0	△ 16.0	23.5
茨城	△ 36.6	△ 25.8	△ 10.8	17.0
山梨	△ 25.2	△ 15.9	△ 9.2	12.3
長野	△ 24.6	△ 12.3	△ 12.4	16.4
静岡	△ 35.3	△ 17.3	△ 18.0	27.8
愛知	△ 29.0	△ 22.0	△ 7.0	9.9
和歌山	△ 19.4	△ 10.7	△ 8.7	10.7
愛媛	△ 33.3	△ 27.4	△ 5.9	8.8
福岡	△ 37.7	△ 27.2	△ 10.5	16.9
熊本	△ 23.9	△ 12.8	△ 11.1	14.6
鹿児島	△ 36.2	△ 3.2	△ 33.0	51.7

2　農林業センサス等を用いた果樹産地生産力構造指標分析

(1) センサスを用いた果樹産地生産力構造指標分析

1) 作成する果樹生産力構造指標

―全産地協議会の果樹産地生産力構造指標分析―

全国の果樹産地協議会 513 協議会を対象に、果樹産地生産力構造指標分析にふさわしい以下の 17 指標について、2010 農林業センサスデータ（市町村別等）を用いて協議会ごとに作成した。

表 2-1　作成する果樹生産力構造指標一覧（果樹産地協議会単位に作成）

大分類	小分類		単位	備考
ア．　産地の立地条件・農家概況	1	販売農家数	戸	
	2	主業農家数	戸	
	3	果樹栽培面積のある農家数	戸	
	4	果樹栽培面積3ha以上の農家数	戸	
	5	農産物販売金額1000万円以上農家数	戸	
	6	同居後継者のいる農家数	戸	
	7	果樹栽培面積	ha	
イ．　担い手の状況	8	主業農家率	%	
	9	果樹栽培面積3ha以上の農家率	%	
	10	同居後継者のいる農家率	%	
ウ．　樹園地の生産条件等	11	1戸当たり果樹栽培面積	a	
	12	樹園地の耕作放棄地面積割合	%	
エ．　労働力等	13	農業就業人口数	人	
	14	65歳未満の農業就業人口数	人	
	15	1戸当たり農業就業人口数	人	
	16	農業就業人口の65歳未満割合	%	
オ．　販売関係	17	農産物販売金額1000万円以上農家率	%	

2）分析対象とした産地協議会

≪果樹産地協議会の参加農家数等の実態≫

全国の果樹産地協議会 512 協議会について、各果樹産地協議会への参加農家数階層規模別の協議会数、参加農家数、果樹園地面積をみると、

参加農家数の少ない順に「300 戸未満」層は 287 協議会、「300～1000 戸」層は 149 協議会、「1000～1500 戸」層は 27 協議会などとなっている。

なお、「300 戸以上」層でみると、協議会数は 225、全体に占める割合は 43.9%、参加農家数は 239,928 戸、割合で 87.0%、果樹園地面積 163,958ha、割合で 90.9%を占めている。

表 2-2　参加農家数階層規模別の果樹産地協議会数と参加農家数、果樹園地面積

協議会の農家数規模階層		協議会数(協議会)		参加農家数(戸)		果樹園面積(ha)	
		実数	割合(%)	実数	割合(%)	実数	割合(%)
300戸未満		287	56.1	35,983	13.0	16,394	9.1
300戸以上	計	225	43.9	239,928	87.0	163,963	90.9
	300～1000戸	149	29.1	84,647	30.7	50,950	28.2
	1000～1500	27	5.3	33,166	12.0	21,069	11.7
	1500～2000	23	4.5	39,557	14.3	26,241	14.5
	2000～3000	17	3.3	44,992	16.3	34,231	19.0
	3000戸以上	9	1.8	37,566	13.6	31,473	17.5
合計		512	100.0	275,911	100.0	180,358	100.0

図 2-1　参加農家数階層規模別の果樹産地協議会数と参加農家数、果樹園地面積

≪分析対象協議会・品目（樹種）別集計対象協議会（239 協議会）≫

1）全産地協議会(512 協議会)のうち、ある程度果樹産地としてのまとまりを有する産地を分析の対象とする観点から、原則として 次の①、②、2 つの要件いずれかを満たす産地協議会を対象とした。

（分析対象協議会（229 協議会）

① 「販売目的で果樹を栽培した農家」が 300 戸以上の協議会のうち、販売農家に占める果樹栽培農家の割合が 10%以上の産地（10%未満で除外された産地例（略称）：仙台、JA すかがわ、会津、豊田市、津山市など 16 協議会）

② 「販売目的で果樹を栽培した農家」が 300 戸未満の協議会であっても、販売農家に占める果樹栽培農家の割合が 50%以上の産地（産地例（略称）：増毛町、仁木町、市川市、西八代、あいら伊豆、大崎上島、JA 馬路村など 20 協議会）

2）品目（樹種）別の集計対象協議会（+10 協議会）

品目（樹種）別集計の対象としては、前記①、②で集計対象となった産地協議会(229 協議会)に加えて、下記③の要件（各産地協議会において栽培面積が 30%以上を占める品目（樹種）がある 10 協議会については、複数品目に分類・集計）を加えて、最終的には合計 239 協議会を分析の対象とした。

③　品目（樹種）別の分類集計においては、前記①、②で集計対象となった産地協議会のうち、各産地協議会において栽培面積が 30%以上を占める品目（樹種）については、それぞれ該当品目（樹種）に分類することとし、集計を行った。このため同一産地であっても複数の品目に分類される場合もある。

≪1. 主要 3 品目（樹種）別の果樹産地生産力構造指標分析≫

主要品目別・主要産地別に集計した果樹産地生産力構造指標をみると、かんきつ主体産地、りんご主体産地、りんご以外の落葉果樹産地の特徴は以下の通りとなっている。

1. かんきつ主体産地では、産地の規模（参加農家数、果樹園面積）は他の品目（樹種）産地に比べて比較的小さいものの、果樹園規模では大規模階層の割合が比較的大きい。また、樹園地の耕作放棄面積割合は多い。

2. りんご主体産地では、産地の規模（参加農家数、果樹園面積）は他の品目（樹種）産地に比べて比較的大きい、果樹園規模では他の産地並みとなっている。また、樹園地の耕作放棄面積割合は比較的少ない。

3. りんご以外の落葉果樹産地では、産地の規模（参加農家数、果樹園面積）は他の品目（樹種）産地に比べて比較的大きい、果樹園規模では他の産地に比べて比較的小さい。また、樹園地の耕作放棄面積割合は比較的少ない。

表 2-2　主要 3 品目（樹種）別の産地協議会の構造指標（2010 年農林業センサス）

表 2-3　主要 3 品目（樹種）別の産地協議会の構造指標（2010 年農林業センサス）

区分		果樹栽培農家（販売目的で果樹を栽培した農家）							（参考）販売農家全体			
		販売農家に占める果樹栽培農家の割合（%）	販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	果樹類栽培面積（ha）	果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率（%）	果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率（%）	一戸あたり果樹栽培面積（果樹栽培農家）（a）	樹園地の耕作放棄面積割合（%）	販売農家数（戸）	1戸あたり農業就業人口（人）	農業就業人口の65歳未満割合（%）	農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
主要産地合計＝100	かんきつ主体	91.9	84	98	150.7	147.2	116.5	137.4	91	103.2	104.5	122.0
	りんご主体	106.2	116	109	93.1	100.3	93.9	68.1	109	97.8	100.5	66.1
	落葉果樹主体	104.2	109	99	66.0	65.6	90.5	72.9	105	98.2	95.9	95.3
	主要産地合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実数	かんきつ主体	32.3	928	736	10.4	3.5	79.4	12.4	2,872	1.8	41.1	8.5
	りんご主体	37.3	1,281	819	6.4	2.4	63.9	6.1	3,433	1.7	39.5	4.6
	落葉果樹主体	36.6	1,205	743	4.5	1.6	61.6	6.6	3,290	1.7	37.7	6.7
	主要産地合計	35.1	1,105	752	6.9	2.4	68.1	9.0	3,144	1.7	39.3	7.0

≪2.　品目別・主要産地別の産地協議会の構造指標≫

次に、産地の規模、経営規模、労働力、さらに販売の状況について、主要品目別産地の特徴は以下の通りとなっている。

1. 果樹産地の規模を表す「販売目的で果樹を栽培した農家数」では、もも主体の産地（以下、品目名のみ記載）、かき、ぶどう、おうとうなどの産地が多く、一方、くり、うめ、かんきつなどの産地が比較的少ない。同様に「果樹類栽培面積」では、もも、かきなどの産地が大きく、くり、日本なし、うめなどの産地が比較的小さい。

2. 次に果樹産地の経営規模をみると、「1 戸当たり果樹栽培面積」では、かんきつ、うめなどの産地は大きく、くり、ぶどう、ももなどの産地が比較的少ない。これを「果樹類栽培面積 2.0ha 以上の農家率」では、うめ、かんきつなどの産地が高く、一方、ぶどう、もも、くりなど低い。さらに「果樹類栽培面積 3.0ha 以上の農家率」に限ってみると、かんきつ、うめなどの産地は比較的高いが、「果樹類栽培面積 2.0ha 以上の農家率」に比べると差は少なくなっているのが特徴である。

3. 労働力の状態をみると、販売農家全体であるが「1 戸当たり農業就業人口」では、他の産地に比べて、かんきつ、おうとう、かきなどの産地がやや多い。農業就業人口の高齢化をみると「農業就業人口の 65 歳未満割合」では、かんきつ、りんご、かきなどの産地が他の産地に比べやや高く、若い方が多い。

4. 販売の状況をみると、「農産物販売金額 1000 万円以上の農家率」では、かんきつ、かき、おうとう、りんごなどが比較的高い。

表 2-3　品目別・主要産地別の産地協議会の構造指標（１協議会当たり平均）

協議会名	集計協議会数	果樹栽培農家（販売目的で果樹を栽培した農家）							（参考）販売農家全体			
		販売農家に占める果樹栽培農家の割合(%)	販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	果樹類栽培面積（ha）	果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率（%）	果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率（%）	一戸あたり果樹栽培面積（果樹栽培農家）（a）	樹園地の耕作放棄面積割合（%）	販売農家数（戸）	1戸あたり農業就業人口（人）	農業就業人口の65歳未満割合（%）	農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
かんきつ主体	**97**	**32.3**	**928**	**736**	**10.4**	**3.5**	**79.4**	**12.4**	**2,872**	**1.8**	**41.1**	**8.5**
2ha以上農家率10%未満産地	61	27.6	725	435	4.8	1.3	60.0	15.8	2,625	1.7	40.6	8.0
2ha以上農家率10%以上産地	36	38.6	1,270	1,246	15.8	5.7	98.1	10.2	3,292	1.8	41.6	9.3
りんご主体	**39**	**37.3**	**1,281**	**819**	**6.4**	**2.4**	**63.9**	**6.1**	**3,433**	**1.7**	**39.5**	**4.6**
青森	12	59.5	1,269	1,385	14.8	4.4	109.1	6.0	2,133	2.0	50.6	4.3
青森以外の道県	27	32.1	1,287	568	2.7	1.5	44.1	6.3	4,010	1.6	36.3	4.7
りんご以外の落葉果樹主体	**103**	**36.6**	**1,205**	**743**	**4.5**	**1.6**	**61.6**	**6.6**	**3,290**	**1.7**	**37.7**	**6.7**
ぶどう主体	23	36.2	1,339	748	2.4	1.0	55.9	7.4	3,702	1.6	34.6	5.1
もも主体	10	56.6	2,092	1,299	2.7	0.6	62.1	6.7	3,697	1.6	35.5	3.7
おうとう主体	8	67.6	1,327	898	6.4	2.4	67.7	6.4	1,964	1.8	38.6	6.9
かき主体	20	38.3	1,432	934	6.0	2.2	65.2	6.2	3,737	1.8	39.3	8.1
うめ主体	6	40.4	818	633	11.0	3.4	77.4	3.4	2,026	1.6	38.1	6.3
日本なし主体	16	30.4	1,015	648	5.4	1.8	63.9	6.1	3,342	1.7	37.1	6.7
くり主体	10	20.3	756	366	3.3	0.9	48.4	6.4	3,719	1.7	41.5	9.1
その他落葉果樹主体	10	18.8	441	261	5.7	2.3	59.3	10.2	2,346	1.7	40.6	8.6
主要産地合計	**239**	**35.1**	**1,105**	**752**	**6.9**	**2.4**	**68.1**	**9.0**	**3,144**	**1.7**	**39.3**	**7.0**

≪2-1.　かんきつ主体産地の分析≫

かんきつ主体産地を、「2ha 以上農家率 10%未満産地（すなわち、「経営規模が比較的規模が小さい産地」）」と「2ha 以上農家率 10%以上産地（すなわち、「経営規模が比較的規模が大きい産地」）」とに分けてみると、比較的規模の小さな産地は、販売農家に占める果樹栽培農家の割合は低く、一方、樹園地の耕作放棄地割合は比較的高いのが特徴である。

表 2-4　かんきつ主体産地の分析（経営規模が比較的小規模な産地と大規模な産地との比較）

区分	集計協議会数	果樹栽培農家（販売目的で果樹を栽培した農家）							（参考）販売農家全体			
		販売農家に占める果樹栽培農家の割合(%)	販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	果樹類栽培面積（ha）	果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率（%）	果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率（%）	一戸あたり果樹栽培面積（果樹栽培農家）（a）	樹園地の耕作放棄面積割合（%）	販売農家数（戸）	1戸あたり農業就業人口（人）	農業就業人口の65歳未満割合（%）	農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
かんきつ主体	97	32.3	928	736	10.4	3.5	79.4	12.4	2,872	1.8	41.1	8.5
2ha以上農家率10%未満産地	61	27.6	725	435	4.8	1.3	60.0	15.8	2,625	1.7	40.6	8.0
2ha以上農家率10%以上産地	36	38.6	1,270	1,246	15.8	5.7	98.1	10.2	3,292	1.8	41.6	9.3

≪2-2.　りんご主体産地の分析≫

りんご主体産地を、「青森」と「青森以外の道県」とに分けてみると、「青森」は「青森以外の道県」に比べて、果樹類の栽培面積 2.0ha 以上の農家率などが高く、1 戸当たり果樹面積も大きい。また、農業就業人口も比較的若いのが特徴である。

表 2-5　りんご主体産地（「青森」と「青森以外の道県」）

協議会名	集計協議会数	果樹栽培農家（販売目的で果樹を栽培した農家）							（参考）販売農家全体			
		販売農家に占める果樹栽培農家の割合(%)	販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	果樹類栽培面積（ha）	果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率（%）	果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率（%）	一戸あたり果樹栽培面積（果樹栽培農家）（a）	樹園地の耕作放棄面積割合（%）	販売農家数（戸）	1戸あたり農業就業人口（人）	農業就業人口の65歳未満割合（%）	農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
りんご主体	**39**	**37.3**	**1,281**	**819**	**6.4**	**2.4**	**63.9**	**6.1**	**3,433**	**1.7**	**39.5**	**4.6**
青森	12	59.5	1,269	1,385	14.8	4.4	109.1	6.0	2,133	2.0	50.6	4.3
青森以外の道県	27	32.1	1,287	568	2.7	1.5	44.1	6.3	4,010	1.6	36.3	4.7

≪2-3.　りんご以外の落葉果樹主体産地の分析≫

りんご以外の落葉果樹主体産地を、品目（樹種）別にみると、おうとう、もも主体の産地は、他の品目に比べて果樹農家の割合が高い。果樹類の栽培面積規模が比較的大きいのはうめ、おうとう、かきなどとなっており、これらは比較的農業就業人口は若いのが特徴である。

表 2-6　りんご以外の落葉果樹主体産地

協議会名	集計協議会数	果樹栽培農家（販売目的で果樹を栽培した農家）							（参考）販売農家全体			
		販売農家に占める果樹栽培農家の割合(%)	販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	果樹類栽培面積（ha）	果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率（%）	果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率（%）	一戸あたり果樹栽培面積（果樹栽培農家）（a）	樹園地の耕作放棄面積割合（%）	販売農家数（戸）	1戸あたり農業就業人口（人）	農業就業人口の65歳未満割合（%）	農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
りんご以外の落葉果樹主体	**103**	**36.6**	**1,205**	**743**	**4.5**	**1.6**	**61.6**	**6.6**	**3,290**	**1.7**	**37.7**	**6.7**
ぶどう主体	23	36.2	1,339	748	2.4	1.0	55.9	7.4	3,702	1.6	34.6	5.1
もも主体	10	56.6	2,092	1,299	2.7	0.6	62.1	6.7	3,697	1.6	35.5	3.7
おうとう主体	8	67.6	1,327	898	6.4	2.4	67.7	6.4	1,964	1.8	38.6	6.9
かき主体	20	38.3	1,432	934	6.0	2.2	65.2	6.2	3,737	1.8	39.3	8.1
うめ主体	6	40.4	818	633	11.0	3.4	77.4	3.4	2,026	1.6	38.1	6.3
日本なし主体	16	30.4	1,015	648	5.4	1.8	63.9	6.1	3,342	1.7	37.1	6.7
くり主体	10	20.3	756	366	3.3	0.9	48.4	6.4	3,719	1.7	41.5	9.1

図 2-3　りんご以外の落葉果樹主体産地

(2) 果樹栽培面積を用いた果樹産地分析

センサス以外の関連データを用いての果樹産地分析を行う観点から、果樹生産出荷統計の「果樹栽培面積」を用い、主要果樹 8 品目（注 1）について、主要産地別（道県別）（注 2）に、平成 16、21、26 年結果から、10 年間(平. 26/16 年)の増減率、前期(平. 21/16 年)増減率、後期(平 26/21 年)増減率を算出し、これらを主要産地別に比較するなど、果樹産地の動向を主要品目の栽培面積の変動により分析した。

注 1：主要果樹 8 品目とは、栽培面積及び産出額が多い以下の品目とした。

1. かんきつ、2. りんご、3. ぶどう、4. かき、5. もも、6. 日本なし、7. おうとう、8. うめ

注 2：主要産地（道県）は、当該品目栽培面積の集中度等を勘案し各品目 5～10 道県とした。

1) 主要品目別果樹栽培面積の動向

主要品目別に果樹栽培面積の増減率をみると、この 10 年間で果樹栽培面積が増加したのはおうとうのみで、他の品目は全て減少している。

この 10 年間の増減率を、前期(21/16 年)と後期(26/21 年)に分けてみると、みかん、りんご以外は後期の方が減少率が高くなっている。

表 2-7　主要品目別にみた果樹栽培面積の増減率

品目	5年間増減率		10年間の増減率
	21/16年	26/21年	26/16年
みかん	△ 10.4	△ 9.0	△ 18.5
りんご	△ 5.9	△ 5.4	△ 11.0
ぶどう	△ 4.9	△ 5.7	△ 10.3
かき	△ 6.0	△ 7.2	△ 12.7
もも	△ 2.7	△ 3.6	△ 6.2
日本なし	△ 9.3	△ 10.2	△ 18.5
おうとう	5.2	△ 1.4	3.6
うめ	△ 2.2	△ 11.0	△ 12.9

図 2-4　主要品目別栽培面積の増減率の比較

2)　みかん（主産県別）

みかんの主産県についてこの 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは福岡△37.0%、次いで広島△28.6%、佐賀△28.6%などとなっている。一方、和歌山は微減に留まっている。

表 2-8　みかん栽培面積の主要県別の動向

区分	１６年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全　　国	**55,700**	**49,900**	**45,400**	100.0	**△ 10.4**	**△ 9.0**	**△ 18.5**
神　奈　川	1,480	1,410	1,290	2.8	△ 4.7	△ 8.5	△ 12.8
静　　岡	6,500	6,150	5,890	13.0	△ 5.4	△ 4.2	△ 9.4
愛　　知	1,720	1,600	1,450	3.2	△ 7.0	△ 9.4	△ 15.7
三　　重	1,500	1,340	1,270	2.8	△ 10.7	△ 5.2	△ 15.3
和　歌　山	7,920	8,000	7,880	17.4	1.0	△ 1.5	△ 0.5
広　　島	3,010	2,630	2,150	4.7	△ 12.6	△ 18.3	△ 28.6
香　　川	1,510	1,310	1,220	2.7	△ 13.2	△ 6.9	△ 19.2
愛　　媛	8,470	7,180	6,430	14.2	△ 15.2	△ 10.4	△ 24.1
福　　岡	2,300	1,950	1,450	3.2	△ 15.2	△ 25.6	△ 37.0
佐　　賀	3,710	2,970	2,650	5.8	△ 19.9	△ 10.8	△ 28.6
長　　崎	4,000	3,620	3,230	7.1	△ 9.5	△ 10.8	△ 19.3
熊　　本	5,190	4,800	4,360	9.6	△ 7.5	△ 9.2	△ 16.0
主産県計	**47,310**	**42,960**	**39,270**	**86.5**	**△ 9.2**	**△ 8.6**	**△ 17.0**

図 2-5　みかん栽培面積（平成 26 年）

図　2-6 みかん栽培面積の増減率の比較

3)　りんご（主産県別）

りんごの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは北海道△28.4%、次いで秋田△27.1%などとなっている。一方、主力産地である青森は△7.5%、長野は△8.6%などと比較的低い減少率となっている。

表 2-9　りんご栽培面積の主要県別の動向

区分	１6年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全国	**43,700**	**41,100**	**38,900**	**100.0**	**△ 5.9**	**△ 5.4**	**△ 11.0**
北海道	863	682	618	1.6	△ 21.0	△ 9.4	△ 28.4
青森	22,700	22,000	21,000	54.0	△ 3.1	△ 4.5	△ 7.5
岩手	3,010	2,770	2,540	6.5	△ 8.0	△ 8.3	△ 15.6
秋田	1,990	1,690	1,450	3.7	△ 15.1	△ 14.2	△ 27.1
山形	2,720	2,500	2,370	6.1	△ 8.1	△ 5.2	△ 12.9
福島	1,630	1,460	1,360	3.5	△ 10.4	△ 6.8	△ 16.6
長野	8,640	8,220	7,900	20.3	△ 4.9	△ 3.9	△ 8.6
主産県計	**41,553**	**39,322**	**37,238**	95.7	**△ 5.4**	**△ 5.3**	**△ 10.4**

図 2-7　りんご栽培面積（平成 26 年）

図 2-8　りんご栽培面積の増減率の比較

4)　ぶどう（主産県別）

ぶどうの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは福岡△19.3%、次いで北海道△16.3%などとなっている。一方、ブランドものの産地の岡山はわずか増加、長野△4.0%、山梨△5.3%など低い減少率となっている。

表 2-10　ぶどう栽培面積の主要県別の動向

区分	１６年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全国	**20,400**	**19,400**	**18,300**	**100.0**	**△ 4.9**	**△ 5.7**	**△ 10.3**
北海道	1,350	1,180	1,130	6.2	△ 12.6	△ 4.2	△ 16.3
山形	1,880	1,760	1,670	9.1	△ 6.4	△ 5.1	△ 11.2
山梨	4,380	4,290	4,150	22.7	△ 2.1	△ 3.3	△ 5.3
長野	2,500	2,450	2,400	13.1	△ 2.0	△ 2.0	△ 4.0
愛知	546	525	494	2.7	△ 3.8	△ 5.9	△ 9.5
大阪	495	476	432	2.4	△ 3.8	△ 9.2	△ 12.7
岡山	1,200	1,230	1,210	6.6	2.5	△ 1.6	0.8
福岡	1,060	981	855	4.7	△ 7.5	△ 12.8	△ 19.3
主産県計	**13,411**	**12,892**	**12,341**	**67.4**	**△ 3.9**	**△ 4.3**	**△ 8.0**

図 2-9　ぶどう栽培面積（平成 26 年）

図 2-10　ぶどう栽培面積の増減率の比較

5)　かき（主産県別）

かきの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは山形△22.3、福岡△17.7%、岐阜△16.8%などとなっている。一方、福島、愛知、和歌山は7～10%の減少、五條市を中心とする奈良はわずかな減少（△0.5%）となっている。

表 2-11　かき栽培面積の主要県別の動向

区分	１6年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全　　国	**25,100**	**23,600**	**21,900**	**100.0**	**△ 6.0**	**△ 7.2**	**△ 12.7**
山　　形	1,200	1,060	932	4.3	△ 11.7	△ 12.1	△ 22.3
福　　島	1,430	1,410	1,330	6.1	△ 1.4	△ 5.7	△ 7.0
岐　　阜	1,610	1,460	1,340	6.1	△ 9.3	△ 8.2	△ 16.8
愛　　知	1,390	1,380	1,250	5.7	△ 0.7	△ 9.4	△ 10.1
奈　　良	1,870	1,870	1,860	8.5	0.0	△ 0.5	△ 0.5
和　歌　山	2,960	2,850	2,730	12.5	△ 3.7	△ 4.2	△ 7.8
福　　岡	2,200	2,070	1,810	8.3	△ 5.9	△ 12.6	△ 17.7
主産県計	**12,660**	**12,100**	**11,252**	**51.4**	**△ 4.4**	**△ 7.0**	**△ 11.1**

図 2-11　かき栽培面積（平成 26 年）

図 2-12　かき栽培面積の増減率の比較

5)　もも（主産県別）

ももの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは長野△13.7%、次いで岡山△7.7%などとなっている。一方、山形+5.9%、福島 1.1%は増加となっている。

表 2-12　もも栽培面積の主要県別の動向

区分	１6年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全国	**11,300**	**11,000**	**10,600**	**100.0**	**△ 2.7**	**△ 3.6**	**△ 6.2**
山形	631	646	668	6.3	2.4	3.4	5.9
福島	1,750	1,790	1,770	16.7	2.3	△ 1.1	1.1
山梨	3,500	3,540	3,480	32.8	1.1	△ 1.7	△ 0.6
長野	1,310	1,220	1,130	10.7	△ 6.9	△ 7.4	△ 13.7
和歌山	796	781	770	7.3	△ 1.9	△ 1.4	△ 3.3
岡山	728	709	672	6.3	△ 2.6	△ 5.2	△ 7.7
主産県計	**8,715**	**8,686**	**8,490**	**80.1**	**△ 2.6**	**△ 5.2**	**△ 7.7**

図 2-13　もも栽培面積（平成 26 年）

図 2-14　もも栽培面積の増減率の比較

5)　日本なし（主産県別）

日本なしの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは鳥取△33.3%、次いで佐賀△27.7%、茨城△24.1%などとなっている。比較的減少率が低かったのは千葉で△5.7%に留まっている。

表 2-13　日本なし栽培面積の主要県別の動向

区分	１6年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全　　国	**16,200**	**14,700**	**13,200**	**100.0**	**△ 9.3**	**△ 10.2**	**△ 18.5**
福　　島	1,240	1,160	956	7.2	△ 6.5	△ 17.6	△ 22.9
茨　　城	1,580	1,400	1,200	9.1	△ 11.4	△ 14.3	△ 24.1
栃　　木	931	889	827	6.3	△ 4.5	△ 7.0	△ 11.2
千　　葉	1,750	1,720	1,650	12.5	△ 1.7	△ 4.1	△ 5.7
長　　野	1,020	915	803	6.1	△ 10.3	△ 12.2	△ 21.3
鳥　　取	1,470	1,180	980	7.4	△ 19.7	△ 16.9	△ 33.3
福　　岡	559	503	457	3.5	△ 10.0	△ 9.1	△ 18.2
佐　　賀	415	330	300	2.3	△ 20.5	△ 9.1	△ 27.7
熊　　本	641	607	551	4.2	△ 5.3	△ 9.2	△ 14.0
大　　分	445	407	386	2.9	△ 8.5	△ 5.2	△ 13.3

図 2-15　日本なし栽培面積（平成 26 年）

図 2-16　日本なし栽培面積の増減率の比較

5)　おうとう（主産県別）

おうとうの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは青森△22.0%、次いで北海道△9.2%などとなっている。一方、ブランドものの産地の山形は+10.2%、長野+6.6%など増加となっているのが特徴である。

表 2-14　おうとう栽培面積の主要県別の動向

区分	１６年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全国	**4,660**	**4,900**	**4,830**	**100.0**	**5.2**	**△ 1.4**	**3.6**
北海道	631	587	573	11.9	△ 7.0	△ 2.4	△ 9.2
青森	391	342	305	6.3	△ 12.5	△ 10.8	△ 22.0
山形	2,850	3,180	3,140	65.0	11.6	△ 1.3	10.2
山梨	361	364	357	7.4	0.8	△ 1.9	△ 1.1
長野	106	109	113	2.3	2.8	3.7	6.6
主産県計	**4,339**	**4,582**	**4,488**	**92.9**	**5.6**	**△ 2.1**	**3.4**

図 2-17　おうとう栽培面積（平成 26 年）

図 2-18　おうとう栽培面積の増減率の比較

5)　うめ（主産県別）

うめの主産県について、この 10 年間で栽培面積減少率をみると、最も減少しているのは長野△32.8%、次いで群馬△24.6%、山梨△22.0%、福島△20.2%などとなっている。一方、ブランドものの産地の和歌山は+3.8%と増加となっている。

表 2-14　うめ栽培面積の主要県別の動向

区分	１６年	２１年	26年	割合(26年)	21/16	26/21	26/16
全　　国	**18,600**	**18,200**	**16,200**	**100.0**	**△ 2.2**	**△ 11.0**	**△ 12.9**
福　　島	564	539	450	2.8	△ 4.4	△ 16.5	△ 20.2
茨　　城	578	565	511	3.2	△ 2.2	△ 9.6	△ 11.6
群　　馬	1,380	1,140	1,040	6.4	△ 17.4	△ 8.8	△ 24.6
福　　井	521	510	497	3.1	△ 2.1	△ 2.5	△ 4.6
山　　梨	559	480	436	2.7	△ 14.1	△ 9.2	△ 22.0
長　　野	748	632	503	3.1	△ 15.5	△ 20.4	△ 32.8
和　歌　山	4,950	5,620	5,140	31.7	13.5	△ 8.5	3.8
主産県計	**9,300**	**9,486**	**8,577**	**52.9**	**2.0**	**△ 9.6**	**△ 7.8**

図 2-19　うめ栽培面積（平成 26 年）

図 2-20　うめ栽培面積の増減率の比較

(3)　農業産出額（果実）を用いた果樹産地分析

果実産出額の動向について、全国は、平成に入ってからの 26 年間の長期的な動向を、また、主要産地別（県別）（注 1）には、平成 21～26 年（注 2）の最近の動向を、6 年間の平均値、標準偏差、変動係数、さらに前期平均値(平. 21～23)、後期平均値(平 24～26)を算出し、これらを比較するなど果樹産地の動向を果実産出額の変動により分析した。

注 1：主要産地（道県）は、平成 26 年果実産出額上位 10 県（2010 年ｾﾝｻｽの果樹面積シェア 62%）とした。

注 2：分析対象を 6 年間としたのは、産出額は価格水準や収量変動等が反映されることから変動が大きく、最近年次の 6 年間とした。

(1) 全国の動向

平成 26 年の果実の産出額は、7,628 億円で、前年に比べて 0.5%増加した。これは、りんごやももの生産量が増加したことや、ぶどうの価格が上昇したことなどによる。

農業総産出額に占める果実の産出額の割合は 9.1%となっている。

(2) 全国の 26 年間の動向(時系列分析)

果実の産出額について平成に入ってからの 26 年間の動向をみると、平成 12 年頃までは年による変動が大きかったが、13, 14 年頃以降は若干の変動はあるもののほぼ横ばい水準となっている。

図 3-1　農業総産出額（果実）の 25 年間の動向

(3) 主要県の農業産出額（果実：平成 26 年）

平成 26 年の主要県別の果実産出額は、青森が最も多く 833 億円（全国の果実産出額に占める割合 10.9%）、次いで山形 642 億円（同 8.4%）、和歌山 581 億円（同 7.6%）、長野 544 億円（同 7.1%）、山梨 504 億円（同 6.6%）などとなっている。

果実への依存状況を「当該県の果実産出額の特化係数」（注）でみると、最も大きいのは山梨(6.99)、和歌山(6.74)の両県で他県に比べ抜きんでて大きく、どちらも当該県の農業産出額に占める果実産出額の割合が山梨で 63.2%、和歌山で 61.0%と過半を占めている。この両県に次いで愛媛(4.21)、山形(3.33)、青森(3.20)、長野(2.59)の順となっている。

注：「当該県の果実産出額の特化係数」とは、「当該県の農業産出額に占める果実産出額の割合」を「全国の農業産出額に占める果実産出額の割合」で除した数値をいう。特化係数が大きいほど当該県は全国に比べて度果実産出額への依存度が大きいことを示す。

表 3-1　主要県の農業産出額（果実：平成 26 年）

順位	都道府県	果実の農業産出額	農業産出額に占める果実産出額の割合	全国の果実産出額に占める当該県の割合	当該県の果実産出額の特化係数
		億円	%	%	
1	青　森	833	28.9	10.9	3.20
2	山　形	642	30.2	8.4	3.33
3	和歌山	581	61.0	7.6	6.74
4	長　野	544	23.4	7.1	2.59
5	山　梨	504	63.2	6.6	6.99
6	愛　媛	452	38.1	5.9	4.21
7	熊　本	311	9.5	4.1	1.05
8	静　岡	283	13.1	3.7	1.45
9	福　岡	266	12.3	3.5	1.35
10	福　島	248	13.5	3.3	1.49

図 3-2　主要県の農業産出額（果実：平成 26 年）

次に、農業産出額（果実）の最近 6 年間の動向を果樹主要県（平成 26 年果実農業産出額上位 10 県）についてみると、平成 26 年果実農業産出額の最も多い青森は、平成 21 年以降 24 年にやや落ち込んだものの平成 26 年は 833 億円と年々増加傾向にある。次いで多い山形は、年による変動は比較的大きいものの、右肩上がりに増加している。

6 年間の農業産出額の変動を「変動係数」でみると、年々の変動が比較的少ないのは、山梨（変動係数 2.4%）、次いで、愛媛（同 4.0%）、熊本（同 4.3%）となっている。

表 3-2　主要果樹県における農業産出額の推移

区分	実　額						6 年間			前期・後期比較		
	平成21年	22	23	24	25	26	平均	標準偏差	変動係数	前期平均（21～23年）	後期平均（24～26年）	対比
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
青　森	652	746	751	692	772	833	741	58	7.8	716	766	107
山　形	453	490	524	572	599	642	547	65	11.8	489	604	124
福　島	272	292	197	212	245	248	244	32	13.3	254	235	93
山　梨	471	499	491	498	507	504	495	12	2.4	487	503	103
長　野	449	485	482	560	515	544	506	38	7.5	472	540	114
静　岡	236	294	296	267	286	283	277	21	7.4	275	279	101
和歌山	520	613	604	607	598	581	587	32	5.4	579	595	103
愛　媛	451	484	496	475	498	452	476	19	4.0	477	475	100
福　岡	222	227	225	248	258	266	241	17	7.1	225	257	115
熊　本	294	323	321	333	334	311	319	14	4.3	313	326	104

図 3-3　主要果樹県における農業産出額の推移

図 3-4　主要果樹県における農業産出額の変動係数推移（平. 21～26 年）

年による変動を少なくして比較するため、主要県について、前期（21～23 年）と後期（24～26 年）で比べてみると、最も増加したのは山形で 24%増加、次いで福岡 15%、長野 4%などとなっており、福島を除きやや増加ないし横ばい傾向となっている。なお、福島については 26 年においてはまだ 21、22 年の水準を回復していないが、24 年以降、徐々に回復している。

図 3-5　農業産出額の前期（21～23 年）を 100 とした後期（24～26 年）の水準

3　大規模果樹経営実態調査

(1) 大規模果樹経営実態調査結果

1) 品目別の経営概況（平均値）

大規模果樹経営実態調査結果を品目別に集計してみると、

経営主の年齢では、かき経営が 50.9 歳で最も若く、ぶどう経営、もも経営、うめ経営においては 54 歳程度となっている。

農業従事者数をみると、家族農業従事者数では、もも経営が 3.3 人と最も多く、次いでうめ経営の 3.18 人、ぶどう経営 2.85 人、かき経営が 2.67 人と最も少ない。

法人や大規模経営で重要になっている常雇についてみると、ぶどう経営が 1.08 人と最も多く、次いでかき経営、もも経営の順で、うめ経営においては 0.09 人とわずかしかいない。

年間の果樹作業従事日数では、もも経営が 1,297 人日、次いでぶどう経営が 1,233 日、かき経営が 1,192 日となり、うめ経営が 973 人日で最も少ない。

果樹園面積では、かき経営が最も大きく 614a、次いでうめ経営の 446a、ぶどう経営の 398a となり、もも経営が 311a と最も小さい。

このように果樹の中でも特に労働集約的なもも経営は作業日数は多く、一方、果樹園面積規模は最も小さくなっている。

表 3-1　大規模果樹経営における品目別の経営概況

区分	集計戸数	経営主年齢	農業従事者数		年間果樹作業従事日数				果樹園面積		
			家族	常雇	計	家族	常雇	臨時	計	当該樹種	うち、成園
	戸	歳	人	人	日	日	日	日	a	a	a
ぶどう経営	13	54.3	2.85	1.08	1,233	727	249	257	398	293	268
かき経営	12	50.9	2.67	0.83	1,192	613	203	376	614	525	458
もも経営	10	54.3	3.3	0.60	1,297	755	162	380	311	192	133
うめ経営	11	54.5	3.18	0.09	973	801	0	172	446	438	329
総平均	**46**	**53.5**	**2.98**	**0.67**	**1,174**	**721**	**158**	**295**	**447**	**366**	**303**

次に、農業経営収支をみると、農業粗収益、いわゆる売上高では、ぶどう経営が 3,264 万円と最も高い。しかしながら農業経営費も 2,471 万円と最も多くかかっている。

この結果、農業所得ではぶどう経営が 793 万円と最も高い。農業所得率でみると、かき経営が 29.9%と最も高く、他の品目の経営では 24～25%に留まっている。

園地の購入や借入では、かき経営が活発で多く、ぶどう経営、もも経営、うめ経営、ぶどう経営ではやや低調である。

なお、園地の集積方法を「購入」と「借入」とに分けてみると、最近 10 年以内と 10 年以前とに分けてみると、かき経営、ぶどう経営などは 10 年以前では比較的園地購入が多く、最近 10 年以内では比較的借入園地が多いのが特徴である。

表 3-2　大規模果樹経営における品目別の経営収支など（平均値）

区分	集計戸数	経営主年齢	農業従事者数		農業経営収支			農業所得率	購入園地		借入園地	
			家族	常雇	農業粗収益	農業経営費	農業所得		最近10年以内	10年以前	最近10年以内	10年以前
	戸	歳	人	人	万円	万円	万円	%	a	a	a	a
ぶどう経営	13	54.3	2.85	1.08	3,264	2,471	793	24.3	27	61	66	4
かき経営	12	50.9	2.67	0.83	2,582	1,810	773	29.9	18	106	101	97
もも経営	10	54.3	3.3	0.60	2,301	1,715	586	25.5	6	8	63	26
うめ経営	11	54.5	3.18	0.09	1,606	1,216	386	24.0	40	56	15	23
総平均	**46**	**53.5**	**2.98**	**0.67**	**2,480**	**1,834**	**645**	**26.0**	**23**	**60**	**62**	**37**

図 3-1　大規模果樹経営における主要品目別の経営収支（平均値）（万円）

2）経営分析

（農業粗収益と農業所得の相関図による分析）

≪その１：全調査経営 46 経営≫

前述の平均値での経営分析を踏まえ、次に、個々の経営（4 品目 46 経営）について、売上高（農業粗収益）のうちどれくらい農業所得を確保できたのかを、農業粗収益と農業所得との相関関係でみると、農業所得率 50%のライン以上は 46 経営中 7 経営となっている。多くの経営は農業所得率が 25%ライン前後に分布している。

なお、農業粗収益が同額程度であっても、確保できた農業所得には個々の経営によってかなりの違いがあることが分かる。

図 3-2　農業粗収益と農業所得の相関図（全調査経営：46 経営）（万円）

≪その 2：ぶどう経営≫

ぶどう経営（13 経営）について、農業粗収益と農業所得との相関関係をみると、農業所得率 50%のライン以上には 13 経営中 2 経営となっている。多くの経営は 25%前後のライン周辺となっており、経営体がかなりばらついているのが特徴である。

図 3-3　農業粗収益と農業所得の相関図（ぶどう経営：13 経営）（万円）

≪その 3：かき経営≫

かき経営（11 経営）について、農業粗収益と農業所得との相関関係をみると、農業所得率 50%ライン以上は、11 経営中 1 経営となっている。

なお、25%未満は 4 経営で、半数以上の 6 経営は 25～50%のライン内となっており。ぶどう経営やうめ経営に比べてかき経営は比較的所得率が高いのが特徴である。

図 3-4　農業粗収益と農業所得の相関図（かき経営 11 経営）(万円)

≪その 4：もも経営≫

もも経営（10 経営）について、農業粗収益と農業所得との相関関係をみると、農業所得率 50%のライン以上は、10 経営中 3 経営となっている。残りの 7 経営についても 4 経営が 25%ラインを超えており、2 経営も 25%に近い所得率を実現するなど、もも経営は 1 経営を除き、総じて所得率は高いのが特徴である。

図 3-5　農業粗収益と農業所得の相関図（もも経営 10 経営）(万円)

≪その 5：うめ経営≫

うめ経営（11 経営）について、農業粗収益と農業所得との相関関係をみると、農業所得率 50%のライン 11 経営中 1 経営となっている。多くの経営は 25%ラインを下回っているなどうめ経営は多くの経営で低い所得率となっているのが特徴である。

図 3-6　農業粗収益と農業所得の相関図（うめ経営 11 経営）(万円)

（2）現地面接調査結果

樹種（品目）	県市町名	経営体	面接調査員・日程・経営の特徴など	経営概要
ぶどう	山梨県甲州市	A	・調査員：徳田博美三重大学教授 ：調査事務局(一財)農林統計協会　武石昭二三 ・日　時：平成27年10月16日	○ 経営主年齢　55歳 ・ 果樹園　5.0ha ・　ぶどう　5.0ha
	山梨県甲州市	B	・調査員：徳田博美三重大学教授 ：調査事務局(一財)農林統計協会　武石昭二三 ・日　時：平成27年10月16日	○ 共同経営　51歳,50歳 ・ 果樹園　7.1ha ・　ぶどう　7.1ha
かき	福岡県朝倉市	C	・調査員：徳田博美三重大学教授 ：調査事務局(一財)農林統計協会　武石昭二三 ・日　時：平成27年9月3日	○ 経営主年齢　67歳 ・ 果樹園　4.85ha ・　かき　4.50ha
	福岡県朝倉市	D	・調査員：徳田博美三重大学教授 ：調査事務局(一財)農林統計協会　武石昭二三 ・日　時：平成27年9月3日	○ 経営主年齢　66歳 ・ 果樹園　11.0ha ・　かき　10.0ha
もも	福島県伊達市	E	・調査員：長谷川啓哉東北農研センター主任研究員 ：調査事務局(一財)農林統計協会　武石昭二三 ・日　時：平成27年10月1日	○ 経営主年齢　57歳 ・ 果樹園　3.5ha ・　もも　1.94ha
	福島県福島市	F	・調査員：長谷川啓哉東北農研センター主任研究員 ：調査事務局(一財)農林統計協会　武石昭二三 ・日　時：平成27年10月1日	○ 経営主年齢　37歳 ・ 果樹園　5.0ha ・　もも　2.25ha
うめ	和歌山県みなべ町	G	・調査員：宮井浩志四国大学准教授 ・日　時：平成27年9月20日	○ 経営主年齢　61歳 ・ 果樹園　5.5ha
	和歌山県みなべ町	H	・調査員：宮井浩志四国大学准教授 ・日　時：平成27年9月20日	○ 経営主年齢　64歳 ・ 果樹園　4.3ha

≪経営の概要≫

A経営：ぶどう(山梨県甲州)

・経営主年齢　55 歳（家族労働力 1 人）

・雇用　常時雇用 5 人（60 歳男、42 歳女、44 歳男、45 歳女、34 歳女（醸造責任者））

・沿革　2001 年親の後を継ぎ就農(40 歳)、それまでは保険代理店

2002 年から醸造用ぶどうに注目

2008 年　ワイナリーに醸造用ぶどう販売

2009 年　農業生産法人設立

2013 年　自社醸造施設建設、ワイン醸造開始

・果樹園面積　5ha（すべてぶどう）

2.5ha が借地、0.86ha はこの 10 年以内で購入

・栽培品種　醸造用（甲州 1ha、シャルドネ 0.8ha、ピノワール 0.4ha）、生食用（ピオーネ 0.6ha、シャインマスカット 0.2ha）

総評

就農後に醸造用ぶどう主体に転換。醸造用主体で規模拡大を進める。自ら醸造施設も建設し、醸造技術を有する者も雇用し、本格的なワイナリーを目指している。当初は同じ志を持つ者が集まった共同経営のようであったが、意見の対立から分裂し、氏の農園を母体とした経営となっている。個人のぶどう農家を出自としてワイン醸造まで行うワイナリー経営であり、あまり例のない経営である。大学研究者と共同研究も行っている。

B経営：ぶどう(山梨県甲州市)

・経営主　年齢　51 歳（妻（共同経営者）50 歳）、家族労働力 4 人（夫婦、父、長男（米国での農業研修から帰国したばかり）

・雇用：正社員（日給月給制）4 人（男 3 人、56 歳、45 歳、33 歳、女 1 人、23 歳）

パート 3 人(女性)

研修生、インターンシップも随時受入れ

・機械・施設：ＳＳ2 台、トラクター1 台、貯蔵庫、直売所、加工施設（第 6 次産業化事業認定）

・果樹園面積　6ha（それ以外に妻の実家の 1.1ha を管理）

元々の面積は 1.8ha、4.2ha は借地、2ha 購入予定（買わざるを得ない）。栽培を依頼されることはあるが、現在は断っている。

・品種：50 品種以上（主な品種・巨峰、ピオーネ、甲州、デラウエア、藤稔）黒系で半分を占めている。ハウスが 0.18ha

・戦前からの地区の共同のワイン醸造会社である菱山中央醸造をぶどうばたけが実質管理、販売しているワインも実質、自ら醸造

・販売先は、農協が 15～20%、集荷業者が 5%、加工・その他が 10%で、それ以外は直販。

直売所を経営しており、そこで販売。直売所は冬場でも土日は営業

・直売所のみでなく、多様な事業を行っている。慣行ぶどう狩り、農作業・加工体験、オーナー制、民宿

総評

直売を主体としてぶどう狩りなどのグリーンツーリズムを手掛ける企業的なぶどう経営。雇用も多い。直売、観光主体であるため、多数の品種を導入している。加工にも積極的（直売所を冬場も営業するため、加工品は不可欠であろう）。最近は、借入を依頼されることが増えているが、断っている。今後はある程度引き受けざるを得なくなってきそうであるが、その場合には手間のかからない醸造用ぶどうで対応することを考えている。

C経営：かき（福岡県朝倉市）

・経営主年齢　67 歳、家族労働力は夫婦 2 人。

・雇用は、常雇が 60 歳の男性 1 人（4 年目）で、臨時雇は延べ 480 人日で、高齢の男性が主体

・機械施設は、ＳＳ(1000l)1 台、高所作業車 1 台、冷蔵庫 50t

・果樹園面積　4.85ha（かき 4.5ha、いちじく 0.35ha）、かきの収穫量は 90 トン

後継者が就農していた時には、最大 6ha に達していた（5，6 年前）

・品種構成（富有 2.3ha（枝変わり含む）、太秋 1.1ha、早秋 0.75ha、貴秋 0.35ha

富有主体の構成から太秋などの最近育成された富有より収穫の早い品種の比率を高めている

・かきの仕立て方は開心自然形で樹高は 4 m程度で植栽密度は 20 本／10a、40a ほどは棚栽培

・果樹園面積 6ha の頃は、自作地 3ha、借地 3ha であった。借地の一部は変換している。

・販売はすべて個人販売で、直売所での販売が 2 割、宅配が 2.5 トン、それ以外は市場出荷。当初は農協共販であったが、40 年前から個人出荷となる。出荷市場は、福岡西部市場が主体で、冷蔵は大阪中央青果に出荷、北九州市場にも少量出荷。大阪中央青果は買付販売。

・販売面の大きな特徴は、年末から 1 月いっぱいにかけて、冷蔵庫で貯蔵した貯蔵かきを出荷していること。この地域では、取り組んでいる農家も多い。

・いちじくは、近年導入した。県の育成品種のトヨミツヒメを栽培。この品種は系統出荷でブランド化が図られており、系統出荷を行っている。前の農協の部会長でもあった。

総評

大規模かき農家であり、積極的に規模拡大し、地域で抜きんでた規模を実現していたが、後継者が就農できなくなったため、規模拡大は頓挫した。年齢的なこともあり、今後は規模縮小に向かうとみられる。独自の園地整備、仕立て方を取り入れ、独自の大規模経営に対応した生産方式を確立しているが、氏は基本的には地域の一般的な栽培方式を基本として規模拡大を図っている。

D経営：かき（福岡県朝倉市）

・経営主年齢　66 歳　家族労働力 2 人（本人、娘 34 歳（後継者）、妻は他産業従事）

・雇用　常時雇用　6 人（女性 3 人、70 歳、65 歳、32 歳（農の雇用）、男性 3 人　63 歳、60 歳、26 歳）

臨時雇用　シルバー、派遣会社利用（草刈は森林組合に依頼）

人件費は 1600 万円程度

・機械・施設　SS（600l）3 台（地区ごとに配置）、選果機 3 台、フォークリフト 2 台、高所作業車 10 台、乗用草刈機 3 台など、機械装備充

冷蔵庫 4 棟（63 トン）

・果樹園面積　かき 10ha（うち成園 9.7ha）すもも 1ha

・品種構成：富有 7.4ha、松本早生 1ha、伊豆 1ha、太秋 0.6ha、生産量 150 トン

・就農時（1968 年）の果樹園は 1ha。1970 年頃から規模拡大を始める。

1971 年　山林 1ha 購入、開墾

1976 年　すもも園 0.5ha 開墾

1999 年　離農園地 2ha 購入、基盤整備

2005 年頃　山林購入、所有山林と合わせて 50a 開墾

2000 年頃から借入始める

朝倉で 45a を借入、その後、周辺で借入、現在は 4ha に達している。

町内でも 1.5ha を借入れている。

現在は、かき園 10ha 中、自作地 4.5ha、借地 5.5ha、それ以外にすもも園は自作地

借地料は 5 千円／10a

・園地は町内と朝倉（20km）に分散している。分散していることで、収穫期が分散される（1 週間程度ずれる）、リスク分散でききるなどのメリットがある（朝倉で 4ha あるので、そこに機械を 1 セット常備している）

・栽培方式は、独自の方式を編み出している。園地の多くは傾斜地であるが、傾斜地に対応した植栽様式を取り入れている。テラス式で等高線に沿った作業道を作り、機械を駆使している。仕立て方は、徒長枝を結果母枝にする独自の方式で行っている。

・販売はほとんど個人での直販で市場出荷もごく少量。本格的な直販は生協産直からであり、現在でもグリーンコープへの販売が過半である。それ以外では郵パックがあり、イカリスーパー、宅配、学校給食などが主な販路となっている。

・かきの販売の半分程度は 12 月上旬から 2,3 月まで販売する冷蔵かきである。冷蔵かきを導入することで、収穫期の出荷調製作業をずらすことができ、労働ピークの切り崩しでも、一定の効果がある

総評

全国的にもトップクラスのかきの大規模経営である。独自の栽培方式を編み出したことで、大規模な園地での機械化を進めた栽培管理を実現している。販売面では、直販主体である。取引先で最も比重が大きいのは生協であり、栽培の考え方も高級品を作るよりも、そこそこ

の品質のものを低コストで量産し、コストに見合った価格を実現することに置いている。

この地域のかきは、富有を主体とした甘柿であることが、大規模経営が個別での直販を主体としている背景にある。渋柿であれば、脱渋施設の整備がネックとなり、個別販売を選択しにくくなることが考えられる。

E経営：もも（福島県伊達市）

・福島県Ａ経営は果樹園面積 3.5ha で、モモ、西洋ナシ、リンゴを栽培する果樹複合経営である。

・経営主は 57 歳。家族労働力は妻（46 歳）、父（84 歳）、母（82 歳）である。父、母は高齢のためリタイア傾向にある。常雇用はは 52 歳男性、32 歳男性の 2 名である。臨時雇用は男性が年間のべ 60 人日、女性がのべ 240 人日である。家族労働日数 770 日、雇用労働日数 900 人日に達する。

・作付構成はモモ 1.94ha、西洋ナシ 0.97ha、リンゴ 0.58ha である。モモの品種はあかつき（0.67ha）、川中島（0.38ha）、ゆうぞら（0.23ha）、暁星（0.18ha）、ネクタリンその他で、多品目であるが中晩生中心である。リンゴはふじが中心である。未成木園が 0.45ha あり、うち 0.35ha がモモである。

・機械はトラクター（22ps）、ＳＳ（1000L）2 台、重量選果機 2 台、油圧ショベル（共同）、トラック（1t）である。施設は倉庫（木造）2 棟、冷蔵庫（コンテナ 900 箱分）、作業所、灌漑施設 1.2ha である。

・樹園地は借入園地が 2ha ある。10 年前に頼まれて 50a 借り受けたが、近年は連坦園地を借りるなどして、4 カ所、1 カ所 40a 以上の団地に集積している。また、不良園地は借りない。小作料は 1 万円～2 万 5 千円/10a である。借り手市場であり、返却を要求されないことを前提に改植、借入で規模拡大してきている。

・作業は 1 年間通してある。1 月モモの剪定からはじまり、西洋ナシ、リンゴの順に進める。3 月はモモの摘蕾、4 月はモモの摘花、5 月～6 月は西洋ナシ、リンゴの摘花・摘果、7 月～8 月は仕上げ摘果、7 月～9 月中旬までモモの収穫、9 月上旬～10 月上旬まで西洋ナシの収穫、10 月中旬～11 月はリンゴふじの葉摘み、収穫となり、1 年中忙しい状態である。

・販売は、モモ、西洋ナシは農協出荷がそれぞれ 70%、80%であるが、リンゴは 70%が直売となっている。直売の顧客は 200 人弱いる。

・省力技術として、リンゴは石灰硫黄合剤による薬剤摘果をしているが、モモについては以前は水圧摘蕾をしていたが、穿孔細菌病が広がる要因となる恐れがあり、現在はやめているため、これといった省力技術は取り入れていない。なお、樹形は主幹開心形である。

・モモの成園ベースの単収は 2453kg/10a、全園ベースでも 2010kg/10a であり、全国平均（H26）の 1390kg/10a と比較して相当高い。西洋ナシは成園ベースで 2316kg/10a、全園ベースで 2268kg/10a と全国平均 1610kg/10a（H26）と比べて高い。リンゴは成園ベースで 2586kg/10a、全園ベースで 3000kg/10a と全国平均 2200kg/10a（H26）と比べて高い。

・労働日数は延べ 1670 人日であり、同統計の 6540 時間（日数換算 818 日）と 2 倍以上で

ある。
・以上、A経営は大規模経営ながら、高投入・高産出を特徴とする経営である。A経営は雇用に大きく依存することで労働投入量を確保し、高い単収を実現していると見られる。ただし、果樹複合経営なので単純には産出できないものの、単収は各作目全国平均の２倍まで達していないが、労働投入量は２倍以上であることから、労働生産性は高くないとみられる。
・リンゴでは摘花剤を使用していること、西洋ナシは着色管理がないことなどモモ以外の作目では省力化の要素があるが、主幹部門のモモ作では目立った省力技術がなく、結実管理作業はほとんど手作業であるため、労働投入は経営にとっての大きな負担であると考えられる。3 月から 11 月までほぼ結実管理作業でうまっており、大規模果樹複合経営の作業に追われる状況が推測できる。
・技術的に課題解決する方法が乏しい中で、A経営では樹園地の集積・整備、雇用労働力の確保が主たる課題となっている。樹園地の集積・整備については借り手市場のもとで順調にすすめられている。これまで自力改植を実施していたが、今後福島県オリジナルの早生品種はつひめを増やすという要望がある中で、果樹経営支援対策事業も用いて効率的な園地を形成していくことが重要であろう。雇用労働力については、震災後、確保が難しくなっているとのことである。常雇用を育成していくとともに、ハローワークや農協人材紹介事業の活用による労働力確保を図る意向である。
・いずれにせよ有力な省力技術がない中で雇用に頼る大規模果樹複合の苦しい実情がうかがえる。難防除細菌病の穿孔細菌病という大きな問題を克服しつつ、省力技術体系を整備していくことが喫緊の課題である。

F経営：もも（福島県福島市）

・福島県A経営は果樹園面積 5.0ha で、モモ、リンゴ、オウトウ、カキを栽培する果樹複合経営である。
・経営主は 37 歳。家族労働力は、父（66 歳）、母（66 歳）である。常雇用は 28 歳男性の 1 名（福島大学卒）である。臨時雇用は男性が年間のべ 89 人日、女性がのべ 3 人日である。これ以外に学生の援農（体験料受け取り）がある。家族労働日数 810 日、雇用労働日数 332 人日である。
・作付構成はモモ 2.25ha、リンゴ 1.12ha、オウトウ 0.58ha、カキ 0.17ha である。モモの品種はあかつき（1.0ha）、川中島（0.57ha）、まどか（0.15ha）、きらら極（0.1ha）、さくら白桃（0.08ha）で、多品目であるが中晩生中心である。リンゴはふじが中心である。未成木園が 1.07ha あり、うち 0.9ha がモモである。
・機械はトラクター、ＳＳ（1000L）、軽トラック、運搬車、乗用草刈機である。施設は倉庫（木造）、冷蔵庫、作業所、コンテナ置き場、雨よけハウス 0.5ha、スプリンクラー10 基、防風網 3 カ所である。
・樹園地は借入園地が 0.94ha、先代から含めて購入した園地が 0.65ha ある。集落内の水田跡地を耕作放棄防止のために集約的に購入している。借入園地は返却を要求されないことを

前提に新植している。小作料は 30 万円/0.94ha である。
・作業は 1 年間通してある。1 月～3 月までは剪定。同時に 1 ～2 月まではサクランボの摘蕾、4 月はモモの摘蕾、人工授粉、5 月リンゴの摘花・摘果、6 月サクランボの収穫、リンゴの摘果、7 月はリンゴの仕上げ摘果、8 月～9 月までモモの収穫、10 月～11 月はリンゴふじの葉摘み、収穫となり、1 年中忙しい状態である。
・販売は、モモが農協 20%、直売 80%。リンゴは農協 5%、直売 95%。オウトウが農協 10%、直売 90%。カキは農協が 80%、直売 20%である。直売の顧客は 600 人程度おり、年間契約を進めている。加工はジャム、焼き肉のタレ、アップルパイを自家内で、リンゴジュース、アイスクリームを外部加工で生産している。加工品は福島市コンベンション協会を通じた販売やパン屋の店舗における販売をしている。また、農園の観光化が進められており、農業体験者の受け入れ、オーナー制などが積極的に取り入れられている。
・モモについては以前は水圧摘蕾をしていたが、穿孔細菌病が広がる要因となる恐れがあり、現在はやめている。生産規模は改植で調整している。列ごとの品種管理を行うとともに授粉樹を植栽してミツバチによる授粉をすすめている。
・経営における観光、加工などの事業の強化を進める当園では平成 23 年に法人化している。これにより、商工会議所や新聞社を通じた広告を出しやすくしするとともに、パンフレットの作成などで商工会の助成などをうけやすくしている。
・モモの成園ベースの単収は 2000kg/10a、全園ベースで 1200kg/10a であり、全国平均（H26）の 1390kg/10a と比較すると成園ベースでは高いが全園ベースでは低くなる。リンゴは成園、全園ベースともに 2679kg/10a で全国平均 2200kg/10a（H26）と比べて高い。
・労働日数は延べ 1142 人日であり、同統計の 6540 時間（日数換算 818 日）と多いが、10a 当たり労働投入は 22.8 日/10a と同統計の 181 時間（日数換算 22.6 日/10a）と同程度である。
・以上、A経営は改植などで面積調整しつつ、果樹複合では大規模である 5ha を経営している。ただし、経営として単収はそれほど高くなく、労働投入量は果樹植栽面積 3.0ha 以上モモ作経営の平均程度なので労働生産性も同程度と考えられる。
・主幹部門のモモ作では目立った省力技術がなく、結実管理作業はほとんど手作業である。また、モモより手間のかかるオウトウを導入し、リンゴでは目立った省力技術の導入がないことから、労働投入は経営にとっての大きな負担であると考えられる。実際 1 月から 11 月まで結実管理作業を継続しており、作業に追われる状況が推測できる。
・さらに繁忙期である収穫時期の作業進行上の障害となっているのが、原発事故による放射能検査である。収穫期は繁忙期であるが、収穫した果実のサンプルを出荷品種ごとに農協の支所に持ち込む必要があるとともに、贈答用に関してはさらに別途出荷品種ごとに 1kg のサンプルを専門検査機関に送り検査している。
・直接販売、加工、観光などの 6 次産業化が積極的に進められており、当経営の特徴となっている。法人化もその延長で進められ、商工会のメンバーになるとともに、母は観光協会の会長も務めた。
・技術的に課題解決する方法が乏しい中で、B経営では樹園地の集積・整備、雇用労働力の

確保が主たる課題となっている。樹園地の集積・整備については列ごとの品種管理により効率化を進めるとともに、改植で作業面積を調整している。雇用労働力については、常雇用をもう１人確保する意向である。当経営は優れて外部に開かれた経営であり、労働力についてもこれまで独立支援などを行っている。農業体験で来る人も多く、その中で雇用する機会も生じるだろう。

・いずれにせよ有力な省力技術がない中で雇用の確保が存立に大きく係わっている。特に、オウトウ、モモなどは労働集約性が高いので、省力技術体系の構築が求められる。

G経営：うめ（和歌山県みなべ町）

和歌山県Ｇ経営は、和歌山を代表する二大うめ産地の一つであるみなべ町に位置している。生産条件の不利な山間部にありながら、豊富な家族労働力と効率的な労働体系を背景に、品質と価格に優位性のある南高梅を中心に青梅の生産・出荷、およびそれを原材料とする梅干しの加工・出荷をおこなう果樹複合型の大規模うめ経営である。

経営の概要

経営の概要は（１）経営面積はうめ 4.2ha（内未成園 0.6ha）、かんきつ類 0.3ha、水田 0.2ha、（２）家族労働力は経営主夫婦、息子夫婦、父の 5 人で、作業従事日数は経営主と息子が 280 日／年、妻と息子の妻が 300 日／年で、年間従事日数は延べ 1200 日弱、（３）雇用労働力は収穫期のみ臨時で近隣自治体から 2 名を延べ 130 日雇用、（４）作業分担は経営主とその息子が剪定、防除、着果管理、収穫・搬出、選別・出荷など農作業全般を担当し、妻と息子の妻が周年で梅干しの加工を担当しつつ、農繁期に収穫・搬出および選別・出荷も担当し、父は剪定、収穫・搬出のみを担当、（５）農業機械はトラクター1 台、動力噴霧器 3 台（内スプリンクラー用 2 台、手散布用 1 台）、選果機 2 台、フォークリフト 1 台、トラック 1 台と軽トラック 3 台、クローラー1 台、（６）施設・設備は、選別用倉庫と梅干加工・貯蔵用倉庫が各一つずつ（延べ面積 300 ㎡）、モノレールが 1 台で総延長距離が 300m、スプリンクラー（受益面積 3.8ha）、梅の乾燥用ハウス 2 棟（延べ面積 300 ㎡）、（７）品種構成は、うめ 4.2ha の中で南高梅が 3.2ha（内未成園 0.5ha）、授粉樹の園地面積が 0.8ha、梅酒用の露茜が 0.2ha（内未成園 0.1ha）、（８）2014 年産の生産量は青梅が 20t、加工品（梅干し）が 90t、（９）販売先は青梅が農協出荷 100%、同加工品が農協 50%、地元加工業者 50%、かんきつ類は農協 30%、商系が 70%

経営の特徴

Ｇ経営は生産条件に恵まれない山間部に位置しているが、後継者世帯を含む豊富な家族労働力を背景にうめの栽培面積が 4.2ha あり、海沿いの平坦部の経営と比較しても大規模といえる。Ｇ経営では、収益性の高い品種の導入に力を入れており、うめは当地の主力品種である南高梅に特化しているだけでなく、こだわり梅酒需要を見込んで露茜（つゆあかね）の生産を開始しているほか、複合品目のかんきつ類についても優良系統への更新を予定している。こうした取り組みから、Ｇ経営は銘柄産地にあってもトップクラスの経営内容といえる。

大規模経営成立要因

Ｇ経営の大規模化とそれを可能にしている省力化の要因は、改植に合わせた園地整備にある。経営主が後継者の就農を見込んで、ミニパイロット事業など助成金を活用して積極的に園地の緩傾斜化に努めた結果、2015 年現在で 3.2.ha の樹園地でネット収穫に対応した園地整備を完了している。こうした改植と園地整備の同時施工は、省力化だけでなく品質向上と収益性の向上にも貢献している。また、平成 23 年度から開始された 2 期目の果樹経営支援対策事業、加えて果樹未収益期間支援事業は、改植の一層の推進に果たす役割が大であったとのことである。

経営の課題と展望

Ｇ経営の課題は、今後の農繁期の雇用確保と周辺農家の高齢化による地域の営農環境の悪化にある。周辺自治体の高齢化で雇用の確保は年々困難になってきており、梅ブームおよび梅酒ブームの沈静化から、販売単価も以前の高水準な単価への回復が見込めず、経営の展開としては省力化対応が中心とならざるをえないであろう。こうした中で農協の役員も務める経営主は、個別経営だけでなく産地の組織的な展開が必要と考えている。うめ加工品の生産・出荷比率を増やすことで労働力の分散と周年販売を実現できているが、品質の悪い品物の出荷が横行することで在庫量の増加（既に地域で約一年分）と単価低下が懸念されることから、目揃えの徹底や出荷調整などの対策が必要な状況である。また、生産農家の高齢化が進む中で、本経営をモデルとした補助事業を有効活用しての産地の組織的な改植と園地整備の推進が求められる。

H経営：うめ（和歌山県みなべ町）

和歌山県H経営は、和歌山県を代表するうめ銘柄産地であるみなべ町の中でも比較的条件のよい沿岸部に位置し、経営主夫婦と長男夫婦、そして次男の 3 世帯の豊富な家族労働力を背景に青梅の生産・出荷と梅干しの加工・出荷、さらにはハウス栽培のミニトマトを組み合わせた施設野菜複合型の大規模うめ経営である。

経営の概要

経営の概要は、（１）経営面積が 5.6ha、内樹園地面積 5.5ha（さらに内 1.3ha が借地）、施設栽培のミニトマトが 0.1ha、（２）家族労働力は経営主夫婦、長男夫婦、次男の 5 人で、作業従事日数は経営主が 250 日／年、経営主の妻と二人の息子が 280 日／年、年間従事日数は延べ 1090 日、（３）雇用労働力は臨時で剪定、除草・防除、収穫・搬出作業など一般作業補助に 120 日／年従事する男性が 1 人、繁忙期のみ選別・出荷に 30 日従事する女性が 1 人、延べ 150 日雇用、（４）作業分担は長男と次男が剪定、防除、着果管理、収穫・搬出、選別・出荷など農作業全般、さらに一部加工作業とトマト栽培を担当し、経営主妻が周年で梅干しの加工を担当しつつ、農繁期に収穫・搬出および選別・出荷も担当し、経営主は収穫・搬出、選別・出荷のみを担当、また長男の妻は 2015 年度より加工作業に従事予定、（５）主要な農業機械はトラクター1 台、動力噴霧器 2 台、選果機 2 台、フォークリフト 1 台、トラック 1 台、軽トラック 2 台、（６）施設・設備は、一般倉庫が一つ（200 ㎡）、梅干加工・貯蔵用倉庫が一つ（延べ面積 160 ㎡）、モノレールが 6 台で総延長距離が 2km（受益面積 4.1ha）、ス

プリンクラー（受益面積 3.3ha）、梅の乾燥用ハウスが 300 ㎡、ミニトマトを栽培する加温ハウス 0.1ha、（７）品種構成は、うめ 5.5ha の内南高梅が 4.5ha（内未成園 2.5ha）、授粉樹の園地面積が 1.0ha、（８）2014 年産の生産量は青梅が 10t、加工品（梅干し）が 60t、（９）販売先は青梅が農協出荷 100%、同加工品が農協 20%、地元加工業者 80%、ミニトマトは農協 100%

経営の特徴

H経営の特徴は、親子 3 世帯による家族経営と、施設栽培のミニトマトを取り入れた施設野菜複合型の大規模うめ経営にある。B 経営は以前はうめ専作の 4.1ha 経営であったが、長男と次男の就農を機に 130a の樹園地を借り受けてうめの規模を拡大し、また次男の独立を見越して加温ハウス（10a）を設置してミニトマトの生産・出荷を開始している。

大規模経営成立要因

地域でも抜きんでて規模が大きいH経営であるが、これは現状の 3 世帯経営から次男が独立することを見込んでのものである。しかしそれを考慮してもうめの経営面積 5.5ha は大きい。これは低樹高栽培とネット収穫技術導入による労力の省力化に拠るものである。これら技術は平成 23 年以降毎年 0.5ha という積極的な更新と、その際の緩傾斜化（現状で平均 15 度）など園地整備と園地集約化の成果である。その際は、経営体育成事業などの補助事業を活用したとのことであるが、特に平成 23 年度から開始された 2 期目の果樹経営支援対策事業と果樹未収益期間支援事業によって短期間での大規模な改植が可能となったと考えられる。

経営の課題と展望

H経営は、二人の息子の就農と継承による規模縮小と一人当たり所得低下を懸念しての施設野菜導入を図った経営であり、借地と省力化、それに積極的な更新によって 5ha 超まで規模を拡大している。他方で家族内の過重労働が深刻化しており、労力的に次男をトマト農家として独立させることが難しくなっている。とはいえ、補助事業を活用した園地整備は、省力化と規模拡大に大きな効果を発揮しており、周辺農家の経営の展開モデルとなりうる経営である。

まとめ

昨年度、新たな果樹農業振興基本方針（以下、基本方針）が策定された。基本方針は 1961 年に制定された果樹農業振興特別措置法に基づいており、5 年に 1 度改定されている。現在は食料・農業・農村基本計画と連動した時期の改定となっている。1970 年代以降の基本方針では、温州みかんなどの供給過剰に対応した需給調整が主眼にあったように思える。しかし、2000 年以降になると、次第にその基調に変化が現れてきた。すなわち、果樹生産者の高齢化、減少と放任果樹園の拡大によって、国内の果実供給力がぜい弱化してきたため、それまでのような需給調整ではなく、産地の維持・振興、国内果実供給力の確保に重点が移ってきたようにみえる。

2015 年農林業センサスでの動き

新たに公表された 2015 年農林業センサスにおいても、本報告内で示しているように、2010 年と比較し、樹園地のある経営体数は 19.6%、樹園地面積は 12.0%も減少している。これは 2005～10 年の減少率を大幅に上回っている。一方、1 経営体当たり樹園地面積はわずかに増加しているが、増加率は緩やかであり、1 経営体当たり樹園地面積も 1 ha に遠く及ばず、不十分なものである。現状では、果樹生産者の高齢化などによって果樹経営体は早いテンポで減少しており、そこから大量の樹園地が供給されているが、中核的な果樹農業の担い手が集積している樹園地は限られているため、離脱した経営体の樹園地の多くは耕作放棄地となっている。放任樹園地の発生を抑制し、国内の果実供給力を維持していくためには、離脱した経営体の樹園地を集積する中核的な担い手形成が重要な課題となっている。

今回の計画の前提となっている新たな食料・農業・農村基本計画では、中核的な担い手の育成とそこへの経営体資源の集中が、これまで以上に強調されている。基本方針においても、その方向が受け継がれているというようにも理解できる。農地中間管理機構を通じた中核的な担い手への園地集積や園地基盤整備の推進が明記された。ただし、これは食料･農業・農村基本計画に従ったということのみでなく、従来は労働および技能集約性の高さから大規模経営体の形成が遅れていた果樹農業でも、常時雇用している大規模経営体が散見されるようになったという実態が背景となっていることも、留意すべきであろう。統計からみると、果樹農業における大規模経営体の形成は微弱であるが、一部の果樹産地では積極的に樹園地を拡大している大規模経営体が出現している。

産地構造再編の動きと果樹産地生産力構造指標分析

10 年前の基本方針から産地構造改革計画が取り入れられた。産地構造改革計画は、産地自らが実態を分析し、今後の展開方向を計画するものであり、それに基づいて政策支援を行っていこうとするものである。産地を構造再編の主体と位置づけ、地域の実情に応じた

施策の展開を目指したものである。その背景には、産地間の格差が拡大していることがある。同一県内の同一品目の産地でも、高い市場競争力の下で後継者がある程度確保され、産地規模が維持されている産地がある一方で、担い手が確保できず、市場競争力も衰退して、産地規模が縮小し、放任果樹園が増加している産地もある。そのような中で同じ県内でも一律的な果樹振興方策を実施することは実態に合わなくなっている。

特に担い手への園地集積や園地基盤整備による大規模経営体の形成という方向は、産地の担い手条件とともに、傾斜地が大きな部分を占めているというような、園地の自然立地条件によっては、きわめて困難な産地も少なくない。したがって、各産地が自らの置かれた条件を見きわめ、それに応じた果樹振興策を作り上げていることが求められている。そのためには、産地の実態を客観的に示す情報に基づいた分析は重要となる。本報告の中の果樹産地生産力構造指標分析は、それに応えることを狙いとしている。

品目（樹種）別産地別の生産力構造指標の動向

本報告の中では、品目ごとに、さらに一部に品目では地域別に生産力構造指標を示している。それを概観すると、品目間の違いとともに、同一品目内でも地域差をみることができる。主業農家率は、かんきつが最も高いが、地域差も大きい。福岡などの北九州では 36.0%であるが、広島・山口という瀬戸内地域では 15.9%に過ぎない。りんごについても、主業農家率は、青森は 42%に達しているのに、長野は 16.7%に過ぎない。ぶどうについても東日本と西日本の差は大きい。

果樹類の栽培面積規模に関わる指標は、品目ごとの栽培面積当たり集約度の違いを反映した品目間差があるが、同一品目内の地域差も大きい。概して言えば、主業農家率の格差と連動した違いとなっている。すなわち、主業農家率の高い地域は果樹類栽培面積の大きい農家の比率が高い傾向にある。その他の指標をみても、厳しい数値の地域と比較的良好な数値は前掲した地域とほぼ一致している。そういう点では、生産力構造指標を地域間で比較すると、地域ごとの生産力構造の特徴を示しているというよりも、地域間の生産力水準の格差を示しているようにみえる。

同じ地域内でも、産地ごとの違いも大きい。生産力構造指標は、他産地と比較した産地ごとの特徴や問題点の分析に活かすことを期待している。その際、同一品目、同一地域内の産地間での比較のみでは、課題がみえてこない場合もある。地域間で明確な優劣がある中では、地域内の序列のみで評価すべきではない。地域内の他産地と比べて勝っていたとしても、その地域が全国的に厳しい状況にあれば、全国的には決して優れているとは言えない。自らの産地の力量を評価するには、同一産地内での比較とともに、全国的な数値との比較、さらに絶対的な数値の評価が求められる。また、示されている数値は農林業センサスなどから得られたものであり、必ずしも果樹農家のみを対象とした数値とは限らない。したがって、果樹農家のみの数値とは乖離している可能性もある。その点にも留意して数値を評価することが必要である（特に農業内での果樹部門の比率が低い地域では注意すべ

きである)。

大規模果樹経営体の実態調査

本報告のもう一つの部分は、大規模果樹経営体の実態調査である。昨年度の調査は柑橘とりんごでの大規模経営体を対象としており、今年度の調査では、りんご以外の落葉果樹の大規模経営体を対象とした。具体的にはぶどう、もも、かき、うめの大規模経営体である。果樹農業の中でも柑橘とりんごでは、一定の大規模経営体の形成がみられるが、それ以外の品目ではきわめて微弱であり、今回の調査でも調査対象の選定には若干苦労した。また調査対象はきわめて特殊な事例と位置づけた方がよいものもあり、そこから品目ごとの一般的な動向を単純に読み取ることはできないかもしれない。そうではあるが、調査結果からは品目ごとの特徴を垣間見ることもできる。ここでは、品目ごとの調査経営体の特徴について、経営体規模、法人化の動き、雇用労働力、特に常時雇用の状況、機械導入の状況、販売チャネル、6 次産業化の動向などを中心に簡単に検討したい。

ぶどう経営体

ぶどうは、栽培面積でみた規模のばらつきが大きく、地域による違いが比較的明瞭である。北海道は比較的小さく、山梨は 3 経営体ともに 5ha を超えており、福岡は 3ha 以下である。これは調査経営体選定上の問題もあろうが、地域的な特徴も反映しているように思われる。栽培面積とともに注目すべき点は販売方法である。北海道の 5 経営体中 1 経営体を除いて、生産物の 9 割以上を農協出荷である。北海道以外の経営体では、長野県の 1 経営体を除いて農協共販以外の販売が大部分を占めている。長野県の 1 経営体が農協共販主体であるのは、所在地が中野市であり、農協の販売力が強いことが影響しているように思われる。それ以外の経営体では 1 経営体を除いて消費者直販、観光が、主要な販売チャネルとなっている。直販主体であることを反映して、多品目を栽培している経営体が多いことも特徴となっている。ぶどうでは、山梨県、愛知県など大都市圏に隣接した産地が多いことも直販主体の要因の一つであろう。

常用雇用についてみると、常時雇用を雇用している経営体の比率が高いことも特徴である。北海道の 5 経営体を除くと、9 経営体中 6 経営体で常時雇用を雇用している。年間果樹作業従事日数中の雇用の比率も高いが、雇用労働日数中で常時雇用の比率が、ほぼ半分に達していることは大きな特徴である。直販主体であることを反映し、出荷調製、販売での業務量が大きいことも影響していると考えられる。

農業粗収益をみると、14 経営体の調査経営体平均でみて 4 品目の中で最も高い。山梨の 1 経営体の粗収益が飛び抜けて大きいが、その経営体を除いても 4 品目中最大である。北海道の 5 経営体を除くと、粗収益が 3 千万円に達していないのは 2 経営体のみである。機械装備についても充実している経営体が多い。また法人化も北海道の 5 経営体を除いて進展している。山梨、長野のすべての経営体と愛知の 1 経営体が法人化している。

特徴をまとめると、ぶどうは直販を主体とした販売で常時雇用しながら、大きな農業粗収益を実現している経営体が多い。その中でも山梨の 3 経営体は特徴的である。それぞれ雇用労働を導入し、年間果樹作業従事日数中で雇用労働の比率が過半を超えており、しかもその大部分を常時雇用が占めている。まさに常時雇用に依存した企業的経営体である。経営体戦略としては、加工事業も取り入れ、直売や量販店との契約的取引など、独自のマーケティングを展開している。今回の調査経営体の中では、最先端の大規模な企業的果樹経営体である。

かき経営体

かきは、調査経営体すべてが果樹園面積 4ha を超えており、1 経営体当り平均果樹園面積は 6ha を超え、4 品目中最も大きい。今回の 4 品目の中では、単位面積当たり労働時間が最も短いことが反映していると考えられる。その一方で、調査対象は奈良・和歌山と福岡であるが、地域による違いが鮮明に現れている。販売先をみると、奈良・和歌山の経営体はすべて農協共販主体の販売であるが、福岡の 2 経営体はいずれも直販主体である。その基本的な要因に品種の違いがある。奈良・和歌山は平核種を中心とした渋かきの産地であり、福岡県は富有かきを中心とした甘かきの産地である。渋かきでは脱渋が必要であるが、脱渋施設を個別で装備することは容易でなく、農協施設に頼ることになる。そのため、販売も農協共販になりやすい。一方、甘かきでは脱渋施設が不要なため、個別での直販に取り組みやすい。また奈良の経営体の特徴として、8 経営体中 7 経営体でうめを栽培しており、うめとの果樹複合経営体となっていることが指摘できる。

果樹園面積が大きいため、農業粗収益もぶどうに次いで大きい。農業粗収益 5 千万円を超える経営体はないが、ほとんどの経営体が 2 千万円を超えている。雇用労働については、年間果樹作業従事日数中雇用労働の比率が 5 割近くに達しており、最も高い。常時雇用も 12 経営体中 5 経営体で雇用している。機械装備についても充実している。すべての経営体でスピードスプレーヤが導入されており、半数の 6 経営体ではスピードスプレーヤ 2 台を装備している。一方、法人化している経営体は 1 経営体のみであり、その他の経営体では法人化の意向もない。法人化の取組みでは 4 品目中最も遅れている。また品目の特性でもあるが、果実加工事業を導入している経営体もない。ただし、福岡の 2 経営体では、冷蔵による長期出荷（年末年始まで）に取り組んでいる。これも個別販売で大量出荷を可能としている要因となっている。

もも経営体

ももは調査経営体の平均果樹園面積が 311a で最も小さく、果樹園面積が 5ha を超えている経営体は 1 経営体のみである。栽培面積でみた大規模経営体の形成が最も遅れているようにみえる（調査経営体選定でも最も苦労したようである）。農業粗収益も山梨の 1 経営体が飛び抜けているが、それを除くと 1 千万円台から 2 千万円台であり、相対的に少ない。

販売方法では、福島の 2 経営体が直販主体であるが、それ以外の 8 経営体は農協共販主体である。雇用労働に関してみると、常時雇用を雇用している経営体が 10 経営体中 3 経営体あり、経営体規模に比べて、常時雇用導入経営体比率は高い。法人化については、すでに法人化している経営体が 2 経営体、今後、法人化意向の経営体が 1 経営体であり、法人化の動きはそれほど高くない。果実加工事業を導入している経営体は 1 経営体であり、今後、導入を検討したい経営体が 1 経営体のみであり、果実加工事業の取り組みも高くない。ももは栽培面での労働集約性とともに、果実の鮮度保持期間が短いことも、企業的な経営体展開では高いハードルとなっているように思われる。

うめ経営体

うめの調査経営体はすべて和歌山にある。うめの大規模経営体は和歌山南部の南部・田辺地域に集中している。果樹園面積では、1 経営体当り平均果樹園面積はかきに次いで大きい。しかし、農業粗収益は、調査経営体平均で 2 千万円未満と最も小さい。最も大きな経営体でも 3 千万円である。農業粗収益からみると、うめは 4 品目中最も厳しい状況にある。その背景には、うめの価格は、かつてに比べて低迷していることがあると考えられる。

うめ調査経営体の大きな特徴として、家族労働主体の農業労働力編成となっていることである。常時雇用を雇用している経営体はなく、年間果樹作業従事日数に占める雇用労働の比率は、調査経営体平均で 2 割に満たない。他の品目では雇用労働の比率は 4 割を超えている中では、特異的な存在である。収穫作業での省力的体系の普及が要因の一つと考えられる。販売方法に関しては、他の品も異なり、うめは加工原料という特性を持っているため、すべての経営体が販売品の大部分は一次加工品（白うめ）となっている。販売ルートは流通･加工業者への直接販売が主体で、農協共販主体の経営体はいない。ただし、他の品目の消費者への直接販売と異なり、業者への直接販売であるので、その性格には違いがある。独自のマーケティング戦略の必要性が相対的に低いという点では、農協共販に近い面もある。

まとめ

品目別に調査経営体の特徴をみてきたが、品目特性などに応じた大規模経営体の特徴が現れている。最も企業的な性格を帯びているのはぶどうの大規模経営体である。その最先端には常時雇用が労働力の主体となっている経営体が生まれている。その背景には、直販や観光などの個別販売の比重が高く、果実加工事業の導入でも先行していることがある。すなわち、流通面での多角化、6 次産業化の進展が大きな特徴である。大規模果樹経営体のもう一つの経営体展開の典型が、奈良・和歌山のかきである。販売面では農協共販に依存しながら、生産面での規模拡大を遂げている。その中でももは、生産面ではかきほどに規模拡大条件に恵まれてなく、鮮度保持期間が限られていることなどのため、ぶどうに比べて販売面での事業展開の可能性は高くないため、大規模経営体の形成では遅れをとってい

る。うめは和歌山に限定された動きであるが、一定の大規模経営体の形成がみられる。しかし、うめ価格の低迷などのために農業粗収益では苦戦している。また加工原料という商品特性から一次加工までは行っているが、その先の加工まで取り組んでいる経営体はない。その点ではかきに近い生産主体の経営体展開というように特徴付けられる。

品目に関わらない果樹農業における「大規模経営体展開の特性」も、本報告からは垣間見える。まず大規模経営体では農協共販から離脱する方向があるように見られがちであるが、農協共販から離脱している経営体が多数を占めているわけではない。品目による違いは大きいが、調査経営体 47 経営体中農協共販主体の経営体が 24 経営体で半数に達している。加工原料という性格から農耕共販主体の経営体がなかったうめを除くと、三分の二は農協共販主体の経営体である。大規模果樹経営体には、直販や果実加工などによる多角化を図るタイプと、販売は農協に依存しながら、生産規模の拡大を追求するタイプに分けられる。

第二に「法人化の動き」もそれほど高くない。調査経営体 47 経営体中 10 経営体に過ぎない。法人化している経営体についてみると、販売方法によるタイプ分類との関係では、7 経営体が農協共販以外の販売主体であり、流通面での多角化を進めている経営体で法人化が進んでいる。また常時雇用との関係では経営体は 6 経営体で行われている。

全体として常時雇用を雇用している経営体は 14 経営体であり、調査経営体全体の 3 割であるので、常時雇用による労働力の確保している経営体では法人化が進んでいると言える。法人化のメリットの一つが雇用者の雇用条件の整備であるので、当然の結果ではある。

第三に「常時雇用による労働力の確保」は、農協共販に依存せず、流通面での多角化を進めている経営体で高い。常時雇用を雇用している 14 経営体中農協共販主体の販売の経営体は 6 経営体で、半分以下である。うめを除くと、全体で三分の二の経営体が農協共販主体であるので、常時雇用している経営体では、農協共販主体の比率が低く、流通面での多角化を進めることにより、出荷調製、販売面での作業量が大きくなり、生産面だけでなく、流通面での雇用労働の必要性が高まることが要因となっていると考えられる。

2 年にわたり大規模経営体の実態をみてきた（昨年度は、かんきつ類、りんごの経営体、今年度は、りんご以外の落葉果樹の経営体)。近年、果樹農業でも大規模経営体の形成が徐々に進み始めているが、大規模果樹経営体の実態をある程度の数で調査したものは見当たらない。その点では、昨年度の報告と合わせて、大規模果樹経営体の現状を知ることができる貴重は資料である。ただし、増加しつつあるとはいえ、大規模果樹経営体は極少数であり、個別的な事例と留まっているとみるべきものが多い。また今回の調査対象も必ずしも全体の動向を反映しているとは言えないかもしれない。その点では、大規模果樹経営体の実態を明らかにし、今後の果樹農業の中核的担い手となっていく課題を明らかにするために、本報告を手がかりに、より詳細な調査分析が今後なされることを期待する。

付１　統計表

１　2015年農林業センサス結果及び果樹産地生産力構造指標

（1）2015年農林業センサス結果

1）樹園地のある経営体数

単位：経営体、％

全国農業地域・都道府県	樹園地のある経営体数						（参考）果樹園率
	実数			5年間減少率		10年間減少率	
	2005	2010	2015	2010/2005	2015/2010	2015/2005	2005
全国	385,105	334,922	269,169	△ 13.0	△ 19.6	△ 30.1	79.0
北海道	1,634	1,365	1,203	△ 16.5	△ 11.9	△ 26.4	87.8
青森	18,730	16,755	14,354	△ 10.5	△ 14.3	△ 23.4	99.6
岩手	5,620	4,808	4,000	△ 14.4	△ 16.8	△ 28.8	91.3
宮城	2,108	1,715	1,395	△ 18.6	△ 18.7	△ 33.8	79.0
秋田	4,114	3,422	2,767	△ 16.8	△ 19.1	△ 32.7	96.4
山形	17,606	15,178	12,262	△ 13.8	△ 19.2	△ 30.4	97.3
福島	10,863	9,353	7,390	△ 13.9	△ 21.0	△ 32.0	88.9
茨城	10,822	8,756	6,862	△ 19.1	△ 21.6	△ 36.6	84.4
栃木	3,444	3,041	2,538	△ 11.7	△ 16.5	△ 26.3	72.9
群馬	5,160	4,251	3,251	△ 17.6	△ 23.5	△ 37.0	59.2
埼玉	6,982	5,613	4,617	△ 19.6	△ 17.7	△ 33.9	47.1
千葉	5,587	5,054	3,678	△ 9.5	△ 27.2	△ 34.2	61.6
東京	3,149	3,495	2,854	11.0	△ 18.3	△ 9.4	44.5
神奈川	7,400	6,776	5,541	△ 8.4	△ 18.2	△ 25.1	82.1
新潟	5,125	4,517	3,663	△ 11.9	△ 18.9	△ 28.5	95.7
富山	1,277	1,159	951	△ 9.2	△ 17.9	△ 25.5	92.9
石川	1,604	1,388	1,249	△ 13.5	△ 10.0	△ 22.1	80.7
福井	1,453	1,268	1,111	△ 12.7	△ 12.4	△ 23.5	94.8
山梨	16,485	14,528	12,339	△ 11.9	△ 15.1	△ 25.2	98.3
長野	27,210	23,907	20,511	△ 12.1	△ 14.2	△ 24.6	97.3
岐阜	8,083	7,388	5,633	△ 8.6	△ 23.8	△ 30.3	73.3
静岡	27,578	23,286	17,846	△ 15.6	△ 23.4	△ 35.3	29.8
愛知	10,470	9,295	7,433	△ 11.2	△ 20.0	△ 29.0	82.9
三重	6,521	5,795	4,088	△ 11.1	△ 29.5	△ 37.3	42.2
滋賀	1,326	1,203	1,057	△ 9.3	△ 12.1	△ 20.3	30.9
京都	3,824	3,816	2,973	△ 0.2	△ 22.1	△ 22.3	26.8
大阪	2,609	2,519	2,039	△ 3.4	△ 19.1	△ 21.8	85.8
兵庫	4,731	4,369	3,323	△ 7.7	△ 23.9	△ 29.8	78.1
奈良	3,238	2,890	2,242	△ 10.7	△ 22.4	△ 30.8	67.6
和歌山	19,428	17,546	15,665	△ 9.7	△ 10.7	△ 19.4	98.5
鳥取	5,483	4,477	3,557	△ 18.3	△ 20.5	△ 35.1	96.0
島根	4,362	3,742	2,548	△ 14.2	△ 31.9	△ 41.6	84.5
岡山	9,648	8,682	7,169	△ 10.0	△ 17.4	△ 25.7	89.3
広島	8,369	7,225	5,563	△ 13.7	△ 23.0	△ 33.5	96.1
山口	6,410	5,256	3,992	△ 18.0	△ 24.0	△ 37.7	94.7
徳島	7,495	6,582	4,987	△ 12.2	△ 24.2	△ 33.5	75.6
香川	6,389	4,890	3,774	△ 23.5	△ 22.8	△ 40.9	84.4
愛媛	22,647	19,342	15,109	△ 14.6	△ 21.9	△ 33.3	98.0
高知	5,886	5,578	4,284	△ 5.2	△ 23.2	△ 27.2	78.1
福岡	10,836	9,521	6,748	△ 12.1	△ 29.1	△ 37.7	73.7
佐賀	7,230	5,430	4,222	△ 24.9	△ 22.2	△ 41.6	84.5
長崎	7,606	6,282	5,140	△ 17.4	△ 18.2	△ 32.4	89.5
熊本	14,727	13,251	11,211	△ 10.0	△ 15.4	△ 23.9	86.5
大分	7,541	6,190	4,536	△ 17.9	△ 26.7	△ 39.8	89.2
宮崎	4,808	4,257	3,577	△ 11.5	△ 16.0	△ 25.6	67.0
鹿児島	9,208	7,677	5,875	△ 16.6	△ 23.5	△ 36.2	30.2
沖縄	2,279	2,084	2,042	△ 8.6	△ 2.0	△ 10.4	90.1

2）樹園地面積

単位：ha、%

全国農業地域・都道府県	樹園地面積						（参考）果樹園率
	実数			5年間減少率		10年間減少率	
	2005	2010	2015	2010/2005	2015/2010	2015/2005	2005
全国	229,435	213,797	188,121	△ 6.8	△ 12.0	△ 18.0	79.0
北海道	2,684	2,641	2,512	△ 1.6	△ 4.9	△ 6.4	87.8
青森	18,327	17,620	16,272	△ 3.9	△ 7.7	△ 11.2	99.6
岩手	3,402	3,048	2,955	△ 10.4	△ 3.1	△ 13.1	91.3
宮城	814	744	598	△ 8.6	△ 19.6	△ 26.5	79.0
秋田	2,210	1,974	1,721	△ 10.7	△ 12.8	△ 22.1	96.4
山形	8,780	8,282	7,300	△ 5.7	△ 11.9	△ 16.9	97.3
福島	6,220	5,859	5,228	△ 5.8	△ 10.8	△ 16.0	88.9
茨城	5,820	5,000	4,319	△ 14.1	△ 13.6	△ 25.8	84.4
栃木	2,003	1,880	1,654	△ 6.2	△ 12.0	△ 17.4	72.9
群馬	2,278	2,076	1,739	△ 8.9	△ 16.2	△ 23.7	59.2
埼玉	2,802	2,501	1,921	△ 10.7	△ 23.2	△ 31.4	47.1
千葉	3,689	3,335	2,292	△ 9.6	△ 31.3	△ 37.9	61.6
東京	1,248	1,425	1,093	14.2	△ 23.3	△ 12.4	44.5
神奈川	2,995	2,729	2,234	△ 8.9	△ 18.1	△ 25.4	82.1
新潟	2,175	2,026	1,822	△ 6.9	△ 10.1	△ 16.2	95.7
富山	520	527	477	1.4	△ 9.5	△ 8.2	92.9
石川	727	667	625	△ 8.3	△ 6.3	△ 14.1	80.7
福井	480	426	403	△ 11.3	△ 5.4	△ 16.0	94.8
山梨	8,956	8,258	7,528	△ 7.8	△ 8.8	△ 15.9	98.3
長野	12,532	11,731	10,995	△ 6.4	△ 6.3	△ 12.3	97.3
岐阜	2,408	2,260	1,985	△ 6.1	△ 12.2	△ 17.6	73.3
静岡	22,041	20,798	18,229	△ 5.6	△ 12.4	△ 17.3	29.8
愛知	4,330	4,021	3,377	△ 7.1	△ 16.0	△ 22.0	82.9
三重	3,719	3,806	3,056	2.3	△ 19.7	△ 17.8	42.2
滋賀	618	567	597	△ 8.2	5.3	△ 3.3	30.9
京都	1,815	1,947	1,726	7.3	△ 11.4	△ 4.9	26.8
大阪	892	836	697	△ 6.2	△ 16.6	△ 21.8	85.8
兵庫	1,150	1,066	901	△ 7.3	△ 15.5	△ 21.7	78.1
奈良	2,558	2,494	2,331	△ 2.5	△ 6.5	△ 8.9	67.6
和歌山	16,592	15,817	14,814	△ 4.7	△ 6.3	△ 10.7	98.5
鳥取	2,024	1,650	1,333	△ 18.5	△ 19.2	△ 34.1	96.0
島根	1,200	1,158	794	△ 3.5	△ 31.4	△ 33.8	84.5
岡山	2,250	2,112	1,935	△ 6.1	△ 8.4	△ 14.0	89.3
広島	3,546	3,102	2,605	△ 12.5	△ 16.0	△ 26.5	96.1
山口	2,283	1,915	1,461	△ 16.1	△ 23.7	△ 36.0	94.7
徳島	2,687	2,389	1,920	△ 11.1	△ 19.6	△ 28.6	75.6
香川	2,557	2,061	1,692	△ 19.4	△ 17.9	△ 33.8	84.4
愛媛	17,290	15,221	12,552	△ 12.0	△ 17.5	△ 27.4	98.0
高知	2,120	2,092	1,855	△ 1.3	△ 11.3	△ 12.5	78.1
福岡	8,134	7,931	5,923	△ 2.5	△ 25.3	△ 27.2	73.7
佐賀	5,344	4,451	3,664	△ 16.7	△ 17.7	△ 31.4	84.5
長崎	4,871	4,279	3,816	△ 12.2	△ 10.8	△ 21.7	89.5
熊本	11,213	10,453	9,783	△ 6.8	△ 6.4	△ 12.8	86.5
大分	3,192	2,851	2,463	△ 10.7	△ 13.6	△ 22.8	89.2
宮崎	3,681	3,524	3,057	△ 4.3	△ 13.3	△ 16.9	67.0
鹿児島	10,767	10,836	10,419	0.6	△ 3.8	△ 3.2	30.2
沖縄	1,494	1,409	1,450	△ 5.7	2.9	△ 2.9	90.1

3）１経営体当たりの経営樹園地面積

単位：ha、％

全国農業地域・都道府県	１経営体当たりの経営樹園地面積						（参考）果樹園率
	実数			5年間減少率		10年間減少率	
	2005	2010	2015	2010/2005	2015/2010	2015/2005	2005
全国	0.60	0.64	0.70	7.1	9.5	17.3	79.0
北海道	1.64	1.93	2.09	17.8	7.9	27.1	87.8
青森	0.98	1.05	1.13	7.5	7.8	15.9	99.6
岩手	0.61	0.63	0.74	4.7	16.5	22.1	91.3
宮城	0.39	0.43	0.43	12.4	△ 1.2	11.1	79.0
秋田	0.54	0.58	0.62	7.4	7.8	15.8	96.4
山形	0.50	0.55	0.60	9.4	9.1	19.4	97.3
福島	0.57	0.63	0.71	9.4	12.9	23.5	88.9
茨城	0.54	0.57	0.63	6.2	10.2	17.0	84.4
栃木	0.58	0.62	0.65	6.3	5.4	12.0	72.9
群馬	0.44	0.49	0.53	10.6	9.5	21.1	59.2
埼玉	0.40	0.45	0.42	11.0	△ 6.6	3.7	47.1
千葉	0.66	0.66	0.62	△ 0.1	△ 5.6	△ 5.6	61.6
東京	0.40	0.41	0.38	2.9	△ 6.1	△ 3.4	44.5
神奈川	0.40	0.40	0.40	△ 0.5	0.1	△ 0.4	82.1
新潟	0.42	0.45	0.50	5.7	10.9	17.2	95.7
富山	0.41	0.45	0.50	11.8	10.3	23.3	92.9
石川	0.45	0.48	0.50	6.0	4.1	10.4	80.7
福井	0.33	0.34	0.36	1.7	8.0	9.8	94.8
山梨	0.54	0.57	0.61	4.6	7.3	12.3	98.3
長野	0.46	0.49	0.54	6.5	9.2	16.4	97.3
岐阜	0.30	0.31	0.35	2.7	15.2	18.3	73.3
静岡	0.80	0.89	1.02	11.8	14.4	27.8	29.8
愛知	0.41	0.43	0.45	4.6	5.0	9.9	82.9
三重	0.57	0.66	0.75	15.2	13.8	31.1	42.2
滋賀	0.47	0.47	0.56	1.2	19.8	21.3	30.9
京都	0.47	0.51	0.58	7.5	13.8	22.3	26.8
大阪	0.34	0.33	0.34	△ 2.9	3.0	0.0	85.8
兵庫	0.24	0.24	0.27	0.4	11.1	11.5	78.1
奈良	0.79	0.86	1.04	9.3	20.5	31.6	67.6
和歌山	0.85	0.90	0.95	5.6	4.9	10.7	98.5
鳥取	0.37	0.37	0.37	△ 0.2	1.7	1.5	96.0
島根	0.28	0.31	0.31	12.5	0.7	13.3	84.5
岡山	0.23	0.24	0.27	4.3	11.0	15.7	89.3
広島	0.42	0.43	0.47	1.3	9.1	10.5	96.1
山口	0.36	0.36	0.37	2.3	0.4	2.7	94.7
徳島	0.36	0.36	0.39	1.2	6.1	7.4	75.6
香川	0.40	0.42	0.45	5.3	6.4	12.0	84.4
愛媛	0.76	0.79	0.83	3.1	5.6	8.8	98.0
高知	0.36	0.38	0.43	4.1	15.5	20.2	78.1
福岡	0.75	0.83	0.88	11.0	5.4	16.9	73.7
佐賀	0.74	0.82	0.87	10.9	5.9	17.4	84.5
長崎	0.64	0.68	0.74	6.4	9.0	15.9	89.5
熊本	0.76	0.79	0.87	3.6	10.6	14.6	86.5
大分	0.42	0.46	0.54	8.8	17.9	28.3	89.2
宮崎	0.77	0.83	0.85	8.1	3.2	11.6	67.0
鹿児島	1.17	1.41	1.77	20.7	25.6	51.7	30.2
沖縄	0.66	0.68	0.71	3.2	5.0	8.3	90.1

(2) 果樹生産力構造指標（全産地協議会）

協議会番号	協議会名	1 販売農家数（戸）	2 主業農家数（戸）	3 販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数（戸）	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数（戸）	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数（戸）	7 同居後継者がいる農家数（戸）	8 果樹類栽培農家数（露地）（戸）	9 果樹類栽培面積（露地）（a）	10 果樹類栽培農家数（施設）（戸）	11 果樹類栽培面積（施設）（a）	12 主業農家率（%）	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率（%）	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率（%）	15 同居後継者がいる農家率（%）	16 一戸あたり果樹栽培面積（露地）（a）	17 一戸あたり果樹栽培面積（施設）（a）	18 樹園地面積（a）	19 樹園地の耕作放棄面積（a）	20 樹園地の耕作放棄面積割合（%）	21 農業就業人口（人）	22 65歳未満の農業就業人口（人）	23 1戸あたり農業就業人口（人）	24 農業就業人口の65歳未満割合（%）	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
1	増毛町果樹産地振興協議会	104	51	62	x	x	22	20	62	10,169	2	x	49.0	x	x	19.2	164.0	x	10,180	317	3.1	189	91	1.8	48.1	21.2
2	七飯町果樹産地協議会	401	262	38	17	3	162	137	37	6,299	6	60	65.3	44.7	7.9	34.2	170.2	10.0	6,490	180	2.8	1,007	589	2.5	58.5	40.4
3	余市町果樹産地協議会	404	250	324	144	96	102	84	317	69,662	81	3,120	61.9	44.4	29.6	20.8	219.8	38.5	75,227	13,841	18.4	907	508	2.2	56.0	25.2
4	仁木町果樹産地振興協議会	361	243	231	97	62	121	59	228	49,656	85	5,714	67.3	42.0	26.8	16.3	217.8	67.2	47,695	4,317	9.1	801	460	2.2	57.4	33.5
5	浦臼町加工用ぶどう生産振興会	199	136	4	1	1	92	42	4	589	0	0	68.3	25.0	25.0	21.1	147.3	0.0	589	300	50.9	468	289	2.4	61.8	46.2
6	滝川市果樹産地振興協議会	389	229	29	7	1	125	70	29	3,697	1	x	58.9	24.1	3.4	18.0	127.5	x	3,821	260	6.8	849	487	2.2	57.4	32.1
7	深川市果樹産地協議会	794	573	48	6	3	414	152	48	4,889	3	90	72.2	12.5	6.3	19.1	101.9	30.0	5,860	132	2.3	1,914	1,164	2.4	60.8	52.1
8	美唄市ハスカップ産地協議会	681	502	37	0	0	279	150	36	892	1	x	73.7	0.0	0.0	22.0	24.8	x	708	0	0.0	1,668	1,081	2.4	64.8	41.0
9	旭川市果樹産地協議会	1,346	640	37	9	3	366	212	36	4,700	6	125	47.5	24.3	8.1	15.8	130.6	20.8	5,244	376	7.2	2,745	1,391	2.0	50.7	27.2
10	壮瞥町果樹振興協議会	147	98	42	17	14	44	21	42	9,407	11	591	66.7	40.5	33.3	14.3	224.0	53.7	9,546	0	0.0	336	187	2.3	55.7	29.9
11	岩見沢市果樹産地協議会	1,230	963	35	7	3	687	290	34	3,932	3	50	78.3	20.0	8.6	23.6	115.6	16.7	3,806	256	6.7	3,175	2,118	2.6	66.7	55.9
12	石狩市浜益区果樹産地協議会	408	217	6	2	2	102	88	6	926	1	x	53.2	33.3	33.3	21.6	154.3	x	1,237	25	2.0	862	454	2.1	52.7	25.0
13	富良野市果樹産地協議会	685	562	32	6	0	427	164	32	3,236	0	0	82.0	18.8	0.0	23.9	101.1	0.0	3,616	100	2.8	1,885	1,271	2.8	67.4	62.3
14	JA相馬村果樹産地協議会	479	290	456	184	78	46	196	456	82,949	0	0	60.5	40.4	17.1	40.9	181.9	0.0	82,949	2,760	3.3	1,154	624	2.4	54.1	9.6
15	JAつがる弘前地区果樹振興協議会	7,644	3,664	6,213	1,206	368	261	3,255	6,212	779,902	24	x	47.9	19.4	5.9	42.6	125.5	x	778,467	38,838	5.0	16,009	8,348	2.1	52.1	3.4
16	JA津軽みらい石川地区果樹産地協議会	457	180	396	41	9	8	180	396	37,469	1	x	39.4	10.4	2.3	39.4	94.6	x	37,490	3,699	9.9	882	416	1.9	47.2	1.8
17	JA津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会	2,487	821	1,374	168	52	124	1,116	1,374	124,897	0	0	33.0	12.2	3.8	44.9	90.9	0.0	124,825	12,089	9.7	4,721	2,273	1.9	48.1	5.0
18	JA津軽みらい尾上地区果樹産地協議会	632	143	385	16	1	12	292	385	22,505	0	0	22.6	4.2	0.3	46.2	58.5	0.0	22,878	2,138	9.3	1,079	482	1.7	44.7	1.9
19	JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会	1,524	599	974	134	35	42	638	973	101,815	3	61	39.3	13.8	3.6	41.9	104.6	20.3	102,460	11,220	11.0	2,713	1,390	1.8	51.2	2.8
20	つがる市果樹産地構造改革協議会	3,164	1,428	378	36	21	272	1,503	378	42,172	2	x	45.1	9.5	5.6	47.5	111.6	x	42,217	1,981	4.7	6,199	3,339	2.0	53.9	8.6
21	鰺ヶ沢町果樹産地協議会	780	254	193	37	15	25	315	191	24,410	2	x	32.6	19.2	7.8	40.4	127.8	x	24,824	964	3.9	1,401	656	1.8	46.8	3.2
22	五所川原市果樹産地構造改革協議	2,412	973	764	49	12	114	860	764	63,795	1	x	40.3	6.4	1.6	35.7	83.5	x	64,142	2,088	3.3	4,535	2,329	1.9	51.4	4.7
23	鶴田町果樹産地協議会	1,201	652	989	79	13	30	530	988	93,300	6	45	54.3	8.0	1.3	44.1	94.4	7.5	93,728	2,024	2.2	2,508	1,331	2.1	53.1	2.5
24	板柳町果樹産地推進協議会	1,527	766	1,340	105	18	48	596	1,340	125,334	3	25	50.2	7.8	1.3	39.0	93.5	8.3	125,651	3,443	2.7	3,103	1,616	2.0	52.1	3.1
25	三戸町果樹産地構造改革協議会	727	426	249	52	21	80	316	249	30,677	8	50	58.6	20.9	8.4	43.5	123.2	6.3	31,451	1,649	5.2	1,779	983	2.4	55.3	11.0
26	南部町果樹産地構造改革協議会	1,456	566	1,005	127	41	54	598	1,005	93,021	9	296	38.9	12.6	4.1	41.1	92.6	32.9	98,546	8,354	8.5	2,804	1,332	1.9	47.5	3.7
27	八戸市果樹産地協議会	1,876	438	279	21	7	43	959	279	18,240	1	x	23.3	7.5	2.5	51.1	65.4	x	20,137	2,265	11.2	3,308	1,383	1.8	41.8	2.3
28	青森市果樹産地協議会	2,613	734	954	104	25	78	1,034	951	94,188	12	85	28.1	10.9	2.6	39.6	99.0	7.1	95,630	11,123	11.6	4,679	1,994	1.8	42.6	3.0
29	JA津軽みらい常盤地区果樹産地協議会	439	116	82	x	x	39	158	82	x	0	0	26.4	x	x	36.0	x	0.0	4,862	389	8.0	726	321	1.7	44.2	8.9
30	七戸町果樹産地協議会	1,219	377	17	2	1	96	469	17	1,259	0	0	30.9	11.8	5.9	38.5	74.1	0.0	1,496	8	0.5	1,989	884	1.6	44.4	7.9
31	十和田市果樹産地協議会	2,709	872	38	2	1	213	1,228	38	2,021	0	0	32.2	5.3	2.6	45.3	53.2	0.0	2,763	27	1.0	4,984	2,321	1.8	46.6	7.9
32	五戸町果樹産地構造改革推議会	1,475	449	335	16	4	126	668	332	19,349	11	93	30.4	4.8	1.2	45.3	58.3	8.5	21,147	2,727	12.9	2,562	1,038	1.7	40.5	8.5
33	むつ市果樹産地協議会	344	66	2	x	x	29	80	2	x	0	0	19.2	x	x	23.3	x	0.0	201	14	7.0	537	183	1.6	34.1	8.4
34	田子町果樹産地協議会	679	293	39	5	2	65	298	39	2,988	0	0	43.2	12.8	5.1	43.9	76.6	0.0	4,104	245	6.0	1,263	612	1.9	48.5	9.6
35	岩手中央果樹振興協議会	4,283	1,010	1,204	x	x	115	2,144	1,200	x	24	x	23.6	x	x	50.1	x	x	79,034	3,871	4.9	7,623	3,150	1.8	41.3	2.7
36	新いわて果樹振興協議会	7,447	1,967	262	x	x	527	3,437	257	x	7	x	26.4	x	x	46.2	x	x	16,395	1,021	6.2	12,577	5,345	1.7	42.5	7.1
37	花巻市農業振興対策本部園芸振興部会	5,363	979	702	32	13	127	2,637	699	42,949	11	126	18.3	4.6	1.9	49.2	61.4	11.5	44,561	3,290	7.4	7,981	2,728	1.5	34.2	2.4
38	北上地方農林業振興協議会	3,304	492	179	5	2	86	1,755	179	7,777	2	x	14.9	2.8	1.1	53.1	43.4	x	8,467	443	5.2	4,725	1,488	1.4	31.5	2.6
39	江刺果樹産地協議会	3,381	571	162	x	x	64	1,606	161	x	3	x	16.9	x	x	47.5	x	x	17,031	862	5.1	5,243	1,699	1.6	32.4	1.9
40	岩手ふるさと果樹振興協議会	7,029	1,210	212	x	x	237	3,618	212	x	1	x	17.2	x	x	51.5	x	x	10,673	1,459	13.7	11,351	3,970	1.6	35.0	3.4
41	一関地方果樹振興協議会	4,806	740	124	x	x	90	2,457	123	x	4	x	15.4	x	x	51.1	x	x	12,759	844	6.6	7,500	2,756	1.6	36.7	1.9
42	いわい東果樹産地振興協議会	5,375	800	221	x	x	110	2,493	220	x	1	x	14.9	x	x	46.4	x	x	13,143	3,243	24.7	8,479	2,592	1.6	30.6	2.0
43	北いわて果樹産地協議会	4,374	1,383	482	31	11	300	1,832	481	27,497	11	x	31.6	6.4	2.3	41.9	57.2	x	29,928	2,278	7.6	7,861	3,385	1.8	43.1	6.9
44	陸前高田市果樹産地協議会	776	67	142	1	1	8	378	141	5,908	5	38	8.6	0.7	0.7	48.7	41.9	7.6	6,732	721	10.7	1,175	308	1.5	26.2	1.0
45	久慈地方果樹産地協議会	2,076	370	39	x	x	106	866	39	x	0	0	17.8	x	x	41.7	x	0.0	4,132	416	10.1	3,326	1,233	1.6	37.1	5.1
46	遠野地域果樹産地協議会	2,548	490	65	3	0	70	1,222	64	3,298	1	x	19.2	4.6	0.0	48.0	51.5	x	5,483	351	6.4	4,221	1,443	1.7	34.2	2.7
47	宮古地方果樹産地協議会	2,007	394	122	7	3	62	811	122	6,329	2	x	19.6	5.7	2.5	40.4	51.9	x	7,966	449	5.6	3,557	1,288	1.8	36.2	3.1
48	仙南地域園芸振興調整会議	8,250	964	449	x	x	309	3,907	445	x	9	x	11.7	x	x	47.4	x	x	33,953	7,153	21.1	10,784	3,537	1.3	32.8	3.7
49	仙台地方農業振興推進会議園芸特産部会	10,635	1,843	318	x	x	433	5,573	312	x	9	x	17.3	x	x	52.4	x	x	17,172	2,018	11.8	15,675	6,663	1.5	42.5	4.1
50	大崎管内農政主管課長等会議	9,139	2,084	136	5	2	519	4,995	126	5,525	16	x	22.8	3.7	1.5	54.7	43.8	x	6,970	507	7.3	12,974	5,767	1.4	44.5	5.7
51	栗原地域園芸特産振興推進担当者会議	6,849	1,085	73	2	2	223	3,467	72	3,158	3	64	15.8	2.7	2.7	50.6	43.9	21.3	4,059	485	11.9	11,176	4,403	1.6	39.4	3.3
52	登米地域園芸特産担当者会議	7,183	1,418	53	2	1	358	3,679	51	3,495	4	111	19.7	3.8	1.9	51.2	68.5	27.8	4,672	390	8.3	10,059	4,126	1.4	41.0	5.0
53	石巻地域園芸担当者会議	5,290	973	35	x	x	277	2,496	33	x	7	x	18.4	x	x	47.2	x	x	1,550	190	12.3	7,369	3,185	1.4	43.2	5.2
54	気仙沼・本吉地域園芸特産担当者会議	2,038	210	43	1	0	54	1,064	42	1,390	2	x	10.3	2.3	0.0	52.2	33.1	x	2,334	494	21.2	2,832	880	1.4	31.1	2.6
55	白石市担い手育成総合支援協議会	1,523	162	57	1	0	44	690	57	2,015	1	x	10.6	1.8	0.0	45.3	35.4	x	2,637	926	35.1	1,803	555	1.2	30.8	2.9
56	鹿角地域果樹産地協議会	2,328	391	402	12	6	60	1,198	402	23,819	0	0	16.8	3.0	1.5	51.5	59.3	0.0	25,589	4,437	17.3	3,567	1,357	1.5	38.0	2.6
57	JAあきた北果樹産地協議会	2,690	446	107	10	1	98	1,407	107	8,297	0	0	16.6	9.3	0.9	52.3	77.5	0.0	8,777	674	7.7	4,397	1,512	1.6	34.4	3.6
58	三種町果樹産地協議会	1,661	442	41	1	0	91	665	41	2,601	0	0	26.6	2.4	0.0	40.0	63.4	0.0	2,826	210	7.4	2,664	1,134	1.6	42.6	5.5
59	JA秋田みなみ果樹産地構造改革計画協議会	1,037	340	112	x	x	72	414	112	x	0	0	32.8	x	x	39.9	x	0.0	9,664	264	2.7	1,824	891	1.8	48.8	6.9
60	JAあきた湖東果樹産地構造改革協議会	2,057	337	35	x	x	33	945	35	x	0	0	16.4	x	x	45.9	x	0.0	2,217	159	7.2	2,800	998	1.4	35.6	1.6

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
61	秋田市果樹産地協議会	3,495	499	53	2	0	41	1,658	53	3,357	0	0	14.3	3.8	0.0	47.4	63.3	0.0	4,002	361	9.0	5,466	1,867	1.6	34.2	1.2
62	由利地域果樹産地構造改革協議会	4,399	886	94	3	0	89	2,204	94	5,738	0	0	20.1	3.2	0.0	50.1	61.0	0.0	6,362	254	4.0	6,593	2,486	1.5	37.7	2.0
63	大仙市果樹産地協議会	6,333	1,252	34	2	0	129	3,448	34	2,193	0	0	19.8	5.9	0.0	54.4	64.5	0.0	2,392	415	17.3	9,460	3,756	1.5	39.7	2.0
64	美郷町果樹産地協議会	1,749	373	61	0	0	39	1,020	61	3,309	0	0	21.3	0.0	0.0	58.3	54.2	0.0	3,425	877	25.6	2,448	955	1.4	39.0	2.2
65	横手市果樹産地協議会	7,176	1,792	1,403	58	5	249	3,539	1,403	90,973	3	23	25.0	4.1	0.4	49.3	64.8	7.7	88,348	10,862	12.3	10,747	4,486	1.5	41.7	3.5
66	湯沢雄勝地域果樹産地協議会	5,544	990	604	13	2	125	2,795	604	27,572	0	0	17.9	2.2	0.3	50.4	45.6	0.0	28,611	3,251	11.4	7,895	3,166	1.4	40.1	2.3
67	村山果樹産地協議会	1,995	367	986	5	2	79	1,168	986	31,062	10	148	18.4	0.5	0.2	58.5	31.5	14.8	33,509	2,686	8.0	3,320	1,132	1.7	34.1	4.0
68	東根市果樹産地協議会	2,165	648	1,902	131	23	154	1,120	1,899	137,637	73	2,064	29.9	6.9	1.2	51.7	72.5	28.3	145,741	3,095	2.1	3,964	1,595	1.8	40.2	7.1
69	天童市果樹産地協議会	2,144	659	1,966	94	15	139	1,038	1,965	135,637	44	1,448	30.7	4.8	0.8	48.4	69.0	32.9	139,107	3,465	2.5	3,750	1,576	1.7	42.0	6.5
70	さがえ西村山果樹産地協議会	3,312	821	2,609	134	34	166	1,299	2,606	150,419	104	x	24.8	5.1	1.3	39.2	57.7	x	158,574	10,639	6.7	5,849	2,122	1.8	36.3	5.0
71	置賜果樹産地協議会	7,661	2,213	1,897	33	6	581	3,302	1,607	81,722	497	x	28.9	1.7	0.3	43.1	50.9	x	102,874	12,732	12.4	12,056	5,203	1.6	43.2	7.6
72	JAやまがた果樹産地構造改革協議	5,224	1,256	2,537	73	26	294	2,487	2,451	121,692	222	x	24.0	2.9	1.0	47.6	49.6	x	134,434	9,614	7.2	9,053	3,255	1.7	36.0	5.6
73	くしびき果樹産地構造改革推進協議	646	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
74	酒田市本楯地区果樹産地構造改革協議会	110	46	52	0	0	9	42	52	4,237	0	0	41.8	0.0	0.0	38.2	81.5	0.0	4,247	55	1.3	222	116	2.0	52.3	8.2
75	福島地域果樹産地協議会	5,646	1,382	2,251	184	39	275	2,076	2,249	181,471	78	659	24.5	8.2	1.7	36.8	80.7	8.4	202,042	16,618	8.2	10,029	3,807	1.8	38.0	4.9
76	伊達地域果樹産地協議会	4,899	1,195	2,888	108	23	229	1,850	2,886	174,375	37	x	24.4	3.7	0.8	37.8	60.4	x	180,327	9,996	5.5	8,081	2,990	1.6	37.0	4.7
77	JAみちのく安達果樹産地協議会	3,493	555	131	7	0	104	1,757	131	7,947	4	14	15.9	5.3	0.0	50.3	60.7	3.5	13,499	13,083	96.9	5,999	2,348	1.7	39.1	3.0
78	郡山市果樹産地協議会	5,746	1,111	219	1	0	167	2,738	217	9,189	5	24	19.3	0.5	0.0	47.7	42.3	4.8	14,000	3,656	26.1	8,504	3,289	1.5	38.7	2.9
79	JAすかがわ岩瀬果樹産地協議会	4,326	1,203	398	35	7	192	2,400	398	35,540	2	x	27.8	8.8	1.8	55.5	89.3	x	38,753	4,191	10.8	7,595	3,512	1.8	46.2	4.4
80	石川地方農業振興協議会	3,536	487	87	x	x	79	1,940	85	x	4	x	13.8	x	x	54.9	x	x	7,566	1,638	21.6	5,145	1,749	1.5	34.0	2.2
81	JAしらかわ果樹産地構造改革協議	2,361	378	96	9	2	109	1,358	95	6,710	2	x	16.0	9.4	2.1	57.5	70.6	x	6,989	1,124	16.1	3,021	1,094	1.3	36.2	4.6
82	会津みどり園芸産地協議会	3,612	796	472	20	3	162	1,681	467	24,007	11	x	22.0	4.2	0.6	46.5	51.4	x	26,020	1,122	4.3	5,797	2,051	1.6	35.4	4.5
83	JAそうま果樹産地協議会	4,825	714	187	13	1	177	2,442	184	11,842	4	x	14.8	7.0	0.5	50.6	64.4	x	14,141	2,243	15.9	6,696	2,348	1.4	35.1	3.7
84	双葉地域果樹産地協議会 ※原発事故の影響により活動停止中。	1,879	228	95	15	3	36	956	95	10,045	1	x	12.1	15.8	3.2	50.9	105.7	x	9,715	832	8.6	2,546	854	1.4	33.5	1.9
85	JAいわき市果樹産地協議会	5,260	448	200	1	0	38	2,551	199	6,222	3	30	8.5	0.5	0.0	48.5	31.3	10.0	7,423	844	11.4	7,285	2,249	1.4	30.9	0.7
86	JAあいづ果樹産地協議会	3,659	917	357	13	2	175	1,893	356	19,990	11	x	25.1	3.6	0.6	51.7	56.2	x	19,383	300	1.5	5,782	2,175	1.6	37.6	4.8
87	石岡市やさと果樹産地協議会	2,163	378	767	23	7	104	1,322	765	46,437	13	x	17.5	3.0	0.9	61.1	60.7	x	48,733	2,985	6.1	3,289	1,196	1.5	36.4	4.8
88	かすみがうら市千代田地区果樹産地協議会	810	160	470	59	25	39	281	470	49,526	1	x	19.8	12.6	5.3	34.7	105.4	x	53,682	2,807	5.2	1,139	429	1.4	37.7	4.8
89	JA茨城中央栗銘柄産地推進協議会	3,085	332	924	44	16	87	1,815	923	62,103	7	323	10.8	4.8	1.7	58.8	67.3	46.1	77,798	3,076	4.0	4,898	1,750	1.6	35.7	2.8
90	つくば市果樹産地協議会	3,878	429	213	4	1	107	1,817	209	7,808	6	132	11.1	1.9	0.5	46.9	37.4	22.0	10,479	451	4.3	5,382	1,663	1.4	30.9	2.8
91	塩野谷地区果樹梨産地構造改革計画策定推進協議会	2,170	456	62	8	0	163	1,012	59	4,267	5	x	21.0	12.9	0.0	46.6	72.3	x	4,772	169	3.5	3,583	1,501	1.7	41.9	7.5
92	那須地方なし産地構造改革協議会	6,461	2,041	256	24	5	853	3,498	250	16,069	12	x	31.6	9.4	2.0	54.1	64.3	x	20,972	845	4.0	12,015	5,741	1.9	47.8	13.2
93	那須南地域ナシ産地構造改革協議	3,026	401	149	17	3	159	1,380	147	10,402	4	x	13.3	11.4	2.0	45.6	70.8	x	14,609	1,654	11.3	4,562	1,476	1.5	32.4	5.3
94	鹿沼なし産地協議会	2,769	643	92	9	0	288	1,337	91	7,296	2	x	23.2	9.8	0.0	48.3	80.2	x	14,701	313	2.1	4,710	2,023	1.7	43.0	10.4
95	河宇地域梨生産振興協議会	6,014	1,466	384	55	7	446	2,603	375	34,869	25	x	24.4	14.3	1.8	43.3	93.0	x	38,954	2,400	6.2	9,533	4,195	1.6	44.0	7.4
96	芳賀地区果樹産地構造改革計画策定協議会	6,540	1,543	243	23	5	702	3,033	236	20,690	19	x	23.6	9.5	2.1	46.4	87.7	x	25,129	1,227	4.9	10,945	4,581	1.7	41.9	10.7
97	小山地域ナシ産地構造改革協議会	4,386	1,219	242	2	1	445	1,921	241	12,690	8	x	27.8	0.8	0.4	43.8	52.7	x	17,152	348	2.0	8,032	3,700	1.8	46.1	10.1
98	岩舟町ナシ産地構造改革協議会	703	138	111	1	0	46	334	107	5,530	44	2,234	19.6	0.9	0.0	47.5	51.7	50.8	8,142	166	2.0	1,081	430	1.5	39.8	6.5
99	佐野果樹産地構造改革推進協議会	1,869	281	111	2	0	91	956	111	5,336	1	x	15.0	1.8	0.0	51.2	48.1	x	6,357	277	4.4	2,946	1,024	1.6	34.8	4.9
100	JA前橋市果樹産地協議会	4,803	1,112	267	0	0	533	2,364	264	8,832	6	36	23.2	0.0	0.0	49.2	33.5	6.0	25,246	1,086	4.3	8,354	3,010	1.7	36.0	11.1
101	榛東村果樹産地協議会	350	79	65	2	1	27	145	65	3,503	0	0	22.6	3.1	1.5	41.4	53.9	0.0	4,003	30	0.7	613	217	1.8	35.4	7.7
102	渋川市広域果樹産地協議会	1,686	443	213	1	1	174	756	213	8,396	5	73	26.3	0.5	0.5	44.8	39.4	14.6	10,378	632	6.1	3,081	1,154	1.8	37.5	10.3
103	高崎市はるな地区果樹産地協議会(変更前:JAはぐくみ久留馬選果場梨部産地協議会(棒名町久留馬地	798	186	461	34	9	65	274	461	38,273	1	x	23.3	7.4	2.0	34.3	83.0	x	39,944	781	2.0	1,376	501	1.7	36.4	8.1
104	碓氷安中果樹産地協議会	1,154	165	161	2	0	53	321	161	7,211	0	0	14.3	1.2	0.0	27.8	44.8	0.0	12,338	1,463	11.9	1,772	445	1.5	25.1	4.6
105	下仁田町担い手育成総合支援協議	217	67	14	0	0	33	52	14	440	0	0	30.9	0.0	0.0	24.0	31.4	0.0	485	60	12.4	423	152	1.9	35.9	15.2
106	富岡市担い手育成総合支援協議会	1,111	378	88	1	0	167	440	87	1,964	3	31	34.0	1.1	0.0	39.6	22.6	10.3	3,964	655	16.5	2,202	866	2.0	39.3	15.0
107	甘楽町担い手育成総合支援協議会	419	156	107	1	0	65	187	107	3,261	2	x	37.2	0.9	0.0	44.6	30.5	x	3,584	340	9.5	832	337	2.0	40.5	15.5
108	南牧村担い手育成総合支援協議会	41	5	5	0	0	8	3	3	57	2	x	12.2	0.0	0.0	7.3	19.0	x	119	0	0.0	73	9	1.8	12.3	19.5
109	吉岡町果樹産地協議会	364	61	43	0	0	31	179	42	1,017	1	x	16.8	0.0	0.0	49.2	24.2	x	1,457	20	1.4	652	250	1.8	38.3	8.5
110	高崎市みさと梅産地協議会(変更前:JAはぐくみみさと梅産地協議会)(高崎市箕郷町)	2,093	371	753	x	x	118	765	753	x	2	x	17.7	x	x	36.6	x	x	62,109	1,573	2.5	3,483	1,187	1.7	34.1	5.6
111	沼田市りんご組合産地協議会	853	234	184	x	x	76	259	182	x	13	x	27.4	x	x	30.4	x	x	12,737	529	4.2	1,466	564	1.7	38.5	8.9
112	明和町ナシ産地構造改革協議会	453	78	46	0	0	21	147	46	1,639	1	x	17.2	0.0	0.0	32.5	35.6	x	1,727	27	1.6	716	263	1.6	36.7	4.6
113	高山村銀河浪漫フルーツ協議会	247	48	28	0	0	18	84	28	729	3	25	19.4	0.0	0.0	34.0	26.0	8.3	907	10	1.1	359	115	1.5	32.0	7.3
114	みなかみ町果樹産地協議会	854	138	145	9	3	33	312	144	10,314	4	30	16.2	6.2	2.1	36.5	71.6	7.5	12,000	975	8.1	1,278	409	1.5	32.0	3.9
115	白沢りんご研究会産地協議会	157	81	23	1	0	45	46	23	1,806	0	0	51.6	4.3	0.0	29.3	78.5	0.0	1,913	0	0.0	366	188	2.3	51.4	28.7
116	利根町果樹産地協議会	267	151	27	x	x	104	86	27	x	3	x	56.6	x	x	32.2	x	x	2,170	0	0.0	599	330	2.2	55.1	39.0
117	上尾・伊奈果樹産地協議会	652	110	226	0	0	21	342	226	8,623	4	12	16.9	0.0	0.0	52.5	38.2	3.0	10,804	410	3.8	1,160	384	1.8	33.1	3.2
118	入間地域産地協議会	6,996	1,604	722	4	1	475	3,161	719	24,666	17	x	22.9	0.6	0.1	45.2	34.3	x	104,186	1,394	1.3	11,425	4,960	1.6	43.4	6.8
119	東松山市梨産地協議会	708	59	85	1	0	10	313	85	3,805	1	x	8.3	1.2	0.0	44.2	44.8	x	4,440	143	3.2	949	237	1.3	25.0	1.4
120	川島いちじく栽培組合	1,026	124	27	0	0	34	498	26	365	2	x	12.1	0.0	0.0	48.5	14.0	x	378	40	10.6	1,372	389	1.3	28.4	3.3
121	ちちぶ地域果樹産地協議会	898	145	205	1	1	58	408	202	6,546	11	x	16.1	0.5	0.5	45.4	32.4	x	10,759	369	3.4	1,511	447	1.7	29.6	6.5
122	児玉郡市果樹産地協議会	2,650	776	263	0	0	336	907	260	10,384	5	x	29.3	0.0	0.0	34.2	39.9	x	12,628	334	2.6	4,648	1,896	1.8	40.8	12.7
123	北埼玉農業振興連絡協議会	6,902	984	184	x	x	256	3,040	182	x	4	x	14.3	x	x	44.0	x	x	6,188	131	2.1	9,481	2,946	1.4	31.1	3.7

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
124	春日部市果樹産地協議会	1,568	196	40	1	1	20	817	40	1,803	0	0	12.5	2.5	2.5	52.1	45.1	0.0	1,899	26	1.4	2,245	816	1.4	36.3	1.3
125	南彩地域果樹産地協議会	4,385	722	476	x	x	98	2,109	474	x	9	x	16.5	x	x	48.1	x	x	21,289	780	3.7	6,911	2,539	1.6	36.7	2.2
126	房州びわ産地構造改革計画策定協議会	3,682	1,039	547	2	1	340	1,149	539	17,755	58	x	28.2	0.4	0.2	31.2	32.9	x	21,121	1,311	6.2	6,296	2,217	1.7	35.2	9.2
127	四街道地区果樹産地協議会	341	55	35	2	0	18	160	35	2,458	1	x	16.1	5.7	0.0	46.9	70.2	x	2,638	70	2.7	540	193	1.6	35.7	5.3
128	白井市梨産地協議会	535	260	254	43	3	50	231	254	30,157	1	x	48.6	16.9	1.2	43.2	118.7	x	31,419	614	2.0	1,154	626	2.2	54.2	9.3
129	市川市梨産地協議会	391	212	260	29	7	65	201	259	28,117	8	66	54.2	11.2	2.7	51.4	108.6	8.3	28,303	67	0.2	997	593	2.5	59.5	16.6
130	JAあつぎ樹園地対策協議会	837	123	134	0	0	38	439	134	3,173	5	34	14.7	0.0	0.0	52.4	23.7	6.8	5,169	61	1.2	1,371	469	1.6	34.2	4.5
131	湘南農協果樹産地協議会	1,495	352	275	2	0	127	751	274	10,320	11	291	23.5	0.7	0.0	50.2	37.7	26.5	12,433	1,272	10.2	2,550	939	1.7	36.8	8.5
132	JAさがみ樹園地対策協議会	1,705	594	391	6	1	198	824	386	13,400	19	x	34.8	1.5	0.3	48.3	34.7	x	21,606	151	0.7	3,583	1,704	2.1	47.6	11.6
133	JAいせはら樹園地対策協議会	739	217	275	1	0	71	387	275	11,851	0	0	29.4	0.4	0.0	52.4	43.1	0.0	13,138	383	2.9	1,346	533	1.8	39.6	9.6
134	秦野市農協果樹産地協議会	833	169	275	1	0	73	394	274	8,075	4	92	20.3	0.4	0.0	47.3	29.5	23.0	13,803	465	3.4	1,466	558	1.8	38.1	8.8
135	小田原市みかん産地構造改革協議	1,352	281	956	24	4	53	627	956	58,800	17	329	20.8	2.5	0.4	46.4	61.5	19.4	65,077	10,339	15.9	2,249	773	1.7	34.4	3.9
136	かながわ西湘農業協同組合	1,909	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
137	フルーツ山梨農業協同組合果樹産地構造改革計画産地協議会	4,423	1,557	4,335	27	6	190	1,358	4,328	267,474	479	11,088	35.2	0.6	0.1	30.7	61.8	23.1	281,999	13,244	4.7	8,108	3,173	1.8	39.1	4.3
138	JAふえふき果樹産地協議会	4,440	1,584	4,157	20	2	242	1,359	4,152	265,688	249	x	35.7	0.5	0.0	30.6	64.0	x	278,621	8,047	2.9	8,361	3,261	1.9	39.0	5.5
139	JAこま野果樹産地協議会	2,677	521	2,305	12	5	77	913	2,303	129,882	127	1,930	19.5	0.5	0.2	34.1	56.4	15.2	140,074	8,125	5.8	4,296	1,342	1.6	31.2	2.9
140	西八代果樹産地協議会	259	36	160	0	0	3	105	160	6,086	2	x	13.9	0.0	0.0	40.5	38.0	x	6,920	461	6.7	399	89	1.5	22.3	1.2
141	JA梨北果樹産地協議会	4,781	580	845	7	0	92	1,759	839	37,458	19	612	12.1	0.8	0.0	36.8	44.6	32.2	43,552	4,074	9.4	6,793	1,727	1.4	25.4	1.9
142	山梨東部地区果樹産地強化推進協議会	1,242	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
143	南巨摩果樹産地協議会	561	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
144	富士河口湖町果樹産地協議会	111	55	4	0	0	38	52	3	66	1	x	49.5	0.0	0.0	46.8	22.0	x	108	0	0.0	229	116	2.1	50.7	34.2
145	JA甲府市果樹産地協議会	1,290	326	870	1	1	37	454	869	43,011	7	94	25.3	0.1	0.1	35.2	49.5	13.4	45,167	1,801	4.0	2,299	830	1.8	36.1	2.9
146	佐久地域果樹産地協議会	8,315	1,256	1,021	18	9	410	3,327	1,020	39,533	14	98	15.1	1.8	0.9	40.0	38.8	7.0	44,134	3,428	7.8	12,602	4,157	1.5	33.0	4.9
147	上小果樹産地協議会	4,754	646	1,307	12	4	178	1,939	1,304	44,621	44	841	13.6	0.9	0.3	40.8	34.2	19.1	48,722	2,566	5.3	6,592	1,776	1.4	26.9	3.7
148	信州諏訪果樹産地構造改革協議会	3,163	577	129	3	0	234	1,377	128	4,424	2	x	18.2	2.3	0.0	43.5	34.6	x	5,082	333	6.6	5,335	1,658	1.7	31.1	7.4
149	上伊那果樹産地構造改革協議会	5,510	601	1,126	12	4	250	2,508	1,119	43,435	18	x	10.9	1.1	0.4	45.5	38.8	x	48,946	2,011	4.1	7,186	2,046	1.3	28.5	4.5
150	みなみ信州農業協同組合果樹産地構造改革協議会	6,289	1,325	4,063	65	11	330	2,942	4,060	200,927	53	x	21.1	1.6	0.3	46.8	49.5	x	197,983	9,844	5.0	11,244	3,740	1.8	33.3	5.2
151	下伊那園協果樹産地構造改革協議	6,289	1,325	4,063	65	11	330	2,942	4,060	200,927	53	x	21.1	1.6	0.3	46.8	49.5	x	197,983	9,844	5.0	11,244	3,740	1.8	33.3	5.2
152	松本ハイランド農業協同組合果樹産地協議会	5,489	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
153	JA塩尻市果樹産地構造改革協議会	1,228	184	438	5	1	54	561	436	20,799	20	412	15.0	1.1	0.2	45.7	47.7	20.6	21,739	667	3.1	1,846	545	1.5	29.5	4.4
154	JA洗馬果樹産地構造改革協議会	475	182	113	3	0	113	144	112	6,703	7	82	38.3	2.7	0.0	30.3	59.8	11.7	6,788	155	2.3	934	381	2.0	40.8	23.8
155	あづみ農業協同組合果樹産地構造改革協議会	4,407	642	888	62	12	159	2,177	887	67,008	5	8	14.6	7.0	1.4	49.4	75.5	1.6	69,250	1,387	2.0	6,171	1,956	1.4	31.7	3.6
156	大北地域果樹産地構造改革協議会	2,881	278	262	x	x	55	1,433	262	x	1	x	9.6	x	x	49.7	x	x	13,100	476	3.6	3,796	1,046	1.3	27.6	1.9
157	グリーン長野農業協同組合果樹産地構造改革協議会	3,558	540	2,480	x	x	40	1,331	2,479	x	9	x	15.2	x	x	37.4	x	x	95,315	5,175	5.4	6,178	1,770	1.7	28.7	1.1
158	共和果樹産地構造改革協議会	391	59	345	1	0	3	149	345	10,987	2	x	15.1	0.3	0.0	38.1	31.8	x	11,714	536	4.6	695	208	1.8	29.9	0.8
159	JAちくま果樹産地構造改革協議会	1,776	231	1,032	6	2	32	814	1,032	35,259	6	x	13.0	0.6	0.2	45.8	34.2	x	38,373	2,652	6.9	2,718	757	1.5	27.9	1.8
160	須高農業協同組合果樹産地構造改革協議会	2,691	726	2,373	55	7	146	1,081	2,372	160,588	113	2,710	27.0	2.3	0.3	40.2	67.7	24.0	168,116	4,219	2.5	4,773	1,774	1.8	37.2	5.4
161	ながの農業協同組合果樹産地構造改革協議会	4,519	751	2,508	x	x	109	1,594	2,503	x	34	x	16.6	x	x	35.3	x	x	136,987	14,237	10.4	7,792	2,321	1.7	29.8	2.4
162	JA中野市果樹産地構造改革協議会	1,848	746	1,349	32	5	322	640	1,340	93,864	263	x	40.4	2.4	0.4	34.6	70.0	x	99,193	4,095	4.1	3,874	1,731	2.1	44.7	17.4
163	山ノ内町果樹産地協議会	675	323	545	39	1	83	259	544	49,637	66	2,108	47.9	7.2	0.2	38.4	91.2	31.9	53,389	2,188	4.1	1,491	741	2.2	49.7	12.3
164	JA北信州みゆき果樹産地構造改革協議会	2,320	438	361	9	3	127	800	361	17,061	2	x	18.9	2.5	0.8	34.5	47.3	x	17,914	930	5.2	3,742	1,160	1.6	31.0	5.5
165	JA伊豆太陽果樹産地協議会	881	256	442	17	3	57	258	434	24,873	39	x	29.1	3.8	0.7	29.3	57.3	x	29,325	4,946	16.9	1,522	500	1.7	32.9	6.5
166	南駿農業協同組合西浦柑橘出荷部会産地構造改革協議会	1,176	379	459	49	6	79	478	458	45,797	11	118	32.2	10.7	1.3	40.6	100.0	10.7	100,014	3,669	3.7	2,158	900	1.8	41.7	6.7
167	南駿農業協同組合四ツ溝柿部会産地構造改革協議会	179	44	42	0	0	15	110	42	1,413	1	x	24.6	0.0	0.0	61.5	33.6	x	1,563	79	5.1	324	119	1.8	36.7	8.4
168	伊豆の国農業協同組合戸田柑橘部会産地構造改革協議会	1,176	379	459	49	6	79	478	458	45,797	11	118	32.2	10.7	1.3	40.6	100.0	10.7	100,014	3,669	3.7	2,158	900	1.8	41.7	6.7
169	あいら伊豆農業協同組合柑橘委員会産地構造改革協議会	433	85	271	3	0	11	159	271	13,384	1	x	19.6	1.1	0.0	36.7	49.4	x	21,920	2,730	12.5	704	241	1.6	34.2	2.5
170	富士市農業協同組合柑橘部会産地構造改革協議会	1,288	349	331	1	0	102	679	329	9,825	7	116	27.1	0.3	0.0	52.7	29.9	16.6	93,846	3,918	4.2	2,284	941	1.8	41.2	7.9
171	JAしみず柑橘産地構造改革協議会	1,840	594	1,182	39	6	114	535	1,178	77,811	24	266	32.3	3.3	0.5	29.1	66.1	11.1	133,889	39,513	29.5	3,525	1,451	1.9	41.2	6.2
172	静岡市農業協同組合柑橘委員会産地構造改革協議会	2,636	829	744	5	4	144	788	730	26,340	45	709	31.4	0.7	0.5	29.9	36.1	15.8	140,423	16,268	11.6	4,930	1,923	1.9	39.0	5.5
173	おおいがわ柑橘産地協議会	5,287	1,196	990	3	0	361	2,178	977	28,312	42	380	22.6	0.3	0.0	41.2	29.0	9.0	295,856	16,649	5.6	9,091	3,145	1.7	34.6	6.8
174	JAハイナン柑橘産地協議会	1,919	787	238	0	0	313	713	237	7,262	11	152	41.0	0.0	0.0	37.2	30.6	13.8	238,911	3,821	1.6	4,078	1,880	2.1	46.1	16.3
175	西部共計いちじく産地協議会	8,325	2,485	498	8	4	1,245	3,041	480	15,601	31	249	29.8	1.6	0.8	36.5	32.5	8.0	501,200	13,360	2.7	15,655	5,899	1.9	37.7	15.0
176	遠州夢咲柑橘産地協議会	3,978	1,162	171	3	0	542	1,488	164	4,303	16	141	29.2	1.8	0.0	37.4	26.2	8.8	309,090	9,044	2.9	7,320	2,736	1.8	37.4	13.6
177	三ヶ日町柑橘産地協議会	1,203	503	1,174	325	155	278	504	1,174	176,249	22	268	41.8	27.7	13.2	41.9	150.1	12.2	179,310	2,440	1.4	2,619	1,213	2.2	46.3	23.1
178	とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会(柑橘)	8,025	2,293	3,104	439	191	964	3,273	3,084	302,178	160	3,267	28.6	14.1	6.2	40.8	98.0	20.4	376,955	11,031	2.9	15,594	5,787	1.9	37.1	12.0

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
179	とぴあ浜松農業協同組合果樹産地協議会(柿)	7,477	2,110	2,899	425	184	864	3,129	2,880	288,132	155	3,235	28.2	14.7	6.3	41.8	100.0	20.9	362,256	10,216	2.8	14,524	5,347	1.9	36.8	11.6
180	とぴあ浜松農業協同組合果樹産地協議会(梨)	7,477	2,110	2,899	425	184	864	3,129	2,880	288,132	155	3,235	28.2	14.7	6.3	41.8	100.0	20.9	362,256	10,216	2.8	14,524	5,347	1.9	36.8	11.6
181	丸浜柑橘農業協同組合連合会果樹産地協議会	9,386	2,654	3,059	429	187	1,137	3,862	3,033	294,231	164	3,273	28.3	14.0	6.1	41.1	97.0	20.0	431,542	10,794	2.5	18,261	6,739	1.9	36.9	12.1
182	都田手作り産地協議会	388	111	321	27	10	28	141	317	24,808	29	857	28.6	8.4	3.1	36.3	78.3	29.6	29,367	1,121	3.8	760	264	2.0	34.7	7.2
183	越後獅子果樹産地協議会	539	120	187	x	x	19	299	185	x	26	x	22.3	x	x	55.5	x	x	8,722	104	1.2	1,014	420	1.9	41.4	3.5
184	越王おけさ柿振興協議会	2,204	610	261	10	1	150	1,128	259	14,411	24	1,217	27.7	3.8	0.4	51.2	55.6	50.7	15,927	161	1.0	4,323	1,988	2.0	46.0	6.8
185	JAにいがた南蒲果樹産地協議会	3,934	694	449	8	2	145	2,091	446	30,314	25	789	17.6	1.8	0.4	53.2	68.0	31.6	31,900	576	1.8	6,192	2,325	1.6	37.5	3.7
186	羽茂果樹産地協議会	595	125	352	6	0	4	228	351	23,907	2	x	21.0	1.7	0.0	38.3	68.1	x	24,886	1,317	5.3	1,105	360	1.9	32.6	0.7
187	JA佐渡果樹振興協議会(おけさ柿、振興果樹)	4,737	687	577	x	x	56	1,696	575	x	9	x	14.5	x	x	35.8	x	x	24,134	1,510	6.3	7,476	2,150	1.6	28.8	1.2
188	越後中央果樹広域協議会	4,085	1,054	337	10	1	227	2,184	335	16,415	27	x	25.8	3.0	0.3	53.5	49.0	x	18,554	486	2.6	7,665	3,328	1.9	43.4	5.6
189	朝日村果樹産地協議会	801	88	56	x	x	22	359	56	x	1	x	11.0	x	x	44.8	x	x	1,962	132	6.7	1,170	334	1.5	28.5	2.7
190	JA北越後果樹産地協議会	3,605	760	249	4	1	222	1,791	240	9,509	25	324	21.1	1.6	0.4	49.7	39.6	13.0	10,835	316	2.9	5,633	2,202	1.6	39.1	6.2
191	豊栄地区果樹産地協議会	1,309	397	75	1	0	112	547	75	2,698	3	x	30.3	1.3	0.0	41.8	36.0	x	2,904	113	3.9	2,590	1,170	2.0	45.2	8.6
192	呉羽梨産地活性化推進委員会(呉羽梨産地)	6,873	375	366	9	2	118	3,512	356	18,553	16	61	5.5	2.5	0.5	51.1	52.1	3.8	21,222	851	4.0	5,843	1,524	0.9	26.1	1.7
193	富山干柿生産振興検討会(富山干柿出荷組合連合会)	2,003	149	218	5	1	52	1,084	217	13,050	10	20	7.4	2.3	0.5	54.1	60.1	2.0	13,393	2	0.0	2,653	699	1.3	26.3	2.6
194	加積りんご産地協議会(加積りんご組合)	886	78	102	0	0	26	455	101	5,487	7	111	8.8	0.0	0.0	51.4	54.3	15.9	5,940	187	3.1	1,221	371	1.4	30.4	2.9
195	下野方梨産地協議会(下野方梨組	886	78	102	0	0	26	455	101	5,487	7	111	8.8	0.0	0.0	51.4	54.3	15.9	5,940	187	3.1	1,221	371	1.4	30.4	2.9
196	みな穂もも産地協議会(みな穂もも振興会)	1,750	109	19	0	0	49	838	19	248	0	0	6.2	0.0	0.0	47.9	13.1	0.0	332	9	2.7	2,214	644	1.3	29.1	2.8
197	加賀地区果樹産地協議会(JA加賀:JA加賀ぶどう部会)	1,141	161	86	9	1	59	641	83	7,173	10	697	14.1	10.5	1.2	56.2	86.4	69.7	8,108	577	7.1	1,474	564	1.3	38.3	5.2
198	加賀地区果樹産地協議会(JA加賀:奥谷梨生産組合)	1,141	161	86	9	1	59	641	83	7,173	10	697	14.1	10.5	1.2	56.2	86.4	69.7	8,108	577	7.1	1,474	564	1.3	38.3	5.2
199	加賀地区果樹産地協議会(JA加賀:小塩辻梨生産組合)	1,141	161	86	9	1	59	641	83	7,173	10	697	14.1	10.5	1.2	56.2	86.4	69.7	8,108	577	7.1	1,474	564	1.3	38.3	5.2
200	加賀地区果樹産地協議会(JA加賀:大山梨生産組合)	1,141	161	86	9	1	59	641	83	7,173	10	697	14.1	10.5	1.2	56.2	86.4	69.7	8,108	577	7.1	1,474	564	1.3	38.3	5.2
201	白山市松任果樹産地協議会	1,317	164	37	1	0	82	622	36	2,330	3	30	12.5	2.7	0.0	47.2	64.7	10.0	1,993	0	0.0	1,828	603	1.4	33.0	6.2
202	金沢果樹振興協議会(金沢市ぶどう産地)	2,157	325	172	7	1	136	969	158	8,633	18	1,606	15.1	4.1	0.6	44.9	54.6	89.2	11,762	447	3.8	3,157	1,130	1.5	35.8	6.3
203	金沢果樹振興協議会(崎浦地区なし、もも産地)	2,157	325	172	7	1	136	969	158	8,633	18	1,606	15.1	4.1	0.6	44.9	54.6	89.2	11,762	447	3.8	3,157	1,130	1.5	35.8	6.3
204	かほく市果樹産地協議会(高松ぶどう生産組合)	443	52	86	2	0	13	172	42	1,762	48	2,450	11.7	2.3	0.0	38.8	42.0	51.0	4,915	750	15.3	583	214	1.3	36.7	2.9
205	かほく市果樹産地協議会(高松紋平柿生産組合)	443	52	86	2	0	13	172	42	1,762	48	2,450	11.7	2.3	0.0	38.8	42.0	51.0	4,915	750	15.3	583	214	1.3	36.7	2.9
206	JAはくい果樹産地振興協議会(JAはくいぶどう部会)	1,322	148	83	2	0	36	556	61	2,233	27	1,298	11.2	2.4	0.0	42.1	36.6	48.1	3,817	199	5.2	1,756	610	1.3	34.7	2.7
207	JAはくい果樹産地振興協議会(JAはくいいちじく部会)	1,322	148	83	2	0	36	556	61	2,233	27	1,298	11.2	2.4	0.0	42.1	36.6	48.1	3,817	199	5.2	1,756	610	1.3	34.7	2.7
208	福井ウメ振興協議会(福井うめ産地:若狭町、小浜市他)	4,880	273	518	19	5	50	2,491	504	25,833	26	x	5.6	3.7	1.0	51.0	51.3	x	29,611	1,606	5.4	5,965	1,359	1.2	22.8	1.0
209	花咲ふくい園芸組織協議会(JA花咲ふくい:坂井北部丘陵地(あわら市、坂井市))	3,566	259	229	0	0	83	2,142	221	7,480	19	173	7.3	0.0	0.0	60.1	33.8	9.1	7,663	295	3.8	4,074	1,035	1.1	25.4	2.3
210	岐阜市かき共販振興会	3,835	317	628	4	2	72	2,158	624	19,129	15	133	8.3	0.6	0.3	56.3	30.7	8.9	22,148	486	2.2	4,988	1,419	1.3	28.4	1.9
211	羽島市柿共同出荷組合	1,354	82	82	0	0	27	843	82	1,839	0	0	6.1	0.0	0.0	62.3	22.4	0.0	2,953	1	0.0	1,813	632	1.3	34.9	2.0
212	瑞穂市柿振興会	751	60	335	0	0	6	502	335	10,526	1	x	8.0	0.0	0.0	66.8	31.4	x	11,201	114	1.0	944	238	1.3	25.2	0.8
213	北方町園芸振興会	90	4	45	0	0	1	45	44	801	1	x	4.4	0.0	0.0	50.0	18.2	x	990	0	0.0	129	34	1.4	26.4	1.1
214	南濃町柿研究会	551	41	328	1	0	13	305	326	13,013	3	x	7.4	0.3	0.0	55.4	39.9	x	15,049	2,682	17.8	672	167	1.2	24.9	2.4
215	養老町果樹振興会	1,050	62	40	0	0	28	666	40	971	1	x	5.9	0.0	0.0	63.4	24.3	x	1,603	20	1.2	928	248	0.9	26.7	2.7
216	揖斐地域果樹産地協議会	2,418	167	546	8	1	45	1,341	544	19,170	2	x	6.9	1.5	0.2	55.5	35.2	x	35,141	721	2.1	2,996	713	1.2	23.8	1.9
217	山之上果実農業協同組合	914	89	238	4	0	22	427	238	10,468	1	x	9.7	1.7	0.0	46.7	44.0	x	12,012	592	4.9	1,258	309	1.4	24.6	2.4
218	東美濃'クリ地産地消(商)拡大'プロジェクトチーム	5,322	289	270	4	1	99	2,700	267	10,222	6	x	5.4	1.5	0.4	50.7	38.3	x	18,013	1,013	5.6	6,790	1,434	1.3	21.1	1.9
219	飛騨果実出荷組合(もも・りんご)	3,614	763	170	x	x	436	1,924	169	x	4	29	21.1	x	x	53.2	x	7.3	14,333	472	3.3	5,672	2,071	1.6	36.5	12.1
220	○糸柿振興会	1,231	149	733	10	6	46	663	733	33,668	1	x	12.1	1.4	0.8	53.9	45.9	x	35,011	311	0.9	1,831	605	1.5	33.0	3.7
221	あいち知多かんきつ推進協議会(美浜町、南知多町、常滑市、武豊町、阿久比町、知多市、東海市)	3,017	665	1,046	21	8	329	1,003	1,041	48,821	78	x	22.0	2.0	0.8	33.2	46.9	x	58,691	8,695	14.8	5,405	1,987	1.8	36.8	10.9
222	JAあいち中央梨産地振興協議会(安城市、知立市、刈谷市)	2,507	354	418	6	1	187	1,238	409	14,549	28	x	14.1	1.4	0.2	49.4	35.6	x	14,897	350	2.3	4,097	1,433	1.6	35.0	7.5
223	蒲郡かんきつ産地協議会(蒲郡市、豊川市)	3,176	1,027	1,145	31	6	603	1,554	1,119	61,057	229	6,506	32.3	2.7	0.5	48.9	54.6	28.4	68,730	2,006	2.9	6,358	2,884	2.0	45.4	19.0
224	JAあいち三河いちじく産地振興協議	2,546	269	276	15	4	155	1,506	271	14,878	25	638	10.6	5.4	1.4	59.2	54.9	25.5	17,990	1,619	9.0	3,928	1,226	1.5	31.2	6.1
225	JAあいち豊田いちじく産地振興協議	3,759	346	477	33	12	110	2,081	474	27,010	16	517	9.2	6.9	2.5	55.4	57.0	32.3	35,789	1,511	4.2	5,487	1,462	1.5	26.6	2.9

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
226	豊橋の柿産地協議会	6,391	2,540	1,500	47	15	1,601	2,888	1,454	81,702	140	3,008	39.7	3.1	1.0	45.2	56.2	21.5	86,070	2,764	3.2	13,747	6,769	2.2	49.2	25.1
227	幸田町かき産地協議会	519	95	134	12	3	62	278	132	9,945	11	385	18.3	9.0	2.2	53.6	75.3	35.0	11,631	1,351	11.6	813	296	1.6	36.4	11.9
228	祖父江ぎんなんブランド推進協議会	545	157	94	0	0	47	276	94	2,460	0	0	28.8	0.0	0.0	50.6	26.2	0.0	6,269	59	0.9	1,004	467	1.8	46.5	8.6
229	豊田市桃、梨、柿産地振興協議会	3,308	300	301	31	11	98	1,858	299	18,051	8	188	9.1	10.3	3.7	56.2	60.4	23.5	25,055	1,090	4.4	4,793	1,213	1.4	25.3	3.0
230	三河梨産地協議会	1,157	259	127	0	0	177	659	124	3,634	8	89	22.4	0.0	0.0	57.0	29.3	11.1	14,935	189	1.3	2,096	868	1.8	41.4	15.3
231	JA西三河いちじく産地振興協議会	1,157	259	127	0	0	177	659	124	3,634	8	89	22.4	0.0	0.0	57.0	29.3	11.1	14,935	189	1.3	2,096	868	1.8	41.4	15.3
232	JAあいち中央いちじく産地振興協議	3,278	613	518	6	1	368	1,503	506	16,282	43	x	18.7	1.2	0.2	45.9	32.2	x	17,068	351	2.1	5,688	2,128	1.7	37.4	11.2
233	JA尾張中央果樹産地協議会	1,016	71	247	1	0	20	565	247	8,207	2	x	7.0	0.4	0.0	55.6	33.2	x	10,493	872	8.3	1,525	412	1.5	27.0	2.0
234	三重南紀みかん産地再編構築委員会(熊野市、御浜町、紀宝町)	1,253	283	841	88	31	28	179	840	70,113	43	845	22.6	10.5	3.7	14.3	83.5	19.7	72,581	6,338	8.7	1,732	603	1.4	34.8	2.2
235	南勢産地協議会 (旧南勢町)	217	35	124	x	x	6	65	124	x	4	x	16.1	x	x	30.0	x	x	9,640	1,691	17.5	305	99	1.4	32.5	2.8
236	一志東部いちじく産地構造改革協議	4,110	382	255	2	1	78	2,112	253	6,383	8	133	9.3	0.8	0.4	51.4	25.2	16.6	22,730	923	4.1	5,433	1,384	1.3	25.5	1.9
237	伊賀地域ぶどう産地協議会	4,832	345	158	8	2	78	2,302	157	6,021	22	731	7.1	5.1	1.3	47.6	38.4	33.2	8,796	598	6.8	6,287	1,576	1.3	25.1	1.6
238	伊賀地域梨産地協議会	3,918	261	98	4	2	54	1,899	98	3,251	7	231	6.7	4.1	2.0	48.5	33.2	33.0	5,231	422	8.1	5,207	1,296	1.3	24.9	1.4
239	紀北地域果樹産地協議会	162	18	30	2	0	4	25	30	2,605	0	0	11.1	6.7	0.0	15.4	86.8	0.0	2,774	264	9.5	209	47	1.3	22.5	2.5
240	御浜柑橘産地協議会	1,253	283	841	88	31	28	179	840	70,113	43	845	22.6	10.5	3.7	14.3	83.5	19.7	72,581	6,338	8.7	1,732	603	1.4	34.8	2.2
241	紀南広域交流「うめの郷」協議会	1,253	283	841	88	31	28	179	840	70,113	43	845	22.6	10.5	3.7	14.3	83.5	19.7	72,581	6,338	8.7	1,732	603	1.4	34.8	2.2
242	JA東びわこ果樹産地協議会 12.6.12	1,079	80	36	0	0	29	507	31	1,037	7	82	7.4	0.0	0.0	47.0	33.5	11.7	1,069	0	0.0	1,420	386	1.3	27.2	2.7
243	あいとう梨生産出荷協議会	497	44	102	0	0	24	294	99	2,814	12	153	8.9	0.0	0.0	59.2	28.4	12.8	3,582	116	3.2	609	157	1.2	25.8	4.8
244	木之本町果樹産地協議会	19	1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	5.3	0.0	0.0	57.9	0.0	0.0	2	0	0.0	27	8	1.4	29.6	0.0
245	守山ブルーベリー産地協議会	1,152	103	59	0	0	46	598	55	1,424	8	57	8.9	0.0	0.0	51.9	25.9	7.1	1,764	5	0.3	1,527	497	1.3	32.5	4.0
246	伊吹ひらたね保存・向上協議会	224	6	19	0	0	0	92	19	417	0	0	2.7	0.0	0.0	41.1	21.9	0.0	588	143	24.3	255	44	1.1	17.3	0.0
247	マキノ果実生産販売協議会	376	18	15	0	0	6	175	15	493	1	x	4.8	0.0	0.0	46.5	32.9	x	554	107	19.3	416	117	1.1	28.1	1.6
248	今荘ぶどう生産販売協議会	2,924	168	53	0	0	65	1,158	50	882	14	145	5.7	0.0	0.0	39.6	17.6	10.4	1,740	56	3.2	3,517	1,027	1.2	29.2	2.2
249	竜王ぶどう生産振興協議会	666	48	47	0	0	19	351	41	1,607	8	176	7.2	0.0	0.0	52.7	39.2	22.0	2,079	15	0.7	790	231	1.2	29.2	2.9
250	与謝野町果樹振興協議会	427	52	0	0	0	9	148	0	0	0	0	12.2	0.0	0.0	34.7	0.0	0.0	10	0	0.0	443	119	1.0	26.9	2.1
251	久美浜町梨生産協議会	842	105	108	x	x	29	298	106	x	3	x	12.5	x	x	35.4	x	x	6,907	488	7.1	1,091	272	1.3	24.9	3.4
252	和泉市果樹産地構造改革協議会 (和泉市)	408	94	146	3	1	22	195	146	7,764	1	x	23.0	2.1	0.7	47.8	53.2	x	8,679	1,478	17.0	808	414	2.0	51.2	5.4
253	能勢ぐり振興会 (能勢町・豊能町・箕面市)	1,201	113	199	2	1	9	600	197	5,494	6	x	9.4	1.0	0.5	50.0	27.9	x	9,938	639	6.4	1,922	784	1.6	40.8	0.7
254	柏原市ぶどう産地協議会 (柏原市)	136	52	110	1	1	3	53	90	2,950	53	2,975	38.2	0.9	0.9	39.0	32.8	56.1	6,260	555	8.9	267	128	2.0	47.9	2.2
255	南河内果樹産地協議会 (羽曳野市・太子町・大阪狭山市)	2,242	328	589	x	x	74	1,136	424	x	228	x	14.6	x	x	50.7	x	x	28,128	3,445	12.2	3,708	1,468	1.7	39.6	3.3
256	岸和田市果樹産地協議会 (岸和田市)	573	153	243	2	0	25	282	240	10,207	6	66	26.7	0.8	0.0	49.2	42.5	11.0	10,702	2,714	25.4	1,034	423	1.8	40.9	4.4
257	川西市いちじく振興協議会　18.3.15 (川西市全域)	214	46	103	0	0	7	120	103	2,322	0	0	21.5	0.0	0.0	56.1	22.5	0.0	2,996	41	1.4	394	175	1.8	44.4	3.3
258	南あわじ市果樹産地協議会 (南あわじ市)	3,731	1,263	92	1	1	279	1,719	91	4,142	2	x	33.9	1.1	1.1	46.1	45.5	x	5,390	696	12.9	7,099	3,210	1.9	45.2	7.5
259	北摂栗振興協議会　17.9.21 (猪名川町、宝塚市北部、川西市北部)	1,129	144	211	4	1	20	531	206	6,497	8	23	12.8	1.9	0.5	47.0	31.5	2.9	7,676	192	2.5	1,697	698	1.5	41.1	1.8
260	丹波栗振興協議会 (篠山市)	3,271	276	216	1	0	23	1,357	214	3,627	2	x	8.4	0.5	0.0	41.5	16.9	x	7,755	652	8.4	4,742	1,235	1.4	26.0	0.7
261	三木市果樹産地構造改革協議会 (三木市)	2,380	188	108	1	0	31	1,071	108	4,385	3	25	7.9	0.9	0.0	45.0	40.6	8.3	4,571	655	14.3	2,568	829	1.1	32.3	1.3
262	小野市果樹振興連絡会 (小野市)	1,737	65	32	0	0	24	758	31	533	2	x	3.7	0.0	0.0	43.6	17.2	x	692	37	5.3	1,506	433	0.9	28.8	1.4
263	加西市果樹産地協議会 (加西市)	2,608	69	82	0	0	25	1,200	81	1,619	4	80	2.6	0.0	0.0	46.0	20.0	20.0	2,200	942	42.8	2,455	792	0.9	32.3	1.0
264	加東市果樹産地協議会 (加東市)	2,188	94	32	0	0	11	1,115	32	727	0	0	4.3	0.0	0.0	51.0	22.7	0.0	1,087	317	29.2	2,309	672	1.1	29.1	0.5
265	淡路市果樹産地協議会 (淡路市)	2,197	350	269	2	1	60	810	267	8,090	7	141	15.9	0.7	0.4	36.9	30.3	20.1	9,679	2,380	24.6	3,241	1,032	1.5	31.8	2.7
266	神戸西いちじく部会 (神戸市西区)	2,290	465	151	6	2	163	1,090	149	6,597	12	188	20.3	4.0	1.3	47.6	44.3	15.7	7,030	162	2.3	3,909	1,782	1.7	45.6	7.1
267	洲本市果樹産地協議会 (洲本市)	2,042	290	45	1	0	72	853	44	1,231	4	41	14.2	2.2	0.0	41.8	28.0	10.3	1,586	1,126	71.0	2,998	1,007	1.5	33.6	3.5
268	丹波市果樹産地協議会	4,183	269	254	2	1	60	1,712	250	4,248	8	31	6.4	0.8	0.4	40.9	17.0	3.9	6,875	323	4.7	4,857	1,202	1.2	24.7	1.4
269	但馬地域梨産地協議会 (豊岡市、美方郡、養父市)	7,541	569	273	1	0	129	3,120	263	6,647	24	x	7.5	0.4	0.0	41.4	25.3	x	9,109	1,360	14.9	10,246	2,590	1.4	25.3	1.7
270	明日香村果樹産地協議会 (明日香村)	313	37	76	1	1	7	144	75	2,973	5	98	11.8	1.3	1.3	46.0	39.6	19.6	2,339	590	25.2	419	124	1.3	29.6	2.2
271	五條市吉野地区果樹産地協議会 (五條市・下市町)	1,635	483	840	283	188	150	670	838	137,751	46	1,752	29.5	33.7	22.4	41.0	164.4	38.1	148,087	3,185	2.2	2,876	1,241	1.8	43.2	9.2
272	御所市柿産地協議会 (御所市)	872	53	68	0	0	12	440	68	1,688	2	x	6.1	0.0	0.0	50.5	24.8	x	2,605	166	6.4	976	259	1.1	26.5	1.4

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
273	新大信貴果樹産地協議会(平群町・三郷町)	257	98	29	2	0	64	96	9	127	20	2,130	38.1	6.9	0.0	37.4	14.1	106.5	2,371	28	1.2	476	197	1.9	41.4	24.9
274	JAわかやま果樹産地協議会	2,500	470	502	13	1	77	1,076	501	21,126	17	252	18.8	2.6	0.2	43.0	42.2	14.8	23,839	4,310	18.1	4,093	1,704	1.6	41.6	3.1
275	JAながみね果樹産地協議会	1,944	661	1,483	250	47	58	523	1,481	155,744	20	x	34.0	16.9	3.2	26.9	105.2	x	162,434	11,540	7.1	3,699	1,642	1.9	44.4	3.0
276	JA紀の里産地協議会	3,872	1,192	2,739	211	54	157	1,374	2,727	204,872	67	1,041	30.8	7.7	2.0	35.5	75.1	15.5	208,968	28,202	13.5	7,071	3,120	1.8	44.1	4.1
277	伊都地方産地協議会	2,700	744	2,101	194	37	51	964	2,099	175,310	51	815	27.6	9.2	1.8	35.7	83.5	16.0	180,726	24,576	13.6	4,948	2,052	1.8	41.5	1.9
278	「ブランドありだ」果樹産地協議会	3,921	1,808	3,475	555	120	394	1,337	3,472	385,861	202	3,430	46.1	16.0	3.5	34.1	111.1	17.0	394,681	12,831	3.3	8,320	4,351	2.1	52.3	10.0
279	日高川流域果樹産地協議会	1,635	543	868	34	9	177	511	865	50,524	10	x	33.2	3.9	1.0	31.3	58.4	x	54,511	5,050	9.3	3,000	1,372	1.8	45.7	10.8
280	グリーン日高果樹産地協議会	783	200	264	25	1	29	237	264	18,202	1	x	25.5	9.5	0.4	30.3	68.9	x	19,143	2,936	15.3	1,322	504	1.7	38.1	3.7
281	JAみなべいなみ果樹産地協議会	2,857	1,420	2,133	397	122	459	1,022	2,130	236,034	9	x	49.7	18.6	5.7	35.8	110.8	x	238,496	4,850	2.0	6,083	3,441	2.1	56.6	16.1
282	JA紀南果樹産地協議会	3,116	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
283	JAみくまの果樹産地協議会	532	67	97	x	x	6	80	96	x	2	x	12.6	x	x	15.0	x	x	4,470	553	12.4	770	233	1.4	30.3	1.1
284	鳥取東部果樹産地協議会	7,282	691	1,343	8	1	113	3,584	1,330	48,273	45	x	9.5	0.6	0.1	49.2	36.3	x	53,762	9,240	17.2	10,489	2,908	1.4	27.7	1.6
285	鳥取中部果樹産地協議会	2,427	365	430	3	1	98	1,136	428	14,518	19	366	15.0	0.7	0.2	46.8	33.9	19.3	17,518	3,904	22.3	3,816	1,281	1.6	33.6	4.0
286	鳥取西部果樹産地協議会	1,976	407	257	4	0	126	923	256	13,167	2	x	20.6	1.6	0.0	46.7	51.4	x	15,713	2,755	17.5	3,201	1,150	1.6	35.9	6.4
287	JAいわみ中央果樹産地協議会	2,016	177	181	2	1	20	650	165	6,207	22	538	8.8	1.1	0.6	32.2	37.6	24.5	8,161	418	5.1	2,537	557	1.3	22.0	1.0
288	隠岐農産物生産者協議会	351	31	6	0	0	4	129	4	x	2	x	8.8	0.0	0.0	36.8	x	x	716	28	3.9	492	122	1.4	24.8	1.1
289	安来市果樹振興協議会	2,616	287	240	1	0	45	1,308	229	6,732	27	610	11.0	0.4	0.0	50.0	29.4	22.6	10,687	1,398	13.1	4,150	1,295	1.6	31.2	1.7
290	JAいずも管内果樹振興協議会	3,838	439	711	9	2	104	1,983	297	10,105	460	17,548	11.4	1.3	0.3	51.7	34.0	38.1	32,144	1,498	4.7	5,637	1,658	1.5	29.4	2.7
291	益田地域ぶどう産地協議会	2,517	275	266	2	2	59	739	251	9,116	33	x	10.9	0.8	0.8	29.4	36.3	x	14,719	1,352	9.2	3,300	779	1.3	23.6	2.3
292	JA斐川町管内果樹振興協議会	952	83	40	0	0	39	540	10	122	33	530	8.7	0.0	0.0	56.7	12.2	16.1	2,080	116	5.6	1,287	310	1.4	24.1	4.1
293	JA石見銀山管内果樹振興協議会	1,436	155	121	1	0	24	519	110	3,066	13	631	10.8	0.8	0.0	36.1	27.9	48.5	5,312	481	9.1	2,099	575	1.5	27.4	1.7
294	一宮地域農業生産システム確立推進協議会	1,292	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
295	JA岡山西園芸振興協議会	7,746	873	1,487	10	2	159	3,453	1,345	39,652	319	7,310	11.3	0.7	0.1	44.6	29.5	22.9	56,118	5,559	9.9	10,732	2,864	1.4	26.7	2.1
296	JA岡山西吉備路もも部会	2,663	239	389	x	x	28	1,230	336	x	113	x	9.0	x	x	46.2	x	x	12,986	1,334	10.3	3,395	846	1.3	24.9	1.1
297	くだもの王国岡山地域推進隊	12,090	1,503	1,786	6	2	339	4,819	1,495	35,423	711	11,227	12.4	0.3	0.1	39.9	23.7	15.8	54,637	8,723	16.0	16,172	4,432	1.3	27.4	2.8
298	くだもの王国倉敷・井笠地域推進隊	9,156	990	1,683	11	2	182	4,130	1,538	43,488	341	x	10.8	0.7	0.1	45.1	28.3	x	61,978	6,300	10.2	12,711	3,302	1.4	26.0	2.0
299	くだもの王国高梁地域推進隊	7,625	845	1,162	0	0	190	2,935	1,106	22,838	109	1,094	11.1	0.0	0.0	38.5	20.6	10.0	30,216	1,987	6.6	10,827	2,507	1.4	23.2	2.5
300	くだもの王国新見地域推進隊	2,358	272	370	0	0	21	987	366	10,707	14	203	11.5	0.0	0.0	41.9	29.3	14.5	13,193	217	1.6	3,089	759	1.3	24.6	0.9
301	くだもの王国東備地域推進隊	2,990	310	664	2	0	29	1,028	602	16,765	148	1,781	10.4	0.3	0.0	34.4	27.8	12.0	21,972	2,247	10.2	3,911	962	1.3	24.6	1.0
302	くだもの王国真庭地域推進隊	3,898	426	356	x	x	121	1,705	331	x	44	x	10.9	x	x	43.7	x	x	9,682	913	9.4	5,491	1,355	1.4	24.7	3.1
303	くだもの王国津山地域推進隊	7,438	650	439	5	0	86	3,130	427	11,217	45	485	8.7	1.1	0.0	42.1	26.3	10.8	15,573	826	5.3	9,504	2,254	1.3	23.7	1.2
304	くだもの王国勝英地域推進隊	4,022	334	233	x	x	71	1,586	225	x	30	462	8.3	x	x	39.4	x	15.4	8,941	1,407	15.7	5,328	1,159	1.3	21.8	1.8
305	新見桃産地強化推進協議会	342	77	206	0	0	8	126	205	7,373	8	136	22.5	0.0	0.0	36.8	36.0	17.0	7,782	72	0.9	574	157	1.7	27.4	2.3
306	尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会	614	213	608	118	30	20	135	608	71,213	16	x	34.7	19.4	4.9	22.0	117.1	x	72,515	7,790	10.7	1,169	455	1.9	38.9	3.3
307	江能地域果樹振興対策会議	297	66	166	1	0	13	41	164	6,040	3	x	22.2	0.6	0.0	13.8	36.8	x	7,454	2,174	29.2	519	160	1.7	30.8	4.4
308	大崎下島地域農業振興対策会議	539	128	536	28	1	4	45	536	43,260	1	x	23.7	5.2	0.2	8.3	80.7	x	44,499	10,730	24.1	903	222	1.7	24.6	0.7
309	広島県福山市沼隈ぶどう産地協議	117	34	88	1	0	12	43	88	3,914	37	998	29.1	1.1	0.0	36.8	44.5	27.0	5,336	248	4.6	231	90	2.0	39.0	10.3
310	広島県福山ぶどう産地協議会	258	16	73	0	0	3	111	69	1,239	17	173	6.2	0.0	0.0	43.0	18.0	10.2	1,744	262	15.0	387	85	1.5	22.0	1.2
311	広島県福山市いちじく産地協議会	2,152	197	341	4	1	47	1,042	337	9,396	61	1,188	9.2	1.2	0.3	48.4	27.9	19.5	13,022	1,016	7.8	3,069	808	1.4	26.3	2.2
312	広島県松永柿産地協議会	91	12	26	x	x	3	32	26	x	1	x	13.2	x	x	35.2	x	x	1,505	71	4.7	150	40	1.6	26.7	3.3
313	大崎上島地域農業振興協議会	312	56	288	7	3	6	45	286	17,974	12	198	17.9	2.4	1.0	14.4	62.8	16.5	19,128	4,969	26.0	498	124	1.6	24.9	1.9
314	世羅町果樹構造改革計画協議会	1,783	173	48	2	1	22	655	47	2,026	7	35	9.7	4.2	2.1	36.7	43.1	5.0	3,077	191	6.2	2,242	503	1.3	22.4	1.2
315	呉地域果樹振興対策会議	379	59	314	x	x	14	79	313	x	3	x	15.6	x	x	20.8	x	x	16,876	5,950	35.3	604	142	1.6	23.5	3.7
316	三原果樹振興協議会	1,977	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
317	神石高原果樹産地協議会	1,275	137	181	0	0	29	404	162	2,240	31	128	10.7	0.0	0.0	31.7	13.8	4.1	3,307	77	2.3	1,958	432	1.5	22.1	2.3
318	沿岸地域果樹振興対策会議	667	87	179	1	0	12	213	177	7,822	16	209	13.0	0.6	0.0	31.9	44.2	13.1	8,799	2,362	26.8	1,109	281	1.7	25.3	1.8
319	三次果樹産地協議会	3,627	344	136	7	2	74	1,261	131	5,026	27	885	9.5	5.1	1.5	34.8	38.4	32.8	7,360	248	3.4	4,737	1,104	1.3	23.3	2.0
320	庄原市果樹振興協議会	4,405	424	114	9	2	91	1,500	108	6,064	9	92	9.6	7.9	1.8	34.1	56.1	10.2	7,464	306	4.1	4,970	1,249	1.1	25.1	2.1
321	尾道果樹振興協議会	1,591	180	777	x	x	23	457	766	x	33	x	11.3	x	x	28.7	x	x	34,150	10,362	30.3	2,551	621	1.6	24.3	1.4
322	JA山口大島かんきつ産地協議会	948	148	853	19	3	6	105	853	49,701	8	66	15.6	2.2	0.4	11.1	58.3	8.3	52,683	15,217	28.9	1,494	322	1.6	21.6	0.6
323	JA岩国市柑橘産地協議会	506	59	139	x	x	6	133	138	x	1	x	11.7	x	x	26.3	x	x	5,004	260	5.2	786	174	1.6	22.1	1.2
324	JA山口東柑橘産地協議会	2,148	175	295	1	0	14	547	294	6,897	1	x	8.1	0.3	0.0	25.5	23.5	x	10,998	705	6.4	2,966	585	1.4	19.7	0.7
325	山口県東部くり協議会	2,148	175	295	1	0	14	547	294	6,897	1	x	8.1	0.3	0.0	25.5	23.5	x	10,998	705	6.4	2,966	585	1.4	19.7	0.7
326	JA南すおう柑橘産地協議会	1,257	119	205	1	0	13	356	203	5,711	2	x	9.5	0.5	0.0	28.3	28.1	x	7,025	841	12.0	1,716	417	1.4	24.3	1.0
327	JA南すおうイチジク産地協議会	2,109	182	222	2	1	18	644	204	x	21	x	8.6	0.9	0.5	30.5	x	x	7,708	736	9.5	2,852	678	1.4	23.8	0.9
328	厚保くり産地協議会(旧:JA山口美祢栗産地協議会)	2,070	170	294	11	4	19	739	291	14,426	8	53	8.2	3.7	1.4	35.7	49.6	6.6	18,044	501	2.8	2,459	561	1.2	22.8	0.9
329	下関果樹産地協議会(旧:豊関柑橘産地協議会)	4,206	618	322	7	5	92	1,388	321	21,094	20	239	14.7	2.2	1.6	33.0	65.7	12.0	25,796	2,019	7.8	6,018	1,713	1.4	28.5	2.2
330	下関果樹産地協議会	1,450	174	116	x	x	26	434	116	x	8	x	12.0	x	x	29.9	x	x	7,389	739	10.0	1,943	498	1.3	25.6	1.8
331	JA山口宇部かんきつ産地協議会	1,705	145	52	1	1	16	566	49	2,134	3	x	8.5	1.9	1.9	33.2	43.6	x	7,680	746	9.7	2,319	571	1.4	24.6	0.9
332	JAあぶらんど萩かんきつ産地協議	2,342	345	470	14	3	36	509	469	20,051	5	x	14.7	3.0	0.6	21.7	42.8	x	25,362	2,930	11.6	3,180	837	1.4	26.3	1.5
333	阿東町梨産地協議会	978	110	66	x	x	28	261	62	x	5	x	11.2	x	x	26.7	x	x	4,809	231	4.8	1,329	349	1.4	26.3	2.9
334	阿東町りんご産地協議会	978	110	66	x	x	28	261	62	x	5	x	11.2	x	x	26.7	x	x	4,809	231	4.8	1,329	349	1.4	26.3	2.9
335	JA山口中央仁保果樹産地協議会	5,215	359	219	8	2	69	1,741	210	7,622	15	154	6.9	3.7	0.9	33.4	36.3	10.3	9,912	988	10.0	6,685	1,646	1.3	24.6	1.3
336	JA山口中央かんきつ産地協議会	5,215	359	219	8	2	69	1,741	210	7,622	15	154	6.9	3.7	0.9	33.4	36.3	10.3	9,912	988	10.0	6,685	1,646	1.3	24.6	1.3
337	JA防府とくぢ柑橘産地協議会	1,130	85	89	3	1	20	407	88	3,647	2	x	7.5	3.4	1.1	36.0	41.4	x	4,275	1,058	24.7	1,673	391	1.5	23.4	1.8
338	周南市果樹産地協議会	1,926	120	110	4	1	14	577	105	3,170	13	118	6.2	3.6	0.9	30.0	30.2	9.1	5,013	405	8.1	2,336	439	1.2	18.8	0.7
339	秋芳梨産地協議会(仮称)	632	63	68	x	x	12	210	68	x	1	x	10.0	x	x	33.2	x	x	4,617	155	3.4	775	187	1.2	24.1	1.9
340	小松島・勝浦地区果樹産地協議会	1,828	364	759	34	7	64	654	754	42,690	46	729	19.9	4.5	0.9	35.8	56.6	15.8	48,683	5,380	11.1	3,017	1,045	1.7	34.6	3.5

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
341	徳島市果樹産地協議会	2,551	826	384	11	2	228	1,228	364	15,696	83	1,405	32.4	2.9	0.5	48.1	43.1	16.9	19,842	4,098	20.7	5,041	2,251	2.0	44.7	8.9
342	佐那河内果樹産地協議会	336	88	283	3	0	30	124	283	10,937	31	326	26.2	1.1	0.0	36.9	38.6	10.5	11,759	1,851	15.7	665	243	2.0	36.5	8.9
343	阿南市果樹産地協議会	3,588	447	430	1	1	90	1,868	395	10,739	97	2,314	12.5	0.2	0.2	52.1	27.2	23.9	32,701	5,771	17.6	5,628	1,991	1.6	35.4	2.5
344	那賀町果樹産地協議会	735	116	435	0	0	13	247	432	11,562	12	274	15.8	0.0	0.0	33.6	26.8	22.8	15,654	665	4.2	1,161	305	1.6	26.3	1.8
345	阿波地区果樹産地協議会	2,784	753	260	0	0	149	1,222	223	6,781	55	2,456	27.0	0.0	0.0	43.9	30.4	44.7	10,863	1,396	12.9	5,032	2,156	1.8	42.8	5.4
346	鳴門・松茂地域果樹産地協議会	1,345	756	333	8	1	366	677	325	19,474	22	x	56.2	2.4	0.3	50.3	59.9	x	20,388	1,238	6.1	3,272	1,873	2.4	57.2	27.2
347	JA板野郡地区果樹産地協議会	4,351	1,280	449	7	1	414	1,945	408	16,476	65	x	29.4	1.6	0.2	44.7	40.4	x	21,386	2,316	10.8	8,245	3,710	1.9	45.0	9.5
348	吉野川市果樹産地協議会	1,294	185	226	2	0	51	582	224	7,944	6	68	14.3	0.9	0.0	45.0	35.5	11.3	10,073	2,068	20.5	2,243	776	1.7	34.6	3.9
349	神山町果樹産地協議会	530	102	427	0	0	16	160	427	12,561	12	115	19.2	0.0	0.0	30.2	29.4	9.6	17,683	653	3.7	922	280	1.7	30.4	3.0
350	美馬地区果樹産地協議会	1,734	219	414	0	0	24	574	413	12,584	5	156	12.6	0.0	0.0	33.1	30.5	31.2	18,467	1,872	10.1	2,822	800	1.6	28.3	1.4
351	三好地区果樹産地協議会	1,271	176	269	1	0	26	504	269	6,608	4	43	13.8	0.4	0.0	39.7	24.6	10.8	11,890	430	3.6	2,160	642	1.7	29.7	2.0
352	海部郡果樹産地協議会	1,013	116	118	0	0	13	328	118	1,412	1	x	11.5	0.0	0.0	32.4	12.0	x	2,749	113	4.1	1,394	348	1.4	25.0	1.3
353	小豆郡果樹産地振興協議会	368	84	148	3	1	15	80	142	5,475	15	160	22.8	2.0	0.7	21.7	38.6	10.7	6,560	2,609	39.8	596	184	1.6	30.9	4.1
354	大川地区果樹産地協議会	3,558	355	99	1	0	72	1,409	89	2,572	21	271	10.0	1.0	0.0	39.6	28.9	12.9	4,910	1,767	36.0	4,662	1,260	1.3	27.0	2.0
355	中央地区果樹産地協議会	7,090	728	712	11	1	116	3,352	675	28,615	96	x	10.3	1.5	0.1	47.3	42.4	x	35,817	8,976	25.1	9,709	2,734	1.4	28.2	1.6
356	香川県綾坂地区果樹産地協議会	2,863	235	541	x	x	55	1,388	531	x	20	x	8.2	x	x	48.5	x	x	25,715	12,163	47.3	3,777	989	1.3	26.2	1.9
357	香川県仲多度地区果樹産地協議会	4,911	543	585	12	2	75	2,328	566	26,667	62	1,452	11.1	2.1	0.3	47.4	47.1	23.4	33,545	9,852	29.4	6,969	1,997	1.4	28.7	1.5
358	香川豊南果樹産地推進協議会	1,222	313	223	10	2	86	675	222	14,269	4	x	25.6	4.5	0.9	55.2	64.3	x	15,548	6,532	42.0	2,145	780	1.8	36.4	7.0
359	三豊地域果樹産地構造改革協議会	4,820	773	1,174	x	x	198	2,423	1,152	x	93	1,617	16.0	x	x	50.3	x	17.4	71,464	29,792	41.7	7,237	2,124	1.5	29.3	4.1
360	菊間地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
361	大西地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
362	上浦地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
363	大三島地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
364	乃万地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
365	波方地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
366	富田地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
367	伯方地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
368	上島町果樹産地協議会	155	18	136	3	0	2	40	135	8,090	18	273	11.6	2.2	0.0	25.8	59.9	15.2	9,307	4,047	43.5	252	58	1.6	23.0	1.3
369	大島地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
370	大下地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
371	関前岡村地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
372	玉川地区果樹産地協議会	3,431	554	1,851	54	12	49	943	1,846	117,528	84	1,075	16.1	2.9	0.6	27.5	63.7	12.8	126,699	44,919	35.5	5,399	1,524	1.6	28.2	1.4
373	吉田町果樹産地協議会	954	596	952	398	100	35	247	952	165,863	65	x	62.5	41.8	10.5	25.9	174.2	x	167,385	8,432	5.0	2,236	1,209	2.3	54.1	3.7
374	宇和島支部産地協議会	1,615	391	671	87	31	20	538	667	64,401	25	x	24.2	13.0	4.6	33.3	96.6	x	66,673	7,106	10.7	2,741	1,049	1.7	38.3	1.2
375	えひめ中央果樹産地協議会	10,070	2,308	5,097	502	127	193	2,707	5,071	428,970	396	x	22.9	9.8	2.5	26.9	84.6	x	475,821	90,612	19.0	16,791	5,842	1.7	34.8	1.9
376	大洲喜多地区果樹産地協議会	1,844	377	878	29	10	40	513	877	47,363	17	398	20.4	3.3	1.1	27.8	54.0	23.4	56,133	4,915	8.8	2,965	996	1.6	33.6	2.2
377	八西地域農業振興協議会	2,923	1,360	2,834	704	241	202	629	2,834	381,884	158	x	46.5	24.8	8.5	21.5	134.8	x	388,756	31,197	8.0	5,900	2,920	2.0	49.5	6.9
378	JA東予園芸果樹産地協議会	5,419	845	1,267	29	6	146	1,834	1,252	56,117	61	x	15.6	2.3	0.5	33.8	44.8	x	70,566	13,773	19.5	8,175	2,669	1.5	32.6	2.7
379	愛南町果樹産地協議会	681	168	240	75	30	42	177	238	35,911	5	22	24.7	31.3	12.5	26.0	150.9	4.4	37,409	4,115	11.0	1,041	390	1.5	37.5	6.2
380	JAうま果樹産地協議会	1,501	221	407	8	3	35	522	407	15,111	3	21	14.7	2.0	0.7	34.8	37.1	7.0	21,228	5,468	25.8	2,466	809	1.6	32.8	2.3
381	松山市農協果樹産地協議会	4,436	1,254	2,693	353	76	78	1,065	2,679	257,390	183	2,476	28.3	13.1	2.8	24.0	96.1	13.5	268,731	53,543	19.9	7,884	3,014	1.8	38.2	1.8
382	津島・鬼北地域果樹産地協議会	3,924	1,122	2,061	491	132	68	1,129	2,057	243,073	92	x	28.6	23.8	6.4	28.8	118.2	x	251,240	16,412	6.5	6,942	2,746	1.8	39.6	1.7
383	東宇和地域果樹産地協議会	2,498	538	891	72	9	105	695	882	61,772	18	x	21.5	8.1	1.0	27.8	70.0	x	69,296	5,566	8.0	4,094	1,380	1.6	33.7	4.2
384	JA周桑果樹産地協議会	2,240	412	635	19	3	79	703	621	x	50	x	18.4	3.0	0.5	31.4	x	x	39,423	6,647	16.9	3,389	1,202	1.5	35.5	3.5
385	嶺北地域果樹(柚子)産地協議会	886	137	227	0	0	15	271	223	4,753	4	54	15.5	0.0	0.0	30.6	21.3	13.5	5,895	19	0.3	1,395	371	1.6	26.6	1.7
386	JA土佐香美果樹部産地協議会	2,394	968	601	17	4	348	684	547	28,132	130	4,004	40.4	2.8	0.7	28.6	51.4	30.8	34,825	1,941	5.6	4,785	2,110	2.0	44.1	14.5
387	土佐あき農業協同組合ユズ産地構造改革計画協議会	1,889	946	627	3	0	294	512	614	21,828	31	x	50.1	0.5	0.0	27.1	35.6	x	24,133	799	3.3	3,745	1,929	2.0	51.5	15.6
388	JA土佐あき果樹産地協議会	1,889	946	627	3	0	294	512	614	21,828	31	x	50.1	0.5	0.0	27.1	35.6	x	24,133	799	3.3	3,745	1,929	2.0	51.5	15.6
389	JA馬路村果樹振興協議会	92	15	92	0	0	0	27	92	3,381	1	x	16.3	0.0	0.0	29.3	36.8	x	3,394	8	0.2	126	32	1.4	25.4	0.0
390	高知市ゆず生産加工検討委員会	1,846	820	431	2	1	302	678	420	15,394	20	308	44.4	0.5	0.2	36.7	36.7	15.4	18,657	804	4.3	3,827	1,893	2.1	49.5	16.4
391	JA高知はた　ゆず振興協議会	3,175	692	474	4	4	128	870	471	15,439	9	x	21.8	0.8	0.8	27.4	32.8	x	22,136	3,160	14.3	4,892	1,780	1.5	36.4	4.0
392	JA高知はた　文旦振興協議会	787	262	98	22	6	63	199	97	10,847	3	33	33.3	22.4	6.1	25.3	111.8	11.0	11,756	715	6.1	1,351	592	1.7	43.8	8.0
393	JAとさし果樹振興協議会	922	527	316	14	1	241	302	282	15,422	71	1,706	57.2	4.4	0.3	32.8	54.7	24.0	18,275	2,253	12.3	2,183	1,225	2.4	56.1	26.1
394	JA土佐香美柚子生産部会	1,195	371	268	4	1	112	332	266	11,513	9	121	31.0	1.5	0.4	27.8	43.3	13.4	13,278	509	3.8	2,157	827	1.8	38.3	9.4
395	針木梨産地振興協議会	1,846	820	431	2	1	302	678	420	15,394	20	308	44.4	0.5	0.2	36.7	36.7	15.4	18,657	804	4.3	3,827	1,893	2.1	49.5	16.4
396	高知市東部スモモ産地振興協議会	1,846	820	431	2	1	302	678	420	15,394	20	308	44.4	0.5	0.2	36.7	36.7	15.4	18,657	804	4.3	3,827	1,893	2.1	49.5	16.4
397	JA高知はた　栗振興協議会	2,989	657	441	4	4	124	805	439	14,459	8	88	22.0	0.9	0.9	26.9	32.9	11.0	21,014	3,140	14.9	4,634	1,697	1.6	36.6	4.1
398	宗像地域果樹産地協議会	1,156	328	171	4	1	110	395	170	7,656	3	x	28.4	2.3	0.6	34.2	45.0	x	9,491	3,223	34.0	2,024	799	1.8	39.5	9.5
399	JA粕屋果樹産地改革協議会	485	115	166	19	10	21	181	163	14,966	15	235	23.7	11.4	6.0	37.3	91.8	15.7	16,029	9,234	57.6	853	328	1.8	38.5	4.3
400	糸島地域果樹産地協議会	1,741	660	256	16	2	340	561	249	15,362	38	962	37.9	6.3	0.8	32.2	61.7	25.3	19,334	9,279	48.0	3,432	1,698	2.0	49.5	19.5
401	朝倉地域果樹産地協議会	3,630	993	960	99	25	375	1,233	939	76,742	130	3,908	27.4	10.3	2.6	34.0	81.7	30.1	84,446	5,838	6.9	6,089	2,558	1.7	42.0	10.3
402	福岡大城地域果樹産地協議会	5,378	1,864	627	31	10	690	2,135	609	35,688	83	x	34.7	4.9	1.6	39.7	58.6	x	51,842	3,340	6.4	9,921	4,917	1.8	49.6	12.8
403	八女地域果樹産地協議会	4,919	2,107	1,736	210	91	982	1,374	1,615	143,473	341	16,531	42.8	12.1	5.2	27.9	88.8	48.5	330,178	44,410	13.5	9,876	4,788	2.0	48.5	20.0
404	柳川果樹産地協議会	944	261	60	0	0	97	422	56	1,298	5	60	27.6	0.0	0.0	44.7	23.2	12.0	1,553	45	2.9	1,506	699	1.6	46.4	10.3
405	南筑後地域果樹産地協議会	2,125	830	766	106	48	224	568	736	69,433	113	3,220	39.1	13.8	6.3	26.7	94.3	28.5	87,315	11,458	13.1	4,240	2,006	2.0	47.3	10.5
406	遠賀地域果樹産地協議会	654	158	110	4	3	35	217	106	5,078	10	x	24.2	3.6	2.7	33.2	47.9	x	6,641	780	11.7	1,106	386	1.7	34.9	5.4
407	JA福岡豊築地域果樹産地協議会	2,614	248	134	3	3	31	750	128	6,865	13	x	9.5	2.2	2.2	28.7	53.6	x	10,318	545	5.3	3,339	1,013	1.3	30.3	1.2
408	JA福岡市地域果樹産地協議会	1,566	399	117	5	2	127	727	111	6,302	13	384	25.5	4.3	1.7	46.4	56.8	29.5	15,261	1,084	7.1	2,812	1,269	1.8	45.1	8.1
409	JA福岡市東部地域果樹産地協議会	1,566	399	117	5	2	127	727	111	6,302	13	384	25.5	4.3	1.7	46.4	56.8	29.5	15,261	1,084	7.1	2,812	1,269	1.8	45.1	8.1
410	JAにじ地域果樹産地協議会	5,434	1,978	1,335	142	53	671	2,061	1,315	109,245	118	2,970	36.4	10.6	4.0	37.9	83.1	25.2	135,361	8,910	6.6	10,041	5,073	1.8	50.5	12.3
411	直鞍地域果樹産地協議会	1,585	258	138	5	1	81	647	132	5,920	36	x	16.3	3.6	0.7	40.8	44.8	x	9,363	765	8.2	2,170	765	1.4	35.3	5.1

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
412	筑紫地域果樹産地協議会	707	73	21	0	0	14	310	21	381	1	x	10.3	0.0	0.0	43.8	18.1	x	826	5	0.6	971	343	1.4	35.3	2.0
413	JAみい地域果樹産地協議会	5,170	1,879	613	30	9	689	1,959	597	35,426	82	x	36.3	4.9	1.5	37.9	59.3	x	57,816	3,730	6.5	9,947	4,973	1.9	50.0	13.3
414	久留米地域果樹産地協議会	3,809	1,529	598	30	9	545	1,444	585	35,018	78	1,877	40.1	5.0	1.5	37.9	59.9	24.1	51,074	3,240	6.3	7,633	3,986	2.0	52.2	14.3
415	JAみづま地域果樹産地協議会	3,809	1,529	598	30	9	545	1,444	585	35,018	78	1,877	40.1	5.0	1.5	37.9	59.9	24.1	51,074	3,240	6.3	7,633	3,986	2.0	52.2	14.3
416	北九州西部地域果樹産地協議会	1,677	296	100	1	0	66	638	97	2,983	7	95	17.7	1.0	0.0	38.0	30.8	13.6	10,524	660	6.3	2,495	858	1.5	34.4	3.9
417	福岡嘉穂地域果樹産地協議会	2,541	399	164	10	3	95	1,045	162	10,579	13	308	15.7	6.1	1.8	41.1	65.3	23.7	12,567	1,576	12.5	3,463	1,258	1.4	36.3	3.7
418	宮小路果樹組合地域果樹産地協議	986	168	59	2	0	49	402	59	3,682	4	57	17.0	3.4	0.0	40.8	62.4	14.3	4,446	1,052	23.7	1,469	554	1.5	37.7	5.0
419	山川地域果樹産地協議会	1,663	708	590	99	48	208	449	562	59,993	106	3,098	42.6	16.8	8.1	27.0	106.7	29.2	77,141	10,089	13.1	3,451	1,733	2.1	50.2	12.5
420	田川地域果樹産地協議会	2,564	246	112	1	0	50	1,052	104	3,766	14	x	9.6	0.9	0.0	41.0	36.2	x	4,940	914	18.5	3,145	1,005	1.2	32.0	2.0
421	JA福岡みやこ地域果樹産地協議会	2,889	262	177	1	1	27	1,076	176	7,794	8	x	9.1	0.6	0.6	37.2	44.3	x	9,146	545	6.0	3,863	1,041	1.3	26.9	0.9
422	大平柿産地協議会	645	64	71	0	0	5	191	69	2,060	5	34	9.9	0.0	0.0	29.6	29.9	6.8	2,997	119	4.0	706	180	1.1	25.5	0.8
423	久留米田主丸地域観光果樹産地協議会	3,809	1,529	598	30	9	545	1,444	585	35,018	78	1,877	40.1	5.0	1.5	37.9	59.9	24.1	51,074	3,240	6.3	7,633	3,986	2.0	52.2	14.3
424	筑後地区みかん産地協議会	5,954	2,524	2,187	287	137	985	1,622	2,079	195,729	365	15,027	42.4	13.1	6.3	27.2	94.1	41.2	385,399	53,042	13.8	12,030	5,859	2.0	48.7	16.5
425	豊の国ブルーベリー産地協議会	5,207	486	300	4	4	56	1,699	293	14,553	21	x	9.3	1.3	1.3	32.6	49.7	x	19,291	1,069	5.5	6,801	1,948	1.3	28.6	1.1
426	北九州東部地域果樹産地協議会	1,677	296	100	1	0	66	638	97	2,983	7	95	17.7	1.0	0.0	38.0	30.8	13.6	10,524	660	6.3	2,495	858	1.5	34.4	3.9
427	シトラス21中央福岡地域果樹産地協議会	4,394	1,841	1,505	207	90	816	1,209	1,415	133,679	251	12,860	41.9	13.8	6.0	27.5	94.5	51.2	306,971	39,060	12.7	8,768	4,181	2.0	47.7	18.6
428	ぶどう香房黒木地域産地協議会	3,766	1,550	1,366	185	88	611	1,008	1,317	125,942	169	8,258	41.2	13.5	6.4	26.8	95.6	48.9	285,051	37,603	13.2	7,471	3,519	2.0	47.1	16.2
429	JAさが佐賀みどり果樹産地協議会	5,734	2,139	1,342	225	88	540	2,376	1,329	142,501	85	2,152	37.3	16.8	6.6	41.4	107.2	25.3	215,930	25,559	11.8	10,781	4,913	1.9	45.6	9.4
430	太良町果実果樹産地協議会	736	260	515	126	56	58	194	514	68,353	37	762	35.3	24.5	10.9	26.4	133.0	20.6	70,042	9,138	13.0	1,390	594	1.9	42.7	7.9
431	佐城果樹産地構造改革協議会	4,162	1,382	896	64	29	454	1,643	884	68,689	109	2,434	33.2	7.1	3.2	39.5	77.7	22.3	74,296	18,133	24.4	7,487	3,353	1.8	44.8	10.9
432	伊万里地区果樹産地協議会	2,962	554	662	13	1	199	1,523	628	31,834	211	10,492	18.7	2.0	0.2	51.4	50.7	49.7	48,716	9,863	20.2	4,589	1,577	1.5	34.4	6.7
433	三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会	4,114	1,339	429	37	23	427	1,601	420	30,919	54	x	32.5	8.6	5.4	38.9	73.6	x	34,672	4,870	14.0	7,340	3,334	1.8	45.4	10.4
434	唐津地域果樹産地構造改革協議会	4,156	1,576	1,042	46	9	777	1,865	881	46,304	450	28,453	37.9	4.4	0.9	44.9	52.6	63.2	90,522	37,142	41.0	8,453	4,365	2.0	51.6	18.7
435	太良町果樹産地協議会	736	260	515	126	56	58	194	514	68,353	37	762	35.3	24.5	10.9	26.4	133.0	20.6	70,042	9,138	13.0	1,390	594	1.9	42.7	7.9
436	長崎県央地域果樹産地協議会 (諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町)	5,472	1,300	1,276	131	55	333	1,974	1,255	95,775	71	x	23.8	10.3	4.3	36.1	76.3	x	140,090	15,766	11.3	8,196	3,097	1.5	37.8	6.1
437	長崎西彼地域果樹産地協議会 (長崎市、西海市、長与町、時津町、諫早市(多良見地区))	3,608	1,201	2,495	237	75	169	1,047	2,463	202,980	301	x	33.3	9.5	3.0	29.0	82.4	x	217,097	35,390	16.3	6,421	2,616	1.8	40.7	4.7
438	長崎県県北地域果樹産地協議会 (佐世保市、松浦市、平戸市、小値賀町、佐々町)	5,749	1,252	602	74	32	229	1,884	578	48,232	63	1,154	21.8	12.3	5.3	32.8	83.4	18.3	59,107	7,735	13.1	8,101	3,046	1.4	37.6	4.0
439	島原地域果樹産地協議会 (島原市、雲仙市、南島原市)	6,328	3,389	769	18	9	1,202	2,637	689	34,382	165	5,062	53.6	2.3	1.2	41.7	49.9	30.7	43,203	10,932	25.3	12,973	7,379	2.1	56.9	19.0
440	玉名地域果樹産地協議会 (玉名郡市、荒尾市)	5,949	1,931	1,866	374	184	671	1,877	1,855	207,117	91	2,188	32.5	20.0	9.9	31.6	111.7	24.0	217,708	22,560	10.4	10,924	4,634	1.8	42.4	11.3
441	八代地域果樹産地協議会 (八代市、氷川町)	4,302	2,313	448	22	2	1,095	1,521	429	26,320	90	2,636	53.8	4.9	0.4	35.4	61.4	29.3	35,712	5,483	15.4	9,734	5,819	2.3	59.8	25.5
442	宇城地域果樹産地協議会 (宇城市、宇土市、美里町、熊本市城南町)	4,528	1,765	1,504	247	93	621	1,386	1,434	139,028	377	12,662	39.0	16.4	6.2	30.6	97.0	33.6	168,299	20,504	12.2	8,788	4,139	1.9	47.1	13.7
443	菊池地域果樹産地協議会 (菊池市、合志市、菊陽町、大津町)	4,053	1,638	495	14	1	927	1,200	470	20,815	31	x	40.4	2.8	0.2	29.6	44.3	x	44,451	836	1.9	8,281	3,996	2.0	48.3	22.9
444	JAあまくさ果樹産地協議会 (上天草市、天草市)	3,336	800	985	73	17	153	1,064	965	64,501	181	4,328	24.0	7.4	1.7	31.9	66.8	23.9	75,615	12,336	16.3	5,713	2,190	1.7	38.3	4.6
445	本渡五和果樹産地協議会 (天草市)	2,783	623	874	68	16	97	872	854	58,136	175	4,210	22.4	7.8	1.8	31.3	68.1	24.1	68,432	11,688	17.1	4,722	1,749	1.7	37.0	3.5
446	苓北地区果樹産地協議会 (苓北町)	288	94	69	9	2	28	82	68	5,984	4	102	32.6	13.0	2.9	28.5	88.0	25.5	6,458	1,043	16.2	525	208	1.8	39.6	9.7
447	水俣・芦北地域果樹産地協議会 (水俣市、芦北町、津奈木町)	1,812	414	741	83	28	69	564	729	64,788	195	4,891	22.8	11.2	3.8	31.1	88.9	25.1	79,665	10,635	13.3	2,842	991	1.6	34.9	3.8
448	鹿本地域果樹産地協議会 (山鹿市、熊本市(植木町))	4,149	1,446	1,130	36	12	620	1,114	1,074	56,855	124	4,676	34.9	3.2	1.1	26.8	52.9	37.7	79,640	6,363	8.0	7,793	3,335	1.9	42.8	14.9
449	熊本市果樹産地推進協議会 (熊本市)	4,389	1,903	927	328	125	713	1,437	919	146,877	30	817	43.4	35.4	13.5	32.7	159.8	27.2	151,353	6,007	4.0	9,499	4,928	2.2	51.9	16.2
450	阿蘇地域果樹産地協議会 (阿蘇市、阿蘇郡各町村、上益城郡山都町)	4,734	1,515	312	x	x	387	1,593	297	x	23	x	32.0	x	x	33.7	x	x	26,919	740	2.7	8,079	3,634	1.7	45.0	8.2
451	上益城地域果樹産地協議会 (御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町)	4,781	1,286	730	x	x	354	1,576	725	x	18	x	26.9	x	x	33.0	x	x	61,345	2,819	4.6	8,206	3,314	1.7	40.4	7.4
452	球磨地域果樹産地協議会 (人吉市、球磨郡各町村)	4,630	1,365	979	40	16	558	1,588	965	56,745	71	x	29.5	4.1	1.6	34.3	58.8	x	85,935	11,503	13.4	7,666	3,341	1.7	43.6	12.1
453	大矢野有機農産物供給センター果樹産地協議会 (天草市、上天草市)	3,336	800	985	73	17	153	1,064	965	64,501	181	4,328	24.0	7.4	1.7	31.9	66.8	23.9	75,615	12,336	16.3	5,713	2,190	1.7	38.3	4.6
454	県南果樹産地改革協議会 (大分市の一部、臼杵市、津久見市、佐伯市)	3,045	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

協議会番号	協議会名	1 販売農家数(戸)	2 主業農家数(戸)	3 販売目的で果樹を栽培した農家数(戸)	4 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家数(戸)	5 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家数(戸)	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数(戸)	7 同居後継者がいる農家数(戸)	8 果樹類栽培農家数(露地)(戸)	9 果樹類栽培面積(露地)(a)	10 果樹類栽培農家数(施設)(戸)	11 果樹類栽培面積(施設)(a)	12 主業農家率(%)	13 果樹類の栽培面積2.0ha以上の農家率(%)	14 果樹類の栽培面積3.0ha以上の農家率(%)	15 同居後継者がいる農家率(%)	16 一戸あたり果樹栽培面積(露地)(a)	17 一戸あたり果樹栽培面積(施設)(a)	18 樹園地面積(a)	19 樹園地の耕作放棄面積(a)	20 樹園地の耕作放棄面積割合(%)	21 農業就業人口(人)	22 65歳未満の農業就業人口(人)	23 1戸あたり農業就業人口(人)	24 農業就業人口の65歳未満割合(%)	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率(%)
455	九重ブルーベリー協議会 (九重地区)	1,069	257	78	4	0	70	370	76	3,233	3	37	24.0	5.1	0.0	34.6	42.5	12.3	3,443	370	10.7	1,628	652	1.5	40.0	6.5
456	杵築柑橘農業協同組合産地改革協議会 (杵築柑橘農業協同組合管内)	2,425	433	475	x	x	121	737	450	x	135	x	17.9	x	x	30.4	x	x	46,599	17,254	37.0	3,661	1,145	1.5	31.3	5.0
457	東部果樹産地構造改革協議会 (杵築市、国東市及び日出町の一	4,498	778	891	x	x	182	1,247	854	x	188	x	17.3	x	x	27.7	x	x	71,464	27,275	38.2	6,922	2,072	1.5	29.9	4.0
458	日出町果樹産地構造改革協議会 (べっぷ日出農業協同組合管内)	558	131	177	3	0	32	167	168	8,717	42	1,408	23.5	1.7	0.0	29.9	51.9	33.5	11,358	2,763	24.3	939	323	1.7	34.4	5.7
459	日田市大山町果樹産地活性化協議会	275	81	201	3	0	40	128	201	8,519	5	58	29.5	1.5	0.0	46.5	42.4	11.6	9,313	318	3.4	520	208	1.9	40.0	14.5
460	日田梨産地活性化協議会 (JAおおいた日田梨選果場を中心とした産地)	2,296	497	589	32	3	184	910	582	36,813	45	1,407	21.6	5.4	0.5	39.6	63.3	31.3	42,400	2,356	5.6	3,821	1,456	1.7	38.1	8.0
461	大分地区果樹産地構造改革協議会 (大分市)	2,502	320	345	6	2	62	944	334	14,905	22	276	12.8	1.7	0.6	37.7	44.6	12.5	19,885	2,448	12.3	3,864	1,102	1.5	28.5	2.5
462	由布市果樹産地協議会 (由布市)	1,741	203	120	4	0	31	561	120	4,892	1	x	11.7	3.3	0.0	32.2	40.8	x	5,727	574	10.0	2,449	666	1.4	27.2	1.8
463	JA大分宇佐果樹産地協議会 (宇佐市及び中津市の一部)	5,942	798	555	30	16	132	1,732	524	29,768	138	5,504	13.4	5.4	2.9	29.1	56.8	39.9	42,538	10,602	24.9	8,044	2,412	1.4	30.0	2.2
464	安心院町果樹産地構造改革協議会 (JAおおいた安心院事業部管内)	979	187	198	x	x	19	285	179	x	94	3,737	19.1	x	x	29.1	x	39.8	12,556	6,464	51.5	1,447	492	1.5	34.0	1.9
465	宇佐市柚子産地構造改革協議会 (宇佐市)	3,445	522	400	27	15	79	949	374	23,133	113	4,583	15.2	6.8	3.8	27.5	61.9	40.6	30,863	9,952	32.2	4,793	1,551	1.4	32.4	2.3
466	都城・北諸県地域果樹産地協議会 (都城市、三股町)	5,633	1,478	90	1	0	657	1,078	75	3,962	16	x	26.2	1.1	0.0	19.1	52.8	x	13,506	576	4.3	9,367	3,446	1.7	36.8	11.7
467	日向地域果樹産地協議会 (日向市、門川町、美郷町、椎葉村)	2,824	568	342	31	14	128	866	318	21,587	53	x	20.1	9.1	4.1	30.7	67.9	x	31,599	3,059	9.7	4,353	1,446	1.5	33.2	4.5
468	西都・西米良果樹産地協議会 (西都市、西米良村)	1,905	957	171	6	2	639	519	116	5,734	62	x	50.2	3.5	1.2	27.2	49.4	x	12,940	356	2.8	4,172	2,153	2.2	51.6	33.5
469	高千穂地区果樹産地づくり協議会 (高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)	2,165	675	371	10	2	80	717	351	14,962	30	569	31.2	2.7	0.5	33.1	42.6	19.0	29,932	841	2.8	4,017	1,759	1.9	43.8	3.7
470	小林地区果樹産地協議会 (小林市、高原町)	2,902	984	250	40	17	322	648	230	22,775	49	1,684	33.9	16.0	6.8	22.3	99.0	34.4	37,509	3,372	9.0	5,297	2,150	1.8	40.6	11.1
471	えびの市果樹産地協議会 (えびの市)	1,854	427	47	0	0	129	446	41	1,660	7	160	23.0	0.0	0.0	24.1	40.5	22.9	3,455	85	2.5	2,874	1,055	1.6	36.7	7.0
472	綾町果樹産地協議会 (綾町)	366	170	84	5	2	83	59	68	4,713	38	945	46.4	6.0	2.4	16.1	69.3	24.9	5,980	294	4.9	690	356	1.9	51.6	22.7
473	串間市果樹産地構造改革協議会 (串間市)	1,126	569	141	5	3	261	288	102	5,024	75	2,925	50.5	3.5	2.1	25.6	49.3	39.0	15,050	864	5.7	2,421	1,242	2.2	51.3	23.2
474	児湯果樹産地協議会 (高鍋町、新富町、木城町)	1,530	713	74	3	0	431	343	48	2,538	29	x	46.6	4.1	0.0	22.4	52.9	x	23,134	552	2.4	3,091	1,554	2.0	50.3	28.2
475	尾鈴果樹産地協議会 (川南町、都農町)	1,471	810	162	35	16	372	408	145	18,713	40	1,512	55.1	21.6	9.9	27.7	129.1	37.8	28,627	3,338	11.7	3,257	1,781	2.2	54.7	25.3
476	延岡地域果樹産地づくり協議会 (延岡市)	1,816	279	171	1	0	55	699	164	5,533	17	303	15.4	0.6	0.0	38.5	33.7	17.8	9,380	736	7.8	2,956	1,006	1.6	34.0	3.0
477	日南市『目指せ！！力強いかんきつ産地づくり』協議会(日南市)	1,350	394	524	91	44	188	312	489	52,042	137	4,370	29.2	17.4	8.4	23.1	106.4	31.9	58,577	4,427	7.6	2,340	932	1.7	39.8	13.9
478	宮崎中央果樹産地協議会 (宮崎市、国富町)	4,834	2,029	343	24	8	1,071	1,111	231	18,169	160	4,603	42.0	7.0	2.3	23.0	78.7	28.8	29,058	3,411	11.7	9,775	4,708	2.0	48.2	22.2
479	JA鹿児島きもつき地域果樹産地協議会	5,327	1,628	287	x	x	554	803	261	x	57	x	30.6	x	x	15.1	x	x	44,856	2,605	5.8	9,018	3,358	1.7	37.2	10.4
480	曽於地域果樹産地協議会	6,689	1,943	247	3	0	727	1,059	231	x	34	x	29.0	1.2	0.0	15.8	x	x	124,012	633	0.5	11,112	4,068	1.7	36.6	10.9
481	姶良地域果樹産地協議会	4,115	746	137	x	x	235	692	136	x	13	x	18.1	x	x	16.8	x	x	68,249	1,079	1.6	6,286	1,885	1.5	30.0	5.7
482	出水地域果樹産地協議会	3,810	1,164	708	115	45	363	895	696	65,440	110	3,453	30.6	16.2	6.4	23.5	94.0	31.4	102,322	7,161	7.0	6,641	2,698	1.7	40.6	9.5
483	さつま地域果樹産地協議会	2,351	388	232	x	x	106	564	215	x	30	x	16.5	x	x	24.0	x	x	25,411	690	2.7	3,390	957	1.4	28.2	4.5
484	薩摩川内市地域果樹産地協議会	1,927	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
485	さつま日置地域果樹産地協議会	2,278	369	231	x	x	110	374	219	x	44	1,116	16.2	x	x	16.4	x	25.4	32,044	2,523	7.9	3,356	934	1.5	27.8	4.8
486	南さつま川辺地域産地協議会	2,336	830	304	9	4	408	400	280	13,011	99	x	35.5	3.0	1.3	17.1	46.5	x	184,822	2,736	1.5	4,203	1,901	1.8	45.2	17.5
487	桜島地域果樹産地協議会	176	38	112	0	0	7	18	112	4,722	1	x	21.6	0.0	0.0	10.2	42.2	x	5,445	4,013	73.7	297	73	1.7	24.6	4.0
488	いぶすき地域果樹産地協議会	2,808	1,360	118	1	0	444	475	111	3,903	18	x	48.4	0.8	0.0	16.9	35.2	x	176,723	1,075	0.6	5,627	2,831	2.0	50.3	15.8
489	種子島地域果樹産地協議会	1,938	609	78	6	3	123	210	64	4,821	20	163	31.4	7.7	3.8	10.8	75.3	8.2	11,166	917	8.2	2,998	1,261	1.5	42.1	6.3
490	徳之島地域果樹産地協議会	2,439	881	170	6	1	36	422	147	6,596	38	x	36.1	3.5	0.6	17.3	44.9	x	7,798	86	1.1	3,420	1,496	1.4	43.7	1.5
491	屋久島地域果樹産地協議会	459	122	349	34	7	16	68	342	28,287	40	259	26.6	9.7	2.0	14.8	82.7	6.5	34,083	1,051	3.1	688	259	1.5	37.6	3.5
492	大島地域果樹産地育成協議会	938	235	358	17	10	22	156	337	19,424	47	738	25.1	4.7	2.8	16.6	57.6	15.7	23,666	1,799	7.6	1,415	512	1.5	36.2	2.3
493	沖縄市果樹産地協議会	153	75	27	0	0	20	40	18	520	15	332	49.0	0.0	0.0	26.1	28.9	22.1	1,023	321	31.4	252	153	1.6	60.7	13.1
494	中部地区マンゴー産地協議会	1,486	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
495	糸満市農業戦略産地連絡協議会	825	307	41	0	0	41	266	16	220	27	640	37.2	0.0	0.0	32.2	13.8	23.7	860	16	1.9	1,344	599	1.6	44.6	5.0
496	本部町果樹拠点産地協議会	274	133	97	5	2	25	65	90	6,243	14	327	48.5	5.2	2.1	23.7	69.4	23.4	6,686	2,128	31.8	410	207	1.5	50.5	9.1
497	東村園芸作物等産地協議会	182	81	143	52	23	0	43	134	22,753	45	2,260	44.5	36.4	16.1	23.6	169.8	50.2	25,062	4,305	17.2	309	146	1.7	47.2	0.0
498	石垣市パインアップル産地協議会	965	361	114	27	12	57	184	100	12,677	26	1,226	37.4	23.7	10.5	19.1	126.8	47.2	14,163	240	1.7	1,304	630	1.4	48.3	5.9
499	名護市柑橘拠点産地協議会	749	312	248	6	3	22	125	216	14,849	48	1,252	41.7	2.4	1.2	16.7	68.7	26.1	16,196	1,694	10.5	1,225	537	1.6	43.8	2.9
500	竹富町パインアップル産地協議会	292	158	33	7	6	14	33	27	4,856	11	306	54.1	21.2	18.2	11.3	179.9	27.8	5,162	110	2.1	418	244	1.4	58.4	4.8

協議会番号	協議会名	1 販売農家数（戸）	2 主業農家数（戸）	3 販売目的で果樹を栽培した農家数（戸）	4 果樹類の栽培面積2．0ha以上の農家数（戸）	5 果樹類の栽培面積3．0ha以上の農家数（戸）	6 農産物販売金額1000万円以上の農家数（戸）	7 同居後継者がいる農家数（戸）	8 果樹類栽培農家数（露地）（戸）	9 果樹類栽培面積（露地）（a）	10 果樹類栽培農家数（施設）（戸）	11 果樹類栽培面積（施設）（a）	12 主業農家率（%）	13 果樹類の栽培面積2．0ha以上の農家率（%）	14 果樹類の栽培面積3．0ha以上の農家率（%）	15 同居後継者がいる農家率（%）	16 一戸あたり果樹栽培面積（露地）（a）	17 一戸あたり果樹栽培面積（施設）（a）	18 樹園地面積（a）	19 樹園地の耕作放棄面積（a）	20 樹園地の耕作放棄面積割合（%）	21 農業就業人口（人）	22 65歳未満の農業就業人口（人）	23 1戸あたり農業就業人口（人）	24 農業就業人口の65歳未満割合（%）	25 農産物販売金額1000万円以上の農家率（%）
501	国頭村中晩柑橘産地協議会	261	67	156	15	7	10	55	147	14,124	22	443	25.7	9.6	4.5	21.1	96.1	20.1	14,625	3,261	22.3	382	143	1.5	37.4	3.8
502	国頭村マンゴー産地協議会	261	67	156	15	7	10	55	147	14,124	22	443	25.7	9.6	4.5	21.1	96.1	20.1	14,625	3,261	22.3	382	143	1.5	37.4	3.8
503	大宜味村シークヮーサー産地振興協議会	167	69	130	8	5	2	26	126	10,141	22	466	41.3	6.2	3.8	15.6	80.5	21.2	10,562	798	7.6	252	138	1.5	54.8	1.2
504	宮古島市マンゴー産地協議会	4,144	1,308	121	1	0	103	830	46	1,064	91	2,656	31.6	0.8	0.0	20.0	23.1	29.2	4,055	85	2.1	5,984	2,132	1.4	35.6	2.5
505	中部地区バナナ産地協議会	330	95	31	0	0	3	91	16	324	21	x	28.8	0.0	0.0	27.6	20.3	x	1,148	0	0.0	527	185	1.6	35.1	0.9
506	中部地区晩性柑橘産地育成協議会	659	276	65	2	2	25	168	42	6,759	36	793	41.9	3.1	3.1	25.5	160.9	22.0	2,020	326	16.1	1,173	531	1.8	45.3	3.8
507	恩納村パッションフルーツ産地協議	300	105	79	0	0	22	104	46	1,132	50	903	35.0	0.0	0.0	34.7	24.6	18.1	2,245	0	0.0	499	251	1.7	50.3	7.3
508	豊見城市マンゴー・パパイヤ産地協議会	343	195	96	1	1	19	86	25	473	82	2,801	56.9	1.0	1.0	25.1	18.9	34.2	3,531	17	0.5	629	356	1.8	56.6	5.5
509	読谷村果樹産地協議会	239	81	4	0	0	9	55	4	122	1	x	33.9	0.0	0.0	23.0	30.5	x	134	10	7.5	360	161	1.5	44.7	3.8
510	今帰仁村マンゴー産地協議会	526	302	83	6	1	45	123	64	4,855	28	952	57.4	7.2	1.2	23.4	75.9	34.0	5,871	1,145	19.5	897	512	1.7	57.1	8.6
511	北部地区パインアップル生産振興協議会	2,964	1,281	1,051	99	43	150	679	894	79,145	298	8,759	43.2	9.4	4.1	22.9	88.5	29.4	88,482	13,654	15.4	4,722	2,337	1.6	49.5	5.1
512	石垣市果樹産地振興協議会（マンゴー部会）	965	361	114	27	12	57	184	100	12,677	26	1,226	37.4	23.7	10.5	19.1	126.8	47.2	14,163	240	1.7	1,304	630	1.4	48.3	5.9
513	宜野座村熱帯果樹産地協議会	245	100	69	6	2	16	75	43	3,392	41	1,211	40.8	8.7	2.9	30.6	78.9	29.5	4,630	283	6.1	338	183	1.4	54.1	6.5

(3) 果樹の栽培面積

1) 品目別の栽培面積（平成26年産）（その1）

単位：ha

全国農業地域・都道府県	みかん	その他かんきつ類	りんご	日本なし	西洋なし	かき	びわ	もも
全国	**45,400**	**27,200**	**38,900**	**13,200**	**1,630**	**21,900**	**1,490**	**10,600**
北海道	-	-	618	52	88	0	-	11
青森	-	-	21,000	117	150	44	-	119
岩手	-	-	2,540	44	68	63	-	89
宮城	-	14	258	170	8	388	0	38
秋田	-	-	1,450	210	68	64	-	100
山形	-	-	2,370	139	953	932	-	668
福島	-	12	1,360	956	42	1,330	-	1,770
茨城	16	33	117	1,200	2	418	-	10
栃木	3	39	156	827	3	125	0	21
群馬	5	23	428	224	7	206	0	67
埼玉	18	48	20	435	1	158	0	17
千葉	103	68	2	1,650	-	265	164	5
東京	16	15	10	96	-	97	1	6
神奈川	1,290	224	17	257	0	281	1	8
新潟	4	0	42	481	110	682	0	242
富山	2	16	118	186	4	302	-	31
石川	1	7	51	147	1	315	0	17
福井	26	0	2	67	0	138	2	0
山梨	-	23	62	37	4	652	-	3,480
長野	x	1	7,900	803	102	685	-	1,130
岐阜	93	11	97	130	5	1,340	-	83
静岡	5,890	1,100	5	152	0	553	15	38
愛知	1,450	160	2	400	-	1,250	13	225
三重	1,270	381	0	159	x	441	11	10
滋賀	1	1	4	58	1	157	-	11
京都	53	27	6	87	0	212	1	23
大阪	749	28	0	4	-	58	3	44
兵庫	171	93	15	69	-	202	47	39
奈良	49	23	4	76	0	1,860	1	27
和歌山	7,880	2,310	4	36	0	2,730	53	770
鳥取	-	4	47	980	0	317	5	17
島根	8	51	6	84	0	373	2	12
岡山	133	62	25	125	6	436	7	672
広島	2,150	1,480	83	149	2	387	28	89
山口	770	481	50	204	0	252	27	46
徳島	906	1,040	1	234	-	248	4	48
香川	1,220	321	1	38	-	212	82	216
愛媛	6,430	8,400	10	93	-	692	84	93
高知	348	1,720	3	140	-	183	43	25
福岡	1,450	351	17	457	-	1,810	44	106
佐賀	2,650	645	5	300	-	154	35	27
長崎	3,230	530	0	68	-	119	538	29
熊本	4,360	2,780	9	551	0	413	47	114
大分	823	1,170	6	386	-	165	58	29
宮崎	754	779	4	66	-	140	2	12
鹿児島	1,020	2,120	x	41	x	80	168	6
沖縄	106	566	-	-	-	-	3	-

資料：農林水産省統計部『平成26年　耕地及び作付面積統計』

(3) 果樹の栽培面積（つづき）

1）品目別の栽培面積（平成26年産）（その2）

単位：ha

全国農業地域・都道府県	すもも	おうとう	うめ	ぶどう	くり	パインアップル	キウイフルーツ
全国	**3,080**	**4,830**	**17,000**	**18,300**	**20,800**	**493**	**2,230**
北海道	142	573	48	1,130	18	0	－
青森	104	305	240	459	161	－	1
岩手	15	28	134	368	200	－	2
宮城	34	13	473	30	205	－	28
秋田	24	91	120	203	271	－	8
山形	250	3,140	136	1,670	201	－	24
福島	157	97	463	283	184	－	27
茨城	10	2	521	275	3,810	－	47
栃木	29	4	321	228	584	－	68
群馬	64	41	1,060	145	239	－	83
埼玉	46	1	315	176	687	－	33
千葉	3	－	309	82	478	－	52
東京	4	0	240	48	464	0	23
神奈川	8	0	403	86	485	－	143
新潟	5	42	103	273	235	－	35
富山	0	0	46	34	56	－	6
石川	4	0	114	162	149	－	19
福井	0	1	507	14	86	－	3
山梨	918	357	445	4,150	87	－	59
長野	399	113	507	2,400	261	－	38
岐阜	4	0	174	35	542	－	30
静岡	4	0	288	35	296	－	133
愛知	7	－	414	494	201	－	40
三重	0	－	283	120	150	－	21
滋賀	0	5	77	60	95	－	2
京都	0	1	89	87	501	－	11
大阪	5	－	40	432	174	－	5
兵庫	7	1	133	278	607	－	11
奈良	22	2	360	73	92	－	13
和歌山	297	0	5,590	141	52	－	152
鳥取	2	1	76	81	57	－	8
島根	5	1	114	269	131	－	5
岡山	26	3	145	1,210	358	－	19
広島	38	2	303	293	264	－	39
山口	5	x	282	87	792	－	35
徳島	13	0	200	88	128	－	44
香川	22	0	34	206	58	－	52
愛媛	40	0	197	157	2,260	－	427
高知	37	0	92	41	245	0	4
福岡	80	－	328	855	270	－	301
佐賀	19	－	196	97	129	－	82
長崎	7	－	125	97	113	－	17
熊本	38	1	179	232	2,890	－	23
大分	70	－	271	316	444	－	44
宮崎	16	－	210	184	878	x	5
鹿児島	94	x	291	75	158	x	8
沖縄	2	－	1	2	－	490	－

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』

2)-1.　みかん栽培面積

区分	平．16年	21年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**55,700**	**49,900**	**45,400**	**△ 10.4**	**△ 9.0**	**△ 18.5**
北海道			－			
青森			－			
岩手		－	－			
宮城		－	－			
秋田		－	－			
山形		－	－			
福島		－	－			
茨城	19	16	16	△ 15.8	0.0	△ 15.8
栃木	3	3	3	0.0	0.0	0.0
群馬	3	3	5	0.0	66.7	66.7
埼玉	14	18	18	28.6	0.0	28.6
千葉	126	108	103	△ 14.3	△ 4.6	△ 18.3
東京						
神奈川	1,480	1,410	1,290	△ 4.7	△ 8.5	△ 12.8
新潟	0	3	4			
富山	－	1	2			
石川	－	0	1			
福井	27	26	26	△ 3.7	0.0	△ 3.7
山梨			－			
長野	－		x			
岐阜	121	111	93	△ 8.3	△ 16.2	△ 23.1
静岡	6,500	6,150	5,890	△ 5.4	△ 4.2	△ 9.4
愛知	1,720	1,600	1,450	△ 7.0	△ 9.4	△ 15.7
三重	1,500	1,340	1,270	△ 10.7	△ 5.2	△ 15.3
滋賀	3	2	1	△ 33.3	△ 50.0	△ 66.7
京都	63	60	53	△ 4.8	△ 11.7	△ 15.9
大阪	867	819	749	△ 5.5	△ 8.5	△ 13.6
兵庫	227	182	171	△ 19.8	△ 6.0	△ 24.7
奈良	64	52	49	△ 18.8	△ 5.8	△ 23.4
和歌山	7,920	8,000	7,880	1.0	△ 1.5	△ 0.5
鳥取						
島根	9	8	8	△ 11.1	0.0	△ 11.1
岡山	154	152	133	△ 1.3	△ 12.5	△ 13.6
広島	3,010	2,630	2,150	△ 12.6	△ 18.3	△ 28.6
山口	1,360	987	770	△ 27.4	△ 22.0	△ 43.4
徳島	1,030	942	906	△ 8.5	△ 3.8	△ 12.0
香川	1,510	1,310	1,220	△ 13.2	△ 6.9	△ 19.2
愛媛	8,470	7,180	6,430	△ 15.2	△ 10.4	△ 24.1
高知	407	368	348	△ 9.6	△ 5.4	△ 14.5
福岡	2,300	1,950	1,450	△ 15.2	△ 25.6	△ 37.0
佐賀	3,710	2,970	2,650	△ 19.9	△ 10.8	△ 28.6
長崎	4,000	3,620	3,230	△ 9.5	△ 10.8	△ 19.3
熊本	5,190	4,800	4,360	△ 7.5	△ 9.2	△ 16.0
大分	1,390	965	823	△ 30.6	△ 14.7	△ 40.8
宮崎	1,030	874	754	△ 15.1	△ 13.7	△ 26.8
鹿児島	1,300	1,140	1,020	△ 12.3	△ 10.5	△ 21.5
沖縄	174	119	106	△ 31.6	△ 10.9	△ 39.1

2)-2.　りんご栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**43,700**	**41,100**	**38,900**	**△ 5.9**	**△ 5.4**	**△ 11.0**
北海道	863	682	618	△ 21.0	△ 9.4	**△ 28.4**
青森	22,700	22,000	21,000	△ 3.1	△ 4.5	**△ 7.5**
岩手	3,010	2,770	2,540	△ 8.0	△ 8.3	**△ 15.6**
宮城	374	291	258	△ 22.2	△ 11.3	**△ 31.0**
秋田	1,990	1,690	1,450	△ 15.1	△ 14.2	**△ 27.1**
山形	2,720	2,500	2,370	△ 8.1	△ 5.2	**△ 12.9**
福島	1,630	1,460	1,360	△ 10.4	△ 6.8	**△ 16.6**
茨城	122	118	117	△ 3.3	△ 0.8	**△ 4.1**
栃木	166	160	156	△ 3.6	△ 2.5	**△ 6.0**
群馬	486	443	428	△ 8.8	△ 3.4	**△ 11.9**
埼玉	34	27	20	△ 20.6	△ 25.9	**△ 41.2**
千葉	2	1	2	△ 50.0	100.0	**0.0**
東京	15	11	10	△ 26.7	△ 9.1	**△ 33.3**
神奈川	20	21	17	5.0	△ 19.0	**△ 15.0**
新潟	47	47	42	0.0	△ 10.6	**△ 10.6**
富山	120	125	118	4.2	△ 5.6	**△ 1.7**
石川	66	55	51	△ 16.7	△ 7.3	**△ 22.7**
福井	3	2	2	△ 33.3	0.0	**△ 33.3**
山梨	139	104	62	△ 25.2	△ 40.4	**△ 55.4**
長野	8,640	8,220	7,900	△ 4.9	△ 3.9	**△ 8.6**
岐阜	102	99	97	△ 2.9	△ 2.0	**△ 4.9**
静岡	3	3	5	0.0	66.7	**66.7**
愛知	6	4	2	△ 33.3	△ 50.0	**△ 66.7**
三重						
滋賀	7	7	4	0.0	△ 42.9	**△ 42.9**
京都	8	7	6	△ 12.5	△ 14.3	**△ 25.0**
大阪						
兵庫	19	17	15	△ 10.5	△ 11.8	**△ 21.1**
奈良	4	4	4	0.0	0.0	**0.0**
和歌山	7	5	4	△ 28.6	△ 20.0	**△ 42.9**
鳥取	55	50	47	△ 9.1	△ 6.0	**△ 14.5**
島根	12	8	6	△ 33.3	△ 25.0	**△ 50.0**
岡山	37	28	25	△ 24.3	△ 10.7	**△ 32.4**
広島	90	85	83	△ 5.6	△ 2.4	**△ 7.8**
山口	51	51	50	0.0	△ 2.0	**△ 2.0**
徳島	1	1	1	0.0	0.0	**0.0**
香川	3	3	1	0.0	△ 66.7	**△ 66.7**
愛媛	12	10	10	△ 16.7	0.0	**△ 16.7**
高知	2	3	3	50.0	0.0	**50.0**
福岡	20	17	17	△ 15.0	0.0	**△ 15.0**
佐賀	5	5	5	0.0	0.0	**0.0**
長崎	1	1	0	0.0	△ 100.0	**△ 100.0**
熊本	23	19	9	△ 17.4	△ 52.6	**△ 60.9**
大分	12	6	6	△ 50.0	0.0	**△ 50.0**
宮崎	5	5	4	0.0	△ 20.0	**△ 20.0**
鹿児島	1		x			
沖縄			－			

2)-3.　ぶどう栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**20,400**	**19,400**	**18,300**	**△ 4.9**	**△ 5.7**	**△ 10.3**
北海道	1,350	1,180	1,130	△ 12.6	△ 4.2	**△ 16.3**
青森	469	463	459	△ 1.3	△ 0.9	**△ 2.1**
岩手	391	406	368	3.8	△ 9.4	**△ 5.9**
宮城	31	34	30	9.7	△ 11.8	**△ 3.2**
秋田	261	217	203	△ 16.9	△ 6.5	**△ 22.2**
山形	1,880	1,760	1,670	△ 6.4	△ 5.1	**△ 11.2**
福島	303	293	283	△ 3.3	△ 3.4	**△ 6.6**
茨城	309	278	275	△ 10.0	△ 1.1	**△ 11.0**
栃木	270	264	228	△ 2.2	△ 13.6	**△ 15.6**
群馬	153	139	145	△ 9.2	4.3	**△ 5.2**
埼玉	224	198	176	△ 11.6	△ 11.1	**△ 21.4**
千葉	81	83	82	2.5	△ 1.2	**1.2**
東京	50	47	48	△ 6.0	2.1	**△ 4.0**
神奈川	91	92	86	1.1	△ 6.5	**△ 5.5**
新潟	379	353	273	△ 6.9	△ 22.7	**△ 28.0**
富山	34	33	34	△ 2.9	3.0	**0.0**
石川	171	160	162	△ 6.4	1.3	**△ 5.3**
福井	13	14	14	7.7	0.0	**7.7**
山梨	4,380	4,290	4,150	△ 2.1	△ 3.3	**△ 5.3**
長野	2,500	2,450	2,400	△ 2.0	△ 2.0	**△ 4.0**
岐阜	41	41	35	0.0	△ 14.6	**△ 14.6**
静岡	31	35	35	12.9	0.0	**12.9**
愛知	546	525	494	△ 3.8	△ 5.9	**△ 9.5**
三重	134	124	120	△ 7.5	△ 3.2	**△ 10.4**
滋賀	60	61	60	1.7	△ 1.6	**0.0**
京都	94	95	87	1.1	△ 8.4	**△ 7.4**
大阪	495	476	432	△ 3.8	△ 9.2	**△ 12.7**
兵庫	374	335	278	△ 10.4	△ 17.0	**△ 25.7**
奈良	78	76	73	△ 2.6	△ 3.9	**△ 6.4**
和歌山	148	146	141	△ 1.4	△ 3.4	**△ 4.7**
鳥取	121	92	81	△ 24.0	△ 12.0	**△ 33.1**
島根	361	299	269	△ 17.2	△ 10.0	**△ 25.5**
岡山	1,200	1,230	1,210	2.5	△ 1.6	**0.8**
広島	333	351	293	5.4	△ 16.5	**△ 12.0**
山口	102	88	87	△ 13.7	△ 1.1	**△ 14.7**
徳島	108	96	88	△ 11.1	△ 8.3	**△ 18.5**
香川	266	219	206	△ 17.7	△ 5.9	**△ 22.6**
愛媛	190	176	157	△ 7.4	△ 10.8	**△ 17.4**
高知	50	41	41	△ 18.0	0.0	**△ 18.0**
福岡	1,060	981	855	△ 7.5	△ 12.8	**△ 19.3**
佐賀	136	105	97	△ 22.8	△ 7.6	**△ 28.7**
長崎	128	120	97	△ 6.3	△ 19.2	**△ 24.2**
熊本	290	260	232	△ 10.3	△ 10.8	**△ 20.0**
大分	386	348	316	△ 9.8	△ 9.2	**△ 18.1**
宮崎	209	200	184	△ 4.3	△ 8.0	**△ 12.0**
鹿児島	81	76	75	△ 6.2	△ 1.3	
沖縄		2	2			

2)-4.　かき栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**25,100**	**23,600**	**21,900**	**△ 6.0**	**△ 7.2**	**△ 12.7**
北海道						
青森	49	45	44	△ 8.2	△ 2.2	**△ 10.2**
岩手	70	65	63	△ 7.1	△ 3.1	**△ 10.0**
宮城	443	410	388	△ 7.4	△ 5.4	**△ 12.4**
秋田	70	64	64	△ 8.6	0.0	**△ 8.6**
山形	1,200	1,060	932	△ 11.7	△ 12.1	**△ 22.3**
福島	1,430	1,410	1,330	△ 1.4	△ 5.7	**△ 7.0**
茨城	457	440	418	△ 3.7	△ 5.0	**△ 8.5**
栃木	152	143	125	△ 5.9	△ 12.6	**△ 17.8**
群馬	291	230	206	△ 21.0	△ 10.4	**△ 29.2**
埼玉	165	165	158	0.0	△ 4.2	**△ 4.2**
千葉	282	277	265	△ 1.8	△ 4.3	**△ 6.0**
東京	71	75	97	5.6	29.3	**36.6**
神奈川	324	305	281	△ 5.9	△ 7.9	**△ 13.3**
新潟	895	798	682	△ 10.8	△ 14.5	**△ 23.8**
富山	316	305	302	△ 3.5	△ 1.0	**△ 4.4**
石川	322	322	315	0.0	△ 2.2	**△ 2.2**
福井	153	141	138	△ 7.8	△ 2.1	**△ 9.8**
山梨	675	675	652	0.0	△ 3.4	**△ 3.4**
長野	708	692	685	△ 2.3	△ 1.0	**△ 3.2**
岐阜	1,610	1,460	1,340	△ 9.3	△ 8.2	**△ 16.8**
静岡	627	589	553	△ 6.1	△ 6.1	**△ 11.8**
愛知	1,390	1,380	1,250	△ 0.7	△ 9.4	**△ 10.1**
三重	533	483	441	△ 9.4	△ 8.7	**△ 17.3**
滋賀	186	166	157	△ 10.8	△ 5.4	**△ 15.6**
京都	230	220	212	△ 4.3	△ 3.6	**△ 7.8**
大阪	66	65	58	△ 1.5	△ 10.8	**△ 12.1**
兵庫	215	208	202	△ 3.3	△ 2.9	**△ 6.0**
奈良	1,870	1,870	1,860	0.0	△ 0.5	**△ 0.5**
和歌山	2,960	2,850	2,730	△ 3.7	△ 4.2	**△ 7.8**
鳥取	394	351	317	△ 10.9	△ 9.7	**△ 19.5**
島根	588	506	373	△ 13.9	△ 26.3	**△ 36.6**
岡山	478	459	436	△ 4.0	△ 5.0	**△ 8.8**
広島	423	410	387	△ 3.1	△ 5.6	**△ 8.5**
山口	291	261	252	△ 10.3	△ 3.4	**△ 13.4**
徳島	330	271	248	△ 17.9	△ 8.5	**△ 24.8**
香川	265	223	212	△ 15.8	△ 4.9	**△ 20.0**
愛媛	874	796	692	△ 8.9	△ 13.1	**△ 20.8**
高知	178	184	183	3.4	△ 0.5	**2.8**
福岡	2,200	2,070	1,810	△ 5.9	△ 12.6	**△ 17.7**
佐賀	166	158	154	△ 4.8	△ 2.5	**△ 7.2**
長崎	140	128	119	△ 8.6	△ 7.0	**△ 15.0**
熊本	458	437	413	△ 4.6	△ 5.5	**△ 9.8**
大分	226	184	165	△ 18.6	△ 10.3	**△ 27.0**
宮崎	167	155	140	△ 7.2	△ 9.7	**△ 16.2**
鹿児島	112	102	80	△ 8.9	△ 21.6	
沖縄			－			

2)-5.　もも栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**11,300**	**11,000**	**10,600**	**△ 2.7**	**△ 3.6**	**△ 6.2**
北海道	22	16	11	△ 27.3	△ 31.3	**△ 50.0**
青森	113	109	119	△ 3.5	9.2	**5.3**
岩手	109	92	89	△ 15.6	△ 3.3	**△ 18.3**
宮城	45	44	38	△ 2.2	△ 13.6	**△ 15.6**
秋田	75	87	100	16.0	14.9	**33.3**
山形	631	646	668	2.4	3.4	**5.9**
福島	1,750	1,790	1,770	2.3	△ 1.1	**1.1**
茨城	9	9	10	0.0	11.1	**11.1**
栃木	18	22	21	22.2	△ 4.5	**16.7**
群馬	80	71	67	△ 11.3	△ 5.6	**△ 16.3**
埼玉	15	17	17	13.3	0.0	**13.3**
千葉	6	6	5	0.0	△ 16.7	**△ 16.7**
東京	3	4	6	33.3	50.0	**100.0**
神奈川	8	10	8	25.0	△ 20.0	**0.0**
新潟	280	268	242	△ 4.3	△ 9.7	**△ 13.6**
富山	13	27	31	107.7	14.8	**138.5**
石川	18	16	17	△ 11.1	6.3	**△ 5.6**
福井	5	3	0	△ 40.0	△ 100.0	**△ 100.0**
山梨	3,500	3,540	3,480	1.1	△ 1.7	**△ 0.6**
長野	1,310	1,220	1,130	△ 6.9	△ 7.4	**△ 13.7**
岐阜	106	94	83	△ 11.3	△ 11.7	**△ 21.7**
静岡	49	44	38	△ 10.2	△ 13.6	**△ 22.4**
愛知	274	226	225	△ 17.5	△ 0.4	**△ 17.9**
三重	21	16	10	△ 23.8	△ 37.5	**△ 52.4**
滋賀	14	12	11	△ 14.3	△ 8.3	**△ 21.4**
京都	45	42	23	△ 6.7	△ 45.2	**△ 48.9**
大阪	37	37	44	0.0	18.9	**18.9**
兵庫	38	43	39	13.2	△ 9.3	**2.6**
奈良	29	29	27	0.0	△ 6.9	**△ 6.9**
和歌山	796	781	770	△ 1.9	△ 1.4	**△ 3.3**
鳥取	19	16	17	△ 15.8	6.3	**△ 10.5**
島根	15	13	12	△ 13.3	△ 7.7	**△ 20.0**
岡山	728	709	672	△ 2.6	△ 5.2	**△ 7.7**
広島	111	102	89	△ 8.1	△ 12.7	**△ 19.8**
山口	42	42	46	0.0	9.5	**9.5**
徳島	67	52	48	△ 22.4	△ 7.7	**△ 28.4**
香川	293	243	216	△ 17.1	△ 11.1	**△ 26.3**
愛媛	132	108	93	△ 18.2	△ 13.9	**△ 29.5**
高知	27	25	25	△ 7.4	0.0	**△ 7.4**
福岡	139	120	106	△ 13.7	△ 11.7	**△ 23.7**
佐賀	31	27	27	△ 12.9	0.0	**△ 12.9**
長崎	33	35	29	6.1	△ 17.1	**△ 12.1**
熊本	145	135	114	△ 6.9	△ 15.6	**△ 21.4**
大分	42	34	29	△ 19.0	△ 14.7	**△ 31.0**
宮崎	21	16	12	△ 23.8	△ 25.0	**△ 42.9**
鹿児島	11	8	6	△ 27.3	△ 25.0	
沖縄			－			

2)-6.　日本なし栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**16,200**	**14,700**	**13,200**	**△ 9.3**	**△ 10.2**	**△ 18.5**
北海道	75	55	52	△ 26.7	△ 5.5	**△ 30.7**
青森	154	134	117	△ 13.0	△ 12.7	**△ 24.0**
岩手	57	49	44	△ 14.0	△ 10.2	**△ 22.8**
宮城	199	171	170	△ 14.1	△ 0.6	**△ 14.6**
秋田	248	220	210	△ 11.3	△ 4.5	**△ 15.3**
山形	146	145	139	△ 0.7	△ 4.1	**△ 4.8**
福島	1,240	1,160	956	△ 6.5	△ 17.6	**△ 22.9**
茨城	1,580	1,400	1,200	△ 11.4	△ 14.3	**△ 24.1**
栃木	931	889	827	△ 4.5	△ 7.0	**△ 11.2**
群馬	269	239	224	△ 11.2	△ 6.3	**△ 16.7**
埼玉	631	535	435	△ 15.2	△ 18.7	**△ 31.1**
千葉	1,750	1,720	1,650	△ 1.7	△ 4.1	**△ 5.7**
東京	116	97	96	△ 16.4	△ 1.0	**△ 17.2**
神奈川	284	276	257	△ 2.8	△ 6.9	**△ 9.5**
新潟	578	546	481	△ 5.5	△ 11.9	**△ 16.8**
富山	207	193	186	△ 6.8	△ 3.6	**△ 10.1**
石川	167	159	147	△ 4.8	△ 7.5	**△ 12.0**
福井	76	70	67	△ 7.9	△ 4.3	**△ 11.8**
山梨	52	46	37	△ 11.5	△ 19.6	**△ 28.8**
長野	1,020	915	803	△ 10.3	△ 12.2	**△ 21.3**
岐阜	151	149	130	△ 1.3	△ 12.8	**△ 13.9**
静岡	177	174	152	△ 1.7	△ 12.6	**△ 14.1**
愛知	459	435	400	△ 5.2	△ 8.0	**△ 12.9**
三重	203	182	159	△ 10.3	△ 12.6	**△ 21.7**
滋賀	66	68	58	3.0	△ 14.7	**△ 12.1**
京都	113	102	87	△ 9.7	△ 14.7	**△ 23.0**
大阪	4	5	4	25.0	△ 20.0	**0.0**
兵庫	104	94	69	△ 9.6	△ 26.6	**△ 33.7**
奈良	80	79	76	△ 1.3	△ 3.8	**△ 5.0**
和歌山	44	37	36	△ 15.9	△ 2.7	**△ 18.2**
鳥取	1,470	1,180	980	△ 19.7	△ 16.9	**△ 33.3**
島根	127	114	84	△ 10.2	△ 26.3	**△ 33.9**
岡山	149	144	125	△ 3.4	△ 13.2	**△ 16.1**
広島	170	148	149	△ 12.9	0.7	**△ 12.4**
山口	242	216	204	△ 10.7	△ 5.6	**△ 15.7**
徳島	274	251	234	△ 8.4	△ 6.8	**△ 14.6**
香川	56	40	38	△ 28.6	△ 5.0	**△ 32.1**
愛媛	111	108	93	△ 2.7	△ 13.9	**△ 16.2**
高知	170	153	140	△ 10.0	△ 8.5	**△ 17.6**
福岡	559	503	457	△ 10.0	△ 9.1	**△ 18.2**
佐賀	415	330	300	△ 20.5	△ 9.1	**△ 27.7**
長崎	90	81	68	△ 10.0	△ 16.0	**△ 24.4**
熊本	641	607	551	△ 5.3	△ 9.2	**△ 14.0**
大分	445	407	386	△ 8.5	△ 5.2	**△ 13.3**
宮崎	80	75	66	△ 6.3	△ 12.0	**△ 17.5**
鹿児島	51	43	41	△ 15.7	△ 4.7	
沖縄			－			

2)-7.　おうとう栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**4,660**	**4,900**	**4,830**	**5.2**	**△ 1.4**	**3.6**
北海道	509	587	573	15.3	△ 2.4	**12.6**
青森	391	342	305	△ 12.5	△ 10.8	**△ 22.0**
岩手	42	29	28	△ 31.0	△ 3.4	**△ 33.3**
宮城	9	13	13	44.4	0.0	**44.4**
秋田	85	87	91	2.4	4.6	**7.1**
山形	2,850	3,180	3,140	11.6	△ 1.3	**10.2**
福島	89	91	97	2.2	6.6	**9.0**
茨城	2	2	2	0.0	0.0	**0.0**
栃木	3	4	4	33.3	0.0	**33.3**
群馬	36	34	41	△ 5.6	20.6	**13.9**
埼玉			1			
千葉			-			
東京						
神奈川	1			△ 100.0		**△ 100.0**
新潟	42	42	42	0.0	0.0	**0.0**
富山	0	0	0			
石川	0	0	0			
福井	2	1	1	△ 50.0	0.0	**△ 50.0**
山梨	361	364	357	0.8	△ 1.9	**△ 1.1**
長野	106	109	113	2.8	3.7	**6.6**
岐阜	0	0	0			
静岡	0	0	0			
愛知						
三重						
滋賀	3	5	5	66.7	0.0	**66.7**
京都	x	1	1		0.0	
大阪						
兵庫	1	1	1	0.0	0.0	**0.0**
奈良	x	1	2		100.0	
和歌山	0	0	0			
鳥取			1			
島根	1	1	1	0.0	0.0	**0.0**
岡山	1	1	3	0.0	200.0	**200.0**
広島	2	3	2	50.0	△ 33.3	**0.0**
山口	2	2	x	0.0		
徳島	0	0	0			
香川	0	0	0			
愛媛	0	0	0			
高知	0	0	0			
福岡	0	0	-			
佐賀	0	x	-			
長崎		-	-			
熊本	1	-	1			**0.0**
大分	-	x	-			
宮崎	0	-	-			
鹿児島	-	0	x			
沖縄		x	-			

2)-8.　うめ栽培面積

区分	平．１6年	２１年	26年	21/16	26/21	26/16
全国	**18,600**	**18,200**	**16,200**	**△ 2.2**	**△ 11.0**	**△ 12.9**
北海道	72	57	48	△ 20.8	△ 15.8	**△ 33.3**
青森	325	265	239	△ 18.5	△ 9.8	**△ 26.5**
岩手	144	139	134	△ 3.5	△ 3.6	**△ 6.9**
宮城	522	496	465	△ 5.0	△ 6.3	**△ 10.9**
秋田	135	126	119	△ 6.7	△ 5.6	**△ 11.9**
山形	155	141	132	△ 9.0	△ 6.4	**△ 14.8**
福島	564	539	450	△ 4.4	△ 16.5	**△ 20.2**
茨城	578	565	511	△ 2.2	△ 9.6	**△ 11.6**
栃木	379	337	296	△ 11.1	△ 12.2	**△ 21.9**
群馬	1,380	1,140	1,040	△ 17.4	△ 8.8	**△ 24.6**
埼玉	357	341	313	△ 4.5	△ 8.2	**△ 12.3**
千葉	342	331	304	△ 3.2	△ 8.2	**△ 11.1**
東京	308	285	240	△ 7.5	△ 15.8	**△ 22.1**
神奈川	493	469	396	△ 4.9	△ 15.6	**△ 19.7**
新潟	150	139	100	△ 7.3	△ 28.1	**△ 33.3**
富山	46	47	43	2.2	△ 8.5	**△ 6.5**
石川	116	120	108	3.4	△ 10.0	**△ 6.9**
福井	521	510	497	△ 2.1	△ 2.5	**△ 4.6**
山梨	559	480	436	△ 14.1	△ 9.2	**△ 22.0**
長野	748	632	503	△ 15.5	△ 20.4	**△ 32.8**
岐阜	188	188	171	0.0	△ 9.0	**△ 9.0**
静岡	334	317	279	△ 5.1	△ 12.0	**△ 16.5**
愛知	405	422	348	4.2	△ 17.5	**△ 14.1**
三重	306	294	264	△ 3.9	△ 10.2	**△ 13.7**
滋賀	83	75	75	△ 9.6	0.0	**△ 9.6**
京都	86	89	87	3.5	△ 2.2	**1.2**
大阪	46	45	40	△ 2.2	△ 11.1	**△ 13.0**
兵庫	136	137	124	0.7	△ 9.5	**△ 8.8**
奈良	392	389	357	△ 0.8	△ 8.2	**△ 8.9**
和歌山	4,950	5,620	5,140	13.5	△ 8.5	**3.8**
鳥取	79	79	70	0.0	△ 11.4	**△ 11.4**
島根	149	140	110	△ 6.0	△ 21.4	**△ 26.2**
岡山	158	146	136	△ 7.6	△ 6.8	**△ 13.9**
広島	297	313	299	5.4	△ 4.5	**0.7**
山口	321	297	278	△ 7.5	△ 6.4	**△ 13.4**
徳島	319	253	199	△ 20.7	△ 21.3	**△ 37.6**
香川	36	33	32	△ 8.3	△ 3.0	**△ 11.1**
愛媛	**319**	267	189	△ 16.3	△ 29.2	**△ 40.8**
高知	**86**	91	89	5.8	△ 2.2	**3.5**
福岡	**478**	428	**323**	△ 10.5	△ 24.5	**△ 32.4**
佐賀	**203**	199	**180**	△ 2.0	△ 9.5	**△ 11.3**
長崎	**147**	134	**124**	△ 8.8	△ 7.5	**△ 15.6**
熊本	**233**	188	**170**	△ 19.3	△ 9.6	**△ 27.0**
大分	**343**	312	**269**	△ 9.0	△ 13.8	**△ 21.6**
宮崎	**211**	217	**191**	2.8	△ 12.0	**△ 9.5**
鹿児島	**371**	364	**269**	△ 1.9	△ 26.1	
沖縄						

(4) 結果樹面積・10a当たり収量・収穫量

1)結果樹面積

単位：ha

品目・品種	平成21年産	22	23	24	25	26
1) 計	203,900	200,500	197,900	195,200	192,500	190,400
みかん	47,000	46,100	45,300	44,600	43,700	42,900
早生温州	26,700	26,300	25,700	25,300	24,800	24,400
うち極早生みかん	8,720	8,490	8,260	8,120	7,860	7,720
ハウスみかん	612	603	584	536	513	483
普通温州	20,200	19,900	19,600	19,300	18,900	18,600
りんご	38,800	38,100	37,800	37,400	37,200	37,100
うちふじ	20,100	19,900	19,700	19,500	19,400	19,300
つがる	5,250	5,190	5,080	4,990	4,950	4,880
ジョナゴールド	3,170	3,030	2,870	2,800	2,700	2,660
王林	3,430	3,300	3,200	3,130	3,010	2,980
日本なし	14,200	13,900	13,700	13,300	13,000	12,800
西洋なし	1,680	1,640	1,590	1,570	1,560	1,520
かき	22,700	22,400	22,100	21,900	21,600	21,300
びわ	1,680	1,630	1,600	1,550	1,490	1,450
もも	10,100	10,000	9,980	9,950	9,890	9,850
すもも	3,010	2,990	2,970	2,970	2,940	2,900
おうとう	4,450	4,470	4,440	4,440	4,460	4,460
うめ	17,100	16,900	16,600	16,400	16,200	16,200
ぶどう	18,300	18,000	17,800	17,600	17,400	17,300
くり	22,100	21,700	21,400	21,000	20,600	20,200
2)3) パインアップル	413	357	345	326	311	302
キウイフルーツ	2,370	2,300	2,250	2,240	2,170	2,150

注　：　この表は、調査した果樹とその品種について、年次別に取りまとめたものである。
平成19年産から一部品目を除き品種別の調査を廃止した。
1)計は、平成19年産から、なつみかん、はっさく、いよかん及びネーブルオレンジの調査を廃止したことから、平成18年産までの計は18品目の合計であり、平成19年産以降の計は14品目の合計である。
2)は、沖縄県のみの数値である。
3)は、収穫面積である。

2)　10ａ当たり収量

単位：kg

品目・品種	平成21年産	22	23	24	25	26
みかん	2,130	1,700	2,050	1,900	2,050	2,040
早生温州	2,180	1,770	2,130	1,950	2,090	2,110
うち極早生みかん	1,990	1,640	1,830	1,830	1,960	2,040
ハウスみかん	4,800	4,710	4,900	4,850	4,810	4,890
普通温州	2,080	1,600	1,950	1,820	2,000	1,940
りんご	2,180	2,060	1,730	2,120	1,990	2,200
うちふじ	2,370	2,210	1,790	2,220	2,040	2,260
つがる	1,840	1,630	1,660	1,730	1,730	1,880
ジョナゴールド	2,150	2,000	1,740	2,090	1,900	2,130
王林	1,950	2,100	1,600	2,090	1,980	2,020
日本なし	2,240	1,860	2,090	2,070	2,060	2,110
西洋なし	2,000	1,600	1,670	1,500	1,740	1,610
かき	1,140	846	939	1,160	994	1,130
びわ	396	350	331	209	333	311
もも	1,490	1,370	1,400	1,360	1,260	1,390
すもも	694	699	758	751	741	769
おうとう	373	441	459	401	406	426
うめ	674	547	644	549	764	688
ぶどう	1,100	1,030	970	1,130	1,090	1,090
くり	98	108	89	100	102	106
1)パインアップル	2,330	2,460	1,840	1,920	2,120	2,360
キウイフルーツ	1,480	1,150	1,160	1,330	1,400	1,470

注　：　この表は、調査した果樹とその品種について、年次別に取りまとめたものである。
平成19年産から一部品目を除き品種別の調査を廃止した。
1)は、沖縄県のみの数値である。

3) 収穫量

単位：t

品目・品種	平成21年	22	23	24	25	26
合計	3,037,000	2,566,000	2,623,000	2,717,000	2,688,000	2,770,000
みかん	1,003,000	786,000	928,200	846,300	895,900	874,700
うち 早生温州	581,700	466,700	546,800	494,100	517,500	514,700
うち 極早生みかん	173,100	139,100	151,400	149,000	153,900	157,200
うち ハウスみかん	29,400	28,400	28,600	26,000	24,700	23,600
うち 普通温州	421,000	319,300	381,400	352,200	378,400	360,000
りんご	845,600	786,500	655,300	793,800	741,700	816,300
うち ふじ	475,700	440,100	351,800	432,100	396,600	436,300
うち つがる	96,700	84,400	84,300	86,200	85,600	91,700
うち ジョナゴールド	68,100	60,600	49,800	58,500	51,400	56,600
うち 王林	67,000	69,200	51,100	65,300	59,600	60,300
日本なし	317,900	258,700	286,200	275,400	267,200	270,700
西洋なし	33,600	26,200	26,600	23,600	27,200	24,400
かき	258,000	189,400	207,500	253,800	214,700	240,600
びわ	6,650	5,700	5,300	3,240	4,960	4,510
もも	150,700	136,700	139,800	135,200	124,700	137,000
すもも	20,900	20,900	22,500	22,300	21,800	22,300
おうとう	16,600	19,700	20,400	17,800	18,100	19,000
うめ	115,200	92,400	106,900	90,000	123,700	111,400
ぶどう	202,200	184,800	172,600	198,300	189,700	189,200
くり	21,700	23,500	19,100	20,900	21,000	21,400
パインアップル	9,620	8,780	6,350	6,260	6,590	7,130
キウイフルーツ	35,000	26,500	26,100	29,800	30,400	31,600

4）結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量（平成26年産）

(1)　みかん

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対25年産比 結果樹面積	対24年産比 結果樹面積	対24年産比 10ａ当たり収量	対24年産比 収穫量	対24年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全国	**42,900**	**2,040**	**874,700**	**782,000**	**98**	**96**	**107**	**103**	**103**
北海道	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
青森	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
岩手	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
宮城	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
秋田	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
山形	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
福島	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
茨城	15	830	125	101	nc	nc	nc	nc	nc
栃木	3	300	9	6	nc	nc	nc	nc	nc
群馬	4	525	21	15	nc	nc	nc	nc	nc
埼玉	16	624	100	80	nc	nc	nc	nc	nc
千葉	101	1,350	1,360	854	98	99	99	98	98
東京	9	996	90	72	nc	nc	nc	nc	nc
神奈川	1,230	1,700	20,900	16,400	98	95	120	113	113
新潟	3	680	20	15	nc	nc	nc	nc	nc
富山	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc	nc
石川	0	800	3	1	nc	nc	nc	nc	nc
福井	26	369	96	62	nc	nc	nc	nc	nc
山梨	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
長野	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc	nc
岐阜	93	1,590	1,480	1,130	nc	nc	nc	nc	nc
静岡	5,360	2,330	124,900	110,200	98	98	104	102	102
愛知	1,290	2,290	29,600	25,700	98	97	102	99	99
三重	1,230	1,640	20,200	17,900	101	98	96	95	94
滋賀	0	1,000	4	3	nc	nc	nc	nc	nc
京都	52	694	361	309	nc	nc	nc	nc	nc
大阪	734	1,850	13,600	12,200	99	99	103	101	102
兵庫	169	1,270	2,150	1,470	99	97	118	114	116
奈良	48	1,120	538	427	nc	nc	nc	nc	nc
和歌山	7,390	2,350	173,700	157,700	100	99	108	107	107
鳥取	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc	nc
島根	7	817	57	47	nc	nc	nc	nc	nc
岡山	130	985	1,280	981	nc	nc	nc	nc	nc
広島	2,110	1,310	27,600	23,200	98	94	109	103	105
山口	760	1,160	8,820	7,410	92	88	107	95	92
徳島	888	1,540	13,700	12,100	100	99	108	107	108
香川	1,130	1,400	15,800	14,300	97	95	113	107	107
愛媛	6,150	2,090	128,500	117,300	98	96	103	99	99
高知	345	2,370	8,180	7,640	99	97	96	92	92
福岡	1,370	1,960	26,900	25,300	94	86	118	101	102
佐賀	2,460	2,110	51,900	47,600	98	95	107	102	101
長崎	3,140	2,050	64,400	57,400	100	98	108	107	107
熊本	4,180	2,270	94,900	87,100	98	97	116	112	112
大分	770	1,970	15,200	13,200	97	95	103	98	98
宮崎	688	1,880	12,900	11,200	97	95	98	93	95
鹿児島	970	1,530	14,800	12,200	97	93	100	93	92
沖縄	62	715	443	405	nc	nc	nc	nc	nc

注：　みかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する現象（隔年結果）が顕著であり、平成26年産は裏年であることから、統計結果の対比については、結果樹面積は前年産（平成25年産）及び前々年産（平成24年産）と、10ａ当たり収量、収穫量及び出荷量は前の裏年である前々年産（平成24年産）と行った。

4）結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量（平成26年産）

(2)　りんご

ア　計

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**37,100**	**2,200**	**816,300**	**730,800**	**100**	**111**	**110**	**111**
北海道	538	1,570	8,450	7,800	99	111	109	109
青森	20,000	2,340	468,000	424,800	100	114	114	114
岩手	2,410	1,930	46,500	40,200	100	109	109	110
宮城	237	1,620	3,840	3,300	100	109	109	111
秋田	1,400	1,580	22,100	19,500	99	92	91	91
山形	2,270	2,310	52,400	45,900	99	114	113	113
福島	1,300	2,120	27,600	24,300	98	104	103	103
茨城	116	1,660	1,930	1,630	nc	nc	nc	nc
栃木	156	1,960	3,060	2,660	nc	nc	nc	nc
群馬	419	2,160	9,050	8,040	100	101	101	101
埼玉	20	795	159	95	nc	nc	nc	nc
千葉	2	888	18	16	nc	nc	nc	nc
東京	9	879	79	62	nc	nc	nc	nc
神奈川	16	1,160	186	144	nc	nc	nc	nc
新潟	40	1,580	632	527	nc	nc	nc	nc
富山	104	1,670	1,740	1,530	99	112	112	111
石川	48	1,550	744	658	100	101	101	102
福井	2	280	6	2	nc	nc	nc	nc
山梨	60	1,460	876	750	97	112	109	109
長野	7,650	2,130	162,900	143,500	99	105	105	105
岐阜	91	2,270	2,070	1,850	100	116	117	116
静岡	4	2,080	83	73	nc	nc	nc	nc
愛知	2	800	16	8	nc	nc	nc	nc
三重	0	552	1	0	nc	nc	nc	nc
滋賀	2	333	7	4	nc	nc	nc	nc
京都	2	500	10	9	nc	nc	nc	nc
大阪	0	750	1	0	nc	nc	nc	nc
兵庫	15	933	140	125	nc	nc	nc	nc
奈良	4	1,610	64	52	nc	nc	nc	nc
和歌山	4	750	30	27	nc	nc	nc	nc
鳥取	46	1,150	529	429	nc	nc	nc	nc
島根	6	800	48	46	nc	nc	nc	nc
岡山	25	688	172	109	nc	nc	nc	nc
広島	81	1,690	1,370	1,310	107	88	94	94
山口	49	2,000	980	880	nc	nc	nc	nc
徳島	0	478	2	2	nc	nc	nc	nc
香川	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc
愛媛	5	1,220	61	47	nc	nc	nc	nc
高知	2	1,400	28	24	nc	nc	nc	nc
福岡	17	1,150	196	183	nc	nc	nc	nc
佐賀	5	1,220	61	56	nc	nc	nc	nc
長崎	0	346	1	1	nc	nc	nc	nc
熊本	9	1,260	113	108	nc	nc	nc	nc
大分	6	450	27	24	nc	nc	nc	nc
宮崎	4	1,110	44	39	nc	nc	nc	nc
鹿児島	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc
沖縄	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc

4）結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量（平成26年産）

(3)　ぶどう

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**17,300**	**1,090**	**189,200**	**173,400**	**99**	**100**	**100**	**100**
北海道	985	748	7,370	7,000	100	89	89	89
青森	442	976	4,310	3,420	100	89	89	90
岩手	354	947	3,350	2,970	100	98	98	99
宮城	29	781	226	123	nc	nc	nc	nc
秋田	178	1,030	1,830	1,610	98	90	89	90
山形	1,590	1,210	19,200	17,400	99	116	116	117
福島	271	1,080	2,930	2,650	99	91	90	90
茨城	271	940	2,550	2,330	nc	nc	nc	nc
栃木	215	899	1,930	1,720	92	87	80	80
群馬	143	783	1,120	910	104	100	105	106
埼玉	173	807	1,400	1,310	98	96	93	93
千葉	78	809	631	570	nc	nc	nc	nc
東京	45	853	384	361	nc	nc	nc	nc
神奈川	81	830	672	627	nc	nc	nc	nc
新潟	265	980	2,600	2,260	97	96	93	94
富山	29	790	229	226	97	98	94	95
石川	153	756	1,160	1,050	101	95	97	95
福井	12	392	47	40	nc	nc	nc	nc
山梨	3,930	1,150	45,200	42,000	99	95	94	94
長野	2,270	1,300	29,500	27,500	100	110	110	110
岐阜	35	773	271	231	nc	nc	nc	nc
静岡	33	731	241	220	nc	nc	nc	nc
愛知	471	984	4,630	4,360	98	99	97	97
三重	114	741	845	748	nc	nc	nc	nc
滋賀	55	879	483	448	96	84	81	80
京都	83	890	739	621	nc	nc	nc	nc
大阪	428	1,220	5,220	4,960	98	103	102	102
兵庫	266	959	2,550	2,420	nc	nc	nc	nc
奈良	73	1,110	810	724	nc	nc	nc	nc
和歌山	141	1,150	1,620	1,500	nc	nc	nc	nc
鳥取	77	980	755	692	100	98	98	98
島根	261	979	2,560	2,440	98	95	94	93
岡山	1,090	1,430	15,600	14,000	99	103	102	101
広島	288	1,200	3,460	3,120	100	100	101	100
山口	87	675	587	542	nc	nc	nc	nc
徳島	85	833	708	630	nc	nc	nc	nc
香川	187	834	1,560	1,370	98	101	99	99
愛媛	154	708	1,090	1,020	96	95	92	92
高知	38	1,000	380	340	nc	nc	nc	nc
福岡	838	1,080	9,050	8,380	96	103	99	99
佐賀	94	716	673	607	nc	nc	nc	nc
長崎	92	818	753	653	nc	nc	nc	nc
熊本	228	969	2,210	2,040	nc	nc	nc	nc
大分	310	932	2,890	2,630	101	107	107	107
宮崎	169	1,250	2,110	1,900	nc	nc	nc	nc
鹿児島	74	1,020	755	686	nc	nc	nc	nc
沖縄	1	296	3	3	nc	nc	nc	nc

3　結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量(平成26年産)

(4)　かき

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**21,300**	**1,130**	**240,600**	**198,900**	**99**	**114**	**112**	**112**
北海道	0	792	1	1	nc	nc	nc	nc
青森	44	802	353	195	nc	nc	nc	nc
岩手	63	395	249	170	nc	nc	nc	nc
宮城	387	302	1,170	437	nc	nc	nc	nc
秋田	64	364	233	11	nc	nc	nc	nc
山形	925	1,040	9,620	7,860	97	132	128	130
福島	1,220	529	6,450	5,150	100	132	132	136
茨城	412	1,020	4,200	2,720	nc	nc	nc	nc
栃木	125	307	384	58	nc	nc	nc	nc
群馬	203	570	1,160	405	nc	nc	nc	nc
埼玉	151	579	874	370	nc	nc	nc	nc
千葉	263	402	1,060	363	nc	nc	nc	nc
東京	66	736	486	355	nc	nc	nc	nc
神奈川	262	739	1,940	1,480	nc	nc	nc	nc
新潟	667	1,790	11,900	10,900	99	117	116	114
富山	286	590	1,690	1,380	99	113	113	115
石川	285	437	1,250	727	100	106	107	108
福井	135	503	679	453	100	100	100	102
山梨	580	1,130	6,550	5,150	99	118	117	117
長野	654	1,640	10,700	9,480	98	146	143	149
岐阜	1,300	1,060	13,800	12,400	99	104	103	103
静岡	546	1,190	6,500	3,580	nc	nc	nc	nc
愛知	1,200	1,200	14,400	11,400	99	118	117	117
三重	420	1,020	4,280	2,700	nc	nc	nc	nc
滋賀	153	543	831	346	nc	nc	nc	nc
京都	208	967	2,010	1,400	nc	nc	nc	nc
大阪	58	1,300	754	580	nc	nc	nc	nc
兵庫	191	694	1,330	394	nc	nc	nc	nc
奈良	1,840	1,770	32,600	30,500	99	116	114	114
和歌山	2,700	1,740	47,000	42,600	99	99	98	98
鳥取	301	1,020	3,070	2,450	98	117	115	115
島根	372	674	2,510	2,050	93	143	133	140
岡山	421	805	3,390	1,610	nc	nc	nc	nc
広島	380	506	1,920	752	nc	nc	nc	nc
山口	252	350	882	502	nc	nc	nc	nc
徳島	239	1,280	3,060	2,330	nc	nc	nc	nc
香川	199	869	1,730	1,360	99	119	118	117
愛媛	681	1,530	10,400	9,170	98	100	98	98
高知	171	520	889	357	nc	nc	nc	nc
福岡	1,780	1,260	22,400	20,400	95	121	115	115
佐賀	150	500	750	430	nc	nc	nc	nc
長崎	119	408	486	244	nc	nc	nc	nc
熊本	398	743	2,960	2,660	nc	nc	nc	nc
大分	162	615	996	553	nc	nc	nc	nc
宮崎	136	406	552	338	nc	nc	nc	nc
鹿児島	80	221	177	91	nc	nc	nc	nc
沖縄	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc

3　結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量(平成26年産)

(5)　もも

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**9,850**	**1,390**	**137,000**	**125,400**	**100**	**110**	**110**	**110**
北海道	9	684	62	55	nc	nc	nc	nc
青森	104	1,200	1,250	1,080	nc	nc	nc	nc
岩手	89	1,110	988	904	nc	nc	nc	nc
宮城	37	1,090	403	293	nc	nc	nc	nc
秋田	84	1,060	890	768	nc	nc	nc	nc
山形	596	1,370	8,170	7,370	100	101	101	101
福島	1,540	1,900	29,300	27,000	100	100	100	100
茨城	10	1,180	118	92	nc	nc	nc	nc
栃木	19	1,200	228	197	nc	nc	nc	nc
群馬	67	940	630	510	nc	nc	nc	nc
埼玉	17	644	109	69	nc	nc	nc	nc
千葉	5	735	37	24	nc	nc	nc	nc
東京	3	470	14	8	nc	nc	nc	nc
神奈川	6	612	37	32	nc	nc	nc	nc
新潟	234	991	2,320	2,020	99	102	101	102
富山	22	680	150	113	nc	nc	nc	nc
石川	16	643	103	84	nc	nc	nc	nc
福井	0	625	3	2	nc	nc	nc	nc
山梨	3,250	1,430	46,500	43,700	100	119	119	119
長野	1,070	1,520	16,300	15,000	99	106	106	106
岐阜	80	1,040	832	754	100	99	99	99
静岡	36	801	288	252	nc	nc	nc	nc
愛知	214	935	2,000	1,830	103	102	105	106
三重	9	578	52	26	nc	nc	nc	nc
滋賀	10	549	55	49	nc	nc	nc	nc
京都	22	573	126	104	nc	nc	nc	nc
大阪	39	1,570	612	553	nc	nc	nc	nc
兵庫	36	907	327	256	nc	nc	nc	nc
奈良	25	1,060	265	224	nc	nc	nc	nc
和歌山	770	1,400	10,800	9,920	100	113	113	112
鳥取	16	925	148	117	nc	nc	nc	nc
島根	12	989	119	94	nc	nc	nc	nc
岡山	634	1,120	7,100	6,340	99	113	112	113
広島	88	898	790	568	nc	nc	nc	nc
山口	41	570	234	206	nc	nc	nc	nc
徳島	46	940	432	380	nc	nc	nc	nc
香川	186	801	1,490	1,280	97	108	104	105
愛媛	87	522	454	383	92	94	86	83
高知	24	490	118	85	nc	nc	nc	nc
福岡	103	1,210	1,250	1,110	nc	nc	nc	nc
佐賀	23	783	180	147	nc	nc	nc	nc
長崎	28	987	276	221	nc	nc	nc	nc
熊本	114	1,010	1,150	989	nc	nc	nc	nc
大分	28	657	184	138	nc	nc	nc	nc
宮崎	7	574	40	33	nc	nc	nc	nc
鹿児島	6	883	53	42	nc	nc	nc	nc
沖縄	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc

3　結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量(平成26年産)

(6)　日本なし

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**12,800**	**2,110**	**270,700**	**249,700**	**98**	**102**	**101**	**101**
北海道	48	1,870	898	815	nc	nc	nc	nc
青森	117	1,210	1,420	785	nc	nc	nc	nc
岩手	44	1,420	625	539	nc	nc	nc	nc
宮城	163	2,140	3,490	3,070	101	105	106	107
秋田	203	1,850	3,760	3,350	99	109	109	109
山形	134	1,370	1,840	1,480	100	105	105	105
福島	916	2,140	19,600	18,200	98	101	99	99
茨城	1,180	2,300	27,100	25,700	96	101	97	96
栃木	805	2,690	21,700	20,200	99	137	136	137
群馬	221	2,570	5,680	4,890	100	106	107	107
埼玉	431	2,240	9,650	8,900	96	103	99	99
千葉	1,580	2,120	33,500	32,100	99	91	91	91
東京	94	2,180	2,050	1,950	100	104	105	105
神奈川	242	2,140	5,180	4,890	98	93	92	92
新潟	477	2,460	11,700	10,800	99	117	116	117
富山	179	2,180	3,900	3,790	99	99	98	98
石川	144	2,600	3,740	3,430	99	111	110	111
福井	67	1,660	1,110	1,050	100	94	94	93
山梨	37	2,070	766	680	nc	nc	nc	nc
長野	799	2,020	16,100	14,000	96	125	119	120
岐阜	130	1,830	2,380	2,100	98	106	104	104
静岡	150	1,810	2,720	2,480	nc	nc	nc	nc
愛知	380	1,830	6,950	6,360	99	95	94	94
三重	153	2,040	3,120	2,810	nc	nc	nc	nc
滋賀	53	1,600	848	770	100	90	90	90
京都	78	2,080	1,620	1,480	98	118	115	113
大阪	4	1,500	60	53	nc	nc	nc	nc
兵庫	69	2,150	1,480	1,370	92	100	91	91
奈良	76	2,560	1,950	1,820	nc	nc	nc	nc
和歌山	36	1,770	637	586	nc	nc	nc	nc
鳥取	900	2,060	18,500	17,000	96	96	92	92
島根	80	1,840	1,470	1,380	nc	nc	nc	nc
岡山	119	1,860	2,210	1,930	nc	nc	nc	nc
広島	149	1,610	2,400	2,160	100	110	110	110
山口	204	1,220	2,490	2,330	100	95	95	95
徳島	226	2,290	5,180	4,820	98	83	81	81
香川	36	1,510	544	499	109	90	99	99
愛媛	91	1,340	1,220	1,120	nc	nc	nc	nc
高知	129	2,000	2,580	2,420	nc	nc	nc	nc
福岡	445	2,370	10,500	10,000	97	102	99	99
佐賀	282	1,740	4,910	4,500	96	97	93	93
長崎	66	1,740	1,150	999	99	88	86	87
熊本	531	1,890	10,000	9,240	99	95	93	94
大分	383	2,720	10,400	9,530	99	102	101	101
宮崎	66	1,580	1,040	846	nc	nc	nc	nc
鹿児島	40	1,400	560	507	nc	nc	nc	nc
沖縄	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc

3　結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量(平成26年産)

(7)　うめ

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**16,200**	**688**	**111,400**	**97,100**	**100**	**90**	**90**	**90**
北海道	48	143	69	55	nc	nc	nc	nc
青森	239	564	1,350	1,100	nc	nc	nc	nc
岩手	134	213	285	166	nc	nc	nc	nc
宮城	465	324	1,510	812	nc	nc	nc	nc
秋田	119	220	262	80	nc	nc	nc	nc
山形	132	489	645	353	nc	nc	nc	nc
福島	450	237	1,070	459	nc	nc	nc	nc
茨城	511	271	1,380	747	nc	nc	nc	nc
栃木	296	215	636	286	nc	nc	nc	nc
群馬	1,040	519	5,400	4,540	98	98	97	94
埼玉	313	135	423	216	nc	nc	nc	nc
千葉	304	178	541	192	nc	nc	nc	nc
東京	240	146	350	296	nc	nc	nc	nc
神奈川	396	464	1,840	1,580	95	99	94	94
新潟	100	413	413	230	nc	nc	nc	nc
富山	43	260	112	58	nc	nc	nc	nc
石川	108	306	330	181	nc	nc	nc	nc
福井	497	374	1,860	1,780	100	90	90	95
山梨	436	426	1,860	1,530	nc	nc	nc	nc
長野	503	436	2,190	1,680	nc	nc	nc	nc
岐阜	171	246	421	162	nc	nc	nc	nc
静岡	279	320	893	521	nc	nc	nc	nc
愛知	348	216	752	301	nc	nc	nc	nc
三重	264	708	1,870	1,330	nc	nc	nc	nc
滋賀	75	246	185	53	nc	nc	nc	nc
京都	87	325	283	200	nc	nc	nc	nc
大阪	40	305	122	85	nc	nc	nc	nc
兵庫	124	158	196	48	nc	nc	nc	nc
奈良	357	771	2,750	2,560	99	146	145	139
和歌山	5,140	1,390	71,400	69,000	100	90	90	91
鳥取	70	300	210	134	nc	nc	nc	nc
島根	110	247	272	130	nc	nc	nc	nc
岡山	136	276	375	117	nc	nc	nc	nc
広島	299	230	688	160	nc	nc	nc	nc
山口	278	195	542	221	nc	nc	nc	nc
徳島	199	352	700	574	89	99	88	90
香川	32	338	108	47	nc	nc	nc	nc
愛媛	189	368	696	535	nc	nc	nc	nc
高知	89	210	187	110	nc	nc	nc	nc
福岡	323	430	1,390	1,010	nc	nc	nc	nc
佐賀	180	500	900	738	nc	nc	nc	nc
長崎	124	225	279	128	nc	nc	nc	nc
熊本	170	294	500	335	nc	nc	nc	nc
大分	269	439	1,180	813	nc	nc	nc	nc
宮崎	191	497	949	714	nc	nc	nc	nc
鹿児島	269	366	985	689	nc	nc	nc	nc
沖縄	0	298	1	1	nc	nc	nc	nc

3　結果樹面積・10ａ当たり収量・収穫量・出荷量(平成26年産)

(8)　おうとう

全国農業地域・都道府県	結果樹面積	10ａ当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比 結果樹面積	対前年産比 10ａ当たり収量	対前年産比 収穫量	対前年産比 出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全国	**4,460**	**426**	**19,000**	**17,000**	**100**	**105**	**105**	**106**
北海道	518	277	1,430	1,320	99	103	101	102
青森	301	201	605	472	nc	nc	nc	nc
岩手	27	107	29	25	nc	nc	nc	nc
宮城	10	248	25	13	nc	nc	nc	nc
秋田	82	444	364	315	nc	nc	nc	nc
山形	2,910	499	14,500	12,900	100	108	107	108
福島	89	379	337	309	nc	nc	nc	nc
茨城	1	215	2	2	nc	nc	nc	nc
栃木	4	240	10	9	nc	nc	nc	nc
群馬	36	329	118	112	nc	nc	nc	nc
埼玉	0	213	1	1	nc	nc	nc	nc
千葉	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
東京	0	150	0	－	nc	nc	nc	nc
神奈川	0	142	0	0	nc	nc	nc	nc
新潟	40	260	104	93	nc	nc	nc	nc
富山	0	200	0	0	nc	nc	nc	nc
石川	0	190	0	0	nc	nc	nc	nc
福井	1	309	3	1	nc	nc	nc	nc
山梨	317	374	1,190	1,130	nc	nc	nc	nc
長野	106	262	278	229	nc	nc	nc	nc
岐阜	0	183	1	1	nc	nc	nc	nc
静岡	0	200	0	0	nc	nc	nc	nc
愛知	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
三重	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
滋賀	5	149	7	7	nc	nc	nc	nc
京都	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc
大阪	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
兵庫	1	89	1	1	nc	nc	nc	nc
奈良	1	250	3	3	nc	nc	nc	nc
和歌山	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc
鳥取	1	100	1	1	nc	nc	nc	nc
島根	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc
岡山	3	170	5	5	nc	nc	nc	nc
広島	2	250	5	4	nc	nc	nc	nc
山口	x	x	x	x	nc	nc	nc	nc
徳島	0	120	0	0	nc	nc	nc	nc
香川	0	214	1	0	nc	nc	nc	nc
愛媛	0	85	0	0	nc	nc	nc	nc
高知	0	200	1	1	nc	nc	nc	nc
福岡	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
佐賀	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
長崎	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
熊本	1	61	1	1	nc	nc	nc	nc
大分	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
宮崎	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
鹿児島	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc
沖縄	－	－	－	－	nc	nc	nc	nc

(5) 果実の産出額

1) 都道府県別農業産出額の推移

単位：億円

都道府県	平成20年	21	22	23	24	25	26	特化係数（26年）
北海道 (1)	66	58	52	48	57	51	59	0.1
青　森 (2)	671	652	746	751	692	772	833	3.2
岩　手 (3)	120	113	104	113	119	99	103	0.5
宮　城 (4)	19	21	22	23	22	22	22	0.2
秋　田 (5)	84	81	81	56	62	69	63	0.5
山　形 (6)	462	453	490	524	572	599	642	3.3
福　島 (7)	275	272	292	197	212	245	248	1.5
茨　城 (8)	130	132	139	130	131	134	132	0.3
栃　木 (9)	89	90	98	90	94	73	87	0.4
群　馬 (10)	96	96	90	89	89	85	91	0.4
埼　玉 (11)	78	76	72	71	68	63	65	0.4
千　葉 (12)	168	173	145	162	158	159	163	0.4
東　京 (13)	31	30	28	30	29	32	32	1.2
神奈川 (14)	86	84	95	111	86	88	80	1.1
新　潟 (15)	96	89	99	85	89	92	88	0.4
富　山 (16)	17	17	24	23	24	21	22	0.4
石　川 (17)	21	20	23	21	25	24	24	0.6
福　井 (18)	10	10	9	10	12	11	10	0.3
山　梨 (19)	487	471	499	491	498	507	504	7.0
長　野 (20)	490	449	485	482	560	515	544	2.6
岐　阜 (21)	54	53	46	51	49	49	48	0.5
静　岡 (22)	285	236	294	296	267	286	283	1.5
愛　知 (23)	202	202	178	169	176	175	175	0.6
三　重 (24)	75	87	83	80	72	78	72	0.8
滋　賀 (25)	6	7	8	8	8	6	5	0.1
京　都 (26)	16	16	16	15	15	14	16	0.3
大　阪 (27)	56	54	59	58	55	57	52	1.8
兵　庫 (28)	29	29	28	30	34	30	33	0.2
奈　良 (29)	71	65	87	90	74	84	82	2.3
和歌山 (30)	651	520	613	604	607	598	581	6.7
鳥　取 (31)	69	60	66	67	72	68	67	1.1
島　根 (32)	39	37	38	38	36	36	36	0.8
岡　山 (33)	171	161	182	182	181	181	174	1.6
広　島 (34)	128	126	139	147	156	152	142	1.4
山　口 (35)	41	34	39	41	38	38	35	0.6
徳　島 (36)	101	94	111	115	123	103	106	1.2
香　川 (37)	54	51	50	58	54	58	57	0.8
愛　媛 (38)	530	451	484	496	475	498	452	4.2
高　知 (39)	98	102	97	105	102	101	100	1.2
福　岡 (40)	224	222	227	225	248	258	266	1.4
佐　賀 (41)	153	161	155	171	161	168	168	1.5
長　崎 (42)	126	121	135	124	121	129	125	0.9
熊　本 (43)	303	294	323	321	333	334	311	1.1
大　分 (44)	146	144	150	141	134	136	135	1.2
宮　崎 (45)	131	131	147	152	147	145	147	0.5
鹿児島 (46)	94	87	94	91	84	92	95	0.3
沖　縄 (47)	61	50	52	54	52	53	55	0.7
合　計 (48)	7,410	6,984	7,497	7,430	7,471	7,588	7,628	1.0

(5) 果実の産出額

2)-1 都道府県別農業産出額（平成26年）

都道府県	果実の農業産出額	農業産出額に占める果実産出額の割合	全国の果実産出額に占める当該県の割合	当該県の果実産出額の特化係数
	億円	%	%	
北海道	59	0.5	0.8	0.06
青森	833	28.9	10.9	3.20
岩手	103	4.4	1.4	0.48
宮城	22	1.4	0.3	0.15
秋田	63	4.3	0.8	0.47
山形	642	30.2	8.4	3.33
福島	248	13.5	3.3	1.49
茨城	132	3.1	1.7	0.34
栃木	87	3.5	1.1	0.39
群馬	91	3.9	1.2	0.43
埼玉	65	3.4	0.9	0.38
千葉	163	3.9	2.1	0.43
東京	32	10.8	0.4	1.20
神奈川	80	10.2	1.0	1.13
新潟	88	3.6	1.2	0.40
富山	22	3.8	0.3	0.42
石川	24	5.1	0.3	0.56
福井	10	2.5	0.1	0.28
山梨	504	63.2	6.6	6.99
長野	544	23.4	7.1	2.59
岐阜	48	4.4	0.6	0.48
静岡	283	13.1	3.7	1.45
愛知	175	5.8	2.3	0.64
三重	72	6.8	0.9	0.75
滋賀	5	0.9	0.1	0.10
京都	16	2.4	0.2	0.27
大阪	52	16.3	0.7	1.80
兵庫	33	2.2	0.4	0.24
奈良	82	20.4	1.1	2.25
和歌山	581	61.0	7.6	6.74
鳥取	67	10.3	0.9	1.13
島根	36	6.8	0.5	0.75
岡山	174	14.1	2.3	1.56
広島	142	13.1	1.9	1.44
山口	35	5.7	0.5	0.63
徳島	106	11.1	1.4	1.23
香川	57	7.5	0.7	0.83
愛媛	452	38.1	5.9	4.21
高知	100	10.4	1.3	1.15
福岡	266	12.3	3.5	1.35
佐賀	168	13.7	2.2	1.51
長崎	125	8.5	1.6	0.94
熊本	311	9.5	4.1	1.05
大分	135	10.6	1.8	1.18
宮崎	147	4.4	1.9	0.49
鹿児島	95	2.2	1.2	0.25
沖縄	55	6.1	0.7	0.67
合計	7,628	9.1	100.0	1.00

2)-2 都道府県別農業産出額（平成26年）（多い県順）

順位	都道府県	果実の農業産出額	農業産出額に占める果実産出額の割合	全国の果実産出額に占める当該県の割合	当該県の果実産出額の特化係数
		億円	%	%	
1	青森	833	28.9	10.9	3.20
2	山形	642	30.2	8.4	3.33
3	和歌山	581	61.0	7.6	6.74
4	長野	544	23.4	7.1	2.59
5	山梨	504	63.2	6.6	6.99
6	愛媛	452	38.1	5.9	4.21
7	熊本	311	9.5	4.1	1.05
8	静岡	283	13.1	3.7	1.45
9	福岡	266	12.3	3.5	1.35
10	福島	248	13.5	3.3	1.49
11	愛知	175	5.8	2.3	0.64
12	岡山	174	14.1	2.3	1.56
13	佐賀	168	13.7	2.2	1.51
14	千葉	163	3.9	2.1	0.43
15	宮崎	147	4.4	1.9	0.49
16	広島	142	13.1	1.9	1.44
17	大分	135	10.6	1.8	1.18
18	茨城	132	3.1	1.7	0.34
19	長崎	125	8.5	1.6	0.94
20	徳島	106	11.1	1.4	1.23
21	岩手	103	4.4	1.4	0.48
22	高知	100	10.4	1.3	1.15
23	鹿児島	95	2.2	1.2	0.25
24	群馬	91	3.9	1.2	0.43
25	新潟	88	3.6	1.2	0.40
26	栃木	87	3.5	1.1	0.39
27	奈良	82	20.4	1.1	2.25
28	神奈川	80	10.2	1.0	1.13
29	三重	72	6.8	0.9	0.75
30	鳥取	67	10.3	0.9	1.13
31	埼玉	65	3.4	0.9	0.38
32	秋田	63	4.3	0.8	0.47
33	北海道	59	0.5	0.8	0.06
34	香川	57	7.5	0.7	0.83
35	沖縄	55	6.1	0.7	0.67
36	大阪	52	16.3	0.7	1.80
37	岐阜	48	4.4	0.6	0.48
38	島根	36	6.8	0.5	0.75
39	山口	35	5.7	0.5	0.63
40	兵庫	33	2.2	0.4	0.24
41	東京	32	10.8	0.4	1.20
42	石川	24	5.1	0.3	0.56
43	宮城	22	1.4	0.3	0.15
44	富山	22	3.8	0.3	0.42
45	京都	16	2.4	0.2	0.27
46	福井	10	2.5	0.1	0.28
47	滋賀	5	0.9	0.1	0.10
	合計	7,628	9.1	100.0	1.00

(6)　果実の販売価格

主要果実の年次別・全国平均販売価格（平.21年～26年）

単位：円

品目名	銘柄等級	単位	平成21年	22	23	24	25	26	平均価格（平.21年～26年）
りんご（ふじ）	秀32玉	10kg	1,883	2,447	2,281	2,832	2,162	2,384	2,332
〃　（つがる）	〃	〃	1,116	2,470	1,810	2,447	1,941	1,823	1,935
〃　（王林）	秀36玉	〃	1,455	1,957	1,673	2,265	1,545	1,813	1,785
〃　（ジョナゴールド）	秀32玉	〃	1,645	2,282	2,347	2,469	1,990	2,165	2,150
みかん（普通温州）	優－M	〃	1,617	1,572	2,284	2,299	1,860	1,797	1,905
〃　（早生温州）	〃	〃	1,192	1,798	1,609	1,628	1,787	1,454	1,578
なつみかん（甘なつ）	優－L	〃	1,005	980	1,224	1,172	1,015	1,009	1,068
いよかん	〃	〃	1,359	967	2,101	1,908	1,872	1,634	1,640
日本なし（二十世紀）	秀28玉	10kg	2,310	3,876	2,529	3,023	2,771	2,916	2,904
〃　（豊水）	〃	〃	1,854	2,977	2,146	2,571	2,149	2,192	2,315
〃　（幸水）	〃	〃	2,530	3,640	3,188	3,102	2,538	3,014	3,002
かき	秀－M	〃	1,279	2,481	1,971	1,703	1,847	1,629	1,818
ぶどう（デラウェア）	秀－L	4kg	2,127	2,596	2,393	2,344	2,407	2,245	2,352
〃　（巨峰）	〃	〃	2,120	2,497	2,425	2,449	2,501	2,679	2,445
〃　（ピオーネ）	秀３L	5kg	4,974	4,454	4,428	3,867	4,241	4,207	4,362
もも	秀18～20玉	〃	1,536	1,839	1,697	1,663	1,934	1,796	1,744
くり	秀L	10kg	3,397	3,111	3,896	4,048	3,745	3,721	3,653
うめ		〃	2,504	3,020	2,969	3,599	1,837	1,923	2,642
キウイフルーツ		3.6kg	860	930	1,227	1,275	1,126	1,232	1,108
おうとう	秀－L	2kg	3,781	3,247	2,855	3,070	3,646	3,538	3,356
すもも		5.6kg	2,316	2,596	2,381	2,257	2,357	2,275	2,364
しらぬい（デコポン）		5kg	1,636	1,221	1,606	1,570	1,633	1,495	1,527
パインアップル		10kg	875	828	778	910	1,039	1,116	924
マンゴー	アーウィン	2kg	・・・	5,538	5,053	6,375	4,909	4,815	4,448

資料：農林水産省「農業物価統計調査」

2 大規模果樹経営実態調査　調査結果一覧表

1. ぶどう作経営(3-1)

区分		ぶどう作経営				
		北海道1	北海道2	北海道3	北海道4	北海道5
経営主・労働力	経営主	50歳代（就農18歳）	60歳代（就農18歳）	40歳代（就農18歳）	40歳代（就農16歳）	70歳代（就農18歳）
	家族労働力	5名（経営主夫婦、後継夫婦、父）（延べ 1,100人日）	2名（経営主、妻(延べ560人日）	4名（経営夫婦、両親(延べ450人日）	3名（経営主、妻、父(延べ895人日）	2名（経営主、妻(延べ450人日）
	雇用労働力・常雇用	無	無	無	無	無
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用　名(延べ　6人日）	無	臨時雇用　名(延べ140人日）	臨時雇用　名(延べ450人日）	臨時雇用　名(延べ200人日）
樹園地面積	果樹園、ぶどう園面積	果樹園 4.2ha、うち、ぶどう作2.8ha（成園2.8ha）	果樹園 3.0ha、うち、ぶどう作3.0ha（成園2..8ha）	果樹園 5.1ha、うち、ぶどう作2.05ha（成園2.05ha）	果樹園 5.2ha、うち、ぶどう作2.8ha（成園2..4ha）	果樹園 4.3ha、うち、ぶどう作2.9ha（成園2..9ha）
	その他果樹面積	無	無	おうとう2.75ha、プルーン0.3ha	おうとう1.9ha、プルーン0.4ha、梅・桃など0.1ha	おうとう1.2ha、プルーン0.2ha
	ぶどうの主な品種	ｷｬﾝﾍﾞﾙｽ2.3ha,ﾅｲﾔｶﾞﾗ0.3ha, ﾃﾞﾗｳｴｱ0.2ha,　ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞ0.01ha	ｷｬﾝﾍﾞﾙｽ1.9ha,ﾃﾞﾗｳｴｱ0.7ha,ﾅｲﾔｶﾞﾗ0.3ha, ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞ0.1ha	ｷｬﾝﾍﾞﾙｽ1.0ha,ﾅｲﾔｶﾞﾗ0.5ha, ﾚｯﾄﾞｵﾅｲｱｶﾞﾗ0.25ha、ﾊﾞﾌｧﾛｰ0.2ha、ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞ0.1ha	ｷｬﾝﾍﾞﾙｽ0.7ha,ﾅｲﾔｶﾞﾗ0.7ha, ﾃﾞﾗｳｴｱ0.35ha,ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞ0.2ha、その他0.85ha	ｷｬﾝﾍﾞﾙｽ1.2ha,,ﾅｲﾔｶﾞﾗ0.7ha, ｽﾁｭｰﾍﾞﾝ0.4ha、ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞ0.3ha,ﾊﾞﾌｧﾛｰ0.3ha、
ぶどうの栽培・販売	樹の仕立て方	長梢剪定		長梢剪定	長梢剪定	長梢剪定
	主な収穫時期	9月上旬～10月下旬	8月上旬～10月下旬	8月下旬～10月上旬	8月下旬～10月下旬	8月上旬～10月下旬
	生産量（販売量）	30.2t（30.2t）	21t（21t）	ぶどう狩りが半分あり、生産量は判断つかない	34t（33t）	26t（26t）
	販売先	JA100%	JA 100%,	JA 30%、集荷業者10%、直売・宅配等5%、ぶどう狩りなど観光農園55%	JA 100%,	JA 95%、直売・宅配等5%
装備	主要農業機械	トラクター4台(20,22,25,50ps)、動力噴霧器2台、ﾌｰｸﾘﾌﾄ1台、油圧ｼｮﾍﾞﾙ2台、トラック1台(2t),軽トラック1台、運搬車3台、草刈機 2台	トラクター3台(20,20,25ps)、動力噴霧器1台、ﾌｰｸﾘﾌﾄ1台、トラック1台(2t)	トラクター2台(20,21ps)、動力噴霧器1台、油圧ショベル1台、軽トラック1台	SS 1台(600ℓ)、トラクター2台(22,25ps)、油圧ショベル1台、軽トラック1台、運搬車1台、乗用草刈機2台	トラクター2台(15,23ps)、軽トラック1台、運搬車1台、自走草刈機2台
	主要施設	倉庫、作業所、ハウス	倉庫、ハウス	パイプハウス（倉庫、作業所、コンテナ置き場）、ハウス	倉庫、作業所、ハウス（おうとう用）	倉庫、作業所
法人化など	法人化	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い
	法人化のメリット・デメリット					
	経営主の技術取得の経緯	JAの部会による栽培技術研修を毎年受講	毎年、生産出荷組合主催、普及員の指導による講習会で技術取得		果樹部会長として普及員の指導を得て、部会の研修会を開催。主に剪定技術、農薬散布法など実施	出荷組合主催で普及員の指導により毎年実施（剪定、ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ処理、房作りなど）

1. ぶどう作経営（つづき）

区分		ぶどう作経営				
		北海道1	北海道2	北海道3	北海道4	北海道5
園地の集積・品目増減など	購入した園地		220a：約40年前の購入であり資金名は不明	220a：スーパーL資金	90a：12,13年前、農協資金	無
	借入した園地		無			無
	園地を増やした動機			園地が地続きだったためJAから受け手を頼まれた	収入増加のため	長梢剪定
	増やしてきた品目	ぶどうは天候に左右されることから、ハウスぶどうに、しかし最近はトマトへ切り替え中	泥炭地でぶどうしか増やせなかった	増：シャインマスカット	おうとう（佐藤錦、紅秀峰）。プルーン（30aをぶどうから転換）	果樹面積は20年位変わらない。しかし、品種は増減がある。ぶどう：ポートランド減、キャンベル増。おうとう：水門減、佐藤錦増。プルーン：増、品種はｻﾝﾌﾟﾙｰﾝ
	減らしてきた品目		りんご、なしを減らしてきた	減：デラウエア	ぶどう（ﾅｲｱｶﾞﾗ、ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞ）：330aから⇒280aへ減らした。	
	園地分散・不良園への対応	泥炭地であるため、客土、暗渠など土地改良を実施	農地分散は5か所ある。湿害対策として暗渠実施	無	一部湿地の園地は、順次、ぶどうからプルーンに切り替え	園地は一部分散あるが問題ない。ゆるい傾斜園もあるが、作業性に問題はない
高品質技術・省力技術の導入状況		環境保全型栽培への取組み、ぶどう花穂整形（房造り）実施	僅かであるが、ﾊｳｽ栽培や減農薬津環境保全型栽培の取組み	雨よけハウス栽培、ｲｴｽｸﾘｰﾝに準じた低農薬栽培。更に根域制限による高糖度栽培（水分抑制）	ｲｴｽｸﾘｰﾝに準じた低農薬栽培	雨よけハウス栽培、ｲｴｽｸﾘｰﾝに準じた低農薬栽培。
樹種複合経営のメリット		やっていない	やっていない	労働配分の平準化、より長期販売で収入確保（ぶどう狩り、さくらんぼ狩りなど）	労働配分の平準化（パート常雇の安定確保につながる）、危険分散ができる	労働配分の平準化、危険分散
樹種複合経営のデメリット				収穫適期が重なり、どうしても労働増加につながる。	品目ごとの技術取得が必要。雇用労働増加につながりやすい	
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		無	無	おうとうの収穫期にりんごの摘果時期が重なることからりんごを止め、露地ぶどうは全て加工用とした。	さくらんぼ収穫の6～7月（この時期はぶどうの手入れ作業が重なるができない）	作業的にきつい時期は7月のおうとう収穫期。その際のみ雇用を入れ乗り切っている
経営面・技術面の課題		ぶどうは面積を増やすと手間がかかり手入れが遅れやすく品質に影響しやすい。天候にも左右される。	雇用労働ではピーク時に確保が難しい。老木更新。棚撤去したいがコスト高く手をつけていない	無	雇用労働の確保に苦労している。人件費が上がってきている	例示の「園地管理」「結実管理」「秀品率向上」「雇用労働確保」など全て課題
販売面の工夫・課題		ﾊｳｽぶどうはお盆前に収穫できるよう春に融雪剤を散布してみたが、本州産と競合し価格面で合わなかった	全量JA出荷であるが、単価に不満がある（最終的に労賃にさえならない）	スーパー等に出回らない品種をそろえ販売した他、完熟させて販売。	基本的には全量JAに出荷しているので、販路の心配はない	基本的には全量JAに出荷しているので、販路の心配はないが、価格には不満
「裾もの」の販売の工夫		ワインや加工用に需要があり、足りないくらい	全量JAが引き取っているが、当地では加工向け原料ぶどうが不足気味	加工用に回したり、直売所で格安販売	ぶどうは加工用として販売	ぶどう：ワイン用に売れる。おうとう：パートさんのお土産。プルーン：悪いものは廃棄
今後の経営展望		今後有望な品種もなく、増やすことはない	良い品種があれば導入したいが無い。また、当地は高級ぶどう栽培には向かない	大粒種を増やし、他園との差別化を図り収益を増やしたい	露地ぶどうはM品質アップでハウスにしたいが、投資がペイしないので思案中。	現状維持：夫婦の年齢から今後5年先まで続けられるのがやっとではないか
今後の樹園地目標面積		現在の園地は縮小する傾向	後継者が居ない状況で、夫婦で現行面積を維持。続けられるのはあと10年くらいか。	園地面積は減らす方向	園地面積は現状維持	増加はない。年々減少する心配はしている
今後増加予定の品目		果樹でなく、野菜を増やす見込み	今後もぶどう1本でいく	シャインマスカット、ｵﾘｴﾝﾀﾙｽﾀｰ	おうとうを増やしたい	無
今後、6次産業化への取組予定		無	無	いつかは自家ジュース工場を建てたい	全量JA出荷で考えていない	無
貴経営の地域・全国への普及可能性等				差別化できる商品を作れば全国へ広めていけると思う		無

1. ぶどう作経営(3-2)

区分		ぶどう作経営			
		山梨1	山梨2	山梨3	長野1
経営主・労働力	経営主	60歳代	50歳代（就農40歳）	50歳代、夫婦共同経営	40歳代（就農　歳）
	家族労働力	2名（経営主、後継者）（延べ600人日）	1名（経営主）（延べ300人日）	2名（経営主、妻）（延べ660人日）	3名（経営主、父、母）（延べ970人日）
	雇用労働力・常雇用	常雇 15名（男12名、女3名）（延べ2700人日）	常雇 5名（延べ 1,300人日、雇用6年目=1名、3年目4名）	正社員4名（延べ 1,200人日、雇用年目）	常雇1名(49歳（2年目）、延べ250人日）
	〃　　・臨時雇用	無	無	臨時雇用 3名(延べ　人日）	臨時雇用 11名(延べ770人日）
樹園地面積	果樹園、ぶどう園面積	果樹園 25ha、うち、ぶどう作11ha（成園8ha）	果樹園 5.0ha、うち、ぶどう作5.0ha（成園3.0ha）	果樹園 6.0ha、うち、ぶどう作6.0ha（成園5.5ha）	果樹園 4.0ha、うち、ぶどう作 4.0ha（成園 3.95ha）
	その他果樹面積	桃 14ha	無	無	無
	ぶどうの主な品種	巨峰 6ha,ピオーネ 2ha, シャインマスカット1ha、ロザリオ 0.5ha、甲斐路 0.5ha	甲州 1.0ha、シャルピネ0.8ha、ピオーネ0.6ha、ピノノワール0.4ha、シャインマスカット 0.2ha	巨峰、ピオーネ、甲州、デラウエア、藤稔など	シャインマスカット 2.0ha、巨峰 1.0ha、長野パープル 0.5ha、ピオーネ 0.25ha、ロザリオ 0.13ha
ぶどうの栽培・販売	樹の仕立て方		全て棚仕立		短梢剪定。なおロザリオは長梢剪定。
	主な収穫時期	8月中旬～9月下旬	9月～10月	9月～11月	7月中旬～11月下旬
	生産量（販売量）	470t（470t）	20t（20t）	25t（25t）	43t（43t）
	販売先	集荷業者等 100%	JA 30%、直売・宅配等 70%	JA15～20%、集荷業者5%、残り直売・宅配等 75～80%	JA 90%、直売・宅配等 10%
装備	主要農業機械	トラクター10台、動力噴霧器10台、選果機（大型、光センサー）、フオークリフト2台、ショベル3台、トラック2台、軽トラック11台、運搬車 4台	SS2台(500ℓ、500ℓ)動力噴霧器1台、フォークリフト1台、軽トラック2台、運搬車 2台、乗用草刈機1台	トラクター1台、SS2台、動力噴霧器3台、ショベル（レンタル）、トラック1台、軽トラック2台、運搬車 3台	SS 3台、トラクター1台、動力噴霧器1台、選果機 2台、軽トラック2台、運搬車 5台、乗用草刈機1台
	主要施設	倉庫（鉄骨、以下同じ）、貯蔵庫、作業所、コンテナ置場、加工施設、ハウス（パイプ）	倉庫・作業所・直売所、灌漑設備、ハウス	倉庫、貯蔵庫、加工場、直売所、灌漑設備、ハウス	4棟（倉庫、貯蔵庫、作業所）、3庫（冷蔵庫）、灌漑設備(3ha)、ハウス(130a)
法人化など	法人化	法人化済み(平成)6年	法人化済み	法人化済み（以前の有限会社）	法人化済み（平成27年）
	法人化のメリット・デメリット	規模拡大	法人化したかった	子供の押し付けない。後継者は作っていく	メリット：①収入増対応、②設備賃貸のため、③税金対策。デメリット：経理事務が大変な手間
	経営主の技術取得の経緯		代々ぶどう農家で、自力で技術を高めた		無

1. ぶどう作経営（つづき）

区分		ぶどう作経営			
		山梨1	山梨2	山梨3	長野1
園地の集積・品目増減など	購入した園地	80a：自己資金で	86a	2.0ha	50a：JAから普通資金の借入
	借入した園地	240a：農地利用増進関係資金	250a	4.2ha	200a
	園地を増やした動機	園地規模を拡大したいため	ワイン用ブドウを栽培するため		経営安定のため規模拡大を図った。
	増やしてきた品目	ぶどう、もも	ワイン用ぶどう	ワイン用ぶどう	販売単価を考え、シャインマスカットを増やた。
	減らしてきた品目		生食用ぶどう	デラウエア	巨峰を減らした。
	園地分散・不良園への対応	なかなか解決策がない	なかなか難しいのが実情		園地が1か所遠方(20km)で、大変であるが、特に対策は行っていない
高品質技術・省力技術の導入状況			雨避けハウス栽培。減農薬・減化学肥料等環境穂残型栽培。ぶどう花穂整形作業		例示の①から⑥まで、さらに平行整枝を実施。なお、⑤の根域制限栽培法はやってみたが、止めた
樹種複合経営のメリット		年間雇用できる			特に無い
樹種複合経営のデメリット		繁忙期が重なる			
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		5～6月がきつい時期。品種構成を早場～遅場になるよう長く栽培する			
経営面・技術面の課題		技術面の指導者がほしい	課題は沢山ある	ぶどうの品種と標高差をどう考えていくか	雇用労力の確保。特に技術者の育成は5年から10年はかかるので、継続できる人を雇用したい
販売面の工夫・課題		特に無い	企業秘密です	直売ではお客さんの半分は東京の方	直売所へ出荷しているが手間がかかる。JA出荷は効率が良い。
「裾もの」の販売の工夫		加工業者へ販売している	裾ものはほとんど出ない	加工部門で使用	裾物は干しブドウにできないか検討中。裾物は現時点では廃棄している。
今後の経営展望		規模拡大を図りたい		自社しかできないオリジナルのワイん生産。年間を通じてお客さんが来てくれる仕組み作り	もっと規模拡大をしたい
今後の樹園地目標面積		いくらあってもよい	当分、面積は増やせない	加工を前提として増やしていく	当面は1ha増やして5haにしたい。最終的には10haを目指したい
今後増加予定の品目		ももとぶどうを増やしたい	増やせない	多種類のぶどう生産	赤ぶどうで皮ごと食べられ、種無しの品種を栽培したい
今後、6次産業化への取組予定		ワイン、デザート、ジュース、ジャムなど	既に加工業（ワイン）を導入済み	ぶどうのピューレの生産	販路が確保できたら乾燥ぶどうをしたい
貴経営の地域・全国への普及可能性等		経営者の育成	普及にあまり意味があると思えない	くだもの日本一の会社を目指している	特に無い

1. ぶどう作経営(3-3)

区分		ぶどう作経営				
		愛知1	愛知2	愛知3	福岡1	福岡2
経営主・労働力	経営主	30歳代（就農28歳）	70歳代（就農20歳）	40歳代（就農20歳）	50歳代（就農21歳）	60歳代（就農18歳）
	家族労働力	2名（経営主、母）(延べ600人日)	3名（経営主、妻、後継者）(延べ810人日)	4名（経営主、妻、父、母）(延べ1,270人日)	2名（経営主、妻）(延べ680人日)	4名（経営主、妻、長男、次男）(延べ1,320人日)
	雇用労働力・常雇用		常雇 1名（22歳、延べ 250人日、雇用22年目）			
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用　名(延べ450人日)	臨時雇用　名(延べ650人日)	臨時雇用　名(延べ450人日)		臨時雇用　名(延べ130人日)
樹園地面積	果樹園、ぶどう園面積	果樹園 5.0ha、うち、ぶどう作2.0ha（成園2.0ha）	果樹園 2.6ha、うち、ぶどう作2.45ha（成園2.45ha）	果樹園 2.1ha、うち、ぶどう作2.1ha（成園2.1ha）	果樹園 3.0ha、うち、ぶどう作3.0ha（成園20ha）	果樹園3.2ha、うち、ぶどう作2.2ha（成園2.2ha）
	その他果樹面積	かんきつ3.0ha	かき0.15ha	無	いちじく1.0ha	1.0ha
	ぶどうの主な品種	巨峰（有核種）0.8ha、巨峰（無核種）0.4ha	巨峰1.0ha,ピオーネ 0.25ha, 安来ｸｲｰﾝ 0.2ha, ゴルビー0.17ha、黄玉 0.15ha	巨峰0.8ha,ピオーネ0.5ha, シャインマスカット0.1ha, 瀬戸ジャイアンツ 0.07ha、その他 0.53ha	巨峰2.0ha	巨峰0.8ha,翠峰0.2ha, 安芸クイーン 0.2ha、ロザリオビアンコ0.1ha、竜宝0.1ha
ぶどうの栽培・販売	樹の仕立て方	巨峰（有核種）は、長梢剪定。巨峰（無核種）は、短梢剪定	大部分は長梢剪定、一部、短梢剪定	短梢剪定	長梢剪定	中梢剪定
	主な収穫時期	7月～9月	8月上旬～10月上旬	7月～9月	8月上旬～9月下旬	6月上旬～9月下旬
	生産量（販売量）	20t（20t）	33t（32t）	40t（40t）	30t（29t）	18t（18t）
	販売先	JA 15%, 直売・宅配等 80%、ぶどう狩りなど観光農園5%	直売・宅配等 100%	集荷業者 10%、直売・宅配等 90%	直売・宅配等 100%	直売・宅配等 50%、ぶどう狩りなど観光農園 50%
装備	主要農業機械	トラクター1台（1,400cc級）、SS2台（500ℓ）、ショベル1台、トラック1台（1.5t）、軽トラック1台、運搬車2台	トラクター1台（17ps）、SS1台（600ℓ）、ショベル2台、トラック1台（1.5t）、軽トラック1台、運搬車2台	トラクター2台（16ps,22ps）、SS2台（1000ℓ）2台、フォークリフト1台（1t）、ショベル2台、トラック1台（ﾀﾞﾝﾌﾟ2t）、軽トラック2台、運搬車5台	トラクター1台、SS2台、動力噴霧器2台、フォークリフト1台、トラック1台、軽トラック1台、運搬車2台	トラクター3台、SS4台、フォークリフト1台、ショベル3台、トラック2台、軽トラック2台、運搬車4台
	主要施設	倉庫2棟、貯蔵庫、作業所、直売所、ハウス（70a）、灌漑設備	倉庫、冷蔵庫、作業所、直売所、ハウス（25a）、灌漑設備【移動式】215a	倉庫、直売所、ハウス（16a）、灌漑設備（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｸﾗｰ）	倉庫、作業所、コンテナ置き場、ハウス（10a）、灌漑設備	貯蔵庫、作業所、ハウス（パイプ：100a）
法人化など	法人化	平成27年に法人化済み	法人化の予定はない	法人化の予定はない	法人化の予定はない	法人化予定予定なし
	法人化のメリット・デメリット	メリット：経営基盤の強化。人材育成の環境整備　デメリット：相談できるところが無い。法人化の知識を持った専門家もいない				各種の情報収集の結果、法人化のメリット無と判断した
	経営主の技術取得の経緯	経験、研修組織内での勉強	山梨県での１年間の研修。ぶどう仲間でクラブを作り、技術取得を行い、後継者へも繋いでいる	毎月の会員の研究会や先進地視察など		

1. ぶどう作経営（つづき）

区分		ぶどう作経営				
		愛知1	愛知2	愛知3	福岡1	福岡2
園地の集積・品目増減など	購入した園地	無	27a：農業近代化資金	無	20a：公庫資金	250a：農地取得資金
	借入した園地	無	無	無	無	40a
	園地を増やした動機		市街化区域内農地の宅地化に伴い、父購入を行った		いちじくの早期販売のため、ハウス付きの土地を購入	後継者が2名いるため規模拡大を行った
	増やしてきた品目	シャインマスカット、ピオーネ、ゴロビーなどお客様のニーズに合わせ「有核、皮食」系品種を増やした	巨峰に対するニーズが多く増やしてきた。最近では無核で皮ごと食べられる品種が人気で検討中	シャインマスカット、ピオーネ、瀬戸ジャイアンツ、クイーンニーナを増やした	かきを全ていちじくに改植した	ぶどう狩り、直売（ネット販売も）の方々の要望は、次々と変化するため少量、多品種（50種以上）で対応。なお、無農薬・無ホルモン剤の園地との評判が、口コミ、ネットで広がりリピーターも多い
	減らしてきた品目	明らかな供給過剰の巨峰を減らした	デラウエアが小粒のためか人気なく、減らした	巨峰、ゴルビー、紅伊豆	かき	
	園地分散・不良園への対応	現状で問題無いので、土壌診断程度を行った	40年前より園地の集積を進めてきた。一部、水田に囲まれた園があり、暗渠等実施した			
高品質技術・省力技術の導入状況		雨よけハウス栽培・簡易被膜等ハウス栽培。根域制限栽培法による高糖度生産。花穂整形（房作り）作業	雨よけハウス栽培・簡易被膜等ハウス栽培。減農薬等環境保全型栽培、花穂整形（房作り）作業など	雨避け（二重被膜）は主に巨峰（有核）、堆肥中心に有機栽培、環状はく皮技術はこれから取り入れ検討	ハウス栽培、農薬散布回数を減らした	12月より雨避けハウス、28年間無農薬、ホルモン剤無使用。房作りは品種により整形。
樹種複合経営のメリット		労働配分の平準化、危険分散など	労働配分の平準化、収入時期の分散等販売上のメリット		労働配分の平準化	労働力の平準化、長期販売による年間収入の確保、さらに無い時期はイチゴで収入補完。
樹種複合経営のデメリット		販売も品目に応じた販路確保など必要	樹種ごとに栽培技術が必要。また、販路も品目ごとに必要になる点など		気候変動や猪による被害に十分な対策ができない（樹園地が広いこともあって）	
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		5月、8月、12月が大変、臨時雇用で乗り切っている	花房整形時期及び収穫・販売時期がきつい。臨時雇用で乗り切っている		8～9月の収穫期。常雇の二人は長年の雇用により、すべての作業を任せられ乗り切っている。	収穫・選別作業のピークは7～9月であり、雇用増で対応したいる
経営面・技術面の課題		販売ルートの確保、安定した労働力の確保	秀品率の向上が課題。種無化により花房整形時期の長期化と、結実の安定化	園地の土壌診断を行い、適切に管理する		雇用の確保と、雇用者の更なる技術の向上を図ること
販売面の工夫・課題		ネットも活用した販路の多様化による経営の強化	全て直売のため、最近の消費者の多様化するニーズを取り入れ、品種を多く、加工品も入れ箱詰めなど	現在、宅配販売が7,000件位あるが、今後、2割増加へ向けてゆうパックと連携し、進める		特別の対策は無いが、TV・ラジオ・グルメ雑誌等が取材に来園することから、かなりの宣伝効果
「裾もの」の販売の工夫		裾もの専用に販路を持っている	パック詰めにし、低価格で販売。あと加工品としてジャム、ジュースとして販売	市場出荷で対応する		
今後の経営展望		300～500万円の直売ルートをあと2つ程度確保・育てる。通販型販路の拡大。常雇を1,2名確保したい	シャインマスカット等の増加を図りたい	一つは最新品種を導入すること、二つには販路を拡大（ゆうパック利用で）	後継者がいないので、現状維持	ホルモン剤不使用・減農薬の農産物を求める消費者が増加しており、今後もこの路線を進めたい
今後の樹園地目標面積		現状維持を考えているが、今後確保できる雇用者数及び資質に応じ20～30a程度増加も検討	現状の面積維持	現在の園地を維持。	〃	今後のことは後継者二人に任せる
今後増加予定の品目		未定	変えない予定	シャインマスカットや赤系の皮ごと食べられる品種等を増やす	〃	〃
今後、6次産業化への取組予定		無	現在、干し柿、ジャム等行っている	無	〃	〃
貴経営の地域・全国への普及可能性等		経営者の多くは”生産者視点”であり、当園が目指す”販売者視点”を持った生産者がこれから重要と思う	本人のやる気が一番です			

2. かき作経営(3-1)

区分		かき作経営			
		奈良1	奈良2	奈良3	奈良4
経営主・労働力	経営主	40歳代(就農20歳)	30歳代(就農31歳)	50歳代(就農28歳)	30歳代(就農20歳)
	家族労働力	1名(経営主)(延べ300人日)	3名(経営主、父、母)(延べ700人日)	3名(経営主、妻、母)(延べ600人日)	3名(経営主、妻、母)(延べ750人日)
	雇用労働力・常雇用			常雇1名(50歳(4年目)、延べ260人日)	常雇1名(26歳(1年目)、延べ240人日)
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用　名(延べ240人日)	臨時雇用　名(延べ360人日)	臨時雇用　名(延べ15人日)	臨時雇用 5名(延べ　人日)
樹園地面積	果樹園、かき園面積	果樹園 6.5ha、うち、かき作6.3ha(成園5.2ha)	果樹園 5.0ha、うち、かき作3.5ha(成園3.0ha)	果樹園 7.36ha、うち、かき作5.61ha(成園5.36ha)	果樹園 6.8ha、うち、かき作5.5ha(成園4.9ha)
	その他果樹面積	うめ0.2ha	うめ1.5ha	うめ 1.75ha	うめ 1.3ha
	かきの主な品種	富有柿2.5ha、刀根早生2.3ha、平核無1.5ha、	刀根早生2.2ha、富有0.8ha、平核無0.5ha	富有2.9ha、刀根早生1.56ha、平核無0.9ha、中谷0.25ha	富有2.3ha、刀根早生2.3ha平核無0.9ha
かきの栽培・販売	樹の仕立て方	開心自然形	開心自然形	2本主枝・開心自然形	開心自然形
	主な収穫時期	7月上旬～12月上旬	8月中旬～12月中旬	9月中旬～12月上旬	9月中旬～12月上旬
	生産量(販売量)	150t(150t)	100t(100t)	164t(164t)	170t(170t)
	販売先	JA80%、集荷業者20%	JA95%、集荷業者5%	JA99%、集荷業者1%	JA99%、直売・宅配等1%
装備	主要農業機械	SS1台、動力噴霧器1台、選果機1台、トラック1台、軽トラック1台、運搬車2台	SS2台(600ℓ)、動力噴霧器2台、トラック1台(2t)、軽トラック5台、運搬車1台	SS1台(600ℓ)、動力噴霧器2台、選果機1台、トラック1台、軽トラック4台、運搬車1台、肥料散布機1台	SS1台(600ℓ)、動力噴霧器1台、選果機1台、ショベル1台、トラック1台、軽トラック2台、運搬車1台
	主要施設	倉庫、作業所	倉庫	倉庫、作業所、ガレッジ	作業所
法人化など	法人化	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い
	法人化のメリット・デメリット				
	経営主の技術取得の経緯	奈良農業者大学校	大阪中央市場で勉強した	かき、うめ部会の研修会	農業者大学校及び父から技術を習得

2. かき作経営（つづき）

区分		かき作経営			
		奈良1	奈良2	奈良3	奈良4
園地の集積・品目増減など	購入した園地		150a	158a：公庫資金の農業経営基盤強化資金	56a
	借入した園地	650a	100a	73a	
	園地を増やした動機	収入を増やすため。親戚から勧められて増やした。	収入を増加させるため	収入を増やすため	収入の増加を図るため
	増やしてきた品目	柿を増やした	かき、少しであるがキウイやすもも	刀根早生、富有：理由　収穫労力の分散、収穫量が多い	刀根早生
	減らしてきた品目	うめを減らした	うめ	うめ：価格が低迷している	早生富有
	園地分散・不良園への対応	特に不良園地もない	園地を傾斜緩和する造成を実施	傾斜地は農道を整備し、SSや運搬車を使用可能に。また、肥沃でない園地へは牛糞、堆肥を投入	昔からのまま
高品質技術・省力技術の導入状況		計画的な品種構成による（刀根早生のハウス栽培(1.7ha)）	計画的な品種構成改善による収穫労力の分散、大苗移植による早期成園化。	計画的な早生品種構成（中谷早生や刀根早生等）により収穫労力の分散	計画的な品種構成の改善、大苗移植による早期成園化
樹種複合経営のメリット			労働配分の平準化、危険分散、さらにより長期販売することで、収入時期が長く確保できる。	労働配分の平準化、特に収穫労働	労働配分の平準化、特に収穫労働
樹種複合経営のデメリット			各品目（樹種）ごとに栽培技術の取得が必要になる	ややもすると雇用労働の増加になりやすい	雇用労働の増加になりやすい
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		全てのシーズンが大変。中でも着果管理rと収穫作業はパート雇用で対応している。	何とか効率よく回転している	かきの摘蕾と収穫時期が大変。最近、雇用者が中々集まらない。ハローワークやシルバーに依頼	特に無い
経営面・技術面の課題		雇用労働力の確保	雇用労働の確保が年々難しくなってきている	果樹作業の経験のある雇用労力の確保。鳥獣害の防止対策	雇用労力の確保。作業性の良い樹の仕立て方の工夫等
販売面の工夫・課題		無	更なる西吉野柿のブランド化	ほぼ全量JA出荷だったが、これからは直売等増やしていきたい	出荷作業の合理化の工夫。全国的なPR作戦など
「裾もの」の販売の工夫		選果場に出している。	すべてJAに販売委託をしている	JAに出荷している	JAに出荷
今後の経営展望		無	かきを経営の軸として、様々な品目にチャレンジしたい	うめを減らして、キウイフルーツやかきに改植したい	経営分析を行って、収益の上がる品種へ改植
今後の樹園地目標面積		現状維持が精一杯	樹園地面積は現状維持するなかで、単収の増加を図りたい	園地面積は現状維持	園地面積は現状維持で精一杯
今後増加予定の品目		今後もかき一本でいく	価格が高い品種より、消費者に食べてもらいたい品目を増やしていきたい	キウイフルーツ	収益性の良い品種導入
今後、6次産業化への取組予定		無	無	予定は無い	無
貴経営の地域・全国への普及可能性等		無	無	自分自身が試行錯誤しながら経営しているところ	大苗移植を活発に行い、老木園を減らして園地を若返られさせ、高品質、大玉果の生産と増産

2. かき作経営(3-2)

区分		かき作経営					
		奈良5	奈良6	奈良7	奈良8	和歌山1	和歌山2
経営主・労働力	経営主	40歳代(就農20歳)	50歳代(就農30歳)	60歳代(就農28歳)	60歳代(就農18歳)	30歳代(就農22歳)	40歳代(就農29歳)
	家族労働力	4名(経営主、妻、父、母)(延べ810人日)	4名(経営主、妻、父、母)(延べ990人日)	3名(経営主、妻、後継者)(延べ750人日)	2名(経営主、妻)(延べ440人日)	4名(経営主、妻、母)(延べ440人日)	2名(経営主、妻)(延べ500人日)
	雇用労働力・常雇用				常雇1名(42歳(7年目)、延べ250人日)		
	〃 ・臨時雇用	臨時雇用 3名(延べ 人日)	臨時雇用 名(延べ410人日)	臨時雇用 名(延べ365人日)	臨時雇用 名(延べ40人日)	臨時雇用 名(延1,110人日)	臨時雇用 名(延べ1,000人日)
樹園地面積	果樹園、かき園面積	果樹園 4.9ha、うち、かき作3.5ha(成園3.5ha)	果樹園 7.0ha、うち、かき作5.0ha(成園4.8ha)	果樹園 4.6ha、うち、かき作3.2ha(成園3.2ha)	果樹園 4.3ha、うち、かき作4.3ha(成園4.0ha)	果樹園 6.1ha、うち、かき作6.1ha(成園6.1ha)	果樹園 6.3ha、うち、かき作5.5ha(成園5.4ha)
	その他果樹面積	うめ 1.4ha	うめ 2.0ha	うめ 1.4ha			すもも0.6ha、ぶどう0.2ha、はっさく0.05ha
	かきの主な品種	富有1.9ha、刀根早生1.3ha、平核無0.3ha	富有2.4ha、刀根早生1.6ha、早生富有0.8ha、平核無0.3ha	刀根早生1.9ha、富有1.0ha、平核無0.3ha	富有3.0ha、刀根早生1.3ha	刀根早生3.5ha、極早生(中谷他)2.1ha、富有0.4ha、平核無0.1ha	刀根早生4.0ha、平核無0.5ha、富有0.5ha、阪口早生0.5ha
かきの栽培・販売	樹の仕立て方		開心自然形	自然開心形	開心自然形		
	主な収穫時期	9月中旬～12月上旬	9月中旬～12月上旬	9月下旬～12月上旬	9月中旬～12月中旬	9月上旬～11月中旬	9月上旬～11月下旬
	生産量(販売量)	115t(115t)	105t(105t)	94t(90t)	120t(120t)	102t(102t)	125t(125t)
	販売先	JA 100%	JA 100%	JA 99%、直売・宅配等1%	JA 100%	JA 95%、その他5%	JA 100%
装備	主要農業機械	SS 1台(600ℓ)、動力噴霧器1台、選果機1台、フークリフト1台、ショベル1台、トラック1台、軽トラック3台、運搬車 2台	SS 2台(600ℓ)、動力噴霧器1台、選果機1台、フークリフト1台、トラック1台、軽トラック3台、運搬車 2台	SS 2台(600ℓ)、動力噴霧器1台、トラック1台、軽トラック3台、運搬車 1台	トラクター2台、SS 2台、動力噴霧器1台、選果機1台、フークリフト1台、トラック1台、軽トラック3台	トラクター1台、SS 2台、選果機1台、フークリフト3台、ショベル4台、トラック2台(ダンプ、2t)、軽トラック3台、運搬車10台	トラクター1台、SS1台(500ℓ)、動力噴霧器1台、トラック1台、軽トラック2台、運搬車 1台
	主要施設	倉庫	倉庫2棟、灌漑設備	倉庫、灌漑設備	倉庫、作業所、コンテナ置き場	倉庫、作業所2棟、コンテナ置き場3棟、灌漑設備	倉庫、コンテナ置き場
法人化など	法人化	法人化の予定無	法人化の予定無	法人化の予定無	法人化の予定無	法人化済み	法人化の予定無
	法人化のメリット・デメリット					以前県の指導で県内第1号農業法人となった	
	経営主の技術取得の経緯	農業大学で研修、技術取得	奈良県果樹研究会による研修会、西吉野柿部会等の講習会で技術取得	特に無いが、親や先輩、仲間からの教えでなんとかやっている	農業後継者講座や生産組合の講習会で取得	栽培技術などは、就農時、父のやり方を教えてもらった	

2. かき作経営（つづき）

区分		かき作経営					
		奈良5	奈良6	奈良7	奈良8	和歌山1	和歌山2
園地の集積・品目増減など	購入した園地	149a	340a	220a：土地改良事業	140a：パイロット事業関連の資金	210a：スーパーL資金（農業経営基盤強化資金）	
	借入した園地	20a	20a		130a	200a：	630a：
	園地を増やした動機	収入を増やすため	SS等の機械導入で大面積が可能になり、収入増加を図るため園地を増やした	収入を増やして経営の安定化を図った	収入を増やすため、および知人から頼まれて	以前、宮崎県でうめを栽培していたが手放し、その分かきの園地を増やした	収入増加のため、担い手のなくなった畑を借りた
	増やしてきた品目	刀根早生（労力分散で）、富有柿（規模拡大で）を増やしてきた	刀根早生（労力分散で）、富有柿（規模拡大で）を増やしてきた	刀根早生（当時は新品種）	かき：中谷早生、刀根早生（収益面から）	以前は99%刀根早生だったが、労働配分を考えて極早生かき（中谷他）を増やしてきた	
	減らしてきた品目		うめの老木			うめ	
	園地分散・不良園への対応	急傾斜面の不良園地は山林にした	樹高を下げたり、若木への植え替えをするなど管理し易い園地に努めてきた	かきについては園地毎に同じ品種にまとめた	無	園地は大部分パイロット事業地区などで、分散や不良園地は無い	
高品質技術・省力技術の導入状況		計画的な品種構成改善による収穫労力分散、大苗移植による早期成園化を図った	計画的な品種構成改善による収穫労力分散、全園地を低樹高栽培にし作業効率を上げた	計画的な品種構成改善による収穫労力分散	計画的な品種構成改善による収穫作業時期の分散化。大苗移植による早期成園化	品種構成改善による労力分散、園地毎の選果データのフィードバック（何となく感ではあるが）	計画的な品種構成改善による収穫労力の分散、
樹種複合経営のメリット		収穫等労働配分の平準化、自然災害等の危険分散、顧客確保・収入時期分散等販売有利	収穫等労働配分の分散化	低樹高栽培による省力化を図った			労働配分の平準化
樹種複合経営のデメリット		品目（樹種）ごとの栽培技術の取得が必要	品目（樹種）ごとの栽培技術の取得が必要、また、雇用労力の増加になりやすい	品目毎に栽培技術の取得が必要			
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		収穫時期がきついため、雇用労力に頼っている	収穫・搬出の時期がきついので、臨時雇用で対応		品種構成改善で、収穫時期を分散化。雇用労力で乗り切っている	摘蕾期、及び収穫期の作業が短期間に集中、パート対応で乗り切るが雇用が年々難しくなっている	刀根早生の収穫時期がきついので、雇用を大量に入れ乗り切っている
経営面・技術面の課題		雇用労力の不足	両親が高齢になり、今後、雇用労力の確保が課題である	雇用労力の確保	収穫作業の効率化を図りたい	雇用を確保することが一番の課題。天候に左右されるが、秀品率向上も課題（摘果などで対応）。	雇用労働の確保
販売面の工夫・課題		全量JA出荷なので特に無い	全量JA出荷。全体としての柿のPR活動が大事	共選場での出荷制限や出労の軽減など	全てJA任せ	全量JA出荷。JAの指示する規格等を、JAが指示する出荷時期にいかにそろえるか課題であり努力	
「裾もの」の販売の工夫		全てJAに持ち込んでいる	下級品もJAの選果場で荷受けしてくれる	共選場に規格外として出荷	規格外でも選果場へ出荷している	JAに出せないものは選別し、地場市場へ出している	作業に来た人にあげている
今後の経営展望		優良品目・品種の導入。不良園地を山林へ。雇用労力の確保	後継者が近く就農予定なので、他の果樹にも興味がある	早期に出荷できる品種の導入	優良品種の導入（娘夫婦が近く帰国し、就農するので、収入増加を図りたい。ノウハウをしっかり教えたい）	極早生⇒刀根⇒平核無⇒富有の順で収穫するが、平核無及び富有が少ないので増やしたい	今後、更に雇用が難しくなれば経営規模を縮小せざるを得ない
今後の樹園地目標面積		現在の園地面積は変えずに、不良園を止め、作業能率の良いパイロット（造成地）地区を購入	未定	現在の園地面積は変えない予定	自分はあと10年が勝負と思っており、娘夫婦の農業への取組みをみながら経営展開を図りたい	あと1～2haは増やしても良いと思っている	現状の園地面積は維持
今後増加予定の品目		かき	未定	うめからかきへ変えていく予定	娘夫婦の意向等を踏まえて検討	手薄な平核無及び富有を増やす	阪口早生を増やしたい
今後、6次産業化への取組予定		全量JA出荷なので無い	未定	無	未定	無	無
貴経営の地域・全国への普及可能性等		無	今は省力化で高品質栽培をしているが、後継者就農後は多収量・高品質生産を目指したい	無	日々研修。日々努力	逆にいろいろと教えてほしい。まだまだ勉強していきたい	

2. かき作経営(3-3)

区分		かき作経営	
		福岡1	福岡2
経営主・労働力	経営主	60歳代（就農20歳）	60歳代（就農　　歳）
	家族労働力	2名（経営主、妻）(延べ580人日)	2名（経営主、長女）(延べ500人日)
	雇用労働力・常雇用	常雇1名(62歳（4年目）、延べ240人日)	常雇6名(男3名：26歳,60歳,63歳、女3名：32歳,65歳,70歳)
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用　名(延べ480人日)	臨時雇用 シルバーや派遣会社へ依頼。草刈は森林組合へ依頼
樹園地面積	果樹園、かき園面積	果樹園 4.9ha、うち、かき作4.5ha（成園4.5ha）	果樹園 11.0ha、うち、かき作10.ha（成園9.7ha）
	その他果樹面積	いちじく 0.35ha	すもも1.0ha
	かきの主な品種	富有1.58ha、ジャンボ富有（枝変わり）1.50ha、太秋1.10ha、早秋0.75ha、貴秋0.35ha	富有7.4ha、松本早生1.0ha、伊豆1.0ha、太秋0.6ha
かきの栽培・販売	樹の仕立て方	開心自然型	高収量を上げるため、徒長枝を結果母枝とする独自の仕立て方
	主な収穫時期	9月中旬～12月中旬	7月中旬～8月下旬
	生産量（販売量）	90t（90t）	150t（150t）
	販売先	JA 100%	JA 70%、、集荷業者 10%、直売・宅配等20%
装備	主要農業機械	SS 2台(1000ℓ)、高所作業車2台	SS 3台(600ℓ)、選果機3台、フォークリフト2台、ショベル1台、トラック1台、軽トラック3台、運搬車4台、高所作業車10台、電動ハサミ9台、乗用草刈機3台
	主要施設	倉庫、冷蔵庫、作業所、灌漑設備	冷蔵庫4棟(63t)
法人化など	法人化	法人化していない	法人化済み
	法人化のメリット・デメリット		
	経営主の技術取得の経緯		

2. かき作経営（つづき）

区分		かき作経営	
		福岡1	福岡2
園地の集積・品目増減など	購入した園地		200a：離農あと購入。基盤整備等実施
	借入した園地		450a：
	園地を増やした動機	バブル崩壊後の価格低下で園地を貸す依頼が増えたことや収入を維持していくため	収入を増やすため
	増やしてきた品目		かき、すもも
	減らしてきた品目	西村早生、松本早生	
	園地分散・不良園への対応		園地を町内と朝倉(20km)に分散。収穫時期が1週間程度ズレ、作業分散、リスク分散ができる(機械1セット常備)
高品質技術・省力技術の導入状況		かきの早生の面積割合を高め、収穫労働のピークをできるだけ平準化。また、価格面でも有利	徒長枝を結果母枝とする独自の仕立て方により高収量を実現
樹種複合経営のメリット			
樹種複合経営のデメリット			
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など			園地を町内と朝倉(20km)に分散。収穫時期が1週間程度ズレ、作業分散。また冷蔵かきの導入で出荷時期調整
経営面・技術面の課題		鳥獣害対策	
販売面の工夫・課題		現在出荷している福岡市場が統合されることになり、今後、個人出荷がどうなるのか心配	
「裾もの」の販売の工夫			
今後の経営展望		かきの主力の富有の面積割合を下げて、早生の割合を高め、収穫労働のピークをできるだけ平準化。	
今後の樹園地目標面積		今後は減らすことはあっても、増やすことはない	
今後増加予定の品目		かき専作の方がやりやすい	
今後、6次産業化への取組予定			
貴経営の地域・全国への普及可能性等			

3. もも作経営(2-1)

区分		もも作経営					
		福島1	福島2	福島3	福島4	福島5	福島6
経営主・労働力	経営主	30歳代（就農22歳）	50歳代（就農23歳）	30歳代（就農22歳）	50歳代（就農20歳）	40歳代（就農20歳）	60歳代（就農20歳）
	家族労働力	3名（経営主、父、母）(延べ810人日)	4名（経営主、妻、父、母）(延べ770人日)	3名（経営主、妻、父）(延べ770人日)	4名（経営主、妻、後継者、母）(延べ960人日)	4名（経営主、妻、父、母）(延べ1,100人日)	3名（経営主、妻、後継者）(延べ720人日)
	雇用労働力・常雇用	常雇1名(28歳（3年目）、延べ270人日)	常雇2名(32歳（6年目）、52歳（4年目）、延べ600人日)				
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用 2名(延べ92人日)	臨時雇用　名(延べ300人日)	臨時雇用　名(延べ20人日)	臨時雇用　名(延べ30人日)	臨時雇用　名(延べ150人日)	臨時雇用　名(延べ500人日)
樹園地面積	果樹園、もも園面積	果樹園 5.0ha、うち、もも作2.25ha（成園1.35ha）	果樹園 3.5ha、うち、もも作1.94ha（成園1.59ha）	果樹園 2.0ha、うち、もも作1.00ha（成園0.9ha）	果樹園 2.15ha、うち、もも作1.25ha（成園1.00ha）	果樹園 2.4ha、うち、もも作1.0ha（成園0.7ha）	果樹園 4.3ha、うち、もも作1.6ha（成園1.2ha）
	その他果樹面積	りんご 1.12ha、おうとう 0.58ha、かき 0.17ha	西洋なし0.97ha、りんご0.58ha	りんご1.0ha	りんご0.9ha	りんご1.0ha、おうとう0.4ha	りんご2.1ha、おうとう0.6ha
	ももの主な品種	あかつき1.0ha,川中島 0.57ha, まどか 0.15ha,　きらら極0.1ha、さくら白桃 0.08ha	あかつき0.67ha,川中島 0.38ha, ゆうそら0.23ha,　暁星0.18ha、ネクタリン等その他 0.48ha	あかつき0.2ha,川中島 0.2ha, まどか 0.2ha,　恋みらい0.2ha、暁星0.1ha	あかつき0.5ha,ゆうそら0.2ha,　紅錦香 0.18ha、川中島 0.12ha, まどか0.1h	あかつき0.5ha,川中島 0.3ha, 黄金桃0.04ha,　日川白鳳0.03ha、黄貴妃0.03ha	あかつき0.8ha,ゆうぞら0.4ha,　さくら白桃 0.1ha
ももの栽培・販売	樹の仕立て方	主幹開心仕立	主幹開心仕立	自己流	長梢仕立	自然開心形	長梢仕立形
	主な収穫時期	8月上旬～9月下旬	7月中旬～8月下旬	7月下旬～9月中旬	7月上旬～9月下旬	7月上旬～9月中旬	7月下旬～9月上旬
	生産量（販売量）	27t（27t）	76t（73.1t）	43t（40t）	49t（45t）	50t（50t）	37t（37t）
	販売先	JA 20%, 直売・宅配等 80%	JA 70%、、集荷業者 10%、直売・宅配等 20%	JA 15%、、直売・宅配等 85%	JA 95%、、直売・宅配等 5%	JA 60%、、集荷業者 20%、直売・宅配等 20%	JA 100%
装備	主要農業機械	SS 1台(1000ℓ)、トラクター1台（ ps)、軽トラック1台、運搬車 1台、乗用草刈機 1台	SS 2台(1000ℓ)、ショベル（共有）、トラクター1台(22ps)、トラック1台、軽トラック2台、選果機1台、運搬車 1台	トラクター1台、SS 1台(1000ℓ)、トラック1台、運搬車 1台	トラクター1台(17ps)、SS 1台(1000ℓ)、軽トラック2台、運搬車 1台	トラクター2台(15,18ps)、SS 2台(1000ℓ)、動力噴霧器1台、選果機2台、軽トラック2台	トラクター1台(26ps)、SS 2台、動力噴霧器1台、選果機1台、ショベル1台、トラック1台、軽トラック2台、運搬車 2台
	主要施設	倉庫、冷蔵庫、作業所、コンテナ置き場、ハウス、灌漑設備、防風網	倉庫2棟、冷蔵庫、灌漑設備、防風網	倉庫、冷蔵庫、作業所	倉庫	倉庫、ハウス（パイプハウス）	倉庫3棟
法人化など	法人化	平成23年に法人化済み	いずれ法人化予定（跡継ぎいないが、非家族型経営継承予定）	法人化の予定無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い
	法人化のメリット・デメリット	対外的に有効	経営継承に有効				
	経営主の技術取得の経緯	果樹研究所1年、農業者大学校など	地区新品種研究会、各種部会主催視察、昨年まで「もも部会長」など	地元の研究会などで技術取得	JAの柿部会などで技術取得	県の果樹研究所で1年間講習を受講。その後、JAの技術研修や先進地視察等で技術取得	農業短期大学校

3. もも作経営（福島）（つづき）

区分		もも作経営					
		福島1	福島2	福島3	福島4	福島5	福島6
園地の集積・品目増減など	購入した園地	65a：自己資金	無		10a		
	借入した園地	94a：耕作放棄地に新植	200a：一部は依頼され、一部は隣接園で作業効率向上のため借入	10a	30a		200a：
	園地を増やした動機	近隣地で耕作放棄防止。買戻し	依頼されと作業効率向上のため	収入を増加させるため	知人に頼まれて引き受けた		耕作放棄地の解消
	増やしてきた品目	おうとう、もも（収穫期間拡大）	西洋なし、りんごより省力であるが、自家での追熟技術が難しい	あかつき：急性枯死症が非常に多いため	水田を減らし桃を植え付けた。品種は川中島やゆうぞらなど晩生種を増やした	おうとうを導入したが、うまくいってない。他の樹種との作業配分やネズミ対策などうまくいかない	もも：はつひめ・・早生、さくら白桃・・販売期間延長。 りんご：着色ふじ、シナノスイート・・経営改善
	減らしてきた品目	プルーン、ブルーベリー	りんご（早生）	恋みらい：暁星が成木になってくるため	無		
	園地分散・不良園への対応	水田跡の耕作放棄地など借入、集落内に集約	4箇所に集積を推進。1箇所40a以上を目指す。不良園地は避けている。	それなりに対応している	特に無	園地は比較的まとまっている。湿害の出る園地へ暗渠、うまくいかない、難しい	放任している
高品質技術・省力技術の導入状況		計画的な樹体更新、品種構成改善による収穫労力分散、計画的改植、受粉樹設置	作業性向上のため、できるだけ園地に軽トラが入れるようにしている。水圧利用の摘蕾作業の導入	計画的な樹体更新、品種構成の改善による収穫労力の分散化	経済寿命が短いことから全体の5%～10%を計画的に更新。また、品種構成改善による収穫労力の分散化	計画的な樹体更新、品種構成改善による収穫労力の分散など	計画的な樹体更新、品種構成改善による収穫労力分散、選果データの園地へのフィードバック
樹種複合経営のメリット		収穫等労働配分の分散化、顧客確保・収入時期分散等販売有利	収穫等労働配分の分散化、自然災害等の危険分散、半年間販売するのでその間現金収入がある	より長期間販売でき収入時期を分散できる	労働配分の平準化。危険分散。長期間販売で現金収入の長期化が図れる	自然災害などから危険分散できる。収入時期が広がり、販売上メリットがある	労働配分の平準化、自然災害等の危険分散、収入時期を広げ資金繰りにメリット
樹種複合経営のデメリット				ややもすると雇用労働の増加になりやすい	ややもすると雇用労働の増加になりやすい	樹種ごとに栽培技術取得が必要	樹種ごとの栽培技術が必要。雇用労働の増加に、販路も品目に応じ必要など
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		これまで何とか回していたが、常雇が1人止めたので、確保予定。学生の援農（体験料徴取）を活用	手間のかかる作業（花つみ、実つみ、防除等）での雇用の確保が、最近困難になってきている	5月の開花から7月上旬までの摘果時期が一番きつい。シルバー人材などを利用	桃の収穫時期が一番きつい。このため、品種構成を収穫時期が集中しないよう分散・配置しつつある。	全ての樹種の摘果作業が5,6月に重複。もものの仕上げは自分で全て確認。りんごは雇用でも可能	毎月きつい
経営面・技術面の課題		ある程度果樹が分かっている、使える雇用労働の確保	雇用労力の確保、雇用の資質の向上が課題	秀品率の向上が課題	原発災害後、贈答品の減少、価格下落が大きく大変。また、雇用労働の確保が難しくなっている	作業効率は個人差がかなり大きい。このため質の良い技術のある雇用労力の確保が最大の課題	雇用労働者の高齢化、確保
販売面の工夫・課題		早朝収穫、パート等による箱詰め、宅配便等による直売での有利販売（顧客：年間契約制、600名程度）	りんごの直売の割合が減っていること（顧客：200名程度）。なお、パソコンで伝票（複写）作成	SNSなども活用して、顧客の拡大に努めている	ロコミでの顧客拡大が今後はあまり望めない。あくまでもJA出荷がメイン	ネット販売の他、ロコミで徐々に直売が増加。JAは共選経費高いので、2番手物は仲卸と取引	
「裾もの」の販売の工夫		ハネものは15%程度。主に自家加工、アイス加工は業者委託。加工品のPRはコンベンション協会が支援。	実家の駐車場を利用した無人スタンドで直売。自動販売機も利用	顧客へ無料であげたり、自家ジュース加工など	JA出荷が中心となる。家庭用として販売しているが量は少ない	直売や加工業者に販売。傷害果はJAにも出荷	
今後の経営展望		ももは10年で改植が必要になるので、今後とも計画的な改植は進めていく。	経営の法人化を進めたい。また、福島オリジナルの早生品種の導入を進めたい	極晩生品種の導入。急性枯死症への対応など	長男への経営委譲を行い、新し感覚で経営を進めてもらう。また、ももの早生種の面積を増やす	周辺は農家減、園地が出るが規模拡大より直売所開設など、いまあるものを見直し再構築の方向	労働力不足の解消をどの様にするか次第
今後の樹園地目標面積		現在の園地（5.0ha）は維持。	現在の園地（3.49ha）は維持。	現状園地面積は維持	現在の園地面積を維持する	現状維持 ＋ α（1～2ha位増）	現状維持
今後増加予定の品目		現在の品目構成は変えないでいく。	福島オリジナルの早生品種の導入	あかつき、まど、極晩生種	現状のままで良い	今後はももに力を入れるほか、おうとう、りんごなどまんべんなく。冬場の野菜導入も検討	現状維持
今後、6次産業化への取組予定		既に蔵を改造して加工事業に取り組んでおり、充実していく。	りんご、西洋なしで直売を増やしたい。加工は委託を考えている。	無	無	加工品の販路を開拓し、加工事業も検討したい	現状では無理です
貴経営の地域・全国への普及可能性等				行政やJAと連携、さらにネット(HP)やSNSの活用など	JA出荷がメインなので、今後は直販などの経営を参考に取り組みたい		

3. もも作経営(2-2)

区分		もも作経営			
		山梨1	山梨2	和歌山1	和歌山3
経営主・労働力	経営主	50歳代(就農　歳)	75歳代(就農18歳)	60歳代(就農　歳)	50歳代(就農31歳)
	家族労働力	2名(経営主、妻)(延べ500人日)	3名(経営主、父、母)(延べ460人日)	3名(経営主、妻、後継者)(延べ530人日)	4名(経営主、妻、父、母)(延べ930人日)
	雇用労働力・常雇用	常雇 3名(延べ 750人日、雇用10年目)			
	〃　・臨時雇用	臨時雇用 8名(延べ950人日)	臨時雇用　名(延べ1,260人日)	臨時雇用　名(延べ380人日)	臨時雇用　名(延べ120人日)
樹園地面積	果樹園、もも園面積	果樹園 4.7ha、うち、もも作4.3ha(成園3.1ha)	果樹園 3.0ha、うち、もも作2.0ha(成園0.5ha)	果樹園 2.1ha、うち、もも作1.9ha(成園1.3ha)	果樹園 2.0ha、うち、もも作2.0ha(成園1.7ha)
	その他果樹面積	りんご 1.12ha、おうとう 0.58ha、かき0.17ha	すもも0.5ha、かき0.2ha	デコポン0.17ha、かき0.06ha	無
	ももの主な品種	日川白鳳1.07ha,白鳳 0.7ha, みさか白鳳0.6ha,　はなよめ 0.5ha	白鳳、日川、浅間、ゆうぞら、はなよめ(面積不詳)	白鳳0.4ha,長田白鳳 0.3ha, 川中島白桃0.2ha,　日川白桃0.2ha、紀の里白鳳 0.2ha、嶺鳳0.2ha等	白鳳0.7ha,川中島 0.5ha, 清水0.4ha,　日川0.3ha
ももの栽培・販売	樹の仕立て方		Y字短梢剪定	白鳳:開心自然形、長田白鳳:背状形、川中島白桃:盃状形、他は色々な仕立	長梢剪定
	主な収穫時期	4月下旬～8月中旬	6月下旬～8月中旬	6月中旬～8月上旬	6月下旬～8月中旬
	生産量(販売量)	52.5t(50t)	100t(100t)	t(　t)	30.6t(24.5t)
	販売先	JA 80%,、集荷業者等10%、直売・宅配等 10%	JA 100%	JA 99%,、直売・宅配等 1%	JA 98%,、直売・宅配等 2%
装備	主要農業機械	トラクター3台(34,25,13ps)、SS 2台(500ℓ)、動力噴霧器2台、選果機4台、ショベル1台、軽トラック7台、運搬車 3台	トラクター1台、SS 1台、動力噴霧器1台、軽トラック3台	トラクター1台、SS 1台(600ℓ)、動力噴霧器2台、選果機1台、軽トラック2台、運搬車 5台、乗用型草刈機1台	トラクター1台(22ps)、SS 2台(600ℓ,500ℓ)、動力噴霧器2台、軽トラック4台
	主要施設	倉庫、冷蔵庫、作業所、ハウス(110a)	倉庫2棟、冷蔵庫、作業所、コンテナ置き場	倉庫兼貯蔵庫、冷蔵庫、作業所、コンテナ置き場、果実機械選果場、灌漑設備	倉庫
法人化など	法人化	平成18年に法人化済み	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い
	法人化のメリット・デメリット	労働者確保に有効な点がメリット。一方、売り上げが無い時にも給与の支払いが必要なことがデメリット			
	経営主の技術取得の経緯	父及び指導員から技術を取得した	先進園地見学	高校園芸科卒後、父の稲作、野菜作、果樹作など手伝う中で、桃栽培を学んできた。	

3. もも作経営（福島）（つづき）

区分		もも作経営			
		山梨１	山梨２	和歌山1	和歌山3
園地の集積・品目増減など	購入した園地	20a：銀行から借入金	10a	33a：近代化資金	
	借入した園地	277a：利用集積・規模拡大事業	30a	49a：	
	園地を増やした動機	得意先からの注文にこたえるため。収入増加のため。知人に頼まれて（担い手不足、耕作放棄地解消）	収入を増やすため	平成16年、「持ち寄り共販」から「JAの機械共撰」となり作業にゆとりができ園地を増やした	
	増やしてきた品目	もも：日川白鳳・・・労働配分、収益性に優れている	増加：白鳳　減少：長沢、レイホウ：着色先行出荷。糖度が少ないため市場で人気が出ない	品質の良い、市場に好まれる品種を導入してきた（長田白、日川白、紀の里白、白鳳など）	白鳳、川中島白桃 ・・・ 労働配分及び収量の点から増やした
	減らしてきた品目			岡山白、山根白、砂子、倉方、西野白、桃山白、八幡白など	八幡、桃山白鳳 ・・・ 二級品が多いから
	園地分散・不良園への対応	就農時園地は結構分散していたが、徐々に園地を集積してきた	有機肥料の施用	園地20枚に分散、軽貨物・運搬車で対応。消毒はSSで、除草は乗用草刈機、暗渠排水・高畝	
高品質技術・省力技術の導入状況		品種構成改善による収穫労力分散	品種構成改善による収穫労力分散	寿命を延ばす剪定技術や改植で対応。現品種では50日程度連続収穫・出荷。日射し確保。排水等	計画的な樹体更新、品種構成改善、低樹高栽培での省力化、日射量確保等
樹種複合経営のメリット		収穫等労働配分の分散化、顧客確保・収入時期分散等販売有利	収穫等労働配分の分散化、自然災害等の危険分散、半年間販売するのでその間現金収入がある	作業時期の分散・平準化が出来る。長期販売で収入時期分散。	
樹種複合経営のデメリット		販売も品目に応じた販路確保が必要	ややもすると雇用労力の増加になりやすい	樹種ごとの技術取得必要。雇用労働の増加になり易い。作業ロスも出やすい	
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		5月中旬～6月下旬がきつい時期、この間は臨時雇用を増やして対応している。	7月が一番きつい。休みながら作業する	摘花、摘蕾、摘果、袋掛け、収穫がきつい。真夏の作業で、分担を決め体調に気づかいつつ実施	
経営面・技術面の課題		経営面：他の樹種（品目）も作ってみたいがコスト面が不安　技術面：近年、異常気象により秀品率が低下	技術の継承	雇用労働の確保が最重要課題。老木、若木、それぞれ樹勢に応じた剪定技術（数年先を考えて）	園地管理、結実管理、秀品率向上、雇用労働力の確保
販売面の工夫・課題		出荷作業での安定性	特に無	販売はJAに委託。収穫・出荷作業に追われゆとりがない。園地分散で合理化も限度あり	顧客の拡大
「裾もの」の販売の工夫		小玉については量販店に出荷。ハネ出しももについてはネクター及び観光園で販売	加工用に販売している	ファーマーズマーケット（めっけもん）へ出荷	選果場で販売している
今後の経営展望		後継者を育成することで、経営が今まで以上に発展する可能性は大と考えている	品種の計画的更新実施など	後継ぎが勤めなので、いずれ園地面積の縮小せざるを得ない時期が来ると思う	優良品種の導入及び低樹高栽培の徹底
今後の樹園地目標面積		園地の条件が良ければ、面積は限りなく増やしてもよいと考えている	現在の家族労力では、園地面積は現状維持	雇用労働の確保によって変わると思う	現状維持
今後増加予定の品目		ももを増やしたい	無	現在8品種ですが、嶺鳳、日川白鳳、黄桃等に改植する予定	予定無
今後、6次産業化への取組予定		特に無い	無	将来的には、糖度の高い秀品を、高級果実店に置いてもらえるようにしたいと考えている	無
貴経営の地域・全国への普及可能性等		当社の経営が現状維持か発展し、近隣の農家が刺激を受け頑張り、そして地域が発展すればと思う	特に考えていない	果樹経営は、良い果実を作れば輸入物にはない高級感があり、安定した価格も望めると思う	無

4. うめ作経営(2-1)

区分		和歌山1	和歌山2	和歌山3	和歌山4	和歌山5	和歌山6
経営主・労働力	経営主	50歳代（就農20歳）	60歳代（就農41歳）	60歳代（就農19歳）	40歳代（就農18歳）	52歳代（就農52歳）	60歳代（就農　歳）
	家族労働力	3名（経営主、妻、後継者）（延べ700人日）	5名（経営主、妻、長男、妻、次男）（延べ1,090人日）	3名（経営主、妻、後継者）（延べ850人日）	2名（経営主、妻）（延べ600人日）	1名（経営主）（延べ250人日）	5名（経営主、妻、長男、妻、次男）（延べ1,160人日）
	雇用労働力・常雇用	無	無	無	無	無	無
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用　名（延べ150人日）	臨時雇用　名（延べ150人日）	無	臨時雇用　名（延べ1,040人日）	臨時雇用　名（延べ100人日）	臨時雇用　名（延べ130人日）
樹園地面積	果樹園、うめ園面積	果樹園 5.0ha、うち、うめ作5.0ha（成園4.0ha）	果樹園 5.5ha、うち、うめ作5.5ha（成園3.0ha）	果樹園 4.2ha、うち、うめ作4.2ha（成園2.5ha）	果樹園 7.0ha、うち、うめ作7.0ha（成園4.0ha）	果樹園 4.5ha、うち、うめ作4.5ha（成園4.5ha）	果樹園 4.3ha、うち、うめ作4.0ha（成園3.5ha）
	その他果樹面積	無	無	無	無	無	柑橘類0.3ha
	うめの主な品種	南高梅4.0ha,受粉樹（小粒南高MK14 1.0ha）	南高梅4.5ha,受粉樹（小粒南高MK14 1.0ha）	南高梅4.2ha	南高梅7.0ha,受粉樹	南高梅3.5ha,雑種1.0ha	南高梅3.2ha,受粉樹0.8ha,露あかな（梅酒用）0.2ha
うめの栽培・販売	樹の仕立て方	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立
	主な収穫時期	6月～7月	5月下旬～6月下旬	6月上旬～7月上旬	6月上旬～7月上旬	6月末～7月上旬	6月１５日～7月10日
	生産量（販売量）	100t（100t）	70t（青梅10t、加工60t）	60t（60t）	青梅160t生産し、一次加工して90tで販売	100t（100t）	110t（青梅20t、加工90t）
	販売先	JA 20%、集荷業者80%	青梅（JA 100%）、加工（JA 20%、集荷業者80%）	JA 10%、集荷業者80%、その他10	加工業者100%	集荷業者100%	青梅（JA 100%）、加工（JA 50%、集荷業者50%）
装備	主要農業機械	SS１台(1000ℓ)、動力噴霧器2台、選果機2台、フォークリフト3台、ショベル1台、トラック2台、軽トラック2台、運搬車1台	トラクター1台(17ps)、動力噴霧器2台、選果機2台、フォークリフト1台、トラック1台、軽トラック2台	動力噴霧器2台、選果機2台、フォークリフト1台、軽トラック3台、運搬車3台	トラクター1台、動力噴霧器2台、選果機2台、フォークリフト2台、トラック3台、軽トラック2台、運搬車４台	動力噴霧器3台、選果機1台、フォークリフト1台、軽トラック3台、運搬車4台	トラクター1台、動力噴霧器3台、選果機2台、フォークリフト1台、トラック1台、軽トラック3台、運搬車1台
	主要施設	倉庫、作業所、コンテナ置き場、灌漑設備、梅干しハウス	倉庫、貯蔵・作業・加工場（梅漬用）、灌漑設備（園地の6割、あとは手散布）、ハウス	倉庫、作業所、加工場、コンテナ置き場、灌漑設備	倉庫、作業所、加工場、コンテナ置き場	倉庫、作業所、加工場、コンテナ置き場、モノレール	倉庫、貯蔵庫・作業所・加工場、コンテナ置き場、灌漑設備、梅干しハウス
法人化など	法人化	法人化の予定は無い。	法人化の予定は無い。	法人化の予定は無い。	法人化済み（平成9年）	法人化済（平成6年）	法人化の予定は無い。
	法人化のメリット・デメリット		法人化を検討したが、初期コストが負担となりメリットが少ない。現在の規模では個人事業主がよい		税理士に勧められ法人化した。アンケートの依頼が多い		当地域では、法人化のメリットがない
	経営主の技術取得の経緯	高校の園芸科、さらに農業者大学校卒、先進的な経営体視察など	高校の園芸科卒、長男は、つくばの果樹試験場研修生終了	高校園芸科で基本を習った。あとは剪定講習会参加など	4HクラブやJA青年部などで教えてもらった		JAのうめ部会や出荷組合など

4. うめ作経営（つづき）

区分		うめ作経営					
		和歌山1	和歌山2	和歌山3	和歌山4	和歌山5	和歌山6
園地の集積・品目増減など	購入した園地	300a：農業近代化資金	無	42a	500a：公庫資金	無	無
	借入した園地	150a：	130a：構造改善事業、経営体育成、経営安定対策事業（使いやすい対策）など。借りたら直ぐ改植する	40a			40a：JA斡旋
	園地を増やした動機	うめの専作経営を目指した	縁故で頼まれて（近隣の高齢農家・・・賃料1万円/10a。親戚（いとこ）・・・固定資産税負担分）など。	当地はうめの主産地であり、収入を増やすため	梅の生育不良。あと親戚に頼まれて増やした		隣接農家の高齢化で依頼され
	増やしてきた品目	南高うめ	後継者2人なので、うめだけでは食べていけない。トマトの導入で果樹・野菜の複合経営としたい	南高うめを主体に、数種の受粉樹を入れる	梅加工業者の要望から、南高うめのみ増やしてきた		南高うめ主体で、梅酒用で県も力を入れている「露あかな」を増やしてきた
	減らしてきた品目	古城うめ：青梅の収穫に労力がかかる	うめは減らす方向	古城うめは採算が合わず、減らした			
	園地分散・不良園への対応	家族労働中心で対応するため、収穫時期、労働の分散から、海岸部、中間地、山間部と分けて配置した		うめの場合、ある程度の園地の分散は豊凶の緩和となる。傾斜地は防除の効率化のためSK設置	重機を入れて、客土を行い、排水対策など実施。他に園内道を整備した		緩傾斜化（できるだけ機械が使えるよう）
高品質技術・省力技術の導入状況		ネット収穫技術導入による省力化。また、海岸部から山間部までに園地を配置し、収穫時期をずらした	低樹高管理、「止める」樹体管理。ネット収穫に適した園地管理、集約を含む	低樹高栽培による省力化。樹上における完熟果生産など	ネット収穫技術導入による省力化	樹上による完熟果生産。ネット収穫技術導入による省力化	園地をネット収穫に適した傾斜(20度以内)に、ミニパイロット事業で園地整備中(3.2ha終了)
樹種複合経営のメリット							
樹種複合経営のデメリット							
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		うめの収穫時期がきつい。このため臨時雇用で乗り切っている	作業的には、いつもきつい	6月の収穫時期が一番きつい。臨時雇用で乗り切っている	収穫時期の6～7月にアルバイトを沢山雇用して乗り切っている		6,7月の収穫時期がきつい。雇用確保も高齢化が進み蜜かしくなっている
経営面・技術面の課題		雇用労働の確保、急傾斜の園地改善が課題	SSが段畑で使えず、SKに替わる設備がない。g単価も重要であるが、時間単価を考えた経営が課題	秀品率の向上。単価低迷からの脱却	雇用労働の確保が最大の課題（全体的に人手不足、高齢化、賃金アップ＝経営悪化の要因へ）	雇用労働の確保が難しくなっている	今後、雇用は益々厳しくなると思われる
販売面の工夫・課題		梅干しの販売方法をどうするか	うめ単価UPは今後望めない。コストをできるだけ下げる。食育で賢明な消費者育成が必要と思う	消費者へ直接販売による手取りの向上	どうしても加工業者が価格決定の主導権をもっているので、低単価に甘んじている。消費税の負担問題も	全て仲買に売っている	うめの消費拡大。当地域では1次加工品が丸1年分ダブついている
「裾もの」の販売の工夫			裾ものはできるだけ捨てる。そうでないと産地が困る	裾ものは、専門業者へ販売している	全て裾ものは加工業者へ売っている	裾ものも仲買へ売っている	1次加工品で加工業者へ売っている
今後の経営展望		急傾斜地園地を作業しやすい園地に改良する予定	今後は収益性の良いトマト、柑橘類を増やし、うめは縮小の方向。作業性の悪い園地を減らす。	うめは生産過剰気味であり、今後は多角経営を目指したい	老木園を植え替え、若返らせている	経費の削減が課題	単価が1ケース5,000円から3,000円程度まで下がった。今後在庫もあり大変
今後の樹園地目標面積		現状の園地面積程度	作業性の良い団地に集約し、経営面積5ha、成園面積3haとしたい	現状面積を維持する	現状の園地面積維持	現状より減らす予定	現状維持
今後増加予定の品目		今後もうめで	柑橘類（例えば、はるか、西南のひかり、津の望、不知火、レモンが良さそう）で時期をずらして収穫など	未定	南高うめに替わるものがないので、特に無い	無	梅酒用「露あかな」やかんきつ類を増やす
今後、6次産業化への取組予定		うめの一次加工	うめ加工では考えていないが、観光農園を考えている	生果、加工品とも消費者へ直接販売を拡大していく	リスクを取りたくないので、加工業者へ頼っている現在のままでいい	現在の1次加工でいく	無
貴経営の地域・全国への普及可能性等		特に無い	複数の後継者が居る経営での移譲、複合経営としては参考になるのではないか		梅の最大の産地で、加工業者が100～150社もあり、それが強みであるが、今後は手厚い保護政策が必要		助成事業を活用した計画的改植。緩傾斜園地化による作業効率の良い園地化など

4. うめ作経営(2-2)

区分		うめ作経営					
		和歌山7	和歌山8	和歌山9	和歌山10	和歌山11	和歌山12
経営主・労働力	経営主	40歳代(就農20歳)	60歳代(就農20歳)	60歳代(就農18歳)	40歳代(就農　歳)	50歳代(就農　　歳)	40歳代(就農28歳)
	家族労働力	4名(経営主、妻、父、母)(延べ1,160人日)	3名(経営主、後継者、同妻)(延べ700人日)	2名(経営主、後継者)(延べ150人日)	3名(経営主、妻、母)(延べ710人日)	2名(経営主、妻)(延べ500人日)	5名(経営主、妻、後継者、父、母)(延べ1,440人日)
	雇用労働力・常雇用	無	無	常雇1名(65歳(10年目)延べ150人日)	無	無	常雇1名(38歳(1年目)延べ200人日)
	〃　　・臨時雇用	臨時雇用　名(延べ210人日)	臨時雇用　名(延べ100人日)	臨時雇用　名(延べ60人日)	臨時雇用 8名(延べ　　人日)	無	臨時雇用 4名(延べ　人日)
樹園地面積	果樹園、うめ園面積	果樹園 4.3ha、うち、うめ作4.3ha(成園3.0ha)	果樹園 3.0ha、うち、うめ作3.0ha(成園3.0ha)	果樹園 3.5ha、うち、うめ作3.5ha(成園3.2ha)	果樹園 3.7ha、うち、うめ作3.2ha(成園2.5ha)	果樹園 3.0ha、うち、うめ作3.0ha(成園1.0ha)※老木園を改植したので未成園が多い。	果樹園 4.0ha、うち、うめ作4.0ha(成園3.0ha)
	その他果樹面積	無	無	無	みかん0.5ha	無	無
	うめの主な品種	南高梅4.3ha,一部受粉樹	南高梅3.0ha,一部受粉樹	南高梅3.5ha,一部受粉樹	南高梅3.15ha,翠香0.05ha	南高梅2.0ha,小粒南高0.5ha,かいりょう0.5ha,受粉樹	南高梅4.0ha,受粉樹
うめの栽培・販売	樹の仕立て方	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立	開心自然形仕立
	主な収穫時期	5月下旬～7月上旬	6月～7月	6月～7月上旬	6月～7月	6月上旬～7月上旬	6月上旬～6月下旬
	生産量(販売量)	40t生産し、販売	70t生産し、70t販売	60t生産し、60t販売	70t生産し、70t販売	青梅13t生産し、13t販売	100t生産し、100t販売
	販売先	JA3%、加工業者97%	JA10%、加工業者90%	直接販売5%、加工業者95%	JA1%、加工業者99%	加工業者100%	JA5%、加工業者95%
装備	主要農業機械	トラクター1台、動力噴霧器1台、選果機2台、フォークリフト1台、トラック1台、軽トラック3台、運搬車2台	動力噴霧器1台、選果機2台、フォークリフト1台、軽トラック3台、運搬車3台	トラクター1台、動力噴霧器1台、選果機1台、フォークリフト1台、トラック2台、運搬車2台	トラクター1台、動力噴霧器1台、選果機2台、フォークリフト1台、トラック1台、軽トラック2台、運搬車2台	トラクター1台、動力噴霧器1台、選果機1台、フォークリフト1台、軽トラック1台	トラクター1台、動力噴霧器4台、選果機3台、フォークリフト1台、軽トラック6台、運搬車2台
	主要施設	倉庫・作業所、コンテナ置き場、モノレール	倉庫、作業所、加工場、コンテナ置き場、モノレール、灌漑設備(1ha)	倉庫、加工場、コンテナ置き場、モノレール	倉庫・作業所、モノレール	倉庫・貯蔵庫・作業所・加工場・コンテナ置き場、モノレール	倉庫、貯蔵庫、作業所、梅干し置き場、梅干し場、モノレール
法人化など	法人化	法人化の予定はない	法人化の予定はない	法人化の予定なし	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い	法人化の予定は無い
	法人化のメリット・デメリット						
	経営主の技術取得の経緯	高校の園芸科で学び、JA出荷会で学んでいる	特に無い	父から学んだ他、4Hクラブや果樹研究会などで教えてもらった	農協などの情報やベテランの方に教えてもらった		JA営農指導課の指導など

4. うめ作経営（つづき）

区分		うめ作経営					
		和歌山7	和歌山8	和歌山9	和歌山10	和歌山11	和歌山12
園地の集積・品目増減など	購入した園地		75a		100a：農業近代化資金	無	30a
	借入した園地					無	60a
	園地を増やした動機		収入を増やすため		収入を増やすため		知人に頼まれて購入した他、近所の人の園地の維持など
	増やしてきた品目	梅加工業者の要望から、南高うめを増やしてきた		南高うめを増やしてきた	みかん（不知火）を増やして、うめ（南高うめ）を減らして。梅価格が低迷、みかんで収入確保のため	老木が多かったので、思い切って数年かけて改植した。	南高うめと交配樹
	減らしてきた品目	古城を減らした		梅の雑種（皆平）やみかん、はっさくを減らした	うめ		古城、改良内田・・・南高うめと収穫時期が違うから減らした
	園地分散・不良園への対応	傾斜園地にはモノラックを導入	不良園地は放棄している	傾斜地でも重機の入れるところは重機で作業性を良くしてきた	条件の悪い農地では作らないことにしている		
高品質技術・省力技術の導入状況		全園、ネット収穫技術導入による省力化	全ての園地で、ネット収穫技術導入による省力化	低樹高による省力化。ネット収穫技術導入による省力化	計画的な品種構成、ネット収穫技術導入による省力化		
樹種複合経営のメリット					労働配分の平準化、自然災害や収入時期の分散ができる		
樹種複合経営のデメリット					品目毎の栽培技術の取得が必要になる		
作業的にきつい時期、乗り切るための工夫など		収穫時期の6月中旬～7月上旬に臨時雇用して乗り切っている	収穫時期の6～7月に雇用して乗り切っている		収穫時期の6～7月がきつい。作業効率を上げるため仕事の段取りをよく考えて行う。	収穫時期がきついが、現在は多くが改植後で樹齢が若く家族労働で乗り切れる	
経営面・技術面の課題		6月の収穫期に雇用労働の確保が課題	雇える人がいないのが課題	変動のない安定した収量を毎年確保すること	梅価格の低迷で収入が減少。このため梅以外の品目を導入し、収入確保を図っていく	秀品率を向上させること	梅の剪定技術の向上。収穫作業など繁忙期の臨時雇用の確保。農業経営収支の改善
販売面の工夫・課題		ほとんど加工業者と直接取引しているが、価格が安いのが課題。	業者任せになっていて特にない	現在の取引を続けていくこと	販売を加工業者やJAに頼らず、自ら販路を確保し売っていくようにしたい		梅干し価格の決定が相対なので、出荷のタイミングと話し合い
「裾もの」の販売の工夫		全て裾ものは加工業者へ売っている	一級品、二級品、三級品全て業者へ販売	加工業者へ販売	現在は加工業者へ販売	加工業者へ販売	
今後の経営展望		南高うめには受粉樹が欠かせないが、良い品種の絞り込みが課題	基本的には後継者に任すが、園地面積は現状維持	南高うめから別の品種へ改植することで、毎年安定した収量を確保していきたい	販売を加工業者やJAに頼らず、自ら販路を確保し売っていくようにしたい		梅の改植を計画的に行いながら、優良苗を育成していく
今後の樹園地目標面積		現状の園地面積維持	現状の園地面積維持	現状の園地面積を維持	250a程度を予定	樹園地面積は、現状より縮小の予定	樹園地を平坦地に集約し、5～6haの樹園地規模にしていきたい
今後増加予定の品目		無	いまの南高うめを維持していく	無	梅以外の柑橘類や野菜（ウスイエンド）を増やしていきたい	うめ（なかでも南高梅,小粒南高）を増やす	南高うめ
今後、6次産業化への取組予定		無	現状維持	無	販売の工夫を考えること	改植園が成りだしたら検討したい	無
貴経営の地域・全国への普及可能性等			特に無い				無

果樹産地生産構造動向分析調査

大規模果樹経営実態調査

1. アンケート調査票 ≪ぶどう経営体用≫

2. アンケート調査票 ≪かき経営体用≫

3. アンケート調査票 ≪もも経営体用≫

4. アンケート調査票 ≪ぶどう経営体用≫

平成27年度 公益財団法人中央果実協会委託事業

果樹産地生産構造動向分析調査　**大規模果樹経営実態調査**

アンケート調査票 ≪1. ぶどう経営体用≫

※ アンケートは匿名とさせていただき、記載された情報は個人情報に留意し、今後の果樹対策の参考資料等以外には使用することはありませんので、どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。
（なお、アンケート調査票は、平成27年　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います）

指標部分

道 県 名	
市町村名	
経営体番号	

≪問合せ先≫

【委託事業調査事務局:(一財)農林統計協会】

担当 ： 武石 、石山　　○ 電話:03-3492-2950

○ E-mail :kaju@aafs.or.jp　○ fax :03-3492-2942

≪以下のご記入に当たっては、( )書き部分の記入の仕方を参照しながらご記入下さい≫

【1】経営の現状

(1) 労働力（ご家族・雇用などについて、ご記入下さい）

1) 家族（経営主の方は就農時の年齢を、「その他」は () 内に父、母などご記入下さい）

区分		年齢（平成27年8月）	年間果樹作業従事日数	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
家族労働力	・経営主(就農　歳)	歳	人日	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	経営主妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・後継者			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	後継者妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

2) 雇用（「常雇」は個人別に、「臨時」は男女別にまとめて延べ人日で、それぞれご記入下さい）

区分	年齢	性別（該当○印）	年間果樹作業従事日数	雇用年数（常雇のみ）	賃金（1日当たり平均）	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
常雇	歳	男・女	日	年目	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
		男・女				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
臨時	男性	年間延べ雇用人数		人日	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	女性	年間延べ雇用人数				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

(2) 主要農業機械（有に○印、台数などをご記入下さい）

	有（○）	機種など	台数	仕様（馬力・容量など）
農業機械		トラクター	台	
		動力噴霧器		
		選果機		
		フォークリフト		
		油圧ショベル（バックホー）		
		トラック（ダンプを含む）		
		軽トラック		
		運搬車		

(3) 施設・設備等（○印、構造、面積などをご記入下さい）

	有（○）	種類	構造	規模（面積・延面積）
施設・設備		倉庫		
		貯蔵庫		
		作業所		
		コンテナ置き場		
		加工施設		
		直売所		
		灌漑設備		
		ハウス		
		注：他にあれば空欄へご記入下さい。		

(4) 果樹の生産・販売の状況 （面積はﾍｸﾀｰﾙ単位、生産量、販売量はトン単位で、小数1位までご記入ください）

区分		果樹園の現状		生産量	販売量	主な販売先			
		計	うち成園			農協等	集荷業者等	直売・宅配等の販売	ぶどう狩りなど観光農園
果樹園面積合計		・ ha	・ ha	・ t	・ t	%	%	%	%
ぶどう		・	・	・	・				
ぶどう以外の品目(もも、なし、おうとうなど)	面積1位品目(　　)	・	・	・	・				
	面積2位品目(　　)	・	・	・	・				
	面積3位品目(　　)	・	・	・	・				

(5) ぶどうの品種別、生産・販売の状況

区分	品種名	果樹園の現状		生産量	販売用途（〇印を付けて下さい）	ハウス栽培面積		樹の仕立て方（注）	主な収穫時期（〇月〇旬～〇月〇旬）
		計	うち成園			加温	無加温		
ぶどう	計	・ ha	・ ha	・ t		・ ha	・ ha		～
面積1位の品種		・	・	・	生食・醸造	・	・		～
面積2位の品種		・	・	・	生食・醸造	・	・		～
面積3位の品種		・	・	・	生食・醸造	・	・		～
面積4位の品種		・	・	・	生食・醸造	・	・		～
面積5位の品種		・	・	・	生食・醸造	・	・		～

注:「樹の仕立て方」は、長梢剪定、短梢剪定、垣根仕立て(醸造・加工用のみ)などを記入下さい。

(6) ぶどうについて、高品質技術・省力技術の導入状況など

（該当に〇印を付して下さい。また、1～5以外に有る場合、6～8へご記入下さい。一部の場合、その割合をご記入下さい）

	内容	特記事項（割合など）
1	雨避けハウス・簡易被膜等によるハウス栽培	
2	減農薬・減化学肥料等環境保全型栽培の取組み	
3	園地毎の選果データの栽培技術へのフィードバック	
4	環状はく皮技術の導入による着色良好果生産	
5	根域制限栽培法の導入による高糖度果実生産	
6	ぶどう花穂整形（房作り）作業	
7		
8		

(7) 農業経営収支の状況（平成26年）

費　目		金額（万円）
農業粗収益（販売額+家計消費見積もり額）	a	
農業経営費	b	
農業所得	c=a−b	

※ 青色申告書の「平成26年分収支内訳書（農業所得）」、青色申告でない方は、分かる範囲でおおよそで転記下さい。

(8) 法人化の状況と法人化理由

法人化の有無	1. 法人化済み（平.　年に法人化）	2. 未だ法人化していないが、平.　年に法人化を予定	3. 法人化の予定は無い
法人化の理由			
法人化して困ったこと			

(9)　経営主の方の研修、技術取得の経緯など

【2】経営の発展に伴う樹園地の集積過程とその手法、活用した支援対策等について

(1) 購入、借入した樹園地（現在の樹園地になるまでをご記入下さい）

区分	最近10年以内	10年より前	利用した資金名、合わせ行った事業など
購入した樹園地	a	a	
借入した樹園地	a	a	

(2) 樹園地を増やした理由・動機（新しい品目や新品種を導入するため）

(3) 樹園地を拡大するにあたっての工夫（該当番号に〇印をして下さい。他にあればその他へご記入下さい）

規模拡大に当っての工夫
1. 作業性向上のため樹園地を整備した
2. ぶどう以外の品目も導入し、収益確保と労力を分散
3. 出荷期間が広がるよう品目・品種の導入など工夫
4. 貯蔵技術を活用するなど、有利販売を目指す
5. その他（　　）
6. その他（　　）

(4) 農地の分散、不良園地（傾斜地、湿害、肥沃度不良等）への対応はどのようにされていますか

【3】ぶどうの他、かき、おうとう、プルーンなど他の品目（樹種）も栽培され、いわゆる樹種複合経営をされている場合、そのメリット、デメリットをお聞きします。（該当番号に〇印をしてください。他にあれば「その他」へご記入下さい。）

樹種複合経営のメリット
1. 労働配分の平準化（収穫時期等分散でき労働のピークをくずせる）
2. 危険分散ができる（台風など自然災害や販売価格の低下などの危険分散ができる）
3. 販売上のメリット（より長期間販売することで、顧客確保、収入時期の分散ができる）
4. その他（　　）
5. その他（　　）
6. その他（　　）

樹種複合経営のデメリット
1. 品目（樹種）ごとの栽培技術の取得が必要
2. ややもすると雇用労働の増加になりやすい
3. 販売も品目に応じた販路確保など必要になる
4. その他（　　）
5. その他（　　）

【4】経営面及び技術面の課題 （例えば、園地管理、結実管理、秀品率の向上。雇用労働力の確保、共同防除作業員の不足など）

【5】販売面での工夫・課題など （例えば、有利販売の方法、販売で困っていることなど）

また、裾ものの販売はどのようにされていますか

【6】今後の経営展望（おおよそ5年後を念頭に）はどのようにお考えですか

（1）今後の経営展望（例えば、優良品目・品種の導入。経営分析の実施など）

（2）今後の樹園地の目標面積は

（3）今後、何の品目を増やしていく予定ですか

（4）今後、生産部門だけでなく、加工・販売部門などの予定は

【7】地域、全国への普及可能性等

（貴経営の特徴などの普及可能性等について、経営主のご見解をお書き下さい。）

≪ご記入ありがとうございました。　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います。≫

平成27年度 公益財団法人中央果実協会委託事業

果樹産地生産構造動向分析調査 **大規模果樹経営実態調査**

アンケート調査票 ≪2. かき経営体用≫

※ アンケートは匿名とさせていただき、記載された情報は個人情報に留意し、今後の果樹対策の参考資料等以外には使用することはありませんので、どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。
（なお、アンケート調査票は、平成27年　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います）

指標部分

道 県 名	
市町村名	
経営体番号	

≪問合せ先≫

【委託事業調査事務局:(一財)農林統計協会】

担当 ： 武石 、石山　　○ 電話:03-3492-2950

○ E-mail :kaju@aafs.or.jp　○ fax :03-3492-2942

≪以下のご記入に当たっては、( )書き部分の記入の仕方を参照しながらご記入下さい≫

【1】経営の現状

(1) 労働力（ご家族・雇用などについて、ご記入下さい）

1) 家族（経営主の方は就農時の年齢を、「その他」は () 内に父、母などご記入下さい）

区分		年齢（平成27年8月）	年間果樹作業従事日数	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
家族労働力	・経営主(就農　歳)	歳	人日	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	経営主妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・後継者			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	後継者妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

2) 雇用（「常雇」は個人別に、「臨時」は男女別にまとめて延べ人日で、それぞれご記入下さい）

区分	年齢	性別（該当○印）	年間果樹作業従事日数	雇用年数（常雇のみ）	賃金(1日当たり平均)	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
常雇	歳	男・女	日	年目	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
		男・女				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
臨時	男性	年間延べ雇用人数		人日	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	女性	年間延べ雇用人数				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

(2) 主要農業機械（有に○印、台数などをご記入下さい）

	有（○）	機種など	台数	仕様（馬力・容量など）
農業機械		トラクター	台	
		SS（ｽﾋﾟｰﾄﾞｽﾌﾟﾚﾔｰ）		
		動力噴霧器		
		選果機		
		フォークリフト		
		油圧ショベル（ﾊﾞｯｸﾎｰ）		
		トラック（ダンプを含む）		
		軽トラック		
		運搬車		

(3) 施設・設備等（○印、構造、面積などをご記入下さい）

	有（○）	種類	構造	規模（面積・延面積）
施設・設備		倉庫		
		貯蔵庫		
		作業所		
		コンテナ置き場		
		モノレール		

注：他にあれば空欄へご記入下さい。

(4) 果樹の生産・販売の状況　（面積はﾍｸﾀｰﾙ単位で、小数1位までご記入ください）

区分		果樹園の現状		生産量	販売量	主な販売先			
		計	うち成園			農協等	集荷業者等	直売・宅配等の販売	その他
果樹園面積合計		・　ha	・　ha	・　t	・　t	%	%	%	%
かき		・	・	・	・				
かき以外の品目で	面積1位品目(　　)	・	・	・	・				
	面積2位品目(　　)	・	・	・	・				
	面積3位品目(　　)	・	・	・	・				

(5) かきの生産・販売の状況

区分	品種名	果樹園の現状		生産量	樹の仕立て方	主な収穫時期（〇月〇旬～〇月〇旬）
		計	うち成園			
かき	計	・　ha	・　ha	・　t		～
面積1位の品種		・	・	・		～
面積2位の品種		・	・	・		～
面積3位の品種		・	・	・		～
面積4位の品種		・	・	・		～
面積5位の品種		・	・	・		～

(6) かきについて、高品質技術・省力技術の導入状況など

（該当に〇印を付して下さい。また、1～5以外に有る場合、6～8へご記入下さい。一部の場合、その割合をご記入下さい）

	内容	特記事項（割合など）
1	計画的な品種構成改善による収穫労力の分散	
2	大苗移植による早期成園化	
3	平棚栽培・低樹高栽培による省力化	
4	Y字形仕立てによる作業の効率化	
5	園地毎の選果データの栽培技術へのフィードバック	
6		
7		
8		

(7) 農業経営収支の状況（平成26年）

費　目		金額（万円）
農業粗収益（販売額+家計消費見積もり額）	a	
農業経営費	b	
農業所得	c=a−b	

※ 青色申告書の「平成26年分収支内訳書（農業所得用）」などから、青色申告でない方は、分かる範囲でご記入下さい。

(8) 法人化の状況と法人化理由

法人化の有無	1. 法人化済み（平.　年に法人化）	2. 未だ法人化していないが、平.　年に法人化を予定	3. 法人化の予定は無い
法人化の理由			
法人化して困ったこと			

(9)　経営主の方の研修、技術取得の経緯など

【2】経営の発展に伴う樹園地の集積過程とその手法、活用した支援対策等について

(1) 購入、借入した樹園地（現在の樹園地になるまでをご記入下さい）

区分	最近10年以内	10年より前	利用した資金名、合わせ行った事業など
購入した樹園地	a	a	
借入した樹園地	a	a	

(2) 樹園地を増やした理由・動機（収入を増やすため、親戚・知人に頼まれてなど）

(3) 樹園地を拡大するにあたっての工夫（該当番号に〇印をして下さい。他にあればその他へご記入下さい）

1. 作業性向上のため樹園地を整備した
2. かき以外の品目も導入し、収益確保と労力を分散
3. 出荷期間が広がるよう品目・品種の導入など工夫
4. 貯蔵技術を活用するなど、有利販売を目指す
5. その他（　　）
6. その他（　　）

(4) 農地の分散、不良園地（傾斜地、湿害、肥沃度不良等）への対応はどのようにされていますか

【3】経営発展に伴う経営改善、技術改善の方策・内容

（例えば、早生から晩生まで長く収穫可能な樹園地構成にしたなど）

また、病害虫、鳥獣等の被害への対応は十分ですか

【4】経営面及び技術面の課題（例えば、園地管理、結実管理、秀品率の向上。雇用労働力の確保、共同防除作業員の不足など）

【5】販売面での課題（例えば、販売で困っていることは何ですか）

また、裾ものの販売はどのようにされていますか

【6】今後の経営展望（おおよそ5年後を念頭に）はどのようにお考えですか

（1）今後の経営展望（例えば、優良品目・品種の導入。経営分析の実施など）

（2）今後の樹園地の目標面積は

（3）今後、何の品目を増やしていく予定ですか

（4）今後、生産部門だけでなく、加工・販売部門などの予定は

【7】地域、全国への普及可能性等

（貴経営の特徴などの普及可能性等について、経営主のご見解をお書き下さい。）

≪ご記入ありがとうございました。　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います。≫

平成27年度 公益財団法人中央果実協会委託事業

果樹産地生産構造動向分析調査 **大規模果樹経営実態調査**

アンケート調査票 ≪3. もも経営体用≫

※ アンケートは匿名とさせていただき、記載された情報は個人情報に留意し、今後の果樹対策の参考資料等以外には使用することはありませんので、どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。
（なお、アンケート調査票は、平成27年　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います）

指標部分

道 県 名	
市町村名	
経営体番号	

≪問合せ先≫

【委託事業調査事務局:(一財)農林統計協会】

担当 ： 武石 、石山　　○ 電話:03-3492-2950

○ E-mail :kaju@aafs.or.jp　○ fax :03-3492-2942

≪以下のご記入に当たっては、( )書き部分の記入の仕方を参照しながらご記入下さい≫

【1】経営の現状

(1) 労働力（ご家族・雇用などについて、ご記入下さい）

1) 家族（経営主の方は就農時の年齢を、「その他」は () 内に父、母などご記入下さい）

区分		年齢（平成27年8月）	年間果樹作業従事日数	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
家族労働力	・経営主(就農　歳)	歳	人日	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	経営主妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・後継者			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	後継者妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

2) 雇用（「常雇」は個人別に、「臨時」は男女別にまとめて延べ人日で、それぞれご記入下さい）

区分	年齢	性別（該当○印）	年間果樹作業従事日数	雇用年数（常雇のみ）	賃金(1日当たり平均)	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
常雇	歳	男・女	日	年目	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
		男・女				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
臨時	男性	年間延べ雇用人数		人日	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	女性	年間延べ雇用人数				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

(2) 主要農業機械（有に○印、台数などをご記入下さい）

	有（○）	機種など	台数	仕様（馬力・容量など）
農業機械		トラクター	台	
		SS（ｽﾋﾟｰﾄﾞｽﾌﾟﾚﾔｰ）		
		動力噴霧器		
		選果機		
		フォークリフト		
		油圧ショベル（ﾊﾞｯｸﾎｰ）		
		トラック（ダンプを含む）		
		軽トラック		
		運搬車		

(3) 施設・設備等（○印、構造、面積などをご記入下さい）

	有（○）	種類	構造	規模（面積・延面積）
施設・設備		倉庫		
		貯蔵庫		
		冷蔵庫		
		作業所		
		コンテナ置き場		
		ハウス		
		灌漑設備		

注：他にあれば空欄へご記入下さい。

(4) 果樹の生産・販売の状況 （面積はﾍｸﾀｰﾙ単位、生産量、販売量はトン単位で、小数1位までご記入ください）

区分		果樹園の現状		生産量	販売量	主な販売先			
		計	うち成園			農協等	集荷業者等	直売・宅配等の販売	その他
果樹園面積合計		・ ha	・ ha	・ t	・ t	%	%	%	%
もも		・	・	・	・				
もも以外の品目で	面積1位品目（ ）	・	・	・	・				
	面積2位品目（ ）	・	・	・	・				
	面積3位品目（ ）	・	・	・	・				

(5) ももの生産・販売の状況

区分	品種名	果樹園の現状		生産量	樹の仕立て方	主な収穫時期（○月○旬～○月○旬）
		計	うち成園			
もも	計	・ ha	・ ha	・ t		～
面積1位の品種		・	・	・		～
面積2位の品種		・	・	・		～
面積3位の品種		・	・	・		～
面積4位の品種		・	・	・		～
面積5位の品種		・	・	・		～

注：「樹の仕立て方」は、長梢剪定、短梢剪定、垣根仕立て（醸造・加工用のみ）などを記入下さい。

(6) ももについて、高品質技術・省力技術の導入状況など

（該当に○印を付して下さい。また、1～5以外に有る場合、6～8へご記入下さい。一部の場合、その割合をご記入下さい）

	内容	特記事項（割合など）
1	ももは経済的な寿命が短いことから「計画的な樹体更新」	
2	品種構成改善による収穫労力の分散	
3	平棚栽培・低樹高栽培による省力化	
4	園地毎の選果データの栽培技術へのフィードバック	
5	下枝への日射の確保や土壌の排水性の改善	
6		
7		
8		

(7) 農業経営収支の状況（平成26年）

費 目		金額（万円）
農業粗収益（販売額+家計消費見積もり額）	a	
農業経営費	b	
農業所得	c=a−b	

※ 青色申告書の「平成26年分収支内訳書（農業所得用）」などから、青色申告でない方は、分かる範囲でご記入下さい。

(8) 法人化の状況と法人化理由

法人化の有無	1. 法人化済み（平. 年に法人化）	2. 未だ法人化していないが、平. 年に法人化を予定	3. 法人化の予定は無い
法人化の理由			
法人化して困ったこと			

(9)　経営主の方の研修、技術取得の経緯など

【2】経営の発展に伴う樹園地の集積過程とその手法、活用した支援対策等について

(1) 購入、借入した樹園地（現在の樹園地になるまでをご記入下さい）

区分	最近10年以内	10年より前	利用した資金名、合わせ行った事業など
購入した樹園地	a	a	
借入した樹園地	a	a	

(2) 樹園地を増やした理由・動機（収入を増やすため、親戚・知人に頼まれてなど）

(3) 樹園地を拡大するにあたっての工夫（該当番号に〇印をして下さい。他にあればその他へご記入下さい）

1. 作業性向上のため樹園地を整備した
2. もも以外の品目も導入し、収益確保と労力を分散
3. 出荷期間が広がるよう品目・品種の導入など工夫
4. 貯蔵技術を活用するなど、有利販売を目指す
5. その他（　　）
6. その他（　　）

(4) 農地の分散、不良園地（傾斜地、湿害、肥沃度不良、標高等）への対応はどのようにされていますか

【3】経営発展に伴う経営改善、技術改善の方策・内容

（例えば、早生から晩生まで長く収穫可能な樹園地構成にしたなど）

また、病害虫（特にせん孔細菌病）対策、いやち対策は十分ですか

【4】経営面及び技術面の課題 （例えば、園地管理、結実管理、秀品率の向上。雇用労働力の確保、共同防除作業員の不足など）

【5】 販売面での課題 （例えば、販売で困っていることは何ですか）

また、裾ものの販売はどのようにされていますか

【6】 今後の経営展望（おおよそ5年後を念頭に）はどのようにお考えですか

（1）今後の経営展望（例えば、優良品目・品種の導入。経営分析の実施など）

（2）今後の樹園地の目標面積は

（3）今後、何の品目を増やしていく予定ですか

（4）今後、生産部門だけでなく、加工・販売部門などの予定は

【7】 地域、全国への普及可能性等

（貴経営の特徴などの普及可能性等について、経営主のご見解をお書き下さい。）

≪ご記入ありがとうございました。　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います。≫

平成27年度 公益財団法人中央果実協会委託事業

果樹産地生産構造動向分析調査 **大規模果樹経営実態調査**

アンケート調査票 ≪4. うめ経営体用≫

※ アンケートは匿名とさせていただき、記載された情報は個人情報に留意し、今後の果樹対策の参考資料等以外には使用することはありませんので、どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。
（なお、アンケート調査票は、平成27年　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います）

指標部分

道 県 名	
市町村名	
経営体番号	

≪問合せ先≫

【委託事業調査事務局:(一財)農林統計協会】

担当 ： 武石 、石山　　○ 電話:03-3492-2950

○ E-mail :kaju@aafs.or.jp　○ fax :03-3492-2942

≪以下のご記入に当たっては、( )書き部分の記入の仕方を参照しながらご記入下さい≫

【1】経営の現状

(1) 労働力（ご家族・雇用などについて、ご記入下さい）

1) 家族（経営主の方は就農時の年齢を、「その他」は () 内に父、母などご記入下さい）

区分		年齢 平成27年8月	年間果樹作業従事日数	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
家族労働力	・経営主(就農　　歳)	歳	人日	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	経営主妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・後継者			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	後継者妻			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	・その他(　　)			1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

2) 雇用（「常雇」は個人別に、「臨時」は男女別にまとめて延べ人日で、それぞれご記入下さい）

区分	年齢	性別（該当○印）	年間果樹作業従事日数	雇用年数（常雇のみ）	賃金（1日当たり平均）	担当作業（該当の番号に○印をお付け下さい）
常雇	歳	男・女	日	年目	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
		男・女				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
臨時	男性	年間延べ雇用人数		人日	円	1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷
	女性	年間延べ雇用人数				1. 剪定 2. 除草・防除 3. 摘果 4. 収穫・搬出 5. 選別・出荷

(2) 主要農業機械（有に○印、台数などをご記入下さい）

	有（○）	機種など	台数	仕様（馬力・容量など）
農業機械		トラクター	台	
		SS（ｽﾋﾟｰﾄﾞｽﾌﾟﾚﾔｰ）		
		動力噴霧器		
		選果機		
		フォークリフト		
		油圧ショベル（ﾊﾞｯｸﾎｰ）		
		トラック（ダンプを含む）		
		軽トラック		
		運搬車		

(3) 施設・設備等（○印、構造、面積などをご記入下さい）

	有（○）	種類	構造	規模（面積・延面積）
施設・設備		倉庫		
		貯蔵庫		
		作業所		
		加工場		
		コンテナ置き場		
		モノレール		

注：他にあれば空欄へご記入下さい。

(4) 果樹の生産・販売の状況　（面積はﾍｸﾀｰﾙ単位で、小数1位までご記入ください）

区分		果樹園の現状		生産量	販売量	主な販売先			
		計	うち成園			農協等	集荷業者等	直売・宅配等の販売	その他
果樹園面積合計		・　ha	・　ha	・　t	・　t	%	%	%	%
うめ		・	・	・	・				
うめ以外の品目で	面積1位品目(　　)	・	・	・	・				
	面積2位品目(　　)	・	・	・	・				
	面積3位品目(　　)	・	・	・	・				

(5) うめの生産・販売の状況

区分	品種名	果樹園の現状		生産量	樹の仕立て方	主な収穫時期（○月○旬～○月○旬）	販売形態（該当を○で囲む）
		計	うち成園				
うめ	計	・　ha	・　ha	・　t		～	生果・1次加工後
面積1位の品種		・	・	・		～	生果・1次加工後
面積2位の品種		・	・	・		～	生果・1次加工後
面積3位の品種		・	・	・		～	生果・1次加工後
面積4位の品種		・	・	・		～	生果・1次加工後
面積5位の品種		・	・	・		～	生果・1次加工後

(6) うめについて、高品質技術・省力技術の導入状況など

（該当に○印を付して下さい。また、1～5以外に有る場合、6～8へご記入下さい。一部の場合、その割合をご記入下さい）

	内容	特記事項（割合など）
1	計画的な品種構成改善による収穫労力の分散	
2	低樹高栽培による省力化	
3	園地毎の選果データの栽培技術へのフィードバック	
4	樹上における完熟果生産	
5	ネット収穫技術導入による省力化	
6		
7		
8		

(7) 農業経営収支の状況（平成26年）

費　目		金額（万円）
農業粗収益（販売額+家計消費見積もり額）	a	
農業経営費	b	
農業所得	c=a−b	

※ 青色申告書の「平成26年分収支内訳書（農業所得用）」などから、青色申告でない方は、分かる範囲でご記入下さい。

(8) 法人化の状況と法人化理由

法人化の有無	1. 法人化済み（平.　年に法人化）	2. 未だ法人化していないが、平.　年に法人化を予定	3. 法人化の予定は無い
法人化の理由			
法人化して困ったこと			

(9)　経営主の方の研修、技術取得の経緯など

【2】経営の発展に伴う樹園地の集積過程とその手法、活用した支援対策等について

(1) 購入、借入した樹園地（現在の樹園地になるまでをご記入下さい）

区分	最近10年以内	10年より前	利用した資金名、合わせ行った事業など
購入した樹園地	a	a	
借入した樹園地	a	a	

(2) 樹園地を増やした理由・動機（収入を増やすため、親戚・知人に頼まれてなど）

(3) 樹園地を拡大するにあたっての工夫（該当番号に〇印をして下さい。他にあればその他へご記入下さい）

1. 作業性向上のため樹園地を整備した
2. うめ以外の品目も導入し、収益確保と労力を分散
3. 出荷期間が広がるよう品目・品種の導入など工夫
4. 貯蔵技術を活用するなど、有利販売を目指す
5. その他（　　）
6. その他（　　）

(4) 農地の分散、不良園地（傾斜地、湿害、肥沃度不良等）への対応はどのようにされていますか

【3】経営発展に伴う経営改善、技術改善の方策・内容

（例えば、早生から晩生まで長く収穫可能な樹園地構成にしたなど）

また、病害虫、鳥獣等の被害への対応は十分ですか

【4】経営面及び技術面の課題（例えば、園地管理、結実管理、秀品率の向上。雇用労働力の確保、共同防除作業員の不足など）

【5】販売面での課題（例えば、販売で困っていることは何ですか）

また、裾ものの販売はどのようにされていますか

【6】今後の経営展望（おおよそ5年後を念頭に）はどのようにお考えですか

（1）今後の経営展望（例えば、優良品目・品種の導入。経営分析の実施など）

（2）今後の樹園地の目標面積は

（3）今後、何の品目を増やしていく予定ですか

（4）今後、生産部門だけでなく、加工・販売部門などの予定は

【7】地域、全国への普及可能性等

（貴経営の特徴などの普及可能性等について、経営主のご見解をお書き下さい。）

≪ご記入ありがとうございました。　　月　　日頃までに返信封筒を用いてご投函願います。≫